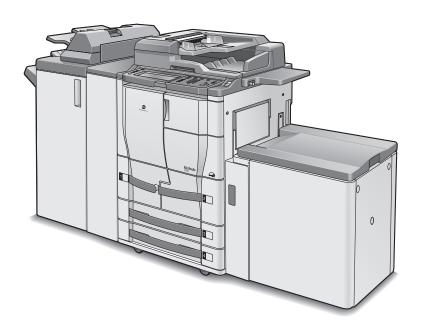
The essentials of imaging

bizhub 750/600

ユーザーズガイド　コピー機能編

はじめに

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、bizhub 750/600 の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処置方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、ご使用の前にこのユーザーズガイドを最後までお読みください。お読みになったあとは必ずユーザーズガイドホルダーに入れて保管してください。ご使用中わからないことや、不都合が生じたとき、きっとお役に立ちます。

ユーザーズガイド内で使用しているイラストなどは、実際の装置とは異なる場合があります。

■ 国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

ローパワー機能

ローパワー機能は、機器の消費電力を節約するための機能で、待機中の消費電力を 1.1W（オプション未装着機）に抑えることができ、電気料の節約にも寄与しています。標準では、待機時間が 1 分（オプション未装着機）/15 分（オプション装着機）を超えると、自動的にパワ ーセーブ機能が働き消費電力を節約します。機能する時間は、1 分～ 240 分の間で 1 分単位 の設定ができます。

スリープ機能

スリープ機能は、ローパワー機能よりもさらに消費電 力を節約するための機能で、待機中の消費電力を 1.1W に抑えることができます。通常は、ローパワー機能が働いて、一定時間が 1 分（オプション未装着機）/60 分（オプション装着機）を超えると、機能が自動的に働き、消費電力を節約します。機能する時間は、1 分～ 240 分の間で 1 分単位の設定ができます。

自動両面コピー機能

一枚の用紙のオモテ面 / ウラ 面にコピーする自動両面コピー機能により、用紙の省資源化が計られます。

ローパワー 機能、スリープ機能、自動両面コピー機能をお使いになることをお勧めします。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の効率的および、経済的な電力の使用ができます。

■ エコマークについて

本機は資源採取からリサイクルまでのライフサイクル全体を通して環境に配慮し、エコマーク認定された製品です。

エコマーク認定番号 第 05 117 011 号
bizhub 750/600 は、「エコマーク事務局認定・環境保全型商品」です。

エコマークとは？

環境省の指導のもとに環境にやさしい社会の実現に向けて、財団法人日本環境協会が制定した認証です。「製品の製造、使用、廃棄等による環境への負荷が相対的に少ない商品」、また、「この製品を利用することにより、他の原因から生ずる環境への負荷を極力抑えることができる商品」に認定されます。

物質エミッションについて

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No117「複写機 Version 2.0」の物質エミッション放散速度に関する認定基準 を満たしています。（トナーは本製品用の推奨純正品を使用し、白黒複写を行った場合につ いて、試験方法 :RAL-UZ62:2003 の付録 4 に基づき試験を実施しました。）

再生紙につい て

本機は、古紙パルプ 100% 再生紙でエコマーク認定商品である「コニカミノルタ NR-A100」をご使用いただけます。

■ 商標、著作権等について

- KONICA MINOLTA、KONICA MINOLTA ロゴ、The essentials of imaging は、コニカミノルタホールディングス株式会社の登録商標です。
- PageScope、bizhub はコニカミノルタビジネステクノロジーズ株式会社の登録商標です。
- Netscape Communications、Netscape Communications ロゴ、Netscape Navigator、Netscape Communicator および Netscape は、Netscape Communications Corporation の商標です。
- その他の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

もくじ

はじめに 1
国際エネルギースタープログラムについて 1
エコマークについて 2
商標、著作権等について 2

もくじ 3

こんな機能があります 11

ページの見かた 17

原稿および用紙の呼び方と表示 18
幅と長さ 18
▭ と ▯ 18

マニュアル体系について 19
ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞ 19
ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編） 19
ユーザーズガイド（ボックス機能編） 19
ユーザーズガイド（拡大表示機能編） 19
ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編） 19
ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編） 19
IC-202 ユーザーズガイド／クイックガイド 20

コピー禁止事項 21
法律によりコピーを禁止されているもの 21
著作権の対象となっているもの 21
注意を必要とするもの 21

機械・消耗品のリサイクル／リユース 22
機械・消耗品のリサイクル／リユース 22

機械取り扱いの注意 23
オゾン放出 23
トナーボトルの取り扱いについて 23

第 1 章　設置・取扱いの注意 1-1

1.1　安全にご使用いただくために 1-2
絵表示の意味 1-2
図記号の例 1-2

1.2　適合宣言文 1-9
レーザーの安全性 1-9
電波障害について 1-9
JIS C 61000-3-2 適合品 1-9

1.3　注意表記・注意ラベル 1-10

1.4　設置スペース 1-12

1.5　使用上のご注意 1-14
設置電源 1-14
使用環境 1-14
コピーの保存について 1-14

第 2 章　ご使用いただく前に 2-1

2.1　各部の名称とはたらき 2-2
本体外部 2-2
本体内部 2-5
オプション構成 2-6
大容量給紙ユニット LU-401/LU-402 2-8
フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602（+ パンチキット PK-502/ PK-503）...... 2-9
ポストインサータ PI-501 2-12
Z 折りユニット ZU-602 2-13
シフトトレイ SF-601 2-14
操作パネル 2-15
基本的な設定をする画面（基本設定画面）... 2-17
タッチパネル内で表示されるアイコンについて 2-19

2.2　操作パネルの角度をかえる 2-20
操作パネルの角度のかえかた 2-20

2.3　主電源と副電源を入れる 2-22
電源の入れかた 2-22
ウォームアップ中に読込みする 2-23
電源の切りかた 2-25
自動的に設定を取消す（オートリセット）... 2-25
自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）... 2-26
自動的に節電状態にする（ローパワー）... 2-26
自動的に節電状態にする（スリープ）... 2-27
手動で節電状態にする 2-27
スケジュールにあわせて使用時間を制限する（ウィークリータイマー）........... 2-28
ユーザ認証にしたがって本機を使用する 2-30
部門管理にしたがって本機を使用する 2-33

2.4　第 1 ／第 2 給紙トレイへ用紙をセットする 2-36

2.5　第 3 ／第 4 給紙トレイへ用紙をセットする 2-37

2.6　手差しトレイへ用紙をセットする 2-39

2.7　大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）へ用紙をセットする 2-42

2.8　給紙トレイの用紙サイズを変更する 2-45
用紙サイズの変更のしかた 2-45
はがきのセットのしかた 2-47
各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは 2-49

第 3 章　基本機能 3-1

3.1　コピー操作の流れ 3-2

3.2　組合わせできない操作について 3-4
あとから設定したものが優先される場合 3-4
先に設定したものを優先する場合 3-5

3.3　原稿をセットする 3-6
ADF に原稿をセットする 3-6
原稿ガラス上に原稿をセットする 3-8
原稿を分割して読込む（連続読み設定）... 3-10
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする 3-12

3.4　原稿の設定をする 3-15
サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿） 3-15
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿） 3-17
インデックス紙をセットする（インデックス原稿） 3-19
原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向） 3-21
原稿セット方向の設定のしかた 3-22
とじ代を設定する（原稿のとじ代） 3-23
原稿のとじ代の設定のしかた 3-24
原稿ごとに読込み設定を変更する 3-25

3.5　用紙を選ぶ 3-28
自動的に用紙を選択させる（自動用紙） 3-28
手動で目的の用紙を指定する 3-29

3.6　倍率を選ぶ 3-30
自動的に倍率を設定させる（自動倍率） 3-30
原稿と同じ倍率にする（等倍） 3-31
原稿を少しだけ縮小させる（小さめ） 3-32
「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率） 3-33
テンキーで倍率を指定する（ズーム） 3-34
テンキーで倍率を指定する（独立ズーム） 3-36
登録倍率から選択する 3-38
目的の倍率を登録する 3-39

3.7　原稿／コピー機能を選ぶ 3-41
片面コピーを選択する 3-42
両面コピーを選択する 3-43

3.8　原稿の画質を選ぶ 3-45
小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質） 3-45
原稿画質の設定のしかた 3-46

3.9　濃度を選ぶ 3-47
プリント濃度を調整する（濃度） 3-48
下地濃度を調整する（下地調整） 3-49

3.10　集約を選ぶ 3-50
複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約） 3-51

3.11　仕上り機能を選ぶ 3-52
部数ごとに分けて排紙する（ソート） 3-54
ページごとに分けて排紙する（グループ） 3-55
オモテ面を上にして排紙する（フェイスアップ） 3-56
ステープルでとじて排紙する（ステープル） 3-57
パンチ穴をあけて排紙する（パンチ） 3-61

3.12　紙折り機能を選ぶ 3-63
2 つ折りにして排紙する（中折り） 3-64
用紙の中央をとじて排紙する（中とじ） 3-65
Z 折りにして排紙する（Z 折り） 3-66
3 つ折りにして排紙する（3 つ折り） 3-67

3.13　手動でフィニッシャーを使う 3-68

3.14　プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約） 3-71

3.15　読込み・プリントを中断する 3-72

3.16 中断したジョブを削除する 3-73

第 4 章 コピー補助機能 4-1

4.1 コピー条件を確認する（設定内容） 4-2
設定の確認のしかた 4-2
設定の変更のしかた 4-3

4.2 1 部プリントしてコピー条件を確認する（確認コピー） 4-4

4.3 割込んでコピーする（割込み） 4-7

4.4 コピー条件を登録する（プログラム登録） 4-8
コピープログラムの登録・変更のしかた 4-8
コピープログラムの削除のしかた 4-10

4.5 登録したコピープログラムでコピーする（コピープログラム呼び出し） 4-11

4.6 機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能） 4-13
ヘルプ基本設定画面の概要 4-13
ヘルプ基本画面を表示させる 4-16
機能設定中にヘルプ画面を表示させる 4-18

4.7 操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定） 4-19
ユニバーサル設定画面を表示させる 4-19
キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする 4-20
拡大表示解除確認の設定をする 4-22
メッセージ表示時間の設定をする 4-24
キー受付音を設定する 4-26
警告音を設定する 4-28
ブザー音量を設定する 4-30
タッチパネルの調整をする 4-32
拡大表示機能時の設定解除確認表示の設定をする 4-34
拡大表示機能との切換え時に、初期設定への変更確認表示の設定をする 4-36

第 5 章 トラブルの処理 5-1

5.1 「トラブルです」と表示されたら（サービスコール） 5-2

5.2 「紙づまりです」と表示されたら 5-4

5.3 「用紙を補給してください」と表示されたら 5-6

5.4 「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら 5-7
読込み中のメモリ不足 5-7
予約ジョブ中のメモリ不足 5-8

5.5 簡単なトラブルの処理 5-9

5.6 おもなメッセージと処理のしかた 5-12

第 6 章 仕様・保守サービス 6-1

6.1 仕様 6-2
本体仕様 6-2
ADF 6-4
大容量給紙ユニット LU-401 6-5
大容量給紙ユニット LU-402 6-5
フィニッシャー FS-504 6-6

フィニッシャー FS-505 6-7
フィニッシャー FS-602 6-8
パンチキット PK-502/PK-503 6-9
Z 折りユニット ZU-602 6-9
ポストインサータ PI-501 6-10
シフトトレイ SF-601 6-10
セキュリティキット SC-501 6-10
同梱品 6-11

6.2 保守サービス 6-12

第 7 章 用紙・原稿について 7-1

7.1 用紙について 7-2
使用できる用紙サイズ 7-2
用紙種類および用紙容量 7-4
専用紙について 7-5
用紙使用上の注意 7-6
用紙の保管 7-6
ATS 機能（自動トレイ切換え機能）..7-7
給紙トレイ切換え順位 7-7

7.2 手差しトレイの用紙設定 7-8
用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）..7-8
用紙サイズを指定する（サイズ指定）..7-9
定形外サイズの用紙をセットする（不定形サイズ）..7-11
目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズーメモリ登録）..7-13
ワイド紙の設定をする 7-16
専用紙として設定する 7-18

7.3 給紙トレイの用紙設定 7-20
給紙トレイ設定画面を表示させる 7-20
定形サイズの用紙を設定する（定形サイズ）..7-22
定形の特殊サイズ用紙を設定する（定形特殊サイズ）..7-23
定形外サイズの用紙を設定する（不定形サイズ）..7-25
ワイド紙を設定する（ワイド紙）..7-27
はがきを設定する（はがき）..7-29
用紙種類を設定する 7-30

7.4 原稿について 7-31
ADF にセットできる原稿 7-31
ADF にセットする原稿についての注意 7-33
原稿ガラス上にセットできる原稿 7-34
原稿ガラス上にセットする原稿についての注意 7-34

第 8 章 応用機能 8-1

8.1 OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）..8-2

8.2 別の原稿コピーを指定したページに差込む（差込みページ）..8-5

8.3 表紙をつける（カバーシート）..8-9

8.4 挿入紙をつける（インターシート）..8-13

8.5 指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）..8-19

8.6 原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）.......8-23

8.7 原稿の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）......................................8-27

8.8 ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）.....................8-28

8.9 1 枚の用紙に画像を繰返しコピーする（リピート）...8-34
自動で読込む範囲を検出する（自動検出）..8-35
指定した範囲を繰返しコピーする（範囲指定）..8-37
リピート数を指定して繰返しコピーする（定型リピート）...............................8-40

8.10 原稿を 2 ページに分けてコピーする（ページ連写）..8-44

8.11 コピーにとじ代をつける（とじ代）..8-46
とじ代の位置を調整する（編集とじ代）..8-48

8.12 原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）...............................8-51

8.13 中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）..8-54

8.14 原稿以外の部分を消去してコピーする（消去）..8-56
指定部分を消してコピーする（枠消し）..8-57
原稿の折目を消してコピーする（折目消し）..8-59
指定部分を消してコピーする（原稿外消去）..8-61

8.15 付属情報を印字してコピーする（スタンプ / オーバレイ）...............................8-63
スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには 8-66
日付 / 時刻を印字するには（日付 / 時刻）..8-67
ページ数を印字するには（ページ）..8-69
管理用ナンバーを印字する（ナンバリング）..8-73
定型パターンのスタンプを印字する（定型スタンプ）.......................................8-74
コピー画像の中心に定型パターン文字を印字する（ウォータマーク）.............8-76
画像を重ねてコピーする（オーバレイ）..8-77
重ねる画像を登録して重ねてコピーする（登録オーバレイ）............................8-78

第 9 章 トナーカートリッジ交換／ステープル針交換／パンチくず処理 9-1

9.1 トナーカートリッジを交換する 9-2
トナーカートリッジ交換のしかた 9-4

9.2 ステープル針を交換する 9-7
フィニッシャー FS-504/FS-505 のステープルカートリッジ交換のしかた 9-8
フィニッシャー FS-602 のステープルカートリッジ交換のしかた 9-10

9.3 パンチくずを処理する 9-14
パンチキットのパンチくずを処理する 9-14
Z 折りユニットのパンチくずを処理する 9-17

第 10 章 日頃の管理 10-1

10.1 清掃のしかた 10-2
外装カバー 10-2
原稿ガラス 10-2
スリットガラス 10-3
操作パネル 10-3
ADF プラテンガイドカバー 10-4
給紙ローラ 10-4

10.2　カウントを確認する（セールスカウンタ）......10-5
10.3　「装置の定期点検時期です」と表示されたら......10-6

第 11 章　ジョブ確認......11-1

11.1　ジョブ確認画面の概要......11-2
ジョブについて......11-2
マルチジョブ機能について......11-2
ジョブ確認画面について......11-2

11.2　ジョブ操作をする......11-5
ジョブを削除する......11-5
ジョブの設定内容を確認する......11-7
ジョブの詳細確認をする......11-8
実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する......11-10
履歴リストを表示する......11-11
蓄積ジョブを 1 部プリントして確認する......11-12
蓄積ジョブをプリントする......11-13
優先出力の設定をする......11-15

第 12 章　設定メニュー......12-1

12.1　設定メニューの概要......12-2
登録・設定項目一覧表......12-2

12.2　宛先登録を選択する......12-16
スキャナ登録......12-16
ボックス登録......12-16
宛先登録画面を表示させる......12-17

12.3　ユーザ設定を選択する......12-18
環境設定......12-18
画面切替え設定......12-21
初期設定......12-22
コピー設定......12-23
スキャナ設定......12-25
プリンタ設定......12-26
ユーザ設定画面を表示させる......12-27

12.4　管理者設定を選択する......12-28
環境設定......12-28
管理者 / 本体登録......12-37
宛先登録......12-37
ユーザ認証 / 部門管理......12-38
ネットワーク設定......12-40
コピー設定......12-40
プリンタ設定......12-42
システム連携......12-42
セキュリティ設定......12-43
管理者設定画面を表示させる......12-46

12.5　プリンタ調整......12-48
プリント位置：先端......12-48
プリント位置：側端......12-50

12.6　フィニッシャ調整 12-52
中とじ位置調整 12-52
中折り位置調整 12-54
パンチ調整（パンチ縦位置） 12-56
パンチ調整（パンチ横位置） 12-59
パンチ調整（パンチユニット縦位置） 12-62
パンチ調整（パンチユニット横位置） 12-65
パンチ調整（パンチレジストループ量） 12-68
Z 折り位置調整 12-71
三つ折り位置 12-74
平とじ 2 点ステープル 12-76
ポストインサータトレイサイズ 12-78

12.7　認証方式 12-80
ユーザ認証と部門管理について 12-80
ユーザ認証と部門管理を連動する場合 12-80
ユーザ認証と部門管理でそれぞれ認証する場合 12-81
認証方式の設定のしかた 12-82

12.8　ユーザ認証設定 12-86
管理設定 12-86
ユーザ登録 12-89
ユーザカウンタ 12-93

12.9　部門管理設定 12-95
部門登録 12-95
部門カウンタ 12-98

12.10　パスワード規約 12-100
パスワード規約による制約 12-100

12.11　セキュリティ強化設定 12-101

第 13 章　付録 13-1

13.1　文字を入力するには 13-2
英数字を入力する 13-3
ひらがなを入力する 13-4
カタカナを入力する 13-5
漢字を入力する 13-7
文字コードで入力する 13-8

13.2　入力文字一覧 13-9

13.3　おもな機能の組合わせ一覧表 13-17
おもな機能の組合わせ一覧表 13-17

第 14 章　索引 14-1

14.1　使用別索引 14-2

14.2　項目別索引 14-8

こんな機能があります

用紙を自動的に選択する

原稿のサイズと選択した倍率に合わせて、用紙を自動的に選択しコピーできます。

詳しくは p. 3-28 をごらんください。

用紙サイズに合わせてコピーする

原稿のサイズと選択した用紙のサイズに合わせて、倍率を自動的に選択しコピーできます。

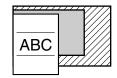
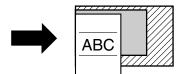
詳しくは p. 3-30 をごらんください。

原稿を分割して読込む

大量の原稿を分割して読込ませることができます。原稿ガラスを使用して両面コピーをとったり、ADF と原稿ガラスを切換えて読込み、1 つのジョブとして 1 度にコピーできます。

詳しくは p. 3-10、p. 3-12 をごらんください。

サイズが異なる原稿を一緒にコピーする

サイズが異なる原稿を、1 度に読込んでコピーできます。

詳しくは p. 3-15 をごらんください。

縦と横の倍率を別々に設定する

縦、横それぞれの倍率を変えることで、原稿の画像を変形させてコピーできます。

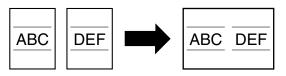
詳しくは p. 3-36 をごらんください。

原稿の画質に合わせてコピーする

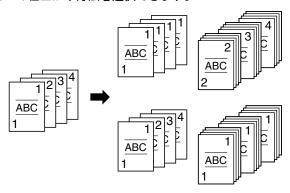
原稿の画質に合った画像でコピーできます。

詳しくは p. 3-45、p. 3-48 をごらんください。

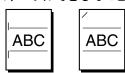
複数の原稿を 1 枚にまとめてコピーする

複数枚の原稿を、1 枚の用紙にまとめてコピーできます。

詳しくは p. 3-51 をごらんください。

仕分けしてコピーする

コピーの仕上がり方法を選択できます。

詳しくは p. 3-54、p. 3-55 をごらんください。

ステープルでとじる

複数枚の原稿をステープルでとじてコピーできます。

詳しくは p. 3-57 をごらんください。

パンチ穴をあける

ファイリング用にパンチ穴を開けてコピーできます。

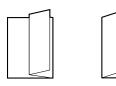
詳しくは p. 3-61 をごらんください。

中折り・中とじにする

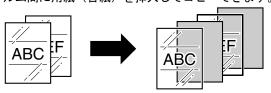
用紙の中央で 2 つ折りにしたり、中央をステープルでとじて 2 つ折りにしたりすることができます。

詳しくは p. 3-64、p. 3-65 をごらんください。

Z 折り・3 つ折りにする

コピーを Z 折りにしたり、3 つ折りにしたりすることができます。

詳しくは p. 3-66、p. 3-67 をごらんください。

OHP フィルムの間に合紙を差込んでコピーする

OHP フィルム同士が貼り合わさるのを防ぐため、OHP フィルム間に用紙（合紙）を挿入してコピーできます。

詳しくは p. 8-2 をごらんください。

別原稿のコピーを指定したページに差込む

ADF で読込んだ原稿ページの間に、原稿ガラスで読込んだ原稿ページを差込んで、まとめてコピーできます。

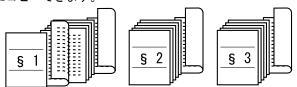
詳しくは p. 8-5 をごらんください。

表紙・挿入紙をつける

コピーに表紙や挿入紙をつけられます。表紙や挿入紙のみ別の用紙（色紙等）を使用してコピーできます。

詳しくは p. 8-13 をごらんください。

章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーする

両面コピーをとるとき、章の先頭ページを必ずオモテ面にコピーできます。

詳しくは p. 8-19 をごらんください。

ネガポジ反転してコピーする

画像の白黒を反転させてコピーできます。

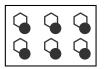
詳しくは p. 8-27 をごらんください。

見開きを左右別々にコピーする

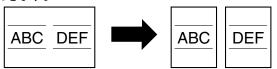
本やカタログなどの見開き原稿を、左右のページごとに分割してコピーできます。

詳しくは p. 8-28 をごらんください。

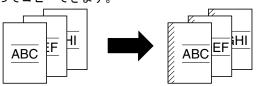
画像を繰り返してコピーする

1 枚の原稿の画像を 1 枚の用紙に繰り返してコピーできます。

詳しくは p. 8-34 をごらんください。

1 枚の原稿を分割してコピーする

1 枚の原稿画像を 2 分割し、それぞれ別のページとしてコピーできます。

詳しくは p. 8-44 をごらんください。

とじ代をつけてコピーする

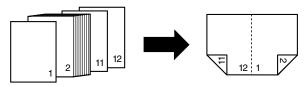
ファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつくってコピーできます。

詳しくは p. 8-46 をごらんください。

画像を用紙サイズに合わせてコピーする

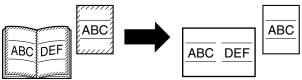
用紙に対する原稿画像の配置を指定してコピーできます。

詳しくは p. 8-51 をごらんください。

中とじ用のレイアウトでコピーする

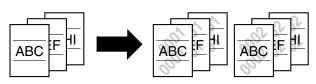
週刊誌や雑誌のようなレイアウトになるように、ページを入れ換えてコピーできます。

詳しくは p. 8-54 をごらんください。

原稿の一部を消してコピーする

パンチ穴の影や受信したファクスの通信記録、本などの原稿をコピーした時のとじ部分や周囲部に写る影などを消してコピーできます。

参照

詳しくは p. 8-56 をごらんください。

管理用の文字やナンバーを印字する

コピーにページナンバーや日付を入れたり、コピー 1 部ごとに管理用のナンバーを印字できます。

参照

詳しくは p. 8-63 をごらんください。

コピーを管理する

プリント待ち状況の確認をし、管理できます。

詳しくは p. 11-2 をごらんください。

コピー条件を登録する

よく使うコピー条件を登録し、必要なときに呼び出してコピーできます。

詳しくは p. 4-8 をごらんください。

設定内容を確認する

設定した内容を確認できます。また設定した内容の変更もできます。

詳しくは p. 4-2 をごらんください。

タッチパネルの文字サイズを大きくする

タッチパネルの文字やキーを見やすい大きな表示にし、基本的な操作をしやすくします。

別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。

機能解説の画面を表示させる

各部の名称、はたらき、機能の詳細をヘルプ画面として表示させます。

詳しくは p. 4-13 をごらんください。

割込んでコピーする

コピーしているジョブを中断し、割込んでコピーできます。

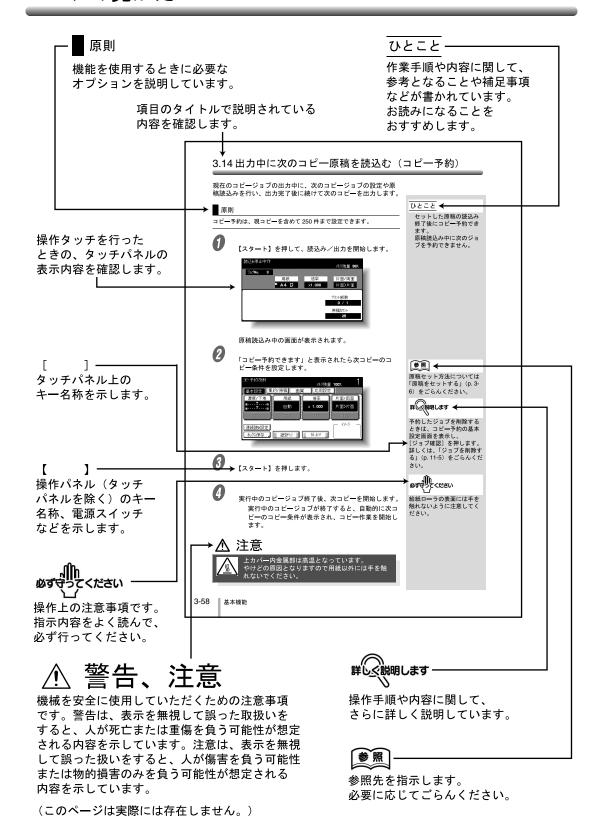
詳しくは p. 4-7 をごらんください。

1 部コピーして条件を確認する

複数部数のコピーをする前に 1 部のみテストプリントし、コピーの仕上りを確認できます。

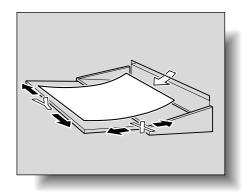
詳しくは p. 4-4 をごらんください。

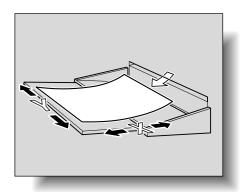
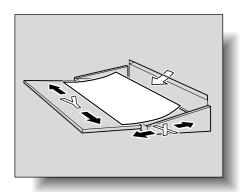
ページの見かた

（このページは実際には存在しません。）

原稿および用紙の呼び方と表示

本文中に出てくる原稿や用紙の呼び方と、その表示について説明します。

■ 幅と長さ

原稿／用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅と呼び、X 辺を長さと呼びます。

■ ▭ と ▯

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを ▭ と表示します。

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを ▯ と表示します。

マニュアル体系について

本機には、次のユーザーズガイド（印刷物）が用意されています。

■ ユーザーズガイド（コピー機能編）＜本書＞

基本操作、コピー機能の操作について記載しています。

- 設置・取扱の注意事項、電源の入れ方 / 切り方、用紙補給のしかた、紙づまりなどのトラブル対処のしかたなど、本機の操作に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

また、日頃の使い方に合わせて機械をカスタマイズ設定したり、機械を管理する方法を記載しています。

- 用紙の設定やトレイの調整、機械の設定や管理に関する内容を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワーク／スキャナ機能編）

標準装備のネットワーク機能の設定方法、スキャナ機能の操作について記載しています。

- ネットワーク機能、E-Mail 送信、サーバ送信（FTP）、PC 送信（SMB）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ボックス機能編）

ボックス機能の操作について記載しています。

- ハードディスクを利用したボックス機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（拡大表示機能編）

コピー機能、ネットワーク／スキャナ機能、ファクシミリ機能の操作を拡大表示画面で行う方法について記載しています。

- 操作パネルの【拡大表示】を押したあとの操作方法を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ファクシミリ機能編）

オプションのファクスキット FK-502 が装着されて使用できるファクシミリ機能の操作について記載しています。

- ファクシミリ機能の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

■ ユーザーズガイド（ネットワークファクス機能編）

ネットワークファクスの操作について記載しています。

- ネットワークファクス機能（インターネットファクス /SIP ファクス /IP アドレスファクス）の使い方を知りたい場合は、このユーザーズガイドをごらんください。

また、本機には次のユーザーズガイド（PDF）／クイックガイドが用意されています。

■ IC-202 ユーザーズガイド／クイックガイド

オプションのイメージコントローラ IC-202 が装着されて使用できるプリンタ機能の操作について記載します。

- プリンタ機能の使い方を知りたい場合は、IC-202 に付属の User Software CD-ROM 内にあるユーザーズガイド（PDF データ）またはクイックガイド（印刷物）をごらんください。

コピー禁止事項

本機でなにをコピーしてもよいわけではありません。

とくに法律によって、そのコピーをとるだけでも罰せられるものがありますので、次の点にご注意ください。

■ 法律によりコピーを禁止されているもの

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債、地方債証券
- 外国紙幣、証券類
- 未使用郵便切手、官製はがき類
- 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証券類

＜関係法律＞

通貨及証券模造取締法
外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
郵便切手類模造等取締法
印紙等模造取締法
紙幣類似証券取締法

■ 著作権の対象となっているもの

書籍、絵画、写真、図面、地図、楽譜などの著作物は、個人的にまたは、家庭内、その他これに準ずる限られた範囲内で使用する場合を除いてコピーは禁止されています。

■ 注意を必要とするもの

- 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体発行の免許証、許可証、身分証明書や通行証、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうが良いと考えられます。
- 民間発行の有価証券（株券、小切手、手形等）、定期券、回数券などは事業所が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって注意が呼びかけられています。

機械・消耗品のリサイクル／リユース

■ 機械・消耗品のリサイクル／リユース

使用済みのトナーボトル、ドラム（感光体）について

お客様が交換したものにつきましては、サービス技術者が回収しますので、入っていた箱に入れて保管してください。サービス技 術者が交換したものにつきましては、そのつど持ち帰ります。回収したトナーボトル、ド ラムは、再資源化しています。

使用済みの機械の処理について

買い替え時は、新しい機械を購入する販売店にご相談く ださい。不要時は、その機械を購入した販売店にご相談ください。回収した機械は再資源 化しています。

小型二次電池（リチウムイオン電池）について

本体およびオプションに小型二次電池（リチウムイオン電池）が使用されている場合は、製品として回収後に小型二次電池も含め再資 源化いたします。

機械取り扱いの注意

■ オゾン放出

本機の使用中は少量のオゾンが発生しますが、その量 は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。

ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷を行ったりする場合には臭気が気になることがあります。快適な環境を保つた めに、定期的な部屋の換気をお勧めします。

■ トナーボトルの取り扱いについて

トナー ボトルを取り扱う場合、以下の項目をよく読み、取り扱いには十分に注意してください。

- トナーボトルは、無理に開けたりしないでください。
  トナーが漏れ出した場合には、トナーの吸引および皮膚接触を極力避けてください。
- トナーが服や手についた場合には、石鹸を使って水でよく洗い流してください。
- トナーを吸入した場合には、新鮮な空気の場所に移動し、大量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状がでるようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーが目に入った場合には、ただちに流水で 15 分以上洗い流してください。
  刺激が残るようであれば、医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合には、口の中をよくすすぎ、コップ 1、2 杯の水をお飲みください。
  必要に応じて医師の診察を受けてください。
- トナーボトルは、幼児や子供の手の届かないところに保管してください。

第 1 章
設置・取扱いの注意

設置や取扱いの注意について説明します。

1.1　安全にご使用いただくために 1-2
1.2　適合宣言文 1-9
1.3　注意表記・注意ラベル 1-10
1.4　設置スペース 1-12
1.5　使用上のご注意 1-14

1.1 安全にご使用いただくために

製品を安全にお使いいただくため、機械の電源、設置および日常の取扱い時にぜひ守っていただきたい注意とお願いを記述しました。製品の電源を入れる前に必ずお読みください。

- このユーザーズガイドはいつでも見られる場所に大切に保管ください。
- ユーザーズガイド本文内に書かれている注意事項も必ずお守りください。

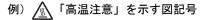
※ご購入いただいた製品によってはこの項の内容と、一部合致しないものもありますが、ご了承ください。

■ 絵表示の意味

このユーザーズガイドおよび製品への表示では、製品を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■ 図記号の例

	この記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。記号の中に具体的な注意内容が描かれています。
	この記号は禁止の行為であることを告げるものです。記号の中や近くに具体的な禁止内容が描かれています。 例）「分解禁止」を表わす図記号
	この記号は必ず行わなければならない行為を告げるものです。記号の中に具体的な指示内容が描かれています。 例）「電源プラグを抜く」を表わす図記号

分解・改造について

警告

- 本製品を改造しないでください。火災・感電のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。

- 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用しているものがあり、感電や失明のおそれがあります。

電源コードについて

警告

- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。不適切な電源コードを使用すると火災・感電のおそれがあります。

- この製品の電源コードを他の製品に転用しないでください。火災・感電のおそれがあります。

- 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。

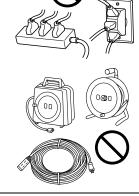
電源について

⚠警告

- 製品に表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災、感電のおそれがあります。

- プラグの形状とコンセントが合わない場合に変換アダプタを使用しないでください。コンセントの形状は電圧や流せる電流で決まっているため、これを守らないと火災の危険があります。また、アース接続の不良により、感電の危険もあります。プラグの形状に合うコンセントの設置を電気工事士にご依頼ください。

- コンセントが２口以上あって、この製品と他の電気製品を同時に使う場合は、事前に担当サービス技術者にご相談ください。コンセントの容量を超えて使用すると、火災の危険があります。

- 原則的に延長コードは使用しないで下さい。また、タコ足配線はしないでください。火災、感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービス技術者にご相談ください。

⚠注意

- コンセントはできるだけ製品のそばにあるものを利用し、そのコンセントに容易に近づけるようにしてください。火災、感電のおそれがあります。非常時に電源プラグを抜けなくなります。

電源プラグについて

⚠警告

- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

- 電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災、感電のおそれがあります。

⚠注意

- プラグを抜くときは電源コードを引っぱらないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

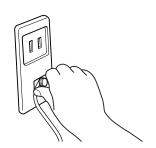
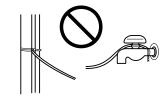
- 電源プラグは年 1 回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。

アース接続について

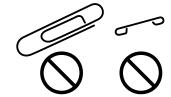
⚠警告

- 必ずアース接続してください。アース接続しないで、万一漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。
  ※ アース線の接続は電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アース線を外すときは、必ず電源プラグをコンセントから外してから行ってください。

アース線は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。
- コンセントのアース端子
- 接地工事を施してある接地端子（第 D 種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。
- ガス管（ガス爆発の原因になります）
- 電話専用アース線および避雷針のアース線（落雷時に大きな電流が流れ、火災・感電のおそれがあります）
- 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

設置について

⚠警告

- 本製品の上に水などの入った花瓶等の容器や、クリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災、感電のおそれがあります。
  万一、金属片、水、液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。

⚠注意

- 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。（床置き型製品の場合）

- 本製品をほこりの多い場所や調理台・風呂場・加湿器の側など油煙や湯気の当たる場所には置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

- 本製品の通風口をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災・故障の原因となることがあります。

- 本製品の周囲で引火性のスプレイや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。

換気について

⚠注意

- 本製品を狭い部屋等で使用される場合は、定期的に部屋の換気をしてください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性があります。

異常が見られたら

⚠ 警告

- 本製品が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音が発生するなどの異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。

- 本製品を落としたり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービス技術者にご連絡ください。そのまま使用しますと、火災・感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- 本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」を促す表示がある部分（定着器周辺など）に、触れないでください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

- トナーカートリッジや感光体等を子供の手の届くところに放置しないで下さい。なめたり食べたりすると健康に障害を来す原因になることがあります。

- トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。

製品を移動させるときは

⚠注意

- 本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

- 本製品を移動する際は必ず使用書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。

長期間使用しないときは

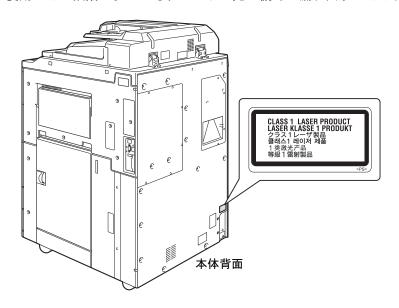
⚠注意

- 連休等で本製品を長期間使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

1.2 適合宣言文

■ レーザーの安全性

この製品はクラス 3B の半導体レーザーを使用しています。このレーザーダイオードの最大出力は 15mW で、波長は 770 ～ 800 nm です。

この製品はクラス 1 レーザー製品として認定されています。レーザー光放射は保護カバーの中に完全に遮へいされていますので、この説明書に記載の指示事項を守って使用するかぎり、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

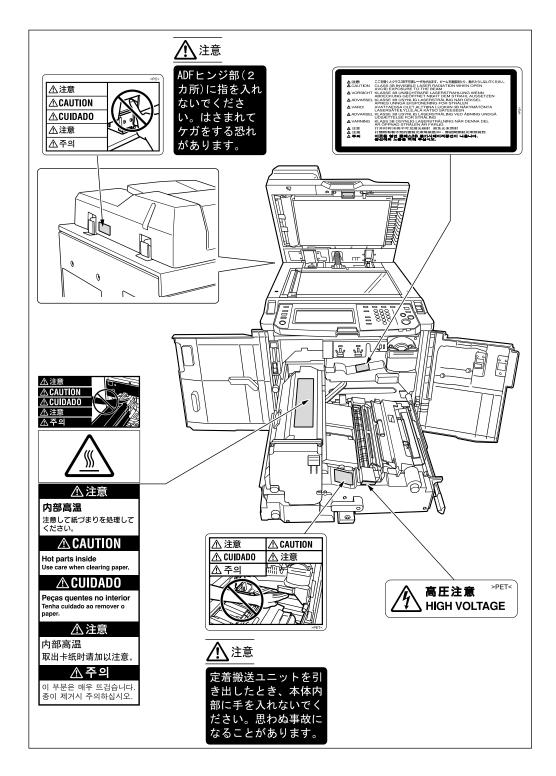
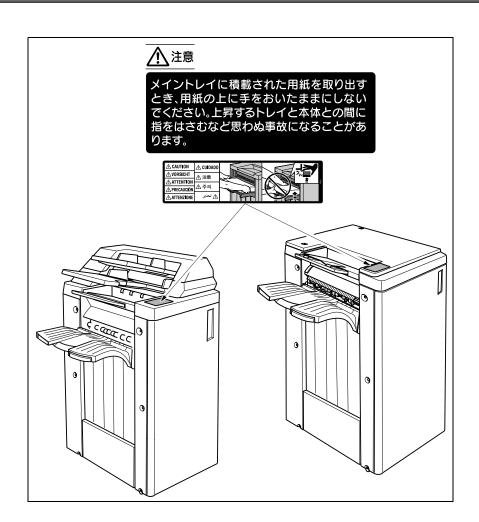
この製品にはシールドされたネットワークケーブルおよびパラレルケーブルを使う必要があります。そうでない場合は、電波障害を引き起こすことがあります。

■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

1.3 注意表記・注意ラベル

本機には以下に示す位置に安全に関する注意表記や注意ラベルがあります。
紙づまり処理時などに事故のないようご注意ください。

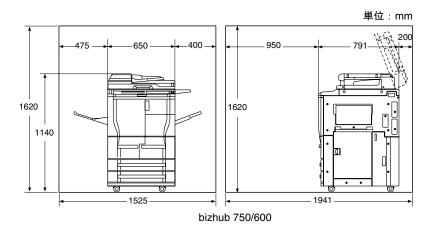
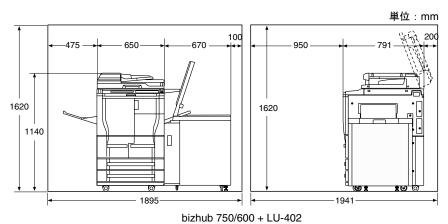
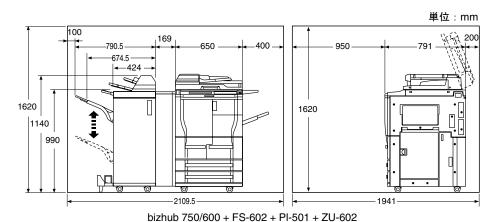
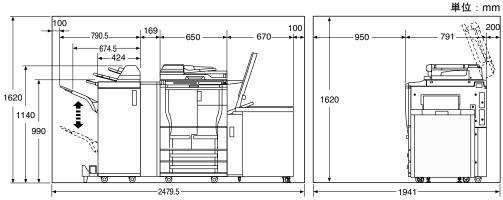
注意
メイントレイに積載された用紙を取り出すとき、用紙の上に手をおいたままにしないでください。上昇するトレイと本体との間に指をはさむなど思わぬ事故になることがあります。
CAUTION
VORSICHT
ATTENTION
PRECAUCIÓN
ATTENZIONE
CUIDADO
注意
주의
تحذير

1.4 設置スペース

プリント操作、消耗品の補給、交換、定期点検が容易に行えるように、十分な設置スペースを確保してください。

bizhub 750/600

bizhub 750/600 + LU-402

bizhub 750/600 + FS-602 + PI-501 + ZU-602

単位：mm

bizhub 750/600 + FS-602 + PI-501 + ZU-602 + LU-402

とくに本機の背面には排熱用の排気ダクトがあるため、背面は必ず 200 mm 以上壁から離してください。

1.5 使用上のご注意

本機を最良の状態でご使用いただくために、次の点にご注意ください。

■ 設置電源

設置電源には以下の条件の電源を使用してください。

- 使用する電源は、電圧および周波数の変動が少ないものを使用してください。

  電圧：AC 100 V

  周波数：50 Hz/60 Hz

■ 使用環境

いつも良い条件でご使用いただける環境の範囲は、以下の条件です。

- 使用温度 10°C ～ 30°C
- 湿度 10% ～ 80%

■ コピーの保存について

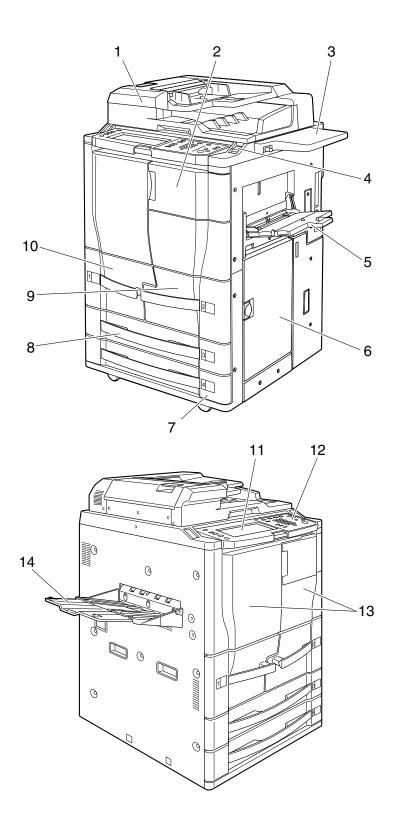
- 長期間保存される場合は、光による退色を防ぐため光の当たらないところに保管してください。
- コピーされたものを貼る場合、溶剤入りの接着剤（スプレーのりなど）を使用すると、トナーが溶けることがあります。

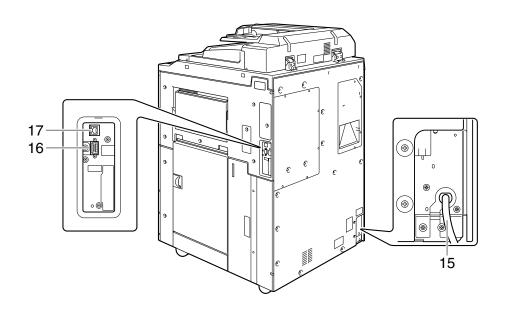
第 2 章
ご使用いただく前に

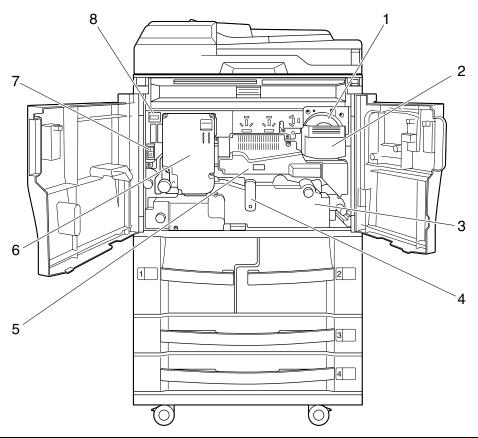
ご使用いただく前に知っておきたいことや準備しておくことについて説明します。

2.1　各部の名称とはたらき 2-2
2.2　操作パネルの角度をかえる 2-20
2.3　主電源と副電源を入れる 2-22
2.4　第 1 ／第 2 給紙トレイへ用紙をセットする 2-36
2.5　第 3 ／第 4 給紙トレイへ用紙をセットする 2-37
2.6　手差しトレイへ用紙をセットする 2-39
2.7　大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）へ用紙をセットする 2-42
2.8　給紙トレイの用紙サイズを変更する 2-45

2.1 各部の名称とはたらき

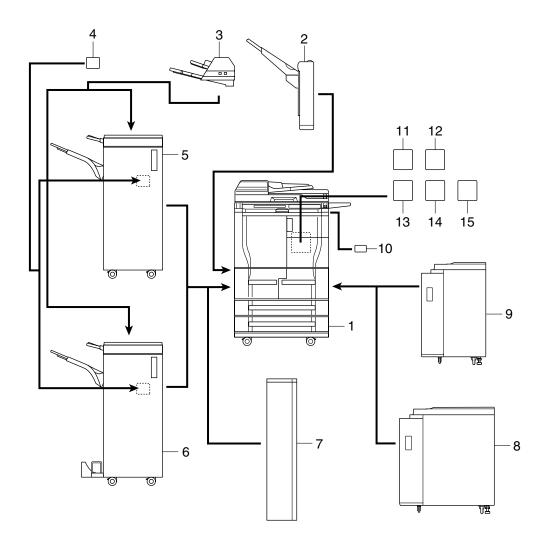
■ 本体外部

No	名称	説明
1	ADF（自動原稿送り装置）	原稿を自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。両面原稿はタッチパネルで設定することにより、自動的に反転して読込みます。 以降本文中では、ADF と呼びます。
2	トナー補給ドア	トナーカートリッジの交換を行なうときに開きます。（p. 9-4）
3	ワーキングテーブル	原稿などを一時的におくことができます。
4	副電源スイッチ	コピー、プリント、スキャニングなど本機の動作を ON/OFF します。OFF のときは節電状態となります。
5	手差しトレイ	給紙トレイにセットされていないサイズの用紙や OHP フィルム、第 2 原紙にプリントするときに使います。 普通紙は 100 枚まで、OHP フィルム、第 2 原紙は 1 枚ずつセットします。
6	トレイ右ドア	紙づまりの処理をするときに開きます。
7	第 4 給紙トレイ	550 枚（64 g/m^2 紙）までの用紙をセットできます。用紙サイズを自由に変更できます。（p. 2-45）
8	第 3 給紙トレイ	550 枚（64 g/m^2 紙）までの用紙をセットできます。用紙サイズを自由に変更できます。（p. 2-45）
9	第 2 給紙トレイ	1,100 枚（64 g/m^2 紙）までの用紙をセットできます。（p. 2-36）
10	第 1 給紙トレイ	1,650 枚（64 g/m^2 紙）までの用紙をセットできます。（p. 2-36）
11	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。
12	操作パネル	本機での各種設定を行ないます。
13	前ドア（右／左）	紙づまりの処理をするときに開きます。
14	排紙トレイ	プリントされた用紙が排紙されます。

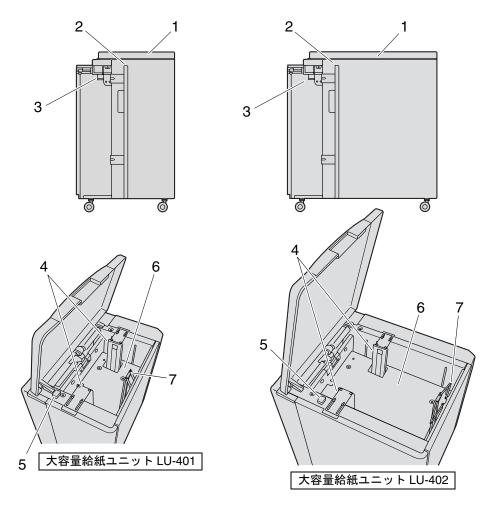
ADF の最大に開く角度は 2 段階に調節することができます。詳しくはサービス技術者にお問い合わせください。

No	名称	説明
15	電源コード	本機に電源を供給します。
16	シリアルポート（RS-232C）	CS Remote Care で通信するときに使用します。
17	ネットワーク用ポート （10 Base-T/100 Base-TX）	本機をネットワークプリンタ、ネットワークスキャナとして使用するときにネットワークケーブルを接続します。

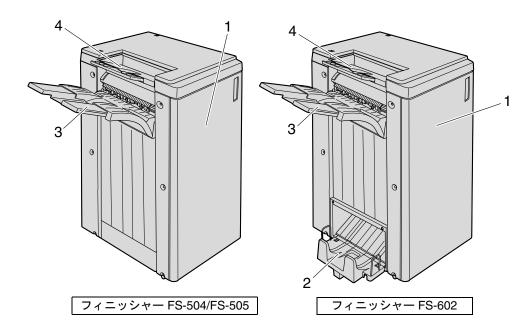
■ 本体内部

No	名称	説明
1	トナーカートリッジ	トナーがなくなったとき、交換します。
2	トナーユニットレバー	トナーカートリッジを交換するときに、手前に引いてトナーユニットを引き出します。
3	定着搬送ユニット	紙づまりのとき、引き出して処理します。定着搬送ユニットの各レバーやツマミに関しては、紙づまり時に表示される画面をごらんください。
4	レバー M4	紙づまりのとき、左に倒して定着搬送ユニットを引き出します。
5	ドラム部	コピー画像を形成する部分です。
6	定着部	形成された画像を用紙に定着させる部分です。
7	主電源スイッチ	本体の電源の ON または OFF を行ないます。
8	トータルカウンタ	出力された総画像枚数を表示します。

⚠ 注意

定着部は高温になっています。火傷をするおそれがありますので、この付近に手を触れないでください。

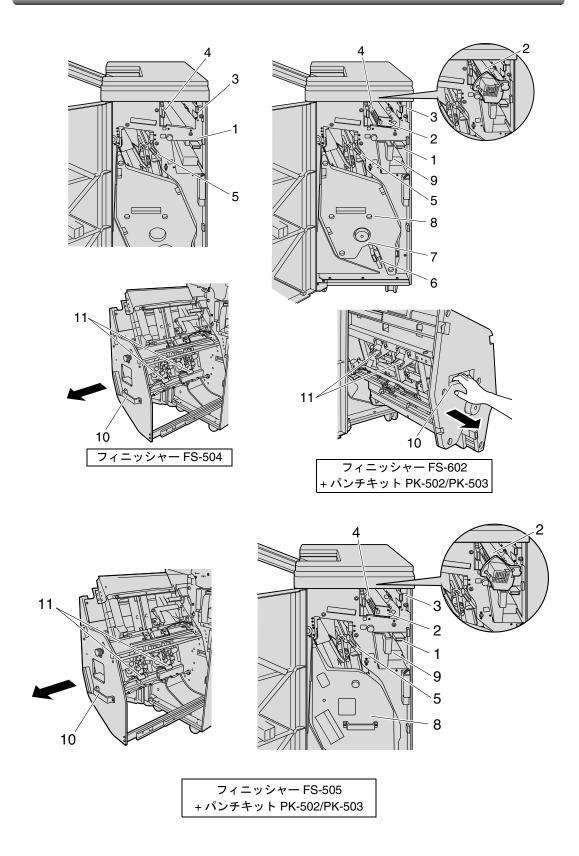
■ オプション構成

No	名称	説明
1	本体部	スキャナ部で原稿が読込まれ、読取った画像がプリンタ部でプリントされます。 以降本文中では本機、本体、bizhub 750/600 と呼びます。
2	シフトトレイ SF-601	コピーした用紙をオフセット排紙して分類整理します。
3	ポストインサータ PI-501	フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 に装着することにより、コピーした用紙にカバーシートを挿入できます。またマニュアルで装着したフィニッシャーの機能が使えます。
4	パンチキット PK-502/ PK-503	フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 に装着することにより、パンチ穴をあけることができます。 以降本文中ではパンチキットと呼びます。
5	フィニッシャー FS-504/FS-505	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能には、ソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ、フェイスアップ、ステープルがあります。
6	フィニッシャー FS-602	プリントされた用紙が排紙されます。仕上り機能には、ソート、グループ、仕分けソート、仕分けグループ、フェイスアップ、ステープル、中とじ、中折り、3 つ折りがあります。
7	Z 折りユニット ZU-602	フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 に装着することにより、用紙にファイリング用の穴をあけたり、Z 折りにしたりできます。
8	大容量給紙ユニット LU-402	4,500 枚（64 g/m^2 紙）までの用紙をセットできます。
9	大容量給紙ユニット LU-401	5,000 枚（64 g/m^2 紙）までの用紙をセットできます。
10	キーカウンタ	コピー枚数管理ができます。
11	ハードディスクドライブ HD-503	原稿収納枚数を増やすことができます。また、ナンバリング機能とボックス機能を使用できるようになります。 以降本文中ではハードディスクまたは HDD と呼びます。
12	イメージコントローラ IC-202	本機をネットワークプリンタとして使用する場合に取付けます。（オプション）
13	ローカル接続キット EK-701	本機と PC をローカル接続する場合に使用します。
14	FAX キット FK-502	本機をファクス機として使用する場合に取付けます。
15	セキュリティキット SC-501	ハードディスクに保存されるデータを暗号化し、より安全にハードディスクを使用できます。

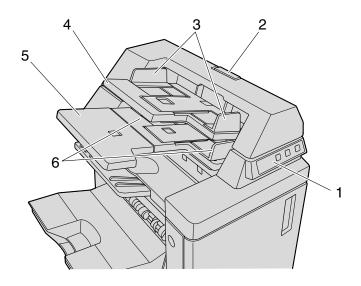
■ 大容量給紙ユニット LU-401/LU-402

No	名称	説明
1	トレイ上ドア	用紙の補給または紙づまりの処理をするときに開きます。
2	トレイ左ドア	紙づまりの処理をするときに開きます。
3	LCT レバー	紙づまりの処理をするときに下に開きます。
4	ガイド板	セットする用紙の側面部を固定します。
5	トレイ底板下降ボタン	用紙補給のときに押してトレイ底板を下降させます。
6	トレイ底板	トレイ底板用紙が使われるごとに上にあがります。トレイ底板下降ボタンを押すと下降します。
7	後端ストッパー	セットする用紙の後端を固定します。

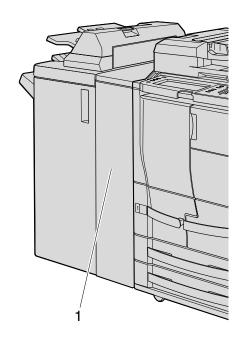
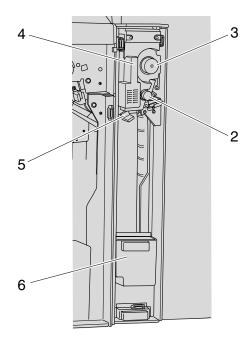
■ フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602（+ パンチキット PK-502/PK-503）

No	名称	説明
1	フィニッシャードア	紙づまり、針づまり、ステープルカートリッジ交換時、またパンチキット PK-502/PK-503 を装着している場合はパンチくず処理のとき開きます。
2	BM トレイ	中折り／中とじ／ 3 つ折り／カバーシート機能でプリントされた用紙が排紙されます。
3	メイントレイ	プリントされた用紙が排紙されます。
4	サブトレイ	プリントされた用紙が排紙されます。

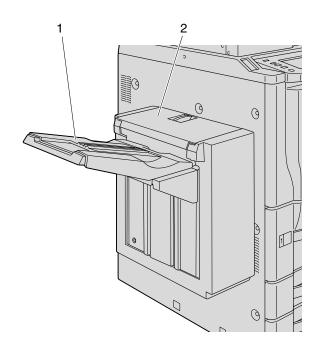
フィニッシャー FS-504

フィニッシャー FS-602
+ パンチキット PK-502/PK-503

フィニッシャー FS-505
+ パンチキット PK-502/PK-503

No	名称	説明
1	入口レバー	紙づまりの処理をするときに下に開きます。
2	パンチキット（オプション）	フィニッシャーにパンチキットを装着することで、プリントされた用紙にファイリング用の穴（パンチ穴）をあけます。
3	カバーシート搬送レバー	紙づまりの処理をするときに左に開きます。
4	サブトレイ搬送レバー	紙づまりの処理をするときに右に開きます。
5	スタッカ搬送レバー	紙づまりの処理をするときに左下に開きます。
6	下レバー	紙づまりの処理をするときにスタッカーユニットを引き出したあと、左に開きます。
7	ツマミ	紙づまりの処理をするときに回します。
8	スタッカーユニット	ステープラーが装備されています。FS-602 は、加えて中折り／中とじ／3 つ折り装置が装備されています。
9	パンチ廃棄ボックス（オプション）	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取り出します。（p. 9-14）
10	スタッカーユニット取手	スタッカーユニット部での紙づまりまたは針補給のときにユニットを引き出します。
11	ステープルカートリッジ	ステープルの針を補給するときに取り外して交換します。（p. 9-7）

■ ポストインサータ PI-501

No	名称	説明
1	ポストインサータ操作パネル	手動でフィニッシャーを使用するときに操作します。（p. 3-68）
2	上ユニット解除レバー	紙づまりの処理をするときにこのレバーを上げてポストインサータの上ユニットを左にスライドさせます。
3	上段トレイガイド板	カバー紙をセットしたとき、スライドさせて用紙のサイズに合わせます。
4	上段トレイ	カバー紙をセットします。
5	下段トレイ	カバー紙をセットします。
6	下段トレイガイド板	カバー紙をセットしたとき、スライドさせて用紙のサイズに合わせます。

■ Z 折りユニット ZU-602

No	名称	説明
1	Z 折りユニット前ドア	紙づまりやパンチくず処理のときに開きます。
2	入口レバー	紙づまりの処理をするときに開きます。
3	ツマミ	紙づまりの処理をするときに回します。
4	取手	紙づまりの処理をするときに、ここを持って引き出します。
5	出口レバー	紙づまりの処理をするときに開きます。
6	パンチ廃棄ボックス	パンチ機能によりたまったパンチくずを処理するときに取り出します。(p. 9-14)

■ シフトトレイ SF-601

No	名称	説明
1	排紙トレイ	プリントされた用紙が排紙されます。
2	上カバー	紙づまりの処理をするときに開きます。

■ 操作パネル

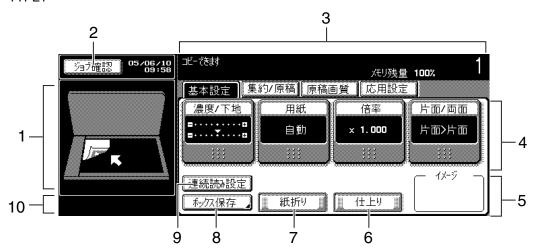
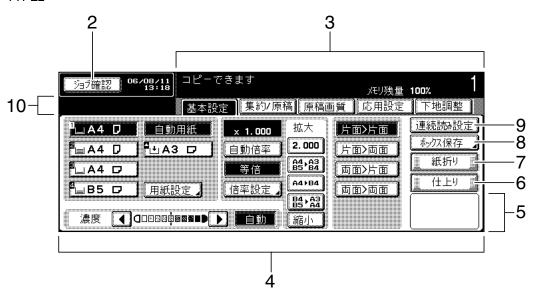
No	名称	説明
1	パワーセーブキー	パワーセーブ機能に切換わります。パワーセーブ機能中は【パワーセーブ】が緑色に点灯し、タッチパネルの表示が消えます。パワーセーブ機能中に【パワーセーブ】を押すとパワーセーブ機能は解除されます。
2	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。 タッチパネルに直接タッチして各設定を行います。
3	ID キー	ユーザ認証および部門管理を設定している場合、認証を行ったあとにこのキーを押すと本機が使用できるようになります。また、機械の使用を終えたあとにこのキーを押すと認証画面が表示されます。
4	ボックスキー	ボックス機能に切換わります。 ボックス機能中は【ボックス】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
5	ファクスキー	ファクス機能に切換わります。 ファクス機能中は【ファクス】が緑色に点灯します。 詳しくは「ユーザーズガイドファクシミリ機能編」、「ユーザーズガイドネットワークファクス機能編」をごらんください。
6	スキャンキー	スキャン機能に切換わります。スキャン機能中は【スキャン】が緑色に点灯します。詳しくは「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
7	コピーキー	コピー機能に切換わります。コピー機能中は【コピー】が緑色に点灯します。
8	リセットキー	操作パネル、またはタッチパネルで入力したすべての設定（登録した設定は除く）がリセットされます。
9	割込みキー	割込み機能に切換わります。割込み機能中は【割込み】が緑色に点灯し、タッチパネルに“割込み中です”と表示されます。割込み機能中に【割込み】を押すと割込み機能は解除されます。

No	名称	説明
10	ストップキー	コピー中に【ストップ】を押すと、コピーが一時停止します。
11	スタートキー	コピーを開始します。本機がコピーを開始できる状態のときは【スタート】が緑色に点灯します。【スタート】がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。 一時停止中のジョブを再開することができます。 （p. 11-2）
12	主電源ランプ	主電源が ON のときに緑色に点灯します。
13	データランプ	プリントジョブを受信中は、緑色に点滅します。 プリントジョブがプリント待ち、およびプリント中は、緑色に点灯します。
14	確認コピーキー	複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけプリントして仕上りを確認できます。（p. 4-4）
15	テンキー	部数や倍率など、各種の設定値を入力します。
16	クリアキー	テンキーおよびタッチパネルで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）が取消されます。
17	設定内容キー	各設定の内容画面に切換わります。
18	設定メニュー / カウンタキー	設定メニュー画面に切換わります。また、セールスカウンタの確認を行います。
19	プログラムキー	目的のコピー条件を登録（書込み）したり、登録したコピー条件を呼出してコピーできます。（p. 4-8）
20	コントラスト調整ダイアル	タッチパネルのコントラストを調整します。
21	拡大表示キー	拡大表示機能に切換わります。
22	ユニバーサルキー	ユニバーサル機能の設定画面に切換わります。
23	ヘルプキー	ヘルプ画面に切換わります。 各機能の説明や操作方法を画面上で表示できます。 （p. 4-13）

タッチパネルに強い力を加えると、タッチパネルに傷が付いて破損の原因となります。
タッチパネルを強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

■ 基本的な設定をする画面（基本設定画面）

電源を入れてコピー可能な状態になると、基本設定画面が表示されます。
画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能を選択できます。

TYPE1

TYPE2

No	名称	説明
1	サブエリア	操作の手順、設定中の仕上り状態などを表示します。
2	［ジョブ確認］キー	実行済みのジョブ、現在実行中、および待機中のジョブを表示します。 ジョブの確認、ジョブ操作ができます。（p. 11-2）
3	メッセージ表示エリア	本機の状態やそのときにしなければならない操作手順などを表示します。
4	機能表示エリア	機能を選択するキーが表示されています。 キーを押すことにより、画面が各機能の設定画面に切換わります。
5	イメージ表示エリア	ステープルとじ、パンチ穴などの設定イメージを表示します。
6	［仕上り］キー	ソート・グループ・仕分け、ステープルとじ、パンチ穴などの設定をします。（p. 3-52）
7	［紙折り］キー	中折り、中とじ、3 つ折り、Z 折りの設定をします。
8	［ボックス保存］キー （ハードディスクを装着した場合に表示）	読込んだ原稿のデータを出力しながらボックスへ保存するときに押します。 保存先のボックスの指定や、保存時にプリントの選択もできます。詳しくは「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
9	［連続読み設定］キー	原稿をいくつかに分けて読込ませるときに押します。 いくつかに分けて読込んだ原稿をひとつのコピージョブとして扱うことができます。（p. 3-10）
10	アイコン表示エリア	ジョブの状態、装置の状態を表すアイコンを表示します。

詳しく説明します

- ［回転しない］キーが表示されることがあります。詳しくは、「＜コピー設定＞」（p. 12-21）をごらんください。
- 基本設定画面は TYPE1 と TYPE2 があり、［ユーザ設定］－［画面切替え設定］－［コピー初期画面切替え］で設定することができます。TYPE1 と TYPE2 では、各機能設定画面の階層やキーの配置などが異なりますが、設定できる機能は同じです。出荷時設定では、［TYPE1］が設定されています。本書では TYPE1 の基本設定画面からの設定方法を説明しています。

参照

基本設定画面の切替えの設定については、「＜コピー初期画面切替え＞」（p. 12-22）をごらんください。

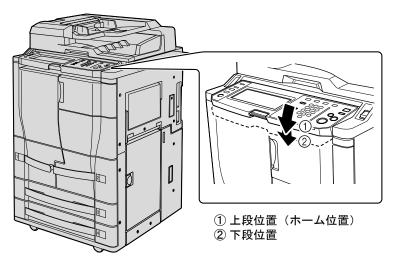
ひとこと

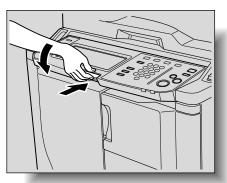
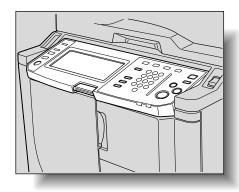
工場出荷時から設定値が変更された場合、変更された設定画面のタブが実線枠で表示されます。

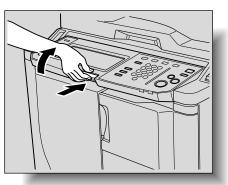
■ タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	機能に関係なく、本機からデータを送信していることを示します。
	機能に関係なく、本機がデータを受信していることを示します。
	画像安定化機能、プリント機能、スキャナ機能に異常が発生していることを示します。 このアイコンを押すと警告コードを確認できる画面に切換わります。
警告表示	警告発生中に警告画面を閉じた場合に、このアイコンを押すと再び警告表示画面に切換わります。
	給紙トレイの用紙残量が 100% から 75% であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 75% から 50% であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 50% から 25% であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 25% 以下であることを示します。
	給紙トレイの用紙残量が 0 枚であることを示します。
	トナーカートリッジの交換が必要なことを示します。
	原稿のセット方向を示します。
Sec	セキュリティ強化設定が適用されていることを示します。

2.2 操作パネルの角度をかえる

本機の操作パネルは、操作面の角度を 2 段階に設定できます。
使いやすい角度を選んでご使用ください。

■ 操作パネルの角度のかえかた

1 操作パネル解除レバーを押し、操作パネルを下げます。

操作パネルが下段位置で止まります。

2

操作パネルを上段位置にもどしたいときには、操作パネル解除レバーを押し、操作パネルを持ち上げます。

ひとこと

操作パネルの端を持って、持ち上げることもできます。

2.3 主電源と副電源を入れる

本機には、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】の 2 つの電源スイッチがあります。

■ 電源の入れかた

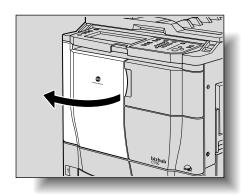
【主電源スイッチ】は、本機のすべての機能に対して ON/OFF します。通常、【主電源スイッチ】は ON の状態にします。

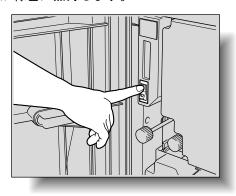
【副電源スイッチ】は、コピー、プリント、スキャンなど本機の動作に対して ON/OFF します。【副電源スイッチ】を OFF にすると節電状態となります。

1

左側の前ドアを開けます。

【主電源スイッチ】は本体内部の左側にあります。

2

【主電源スイッチ】を押します。

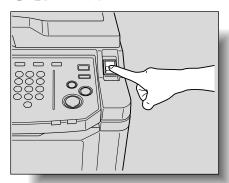
主電源ランプが緑色に点灯します。

【副電源スイッチ】を ON にすると、【スタート】がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。数秒後、メッセージが「ウォームアップ中です。読込みできます」に切換わり、【スタート】が緑色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。詳しくは、「ウォームアップ中に読込みする」（p. 2-23）をごらんください。

電源を ON にしてから操作パネル、タッチパネルで設定をする前の状態、または【リセット】を押して操作パネル、タッチパネルで入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更できます。詳しくは「初期設定」（p. 12-22）をごらんください。

工場出荷時に設定されている本機の状態を出荷時設定といいます。

3 【副電源スイッチ】を押します。

■ ウォームアップ中に読込みする

1 【副電源スイッチ】を ON にします。

【スタート】がオレンジ色に点灯します。

2 タッチパネルの「ウォームアップ中です。読込みできます」というメッセージを確認します。

ウォームアップ画面が表示された後、基本設定画面が表示されます。
【スタート】が緑色に点灯します。

【副電源スイッチ】を ON にして出力できるまでのウォームアップ中に、コピー条件を設定し、原稿を読込むコピー予約ができます。ウォームアップ完了後に、読込んだ画像がプリントされます。
ウォームアップ時間は、室温 20°C で 30 秒以内です。(【主電源スイッチ】が ON の状態から【副電源スイッチ】を ON にした場合)

電源の入れ方については「電源の入れかた」(p. 2-22)をごらんください。

3 原稿をセットします。

4 テンキーでコピー部数を設定します。

5 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

6 【スタート】を押します。

原稿の読込みをし、待機中のジョブに追加されます。

7 原稿の読込みが終了していることを確認し、次の原稿をセットします。

8 新たにコピー条件／コピー部数を設定し、【スタート】を押します。

❍ ウォームアップが完了したとき、ジョブの順番に自動的に出力を開始します。

参照

コピー部数設定については「コピー操作の流れ」（p. 3-2）をごらんください。

参照

原稿のセットについては「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

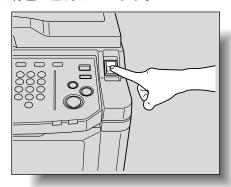
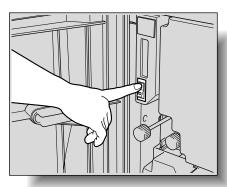
［ジョブ確認］の実行リストで、出力の順番を変更したり、ジョブを削除できます。詳しくは、「ジョブ確認」（p. 11-1）をごらんください。

参照

出力中に出力ジョブを停止したいときは、【ストップ】を押します。詳しくは、「読込み・プリントを中断する」（p. 3-72）をごらんください。

■ 電源の切りかた

1 【副電源スイッチ】を押します。

タッチパネルの表示が消えます。
主電源ランプは緑色に点灯しています。

2 【主電源スイッチ】を押します。

■ 自動的に設定を取消す（オートリセット）

【リセット】を押さなくても、本機を操作しなくなってから一定時間経過したときには、コピー枚数など登録されていない設定が取消され、初期設定にもどります。

これをオートリセットといいます。

出荷時設定では 1 分を経過するとオートリセット機能がはたらきます。

必ず守ってください

- プリント中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。
- 画像の読込み中や、送受信中に【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にしないでください。読込み中のデータや、通信中のデータは削除されてしまいます。
- 登録されたジョブや、蓄積されたジョブのプリント待機中に【主電源スイッチ】を OFF にしないでください。プリントされていないジョブは削除されてしまいます。

詳しく説明します

- 【主電源スイッチ】、【副電源スイッチ】を OFF にすると、以下の項目が取消されます。
  •登録されていない設定
  •プリント待機中のジョブ
- 【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、【主電源スイッチ】を OFF にして、必ず 10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

参照

オートリセット機能がはたらくまでの時間や、オートリセットをするかしないかの設定は、管理者設定で変更できます。詳しくは「<リセット設定>」（p. 12-35）をごらんください。

■ 自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）

本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に優先機能画面に切換わります。

これをシステムオートリセットといいます。

出荷時設定では、1 分を経過するとコピー機能画面になります。

■ 自動的に節電状態にする（ローパワー）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、タッチパネルの表示を消すなど、自動的に節電状態になります。

これをローパワーモードといいます。

ローパワーモードのときでも、本機はジョブを受け付けることができます。

出荷時設定では、オプション未装着機は 1 分、オプション装着機は 15 分を経過するとローパワーモードになります。

オプション未装着機の場合、スリープモードが機能する時間も 1 分なので、ローパワーモードになりません。

＜ローパワーモードからの復帰のしかた＞

1. 【パワーセーブ】を押します。
2. ウォームアップ中にジョブを受け付けます。
   - ❍ タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、プリントを開始できるようになります。

参照

システムオートリセットの切換えは管理者設定で設定できます。詳しくは「＜リセット設定＞」（p. 12-35）をごらんください。

詳しく説明します

ローパワーモードとスリープモードの時間設定が同じ場合、ローパワーモードは機能せずスリープモードが機能します。

参照

ローパワーモードに切換わる時間を変更できます。詳しくは「＜パワーセーブ設定＞」（p. 12-20）、（p. 12-28）をごらんください。

ひとこと

出荷時設定では【パワーセーブ】を押したときは、ローパワーモードになります。管理者設定でスリープモードに設定を変更できます。詳しくは「＜パワーセーブ設定＞」（p. 12-28）をごらんください。

ひとこと

操作パネル上の他のキー、またはタッチパネル面を押してもローパワーモードから復帰します。

■ 自動的に節電状態にする（スリープ）

本機は節電のため、本機を操作しなくなってから一定時間経過すると、自動的に節電状態になります。

ローパワーモードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップにかかる時間はローパワーモードよりもかかります。

出荷時設定では、オプション未装着機は 1 分、オプション装着機は 60 分を経過するとスリープモードになります。

＜スリープモードからの復帰のしかた＞

【パワーセーブ】を押します。

ウォームアップ中にジョブを受け付けます。

❍ タッチパネルの表示が再点灯し、ウォームアップの完了後に、プリントを開始できるようになります。

参照

スリープモードが動作するまでの時間を変更できます。詳しくは「＜パワーセーブ設定＞」（p. 12-28）をごらんください。

ひとこと

操作パネル上の他のキー、またはタッチパネル面を押してもスリープモードから復帰します。

オプション装着機の場合、出荷時設定では本機を操作しなくなってから 15 分が経過すると、ローパワーモードになり、60 分が経過するとスリープモードに切換わります。

■ 手動で節電状態にする

パワーセーブ（ローパワー / スリープ）の機能を手動で設定します。

【パワーセーブ】を長押しします。

❍ 出荷時設定ではローパワーモードになります。

参照

パワーセーブのローパワーモードとスリープモードの切換えは管理者設定で設定を変更できます。詳しくは「＜パワーセーブ設定＞」（p. 12-28）をごらんください。

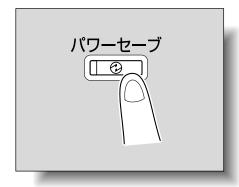
■ スケジュールにあわせて使用時間を制限する（ウィークリータイマー）

本機は、管理者がたてた使用時間スケジュールにしたがって自動的にスリープモードに切換え、使用を制限できます。

これをウィークリータイマーといいます。

＜使用時間外にコピーする＞

ウィークリータイマー機能中に、本機を使用するときは、以下の手順を行ってください。

1 【パワーセーブ】を押します。

2 最大 8 桁の時間外使用パスワードを入力します。

3 ［OK］を押します。

「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です 使用後、スリープモードに移行する時間を入力してください」と表示されます。

参照

出荷時設定はウィークリータイマーは設定されていません。ウィークリータイマーの設定については、「＜ウィークリータイマー設定＞」（p. 12-30）をごらんください。

ひとこと

【副電源スイッチ】を ON にしたとき、「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です 使用後、スリープモードに移行する時間を入力してください」、「現在、ウィークリータイマー設定により使用時間外です 時間外使用パスワードを入力してください」と表示されることがあります。いずれもウィークリータイマーが機能しています。

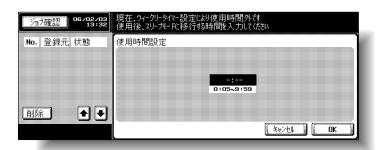
詳しく説明します

- 管理者設定により、時間外パスワード入力画面を表示させないようにできます。
- 時間外パスワードの出荷時設定は OFF（表示させない）です。

参照

時間外パスワードの設定については、「＜ウィークリータイマー設定＞」（p. 12-30）をごらんください。

再度、スリープモードに移行するまでの時間をテンキーで入力します。

❍ 5 分～ 9 時間 59 分までの設定ができます。

5

［OK］を押します。

基本設定画面に「コピーできます」と表示されます。

ひとこと

1 桁を入力する場合は、最初に「0」を入力します。ただし、5 分未満の値が入力された場合、5 分として設定されます。また、分の値に 60 分以上の設定はできません。

設定した時間内は通常どおりのコピーができます。

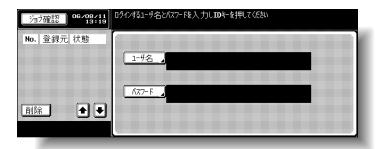
■ ユーザ認証にしたがって本機を使用する

本機は、管理者によってユーザ認証設定が行われると、ユーザ登録された特定のユーザだけが本機を使用できます。

原則

ユーザ認証機能を使用すると、ユーザに設定されたパスワードを入力した方だけが、本機を使用できます。
パスワードは管理者の方にご確認ください。
HDD 装着時、ユーザと部門は合わせて 1,000 件まで登録できます。

〈ユーザ認証設定後のコピーのとりかた〉

1 ［ユーザ名］を押します。

2 ユーザ名を入力し、［OK］を押します。

参照

ユーザ認証の設定手順については、「ユーザ認証 / 部門管理」（p. 12-38）をごらんください。

ひとこと

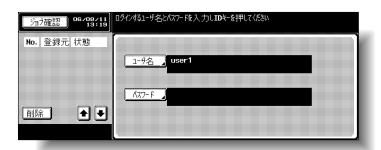
- ユーザ認証設定は部門管理設定と併用できます。部門管理設定が行われている場合はユーザ認証を行ってから、部門管理画面からログインします。
- 誤ったパスワードを一定回数入力すると、そのユーザがロックされて本機を使用できなくなることがあります。操作禁止状態の解除については管理者の方にお問い合わせください。

- ［一覧］が表示されている場合は、一覧から目的のユーザ名を選択できます。［一覧］を押して目的のユーザ名を選択し、［OK］を押します。
- ［パブリックユーザ］が表示されている場合は、ユーザ名、パスワードを知らない方でも［パブリックユーザ］を押すと本機を使用できます。

3 ［パスワード］を押します。

4 パスワードを入力し、［OK］を押します。

5 【ID】を押します。

入力画面が消え、基本設定画面が表示されます。

 目的の機能でコピーします。

ひとこと

部門管理設定をしている場合は、部門管理画面が表示されます。

7 プリントが終了したら、再度【ID】を押します。
ログアウト確認画面が表示されます。

8 ［はい］を押します。
認証画面が表示されます。

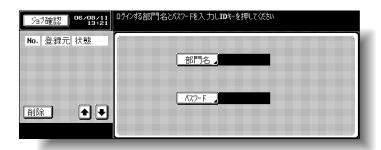
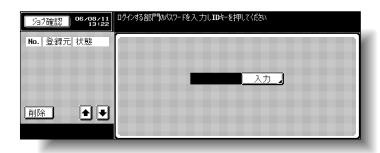
■ 部門管理にしたがって本機を使用する

本機は、管理者によって部門管理設定が行われると、部門登録された特定の部門のユーザだけが本機を使用できます。

原則

部門管理機能を使用すると、各部門に設定されたパスワードを入力した方だけが、本機を使用できます。
パスワードは管理者の方にご確認ください。
HDD 装着時、ユーザと部門は合わせて 1,000 件まで登録できます。

〈部門管理設定後のコピーのとりかた〉

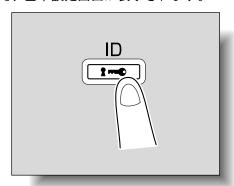
［部門名］を押します。

- 管理者設定によって、「パスワードのみ」が設定されている場合は、［入力］を押し手順 4 へ進みます。

部門管理の設定については、「ユーザ認証 / 部門管理」（p. 12-38）をごらんください。

2 ［部門名］を入力し、［OK］を押します。

3 ［パスワード］を押します。

4 パスワードを入力し、［OK］を押します。

5 【ID】を押します。

入力画面が消え、基本設定画面が表示されます。

6 目的の機能でコピーします。

7 プリントが終了したら、再度【ID】を押します。

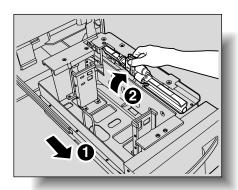
ログアウト確認画面が表示されます。

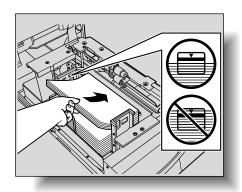
8 ［はい］を押します。

認証画面が表示されます。

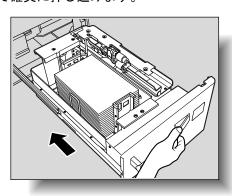
2.4 第１／第２給紙トレイへ用紙をセットする

1 第１または第２給紙トレイを引き出します。

2 給紙ローラを開きます。

3 用紙をセットします。

❍ トレイの右側に用紙を揃えるようにしてセットします。

必ず守ってください

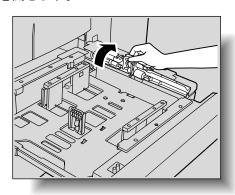
• 用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。
• 後端ガイド板がセットした用紙サイズと合っていることを確認してください。後端ガイド板と用紙の間に隙間があると、正しく給紙できません。

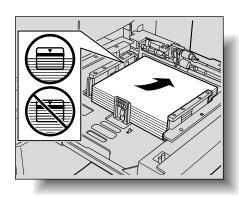
4 トレイを奥まで確実に押し込みます。

必ず守ってください

トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

第３または第４給紙トレイを引き出します。

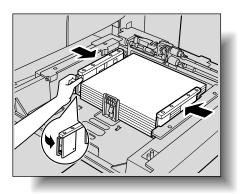
給紙ローラーを開きます。

3

用紙をセットします。

❍ トレイの右側に用紙を揃えるようにしてセットします。

- 用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。
- 後端ガイド板がセットした用紙サイズと合っていることを確認してください。後端ガイド板と用紙の間に隙間があったり、後端ガイド板がセットされていなかったりすると、正しく給紙できません。
- 不定形サイズの用紙をセットする場合、後端ガイド板との隙間が広がることがあります。後端ガイド板ではなく、必ずトレイの右側に突き当ててセットしてください。

4

奥側の側面ガイド板をスライドさせ用紙のサイズに合わせます。

❍ 側面ガイド板は、解除ツマミを押しながら動かします。離すとロックされます。

側面ガイド板は確実に用紙の端面に合わせてください。セットした用紙と側面ガイドが合っていないと、正確なサイズを検知できないだけでなく、パンチ穴の位置ズレの原因になります。

5

トレイを奥まで確実に押し込みます。

トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

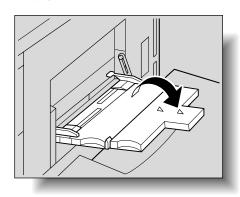
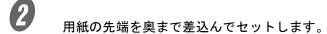
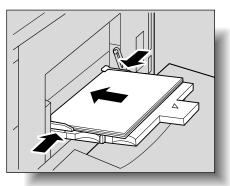
2.6 手差しトレイへ用紙をセットする

給紙トレイにセットされていないサイズの用紙や、OHP フィルム、第 2 原紙にコピーしたい場合に手差しトレイを使用します。

手差しトレイに用紙をセットした場合、手差しトレイの用紙設定を変更します。「手差しトレイの用紙設定」（p. 7-8）をごらんください。

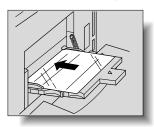
手差しトレイを開きます。

❍ 手差しトレイを右に開き、折りたたまれているトレイを右に開きます。

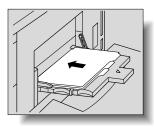
2 用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

3 ガイド板をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。

故障の原因になりますので、下記のような表面が加工された用紙は使用しないでください。
- 感熱紙
- 導電性の用紙（銀紙、カーボン含有紙など）
- カラー OHP 用紙
- インクジェット用紙

- 用紙は 100 枚を超えてセットしないでください。紙づまりの原因になります。
- ガイド板を確実に用紙の端面に合わせてください。

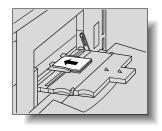
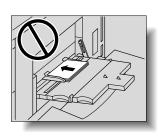
セットする用紙の上面に画像がプリントされます。

＜ OHP フィルムの場合＞

必ず守ってください

- OHP フィルムをセットする場合は、図のように方向にセットしてください。方向にはセットしないでください。
- OHP フィルムは 1 枚ずつセットします。

＜インデックス紙の場合＞

必ず守ってください

- インデックス紙をセットする場合は、図のように方向にセットしてください。方向にはセットしないでください。

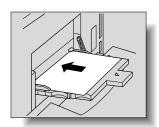
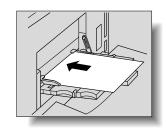
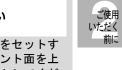
＜官製はがきの場合＞

必ず守ってください

官製はがきをセットする場合は、図のように方向にセットしてください。方向にはセットしないでください。

ひとこと

官製はがきを使用する場合は、厚紙に設定してください。

はがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは、紙づまりをなくすために、本体内部の搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換えます。搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換える方法は「各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは」（p. 2-49）をごらんください。

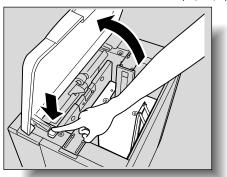
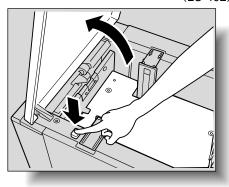
＜レターヘッド紙の場合＞

レターヘッド紙をセットする場合は、プリント面を上側に向けてセットしてください。

2.7 大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）へ用紙をセットする

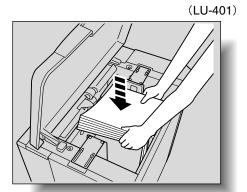
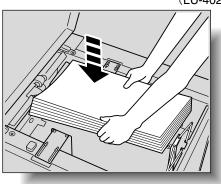
1 トレイ上ドアを開きます。

2 トレイ底板下降ボタンを押します。

❍ トレイ底板が下降します。

（LU-401）

（LU-402）

本体の電源が入っていないとトレイ底板が上がりません。また、トレイ底板下降ボタンを押してもトレイ底板が下がりません。大容量給紙ユニットに用紙を補給するときは、【主電源スイッチ】と【副電源スイッチ】をONにしてください。

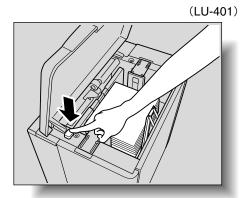
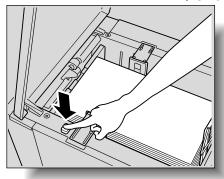
3 用紙をセットします。

（LU-401）

（LU-402）

必ず守ってください

大容量給紙ユニットにはあらかじめ決められたサイズ以外の用紙をセットしないでください。

4 手順 2、3 の作業をトレイ底板が下降しなくなるまで繰り返します。

（LU-401）

（LU-402）

5 トレイ上ドアを閉じます。

- 用紙は ▼ マークをこえないようにセットしてください。
- 後端ストッパーが、セットした用紙サイズに合っていることを確認してください。後端ストッパーと用紙の間に隙間があると、正しく給紙できません。

2.8 給紙トレイの用紙サイズを変更する

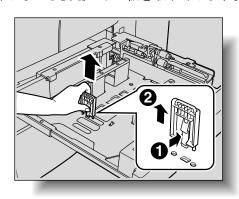
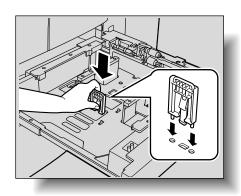
第3／第4給紙トレイは目的に合わせて用紙サイズを変更できます。

■ 用紙サイズの変更のしかた

1. 第3または第4給紙トレイを引き出します。

2. 給紙ローラーを開きます。

3. 後端ガイド板を取り外し、新しく設定するサイズ位置に差し込みます。

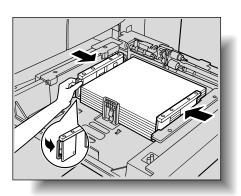
❍ ツマミを押しながら後端ガイド板を取り外します。

❍ トレイの底面に刻印されているサイズの穴に、後端ガイド板をセットします。

ひとこと

第1／第2給紙トレイ、大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）の用紙サイズを変更したいときはサービス実施店にご連絡ください。

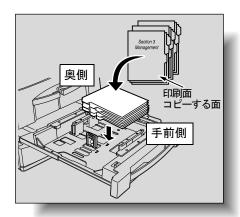
後端ガイド板は、必ず設定するサイズの位置に差し込んでください。セットした用紙との間に隙間があると、正しく給紙できません。

4

新しく設定するサイズの用紙をセットして、奥側の側面ガイド板をスライドさせ用紙のサイズに合わせます。

❍ 側面ガイド板は、解除ツマミを押しながら動かします。離すとロックされます。

❍ インデックス紙をセットする場合は、タブのある辺を後端ガイド板側にしてセットします。

側面ガイド板は確実に用紙に合わせてください。セットした用紙と側面ガイド板が合っていないと、正確なサイズを検知できません。

5

トレイを奥まで確実に押し込みます。

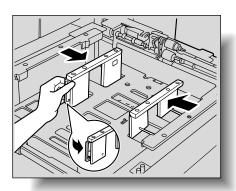
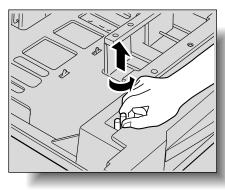
❍ 定形サイズ以外の用紙や厚紙、インデックス紙、特殊紙などの種類の用紙に変更した場合は、用紙種類 / サイズ設定画面で、変更した用紙を設定します。「給紙トレイの用紙設定」（p. 7-20）をごらんください。

トレイを必要以上に勢いよくもどさないでください。トレイや紙の重さなどで、機械に思わぬ衝撃が加わり、故障の原因になることがあります。

■ はがきのセットのしかた

1 第 3 または第 4 給紙トレイを引き出します。

2 側面ガイド板をスライドさせ、ガイド板同士の幅を一番せまくします。

❍ 解除ツマミを押しながら、側面ガイド板を動かします。離すとロックされます。

3 はがき用ガイド棒（2 本）を取り外します。

ひとこと

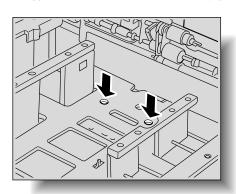
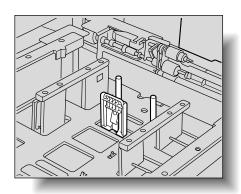
第 1 ／第 2 給紙トレイにはがきをセットしたいときはサービス実施店にご連絡ください。

はがきにコピーする方法は、「用紙を選ぶ」（p. 3-28）をごらんください。

はがき用ガイド棒は第 3 給紙トレイにのみついています。

4

はがき用ガイド棒を下図のトレイ底板に取り付け、後端ガイドを一番右側に取り付けます。

❍ はがき用ガイド棒は、ねじ込んで取り付けます。

5

搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換えます。

搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換える方法は「各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは」（p. 2-49）をごらんください。

6

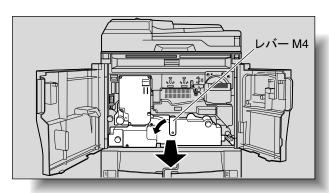
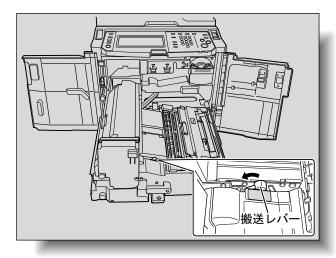
用紙種類 / サイズ設定画面で、［はがき］を設定します。

用紙種類 / サイズ設定画面ではがきを設定する方法については、「給紙トレイの用紙設定」（p. 7-20）をごらんください。

■ 各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは

各給紙トレイ、手差しトレイ、大容量給紙ユニットではがきやA5 サイズの厚紙を使用する場合は、紙づまりをなくすために、搬送レバーを切換えます。

1 左右の前ドアを開けます。

2 レバーM4 を左に倒して定着搬送ユニットを引き出します。

3 搬送レバーを「ハガキ、A5 厚紙」に切換えます。

4 定着搬送ユニットをもどします。

左右の前ドアを閉じます。

ひとこと

はがきやA5サイズの厚紙の使用が終ったら、搬送レバーを「普通紙」にもどしておきます。

第 3 章
基本機能

基本的なコピーのとりかたについて説明します。

3.1　コピー操作の流れ 3-2
3.2　組合わせできない操作について 3-4
3.3　原稿をセットする 3-6
3.4　原稿の設定をする 3-15
3.5　用紙を選ぶ 3-28
3.6　倍率を選ぶ 3-30
3.7　原稿／コピー機能を選ぶ 3-41
3.8　原稿の画質を選ぶ 3-45
3.9　濃度を選ぶ 3-47
3.10 集約を選ぶ 3-50
3.11 仕上り機能を選ぶ 3-52
3.12 紙折り機能を選ぶ 3-63
3.13 手動でフィニッシャーを使う 3-68
3.14 プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約） 3-71
3.15 読込み・プリントを中断する 3-72
3.16 中断したジョブを削除する 3-73

3.1 コピー操作の流れ

コピーをとるときの操作の流れを説明します。

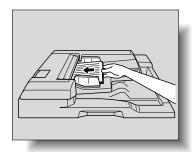
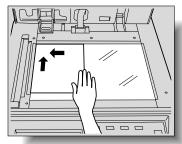
ここでは、片面原稿を基本的な操作でコピーする方法を説明します。

【コピー】を押し、コピー機能画面を表示させます。

2

原稿をセットします。

❍ 原稿のセットのしかたについて詳しくは「原稿をセットする」(p. 3-6)をごらんください。

3

必要に応じて各機能の設定をします。

❍ 出荷時設定では、初期設定として以下の設定がされています。
[濃度 / 下地]: 自動(濃度)、ふつう(下地調整)
[用紙]: 自動
[倍率]: 等倍(× 1.000)
[片面 / 両面]: 片面>片面
[原稿画質]: 文字 / 写真

❍ 原稿設定については(p. 3-15)をごらんください。

❍ 用紙サイズの設定については(p. 3-28)をごらんください。

❍ 倍率の設定については(p. 3-30)をごらんください。

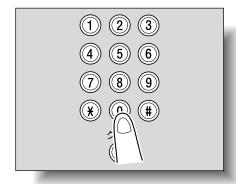
❍ 片面 / 両面コピーの設定については(p. 3-41)をごらんください。

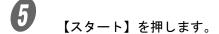
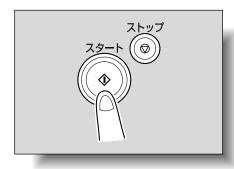
❍ 原稿画質については(p. 3-45)をごらんください。

各機能には組合わせて設定できないものがあります。組合わせて設定できない機能については「組合わせできない操作について」(p. 3-4)をごらんください。

3
基本機能

- ❍ コピー濃度の設定については（p. 3-47）をごらんください。
- ❍ 集約コピーの設定については（p. 3-50）をごらんください。
- ❍ コピーの仕上りについては（p. 3-52）をごらんください。
- ❍ 紙折りの設定については（p. 3-63）をごらんください。
- ❍ 応用機能の設定については（p. 8-1）をごらんください。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

- ❍ コピー部数を間違えて入力した場合、【クリア】を押してもう 1 度入力しなおしてください。

5 【スタート】を押します。

- ❍ コピーを中断したい場合は、【ストップ】を押してください。詳しくは（p. 3-72）をごらんください。
- ❍ コピーの途中で次のコピーを予約できます。詳しくは、（p. 3-71）をごらんください。

3.2 組合わせできない操作について

各設定には組合わせて設定できないものがあります。
組合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の 2 種類があります。

- あとから設定したものが優先される。（先に設定したものは解除される。）
- 先に設定したものが優先される。（警告メッセージが表示される。）

参照

組合わせて設定できない機能については、「おもな機能の組合わせ一覧表」（p. 13-17）をごらんください。

■ あとから設定したものが優先される場合

ここでは、2 点ステープルを設定してから小冊子を設定する場合について説明します。

1 2 点ステープルを設定します。

2 小冊子を設定します。

2 点ステープルは自動で解除され、小冊子が有効になります。

2 点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度 2 点ステープルの設定を行います。

■ 先に設定したものを優先する場合

組合わせ禁止の警告メッセージが表示された場合、それらの機能は組合わせできません。

ここでは、小冊子を設定してから 2 点ステープルを設定する場合について説明します。

3
基本機能

1 小冊子を設定します。

2 2 点ステープルを設定します。

「小冊子とは同時設定できません」と表示され、2 点ステープルは設定できません。

小冊子が有効となり、2 点ステープルは無効となります。

2 点ステープルを有効にする場合は、小冊子を解除し、再度 2 点ステープルの設定を行います。

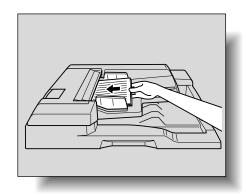
3.3 原稿をセットする

原稿のセット方法には以下の 2 種類の方法があります。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

原稿セット方法	特長
ADF	原稿を上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。両面原稿も自動的に読込むことができます。
原稿ガラス	原稿ガラス上に、原稿を下向きにセットして読込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読込むのに適しています。

■ ADF に原稿をセットする

原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、セットします。

❍ 原稿の天部（上側）が奥側、または右側になるようにします。

クリップやステープルなどでとじられた原稿は、絶対にセットしないでください。

ADF にセットできる原稿については「原稿について」（p. 7-31）をごらんください。

必ず守ってください

- 原稿は 100 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 100 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。詳しくは「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。
- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

2 原稿セットガイドを原稿に沿わせます。

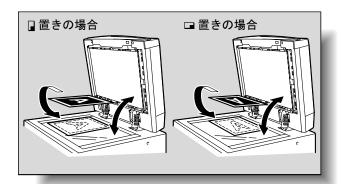
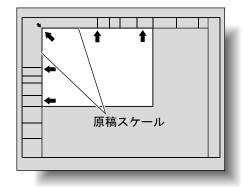
参照

- サイズの異なる原稿（混載原稿）のセットのしかたについては、「サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）」（p. 3-15）をごらんください。
- 折りぐせのついた原稿（Z折れ原稿）のセットのしかたについては、「折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）」（p. 3-17）をごらんください。
- インデックス紙原稿のセットのしかたについては、「インデックス紙をセットする（インデックス原稿）」（p. 3-19）をごらんください。
- 原稿の向きの指定のしかたについては、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-21）をごらんください。
- 原稿のとじ代位置の指定のしかたについては、「とじ代を設定する（原稿のとじ代）」（p. 3-23）をごらんください。

■ 原稿ガラス上に原稿をセットする

1. ADF を開きます。

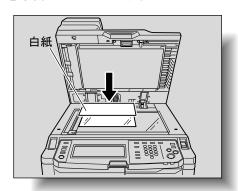
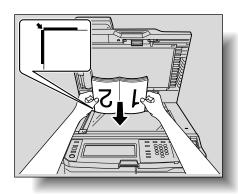
2. 原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上に置きます。
   - ❍ 原稿の天部（上側）が奥側、または左側になるようにします。

3. 原稿スケール左奥側の ➘ マークに合わせて原稿をセットします。

参照

原稿ガラス上にセットできる原稿については「原稿について」（p. 7-31）をごらんください。

参照

- 原稿の向きを指定したい場合は、「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-21）をごらんください。
- 原稿のとじ代位置の指定のしかたについては、「とじ代を設定する（原稿のとじ代）」（p. 3-23）をごらんください。

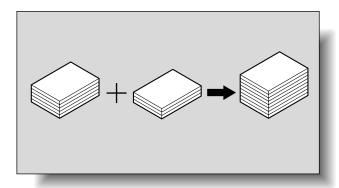
- 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。

- 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、図のように原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、原稿スケール左奥側の ➘ マークに合わせます。

4 ADF を閉じます。

必ず守ってください

- 原稿ガラス上には 6.8 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。
- 原稿が厚い本や立体物である場合は、ADF を閉じずに読込みを行ってください。ADF を閉じずに読込みを行った場合、光が漏れることがありますので、原稿ガラス面を直視しないようにしてください。

■ 原稿を分割して読込む（連続読み設定）

大量にある原稿をいくつかに分けて読込ませることができます。

ADF に 1 度にセットできる原稿枚数は最大 100 枚までですが、連続読み設定でコピーすることにより、100 枚をこえる原稿を読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。
また、原稿ガラス上にセットして読込ませたり、途中で ADF に切換えることもできます。

1 原稿をセットします。

- ❍ 原稿ガラスを使用する場合、最初のページからコピーする面を下にしてセットします。
- ❍ ADF を使用する場合、ページ順にそろえた原稿の 1 ページ目を上にしてセットします。

2 基本設定画面の［連続読み設定］を押します。

ひとこと

連続読み時の出力設定には［自動出力］と［一括出力］があり、出荷時設定では［自動出力］が設定されています。

連続読み時の出力設定については、「コピー設定」（p. 12-24）の「連続読み時の出力設定」をごらんください。

必ず守ってください

原稿は 100 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。

ひとこと

連続読み設定機能を解除するときは、再度［連続読み設定］を押します。

3

【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

原稿を読込んだあと、「次の原稿をセットして【スタート】キーを押してください。」と表示されます。

❍ 次の原稿をセットし、【スタート】を押します。

4

全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

❍ 連続読み時の出力設定で一括出力が設定されている場合は、原稿読込み終了の確認画面で［はい］を押します。［いいえ］を押すと手順3にもどります。

5

【スタート】を押します。

❍ 連続読み時の出力設定で一括出力が設定されている場合は、［プリント実行］または【スタート】を押します。

- 手順3を繰り返して、全ての原稿を読込みます。
- 基本設定画面右上部のメモリ残量表示で、メモリの残量が確認できます。
- 画像データを削除したいときは、【ストップ】を押して、ジョブの削除を行ってください。詳しくは、「読込み・プリントを中断する」(p. 3-72) をごらんください。

ひとこと

読込み設定を変更する場合は、［設定変更］を押します。読込み設定の変更については、「原稿ごとに読込み設定を変更する」(p. 3-25) をごらんください。

ひとこと

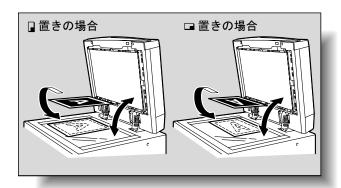
- 連続読み時の出力設定で一括出力が設定されている場合は、コピー設定を変更できます。［設定変更］を押し、コピー設定を変更して［OK］を押します。
- ［変更取消し］を押すと設定は変更されません。

■ 複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする

両面コピーや集約コピーなどを原稿ガラスを使用してコピーする場合、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットし、読込ませます。ここでは、原稿ガラスを使用して片面＞両面コピーをとる場合の手順を説明します。

1 ADF を開きます。

2 1 枚目または 1 面目の原稿のコピーしたい面を下側に向け、原稿ガラス上にセットします。

❍ 原稿のセットのしかたについては、「原稿ガラス上に原稿をセットする」（p. 3-8）をごらんください。

3 ADF を閉じます。

4 基本設定画面の［片面 / 両面］を押します。

片面 / 両面画面が表示されます。

ひとこと

連続読み時の出力設定には［自動出力］と［一括出力］があり、出荷時設定では［自動出力］が設定されています。

連続読み時の出力設定については、「コピー設定」（p. 12-24）の「連続読み時の出力設定」をごらんください。

5 ［片面＞両面］を押し、［OK］を押します。

6 【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

原稿を読み込んだあと、「次の原稿をセットして【スタート】キーを押してください。」と表示されます。

7 2 枚目または 2 面目の原稿をセットし、【スタート】を押します。

❍ 残りの原稿がある場合、手順 6 ～ 7 を繰り返し行います。

ひとこと

片面＞両面コピーを設定する場合は、原稿のとじ代と用紙のとじ代を設定してください。詳しくは、「両面コピーを選択する」（p. 3-43）をごらんください。

8

全ての原稿を読込んだあと、[読込み終了]を押します。

❍ 連続読み時の出力設定で一括出力が設定されている場合は、原稿読込み終了の確認画面で[はい]を押します。[いいえ]を押すと手順 6 にもどります。

9

【スタート】を押します。

❍ 連続読み時の出力設定で一括出力が設定されている場合は、[プリント実行]または【スタート】を押します。

ひとこと

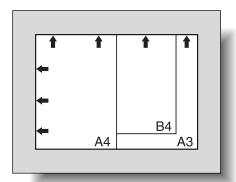
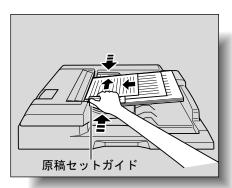
- 連続読み時の出力設定で一括出力が設定されている場合は、コピー設定を変更できます。[設定変更]を押し、コピー設定を変更して[OK]を押します。
- [変更取消し]を押すと設定は変更されません。

3.4 原稿の設定をする

コピーをとる原稿の種類を設定する方法を説明します。

■ サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）

サイズの異なる原稿を一度にセットし、自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。

1. 原稿を図のようにコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにして揃えます。

2. 原稿のコピーしたい面（1 ページ目）を上向きにし、ADF にセットします。
原稿セットガイドを原稿に沿わせます。
❍ 原稿は、ADF に対して左側と奥側を基準にしてセットします。

混載できる原稿サイズの組合わせは、セットする原稿の最大幅（ADF の原稿セットガイドの開き幅）により異なります。

ADF に混載できる原稿サイズの組合わせについては「ADF にセットできる原稿」（p. 7-31）をごらんください。

- 原稿は 100 枚または ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 100 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。詳しくは、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。
- 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

3 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。

集約 / 原稿画面が表示されます。

4 ［混載原稿］を押します。

混載原稿機能を解除するときは、再度［混載原稿］を押します。

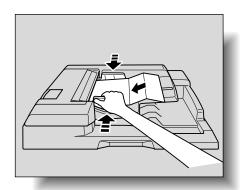
■ 折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）

折りぐせのある原稿を ADF にセットしてコピーするときに、原稿サイズを正確に検知できます。

原則

- 原稿は ADF にセットします。
- 1 枚目の原稿のサイズ長を検知し、それより後は同じサイズとして読込みます。

原稿をセットします。

2

基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。

集約 / 原稿画面が表示されます。

原稿のセット方法については、「ADF に原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

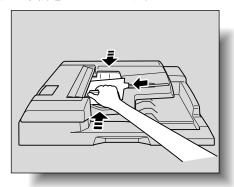
［Z 折れ原稿］を押します。

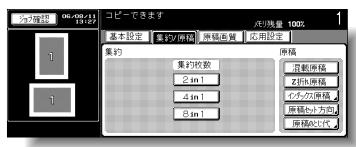
設定を中止する場合は、再度［Z 折れ原稿］を押し、反転表示を解除してください。

■ インデックス紙をセットする（インデックス原稿）

用紙にインデックス紙を使って、原稿のインデックス部分を含めたコピーができます。

1 イラストのように原稿をセットします。

2 給紙トレイにインデックス紙をセットします。

3 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。

集約 / 原稿画面が表示されます。

4 ［インデックス原稿］を押します。

インデックス原稿サイズ画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については、「ADF に原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

参照

インデックス紙は、第 3 ／第 4 給紙トレイと、手差しトレイに設定することができます。
詳しくは「給紙トレイの用紙サイズを変更する」（p. 2-45）、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

5 目的の原稿サイズキーを押します。

6 ［OK］を押します。

■ 原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）

両面原稿からのコピー、両面コピーや集約コピーなどを使用する場合、原稿のセット方向を設定してください。原稿のセット方向を設定しないと、ページ順やオモテ面とウラ面の配置が正しくコピーできないことがあります。

原稿のセット方向について

ADF を使用	原稿ガラスを使用	アイコン	説明
			原稿の天部（上側）を奥側にしてセットした場合に選択します。
			原稿の天部（上側）を手前側にしてセットした場合に選択します。
			ADF に原稿をセットした場合、原稿の天部（上側）を左側にしてセットしたときに選択します。 原稿ガラスに原稿をセットした場合、原稿の天部（上側）を右側にしてセットしたときに選択します。
			ADF に原稿をセットした場合、原稿の天部（上側）を右側にしてセットしたときに選択します。 原稿ガラスに原稿をセットした場合、原稿の天部（上側）を左側にしてセットしたときに選択します。

ひとこと

出荷時設定では、A（天部（上側）を奥側にしてセット）が選択されています。

■ 原稿セット方向の設定のしかた

1. 原稿をセットします。

2. 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。

集約 / 原稿画面が表示されます。

3. ［原稿セット方向］を押します。

原稿セット方向画面が表示されます。

4. セットした原稿の方向に合わせて、目的のキーを押し、［OK］を押します。

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ とじ代を設定する（原稿のとじ代）

ADF に両面原稿をセットする場合、原稿のとじ代位置を設定します。

原稿のとじ代位置について

原稿のとじ代	アイコン	説明
		原稿の左側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
		原稿の右側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
		原稿の上側にとじ代のある原稿をセットした場合に選択します。
＜原稿の長辺が 297 mm 以下の場合＞ ＜原稿の長辺が 297 mm を超える場合＞		原稿のとじ代が自動で選択されます。 原稿の長さが 297 mm 以下の場合、長辺が設定されます。 原稿の長さが 297 mm を超える場合、短辺が設定されます。

ひとこと

出荷時設定では、原稿のとじ代位置は［自動］が選択されています。

■ 原稿のとじ代の設定のしかた

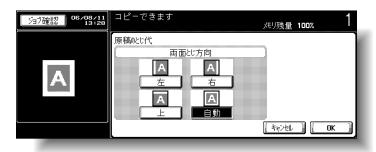
1 原稿をセットします。

2 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。

集約 / 原稿画面が表示されます。

3 ［原稿のとじ代］を押します。

原稿のとじ代画面が表示されます。

4 とじ方向を設定し、［OK］を押します。

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ひとこと

とじ代のある原稿をセットする場合は、原稿の天部（上側）を奥側にしてセットしてください。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 原稿ごとに読込み設定を変更する

連続読み設定でコピーする場合や、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする場合に、原稿ごとに読込み設定を変更することができます。ここでは連続読み設定の場合の手順を説明します。

1. 原稿をセットします。

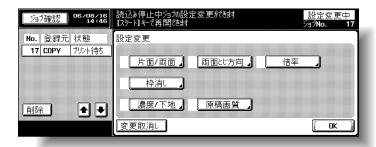
2. 基本設定画面の［連続読み設定］を押します。

3. 【スタート】を押します。

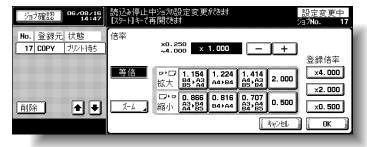
   読込みが開始されます。

4. ［設定変更］を押します。

設定変更画面が表示されます。

5 目的のキーを押し、各設定画面で設定を変更して［OK］を押します。

＜片面 / 両面画面＞

＜両面とじ方向画面＞

＜倍率画面＞

ひとこと

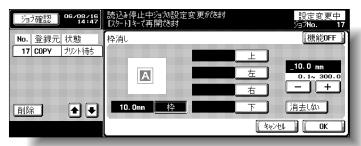
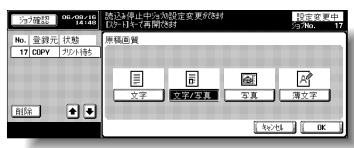
- 読込み設定の変更画面は、設定により表示されるキーが異なります。変更できる設定は、以下のとおりです。
  片面 / 両面、両面とじ方向、倍率、枠消し、折目消し、原稿画質
- ［変更取消し］を押すと設定は変更されません。

［倍率］については「倍率を選ぶ」(p. 3-30)、［枠消し］については「指定部分を消してコピーする（枠消し）」(p. 8-57) をごらんください。

＜枠消し画面＞

＜濃度 / 下地画面＞

＜原稿画質画面＞

3
基本機能

3.5 用紙を選ぶ

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。目的のコピー条件に応じ、いずれかの手順にしたがって設定します。

■ 自動的に用紙を選択させる（自動用紙）

セットされた原稿サイズを検知し、同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が等倍に設定されている場合は、原稿サイズと同じサイズの用紙を選択してコピーします。

倍率が、拡大または縮小に設定されている場合は、設定されている倍率に対応したサイズの用紙を自動的に選択してコピーします。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 ［自動］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 専用紙設定した給紙トレイは、自動用紙で選択されません。特別な用紙を給紙トレイにセットしておくときに便利な機能です。詳しくは「専用紙として設定する」（p. 7-18）、「用紙種類を設定する」（p. 7-30）をごらんください。
- 出荷時設定では、［自動］が選択されています。

自動倍率と自動用紙は、同時に設定できません。自動倍率が設定されている場合は、用紙画面で目的の用紙を設定してください。

■ 手動で目的の用紙を指定する

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 目的の用紙がセットされた給紙トレイを選択します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

- 自動倍率と組合わせて設定することで、原稿サイズと用紙サイズに合った最適なコピー倍率が設定されます。自動倍率については、「自動的に倍率を設定させる（自動倍率）」(p. 3-30）をごらんください。
- 選択した用紙については、画面上から確認できます。基本設定画面の「用紙」機能表示エリアに、選択した用紙のサイズ、セットした方向、給紙トレイが表示されます。特殊紙を選択した場合は、特殊紙の種類がアイコンで表示されます。くわしくは「タッチパネル内で表示されるアイコンについて」(p. 2-19）をごらんください。

3.6 倍率を選ぶ

原稿と異なるサイズの用紙にコピーするときや、画像のサイズを変えてコピーするときに倍率を設定できます。

ここでは、倍率の設定のしかたについて説明します。

出荷時設定では、［等倍］が選択されています。

■ 自動的に倍率を設定させる（自動倍率）

原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率を選択します。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［自動］を押します。

自動倍率と自動用紙は、同時に設定できません。自動用紙が設定されている場合は、用紙選択画面が表示されます。用紙選択画面で、目的の用紙を選択してください。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 原稿と同じ倍率にする（等倍）

原稿の画像を原寸（等倍）でコピーします。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［等倍］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

［+］を押すと拡大側へ、
［–］を押すと縮小側へ
×0.001 単位で倍率が設定できます。

■ 原稿を少しだけ縮小させる（小さめ）

画像を、原稿サイズより、わずかに縮小（×0.930）してコピーします。

基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［小さめ］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 出荷時設定では、×0.930が登録されています。
- 小さめコピーの倍率は、目的の倍率（×0.900 ～×0.999）に変更し、登録できます。小さめコピーの倍率変更／登録については「目的の倍率を登録する」（p. 3-39）をごらんください。

［+］を押すと拡大側へ、
［–］を押すと縮小側へ
×0.001 単位で倍率が設定できます。

■「拡大」、「縮小」から倍率を選択する（固定倍率）

よく使用する定形サイズの原稿から定形サイズの用紙にコピーする場合の最適な倍率が、あらかじめ設定されています。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 原稿と用紙サイズから最適な倍率を選択します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

［+］を押すと拡大側へ、
［–］を押すと縮小側へ
×0.001 単位で倍率が設定できます。

■ テンキーで倍率を指定する（ズーム）

テンキーを使用して、縦と横の比率を変えずに×0.250 ～ ×4.000 の間でコピー倍率を直接入力できます。

基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2

［ズーム］を押します。

ズーム画面が表示されます。

3

ズームのアイコンキーを押し、テンキーで目的の倍率を入力します。

4

［OK］を2回押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

参照

入力した倍率を登録しておくことができます。登録のしかたについては「目的の倍率を登録する」（p. 3-39）をごらんください。

■ テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）

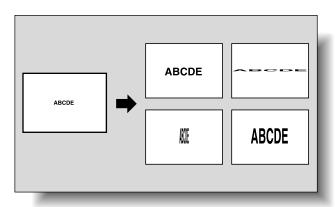
テンキーを使用して、縦（×0.250 ～ ×4.000）と横（×0.250 ～ ×4.000）の比率を変えてコピー倍率を直接入力できます。

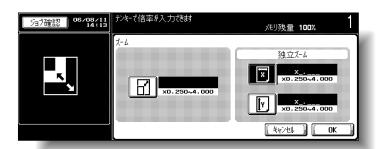
タテ・ヨコ倍率を組み合わせると、下図のような画像が得られます。

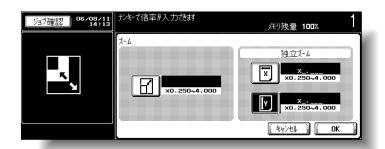
1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［ズーム］を押します。

3

「独立ズーム」の［X］を押し、テンキーで X 辺の倍率を設定します。（× 0.250 ～ × 4.000）

4

「独立ズーム」の［Y］を押し、テンキーで Y 辺の倍率を設定します。（× 0.250 ～ × 4.000）

5

［OK］を 2 回押します。

基本設定画面にもどります。

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 登録倍率から選択する

登録されているコピー倍率を、必要に応じて呼び出し設定します。

また、登録されているコピー倍率を変更することもできます。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 「登録倍率」から目的の倍率を選択します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 出荷時設定では、［× 4.000］、［× 2.000］、［× 0.500］が登録されています。
- 登録倍率は目的の倍率（× 0.250 ～ × 4.000）に変更し、登録できます。
  倍率の登録のしかたについては「目的の倍率を登録する」（p. 3-39）をごらんください。

［+］を押すと拡大側へ、
［–］を押すと縮小側へ
× 0.001 単位で倍率が設定できます。

■ 目的の倍率を登録する

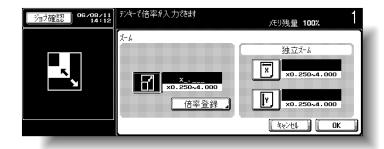
よく使用する倍率を 3 件と小さめ倍率を登録できます。

1 基本設定画面の［倍率］を押します。

倍率画面が表示されます。

2 ［ズーム］を押します。

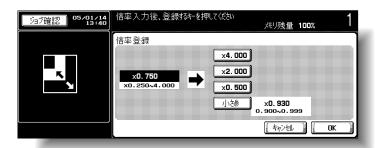
ズーム画面が表示されます。

3 ズームのアイコンキーを押し、テンキーで目的の倍率を入力します。（×0.250 ～ ×4.000）

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ［小さめ］の倍率を登録する場合は、×0.900 ～ ×0.999 の範囲の中から目的の倍率を入力してください。

4 ［倍率登録］を押します。

倍率登録画面が表示されます。

5 登録するいずれかのキー、または［小さめ］を押します。

入力した倍率が登録されます。

6 ［OK］を3回押します。

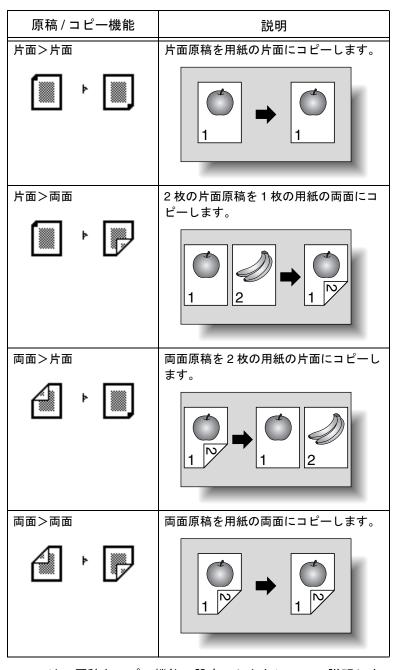
基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 登録倍率にはあらかじめ、［×4.000］、［×2.000］、［×0.500］が登録されています。選択されたキーに登録されていた倍率は、新たに入力した倍率に上書きされます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

3.7 原稿／コピー機能を選ぶ

原稿／コピー機能には以下の 4 つの設定があります。

原稿 / コピー機能	説明
片面＞片面	片面原稿を用紙の片面にコピーします。
片面＞両面	2 枚の片面原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーします。
両面＞片面	両面原稿を 2 枚の用紙の片面にコピーします。
両面＞両面	両面原稿を用紙の両面にコピーします。

ここでは、原稿とコピー機能の設定のしかたについて説明します。

ひとこと

出荷時設定では、［片面＞片面］が設定されています。

■ 片面コピーを選択する

1 基本設定画面の［片面 / 両面］を押します。

片面 / 両面画面が表示されます。

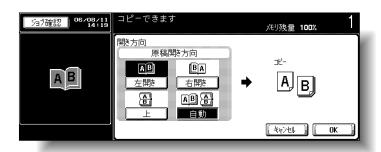
2 ［片面＞片面］、または［両面＞片面］を押します。

❍ 両面原稿の場合、［開き方向］を押し、原稿開き方向を設定して、［OK］を押します。

参照

原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読込む場合は、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」（p. 3-12）をごらんください。

ひとこと

- ［両面＞片面］を選択した場合、開き方向および原稿セット方向を設定してください。開き方向および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
- 原稿開き方向で［自動］を押すと、原稿のとじ代が自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ代が設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ代が設定されます。
- 原稿開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじ代が設定されます。

3 ［原稿セット方向］を押し、セットした原稿の方向を設定して、［OK］を押します。

4 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 両面コピーを選択する

1 基本設定画面の［片面 / 両面］を押します。

片面 / 両面画面が表示されます。

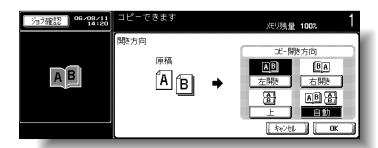
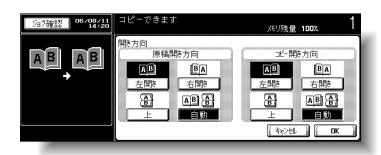
ひとこと

原稿セット方向については「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-21）をごらんください。

原稿ガラスを使用して複数枚の原稿を読込む場合は、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」（p. 3-12）をごらんください。

2 ［片面＞両面］、または［両面＞両面］を押します。

3 ［開き方向］を押します。

❍ 片面原稿の場合、コピー開き方向を設定して、［OK］を押します。

❍ 両面原稿の場合、原稿開き方向とコピー開き方向を設定して、［OK］を押します。

4 ［原稿セット方向］を押し、セットした原稿の方向を設定して、［OK］を押します。

5 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 開き方向および原稿セット方向を設定してください。開き方向および原稿セット方向を設定していない場合、目的のコピーにならないことがあります。
- 原稿開き方向で［自動］を押すと、原稿のとじ代が自動で選択されます。原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ代が設定されます。原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ代が設定されます。
- 原稿開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじ代が設定されます。
- コピー開き方向で［自動］を押すと、原稿の方向から用紙へのとじ代位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ代位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ代位置を設定します。
- コピー開き方向で［自動］を設定した場合は、上側または左側のとじ代位置が設定されます。
- 原稿セット方向については「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-21）をごらんください。

■ 小さな文字や写真の入った原稿をセットする（原稿画質）

原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整します。
原稿画質には以下の設定があります。

アイコン	説明
文字	文字だけで構成された原稿からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字のエッジをシャープに再現し、読みやすい画像が得られます。
文字 / 写真	文字と写真が混在する原稿からコピーするのに適した機能です。
写真	通常の機能では再現できないハーフトーンの原稿画像（写真など）を、可能なかぎり再現します。
薄文字	文字だけで構成された原稿で、原稿の濃度が薄い文字（鉛筆原稿など）からコピーするのに適した機能です。 コピーされた文字の濃度を濃く再現し、読みやすい文字が得られます。

ここでは、原稿画質の設定のしかたについて説明します。

ひとこと

出荷時設定では、［文字 / 写真］が設定されています。

■ 原稿画質の設定のしかた

1 原稿をセットします。

2 基本設定画面の［原稿画質］を押します。

原稿画質画面が表示されます。

3 セットした原稿に合った原稿画質機能を選択します。

- ❍ 文字のみの原稿の場合、［文字］を押します。
- ❍ 写真原稿の場合、［写真］を押します。
- ❍ 文字や写真の混在した原稿の場合、［文字 / 写真］を押します。
- ❍ 文字の薄い原稿の場合、［薄文字］を押します。

原稿画質画面にもどります。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ひとこと

各機能を解除するときは、現在設定している機能キーとは別の機能キーを押します。

3.9 濃度を選ぶ

現在のプリント結果よりも濃く、または薄くプリントしたいときは、濃度を調整します。

濃度調整には以下の 2 つの設定があります。

機能名	説明
濃度	プリント画像濃度を 9 段階で調整できます。 [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。 [ふつう] を押すと、9 段階の中央に設定されます。 [自動] を押すと、プリント画像濃度を自動的に判断し、最適な濃度でプリントします。(p. 3-48)
下地調整	下地色付原稿の下地色の濃度を 9 段階で調整できます。 [うすく]、[こく] を押すごとに、1 段階ずつ下地濃度が増減します。 [ふつう] を押すと、9 段階の中央に設定されます。(p. 3-49)

ここでは、濃度調整の設定のしかたについて説明します。

ひとこと

出荷時設定では、濃度 [自動]、下地調整 [ふつう] が設定されています。

■ プリント濃度を調整する（濃度）

1 基本設定画面の［濃度 / 下地］を押します。

濃度 / 下地画面が表示されます。

2 目的の濃度に調整します。

3 ［OK］を押します。

- ［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- ［ふつう］を押すと、9 段階の中央にもどります。
- ［自動］を押すと、原稿の濃度を自動的に判断し、最適な濃度でプリントします。

■ 下地濃度を調整する（下地調整）

1 基本設定画面の［濃度 / 下地］を押します。

濃度 / 下地画面が表示されます。

2 目的の下地濃度に調整します。

3 ［OK］を押します。

- ［うすく］、［こく］を押すごとに、1 段階ずつ濃度が増減します。
- ［ふつう］を押すと、9 段階の中央にもどります。

3
基本機能

3.10 集約を選ぶ

複数枚（2 枚、4 枚、8 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に集約してコピーします。用紙の使用枚数を節約できます。

集約コピーには以下の設定があります。

項目	説明
2 in 1	2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。
4 in 1	4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 原稿の集約順（ページ並び）を指定できます。 ＜横順＞ ＜縦順＞
8 in 1	8 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にプリントします。 原稿の集約順（ページ並び）を指定できます。 ＜横順＞ ＜縦順＞

ここでは、集約コピーの設定のしかたについて説明します。

集約機能を選択すると、お勧め倍率を呼び出し、倍率を縮小してコピーします。各機能のお勧め倍率は、以下のように設定されています。
- 2 in 1 : ×0.707
- 4 in 1 : ×0.500
- 8 in 1 : ×0.353

ひとこと

- 出荷時設定では、［お勧め倍率］が設定されています。
- 出荷時設定では、集約は、等倍、固定変倍、ズーム、独立ズームとの併用はできません。組み合わせて使いたい場合は、設定メニューの集約 / 小冊子倍率で、［設定しない］に設定してください。詳しくは、「コピー設定」（p. 12-23）をごらんください。

■ 複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約）

1 基本設定画面の［集約 / 原稿］を押します。

集約 / 原稿画面が表示されます。

2 目的の集約枚数を選択します。

❍ ［4 in1］、［8 in1］を選択した場合、［縦順］または［横順］を押し、原稿の集約順を指定します。

- 集約する原稿の向きおよび枚数に合わせて、機能と集約順を選択します。集約順をサブエリアで確認できます。
- 設定を解除するときは、再度選択したキーを押します。

3.11 仕上り機能を選ぶ

コピーを排出トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上りの状態を設定できます。

仕上り機能には以下の設定があります。

項目	説明
ソート	複数枚の原稿を部数単位に分けて出力します。(p. 3-54)
グループ	複数枚の原稿をページ単位に分けて出力します。(p. 3-55)
仕分け	＜フィニッシャーを装着していない場合＞ 回転ソートを行います。仕分け機能の条件を満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。(p. 3-53、p. 3-55)
	＜フィニッシャー装着時＞ コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。(p. 3-53、p. 3-55)

ひとこと

出荷時設定では、グループが設定されています。

フィニッシャーを装着していない場合、以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けして排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を別々のトレイに 方向と 方向にセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

ひとこと

管理者設定で、フィニッシャー FS-504/FS-505/FS602 装着時にコピーの完了した用紙をシフトせずに（ずらさずに）排出することもできます。出荷時設定では、シフト排出するが設定されています。

参照

フィニッシャー FS-504/FS-505/FS602 装着時のシフト排出設定については、「＜出力設定＞」(p. 12-29) をごらんください。

項目	説明
フェイスアップ	コピーの完了した用紙を、オモテ面を上にして排紙します。(p. 3-56)
ステープル	コピーの完了した用紙のコーナーまたは 2 点をステープル（針）でとじます。(p. 3-57)
パンチ	コピーの完了した用紙にファイリング用のパンチ穴（2 穴）をあけます。(p. 3-61)

ここでは、仕上り機能の設定のしかたについて説明します。

原則

ステープル機能はオプションのフィニッシャー FS-504、FS-505 、FS-602 を装着した場合にのみ使用できる機能です。
パンチ機能はオプションのフィニッシャー FS-504、FS-505 、FS-602 にパンチキット PK-502、PK-503 または、Z 折りユニット ZU-602 を装着した場合に使用できる機能です。

ひとこと

- フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 にポストインサータ PI-501 が装着されているとき、手動でフィニッシャーを操作することができます。詳細は「手動でフィニッシャーを使う」(p. 3-68) をごらんください。
- ステープル機能、パンチ機能は装着しているフィニッシャーによって異なります。

■ 部数ごとに分けて排紙する（ソート）

1

基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2

［ソート］を押します。

❍ 部数ごとに仕分けして排紙したい場合は、［仕分け］を押します。設定を解除する場合は、もう 1 度［仕分け］を押します。

3

［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

フィニッシャーを装着していない状態で［仕分け］を選択した場合、回転ソートができます。以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けて排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を別々のトレイに 方向と 方向にセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

フィニッシャーを装着している状態で［仕分け］を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

排紙トレイを変更する場合は、［排紙トレイ選択］を押して、排紙トレイを設定します。

■ ページごとに分けて排紙する（グループ）

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［グループ］を押します。

❍ ページごとに仕分けして排紙したい場合は、［仕分け］を押します。設定を解除する場合は、再度［仕分け］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

フィニッシャーを装着していない状態で［仕分け］を選択した場合、回転ソートができます。以下の条件を全て満たすと、コピーの完了した用紙を交互に仕分けて排紙します。

- A4 または B5 の用紙を使用する
- サイズと種類の同じ用紙を別々のトレイに 方向と 方向にセットする
- 用紙／サイズ機能で自動用紙を設定する
- 混載原稿選択時に自動用紙を設定しない

フィニッシャーを装着している状態で［仕分け］を選択した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。

排紙トレイを変更する場合は、［排紙トレイ選択］を押して、排紙トレイを設定します。

■ オモテ面を上にして排紙する（フェイスアップ）

コピーのオモテ面を上にして排紙します。

原則

ソート出力、グループ出力の両方に対して設定できます。

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［フェイスアップ］を押します。

フェイスアップがONに設定されます。設定を解除する場合は再度［フェイスアップ］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 出荷時設定では、OFFが設定されています。仕上がったコピーはウラ面を上にして排紙されます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

排紙トレイを変更する場合は、［排紙トレイ選択］を押して、排紙トレイを設定します。

■ ステープルでとじて排紙する（ステープル）

＜フィニッシャー FS-602 装着時＞

用紙坪量	用紙サイズ	ステープル時の最大積載量
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A4、A4、B5、B5、A3、A3 ワイド、B4、A5 幅 100 ～ 314 mm x 長さ 198 ～ 458 mm	1,000 枚 （80 g/m^2）

	とじ枚数	積載部数
A3 以外（80 g/m^2）	2 枚～ 9 枚	100 部
	10 枚～ 20 枚	50 部
	21 枚～ 30 枚	30 部
	31 枚～ 40 枚	25 部
	41 枚～ 50 枚	20 部
A3（80 g/m^2）	2 枚～ 9 枚	50 部
	10 枚～ 20 枚	50 部
	21 枚～ 30 枚	30 部
	31 枚～ 40 枚	25 部
	41 枚～ 50 枚	20 部

混載原稿の場合、プリントされる用紙の幅が同じでないとステープルできません。

- カバーシート機能のカバー紙（オモテ／ウラ）を選択した場合は、カバー紙（200 g/m^2）にステープルすることができます。

ひとこと

ステープルとじする場合、原稿セット方向および開き方向を設定してください。原稿セット方向および開き方向が設定されていない場合、目的の位置にステープルとじされないことがあります。
原稿セット方向については「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-21）をごらんください。

＜フィニッシャー FS-504 装着時＞

用紙坪量	用紙サイズ	ステープル時の最大積載量
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A4□、A4▯、B5□、B5▯、A3□、A3 ワイド □、B4□、A5□、B6□、A6□、官製はがき、幅 100 ～ 314 mm x 長さ 198 ～ 458 mm	1,000 枚（80 g/m^2）

	とじ枚数	積載部数
A3□ 以外（80 g/m^2）	2 枚～ 9 枚	150 部
	10 枚～ 20 枚	50 部
	21 枚～ 30 枚	30 部
	31 枚～ 40 枚	25 部
	41 枚～ 50 枚	20 部
	51 枚～ 60 枚	−
	61 枚～ 100 枚	−
A3□（80 g/m^2）	2 枚～ 9 枚	50 部
	10 枚～ 20 枚	50 部
	21 枚～ 30 枚	30 部
	31 枚～ 40 枚	25 部
	41 枚～ 50 枚	20 部
	51 枚～ 60 枚	−
	61 枚～ 100 枚	−

＜フィニッシャー FS-505 装着時＞

用紙坪量	用紙サイズ	ステープル時の最大積載量
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A4、A4、B5、B5、A3、A3 ワイド、B4、A5	1,000 枚（80 g/m^2）

	とじ枚数	積載部数
A5 A3 （80 g/m^2）	2 枚～ 9 枚	50 部
	10 枚～ 20 枚	50 部
	21 枚～ 30 枚	30 部
	31 枚～ 40 枚	25 部
	41 枚～ 50 枚	20 部
	51 枚～ 60 枚 *1 *3	15 部（A5）
	61 枚～ 100 枚 *1 *3	10 部（A5）
その他 （80 g/m^2）	2 枚～ 9 枚	100 部
	10 枚～ 20 枚	50 部
	21 枚～ 30 枚	30 部
	31 枚～ 40 枚	25 部
	41 枚～ 50 枚	20 部
	51 枚～ 60 枚 *3	15 部
	61 枚～ 100 枚 *2 *3	10 部

*1 A3 のとじ枚数は 50 枚までです。

*2 B4 のとじ枚数は 65 枚までです。

*3 51 枚～ 100 枚は 100 枚針カートリッジを装着しているときのみ可能です。

フィニッシャー FS-505 には 2 種類のステープルカートリッジがあります。
50 枚針カートリッジは 50 枚までステープルできます。
100 枚針カートリッジは 100 枚までステープルできます。
用紙サイズ、ステープルの打ち方、ステープル枚数によって部数を設定し、メイントレイの積載枚数を調整してください。

3 基本機能

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ステープルの［コーナー］または［2 点］を押します。

3 ［位置指定］を押し、目的の位置を選択します。

4 ［OK］を 2 回押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- 「ステープル」を選択した場合、自動的に［ソート］が選択されます。
- 「ステープル」と［仕分け］は組合わせて使用できません。
- ステープル機能を解除するときは、再度［コーナー］または［2 点］を押します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

排紙トレイを変更する場合は、［排紙トレイ選択］を押して、排紙トレイを設定します。

ひとこと

［自動］を押すと、セットした原稿の方向から自動的に判断します。原稿の長さ（X）が 297 mm 以下の場合、長辺がステープルとじされます。原稿の長さ（X）が 297 mm を超える場合、短辺がステープルとじされます。

■ パンチ穴をあけて排紙する（パンチ）

<フィニッシャー FS-504/505/602 + パンチキット PK-502/503 >

用紙坪量	用紙サイズ
60 g/m^2 ～ 128 g/m^2	A3、B4、A4、A4、B5、B5、A5、A5

1 基本設定画面の［仕上り］を押します。

仕上り画面が表示されます。

2 ［2 穴］を押します。

❍ ページごとに仕分けしてパンチしたい場合は、［仕分け］を押します。設定を解除する場合は、再度［仕分け］を押します。

ひとこと

パンチ穴をあける場合、原稿セット方向および開き方向を設定してください。原稿セット方向および開き方向が設定されていない場合、目的のとおりにパンチされないことがあります。
原稿セット方向については「原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）」（p. 3-21）をごらんください。

ひとこと

- パンチ機能を解除するときは、再度［2 穴］を押します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

排紙トレイを変更する場合は、［排紙トレイ選択］を押して、排紙トレイを設定します。

3

［位置指定］を押し、目的の位置を選択します。

4

［OK］を 2 回押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

［自動］を押すと、セットした原稿の方向から自動的に判断します。原稿の長さが 297 mm 以下の場合、長辺にパンチ穴をあけます。原稿の長さが 297 mm を超える場合、短辺にパンチ穴をあけます。

3.12 紙折り機能を選ぶ

オプションを装着することで、コピーした用紙を折って排紙できます。紙折り出力には以下の種類があります。設定できる機能は装着しているオプションによって異なります。

機能名	説明	対応機種
中折り	用紙を 2 つ折りにして、排紙します。 （p. 3-64）	FS-602
中とじ	用紙のセンター 2ヶ所にステープルし、2 つ折りにして排紙します。 （p. 3-65）	FS-602
Z 折り	用紙をセンターより 2 つ折りにし、さらに用紙の半分を山折りにして排紙します。 （Z 折りユニット ZU-602 を装着している必要があります）（p. 3-66）	FS-504 FS-505 FS-602
3 つ折り	用紙を 3 つ折りにして、排紙します。 （p. 3-67）	FS-602

原則

フィニッシャー FS-602 装着時のみ、中折り、中とじ、3 つ折りができます。
フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 に、Z 折りユニット ZU-602 を装着しているときは、Z 折りができます。

■ 2 つ折りにして排紙する（中折り）

＜フィニッシャー FS-602 装着時＞

用紙坪量	用紙サイズ	最大折り枚数
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A3□、B4□、A4□、 幅 最大 314 mm × 長さ 最大 458 mm	3 枚
81 g/m^2 ～ 105 g/m^2		1 枚

折り枚数	積載部数
3 枚（A4□ 以外）（80 g/m^2）	33 部
3 枚（A4□）（80 g/m^2）	25 部

1 基本設定画面の［紙折り］を押します。

紙折り画面が表示されます。

2 ［中折り］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

出荷時設定では、［中折り］を設定すると、小冊子機能が自動的に選択されるように設定されています。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 中折り機能を解除するときは他の機能のキーを押します。

■ 用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）

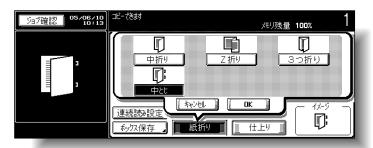
＜フィニッシャー FS-602 装着時＞

用紙坪量	用紙サイズ	最大枚数
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A3、B4、A4、 幅 最大 314 mm × 長さ 最大 458 mm	20 枚

とじ枚数	積載部数
2 ～ 5 枚（80 g/m^2）	20 部

1 基本設定画面の［紙折り］を押します。

紙折り画面が表示されます。

2 ［中とじ］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

- カバーシート機能のカバー紙を選択した場合は、カバー紙（200 g/m^2）にステープルすることができます。
- 出荷時設定では、中とじを設定すると、以下の機能が自動的に設定されます。
  - •片面＞両面
  - •小冊子
  - •小冊子時のお勧め倍率（× 0.707）
- 中とじを設定すると、仕上りで設定した以下の機能設定が無効になります。
  - •グループ
  - •仕分け
  - •ステープル
  - •パンチ
  - •フェイスアップ

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 中とじ機能を解除するときは他の機能のキーを押します。

■ Z 折りにして排紙する（Z 折り）

<フィニッシャー FS-504/505/602 + Z 折りユニット ZU-602 装着時>

用紙坪量	用紙サイズ	最大折り枚数
60 g/m^2 ～ 90 g/m^2	A3、B4	1 枚

折り枚数	積載部数
1 枚	30 部

1 基本設定画面の［紙折り］を押します。

紙折り画面が表示されます。

2 ［Z 折り］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

Z 折りを設定すると、仕上りで設定した以下の項目が無効になります。
- グループ
- フェイスアップ

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- Z 折り機能を解除するときは他の機能のキーを押します。

■ 3 つ折りにして排紙する（3 つ折り）

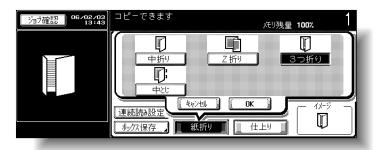
<フィニッシャー FS-602 装着時>

用紙坪量	用紙サイズ	最大折り枚数
60 g/m^2 ～ 80 g/m^2	A4	3 枚
81 g/m^2 ～ 105 g/m^2		1 枚

折り枚数	積載部数
1 枚（80 g/m^2）	50 部

1 基本設定画面の［紙折り］を押します。

紙折り画面が表示されます。

2 ［3 つ折り］を押します。

3 ［OK］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 3 つ折り機能を解除するときは他の機能のキーを押します。

3 つ折りを設定すると、仕上りで設定した以下の項目が無効になります。
- グループ
- 仕分け
- ステープル
- パンチ
- フェイスアップ

3.13 手動でフィニッシャーを使う

フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 にポストインサータ PI-501 が装着されているとき、ポストインサータの操作パネルを使って手動でフィニッシャーを操作することができます。

ポストインサータの下段トレイに用紙をセットします。上段トレイは使用できません。

オプション構成ごとに、以下の出力を行います。

＜フィニッシャー FS-504/FS-505 + ポストインサータ PI-501 ＞

- コーナー／2 点ステープル

＜フィニッシャー FS-602 + ポストインサータ PI-501 ＞

- コーナー／2 点ステープル
- 中とじ
- 3 つ折り

＜フィニッシャー FS-504/FS-505 + ポストインサータ PI-501 + パンチキット PK-502/PK-503 ＞

- コーナー／2 点ステープル
- パンチ穴

＜フィニッシャー FS-602 + ポストインサータ PI-501 + パンチキット PK-502/PK-503 ＞

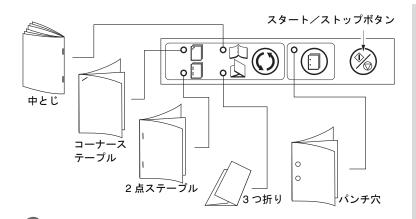
- コーナー／2 点ステープル
- 中とじ
- 3 つ折り
- パンチ穴

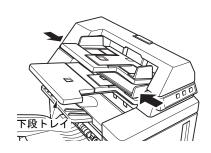
原則

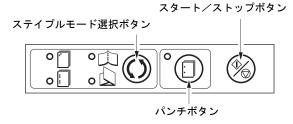
給紙トレイとして使用できるのは下段トレイのみです。上段トレイは使用できません。

	用紙	セット枚数	排紙トレイ
コーナー／2 点ステープル	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5、11 × 17、8.5 × 14、8.5 × 11、8.5 × 11R（60 ～ 80 g/m^2 紙）	FS-504/FS-505：50 枚以下 FS-602：50 枚以下	メイントレイ
パンチ穴	A3 ～ A5（60 ～ 128 g/m^2 紙）	FS-505：200 枚以下	メイントレイ
中とじ	A3、B4、A4R、11 × 17、8.5 × 14、8.5 × 11R（60 ～ 200 g/m^2 紙）	20 枚以下（80 g/m2 紙） 19 枚以下（80 g/m2 紙）（表紙に厚紙を使用したとき）	BM トレイ
3 つ折り	A4R、8.5 × 11R（60 ～ 105 g/m^2 紙）	3 枚以下	BM トレイ

ひとこと

Z 折りユニット ZU-602 を装着していても、パンチキット PK-502/PK-503 を装着していなければ、手動でパンチ穴はあけられません。

1 ポストインサータの下段トレイに用紙をセットします。

コーナー／2 点ステープル	オモテ面を上にしてセットします。
パンチ穴の場合	オモテ面を上にしてセットします。
中とじの場合	とじられてオモテ側に出てくる面を上にしてセットします。
3 つ折りの場合	3 つ折りになって外側になる面を上にしてセットします。

2 ガイド板を用紙に沿わせます。

3 ［ステープルモード選択ボタン］と［パンチボタン］を押して、任意のモードを選択します。

使うフィニッシャーの機能によって、セットする用紙のサイズ、セット枚数が違います。p. 3-57 をごらんください。

OHP 用紙、ラベル紙、第 2 原図などの特殊紙はパンチできません。特殊紙にパンチするとパンチキットの故障の原因になります。

パンチ穴は、コーナー／2 点ステープルと併用できます。併用するときは、［ステープルモード選択ボタン］を押して、ランプを点灯させます。併用しないときは、パンチのランプ以外をすべて消灯させます。

- コーナー／2点ステープル、中とじ、3つ折りを設定するときは、［ステープルモード選択ボタン］を押して、ランプを点灯させます。パンチ穴を設定するときは、［パンチボタン］を押してランプを点灯させます。

4 ［スタート／ストップボタン］を押します。

出力中に出力を停止するときは、ポストインサータ操作パネルの［スタート／ストップボタン］を押します。

3.14 プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約）

現在のコピージョブのプリント中に、次のコピージョブの設定や原稿読込みを行い、プリント完了後に続けて次のコピーをプリントします。

原則

コピー予約は、現コピーを含めて 51 件まで設定できます。

1 【スタート】を押して、現コピーの読込み・プリントを開始します。

原稿読込み中の画面が表示されます。

2 「コピー予約できます」と表示されたら次の原稿をセットします。

3 次コピーのコピー条件を設定します。

4 【スタート】を押します。

5 実行中のコピージョブ終了後、次コピーを開始します。

❍ 実行中のコピージョブが終了すると、自動的に次コピーのコピー条件が表示され、コピー作業を開始します。

ひとこと

セットした原稿の読込み終了後にコピー予約できます。原稿読込み中にはコピー予約できません。

設定メニューのプリント中画面表示を「ON」に設定した場合、[次ジョブ予約] が表示されます。[次ジョブ予約] を押し、次コピーのコピー条件を設定してください。
プリント中画面表示の設定については、「画面切替え設定」(p. 12-21) をごらんください。

原稿セット方法については「原稿をセットする」(p. 3-6) をごらんください。

予約したジョブを削除するときは、基本設定画面を表示し、[ジョブ確認] を押します。詳しくは、「ジョブを削除する」(p. 11-5) をごらんください。

3.15 読込み・プリントを中断する

原稿の読込みやプリントの操作を中断したいときは、以下の手順にしたがってください。

1

ジョブのプリント中に【ストップ】を押します。

プリントが停止します。

タッチパネルに停止中ジョブ画面が表示されます。

2

【スタート】を押すと、停止していた全てのジョブが再開されます。

ひとこと

読込み中ジョブがある場合は、【ストップ】を押すと、同時に停止します。

中断したジョブの削除のしかたについては「中断したジョブを削除する」（p. 3-73）をごらんください。

3.16 中断したジョブを削除する

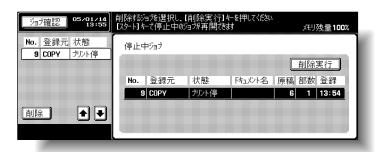
中断したジョブを削除したいときは、以下の手順にしたがってください。

ジョブのプリント中に【ストップ】を押します。

読込み・プリントが停止します。

タッチパネルに停止中ジョブ画面が表示されます。

2

削除したいジョブを選択し、［削除実行］を押します。

選択したジョブが削除されます。

参照

読込み・プリント中のジョブの停止のさせ方について、詳しくは「読込み・プリントを中断する」（p. 3-72）をごらんください。

ひとこと

- 削除するジョブは 1 つずつ選択します。
- 中断したジョブを再開する場合は【スタート】を押します。

第 4 章
コピー補助機能

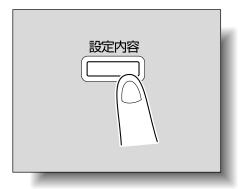
コピーするときに手助けになる機能について説明します。

4.1　コピー条件を確認する（設定内容）.. 4-2
4.2　1 部プリントしてコピー条件を確認する（確認コピー）................................ 4-4
4.3　割込んでコピーする（割込み）.. 4-7
4.4　コピー条件を登録する（プログラム登録）.. 4-8
4.5　登録したコピープログラムでコピーする（コピープログラム呼び出し）.... 4-11
4.6　機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）.. 4-13
4.7　操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）.. 4-19

4.1 コピー条件を確認する（設定内容）

設定内容画面で、現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

■ 設定の確認のしかた

【設定内容】を押します。

設定内容画面が表示されます。

- 設定内容画面は３画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- ［←前画面］を押すと１つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。
- 出荷時設定から設定を変更した機能は、反転表示されます。

2
設定内容の確認が終了したら、[終了] または【設定内容】を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 設定の変更のしかた

1
【設定内容】を押します。

2
[←前画面] または [次画面→] を押して変更する機能のある画面を表示します。

3
変更する機能のキーを押します。

各機能の設定画面が表示されます。

4
各機能の設定方法にしたがい、変更を行ってください。

4.2　1 部プリントしてコピー条件を確認する（確認コピー）

複数部数のコピーを行うとき、先に 1 部だけプリントして仕上がりを確認できます。ミスコピーの発生を未然に防ぐことができます。

1 目的のコピー条件を設定します。

2 原稿をセットします。

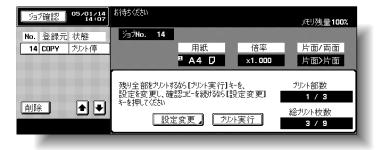
3 【確認コピー】を押します。

1 部プリントされます。

4 コピー結果を確認します。

❍ コピーを確認して問題なければ、手順 8 へ進みます。

❍ コピー条件の設定を変更するときは、手順 5 へ進みます。

5 確認コピー画面の［設定変更］を押します。

設定変更画面が表示されます。

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

確認コピー画面の「プリント部数」は、「確認コピー済みプリント部数 / 設定総部数」を示しています。

6 設定変更画面でコピー条件を変更して、[OK] を押します。

7 【確認コピー】を押して、確認コピーを繰り返します。

❍ 確認コピープリント後や、確認コピー画面表示中にコピーを中断する場合は、【リセット】を押します。サブエリアにジョブ確認リストが表示されている場合、中断する確認コピージョブを選んで［削除］を押します。削除確認画面が表示されたら、[はい] を押します。

❍ 確認コピー中にジョブを停止している状態でオートリセットされると蓄積ジョブになります。蓄積ジョブについては、p. 11-12 をごらんください。

詳しく説明します

- 部数を変更したいときは、【クリア】を押してから、テンキーで数字を入力します。
- コピー条件が変更できないときは、確認コピーを中断してください。次に【リセット】を押してコピー条件をクリアしてから、設定をしなおしてください。
- 確認コピー後に、設定できるコピー条件は以下のとおりです。
  - 部数、片面または両面、仕上り、紙折り、カバーシート、インターシート、章分け、とじ代、スタンプ / オーバレイ

読込み中またはプリント中の確認コピーを中断する場合は、「読込み・プリントを中断する」(p. 3-72) をごらんください。

8

［プリント実行］を押します。

残り部数のコピーを開始します。

4.3 割込んでコピーする（割込み）

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。

急いでコピーをしたいときなどに便利です。

1. 原稿をセットします。

2. 【割込み】を押します。

❍ 現在のジョブがプリント中の場合は、「もうすぐ止まります」と表示されます。

割込みランプが緑色に点灯し、プリント中のジョブは中断されます。

3. 目的のコピー条件を設定します。

4. 【スタート】を押します。

割込みコピーを開始します。

5. 割込みジョブのプリントが終了したら、【割込み】を押します。

割込みランプが消灯し、割込みコピー設定が解除され、割込みコピー前のコピー条件が復帰します。

参照

- プリントが終了した時点で割込みコピーを行いたい場合は、「優先出力の設定をする」（p. 11-15）をごらんください。
- 原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

- 原稿読込み中は【割込み】を押すことができません。
- 【割込み】を押すと、コピー部数以外のコピー条件が初期設定にもどります。

ひとこと

割込みコピーを解除すると、割込み前に中断したジョブのプリントが自動的に再開されます。

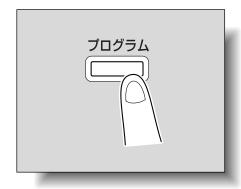
4.4 コピー条件を登録する（プログラム登録）

目的のコピー条件を 30 件まで登録（書込み）できます。

登録するコピープログラムは、全角で最大 8 文字まで半角で最大 16 文字までの登録名称を付けることができます。

■ コピープログラムの登録・変更のしかた

1. タッチパネルのキーおよび操作パネルのキーを使って、プログラムに登録するコピー条件を設定します。

2. 【プログラム】を押します。

コピープログラム呼び出し画面が表示されます。

3. ［プログラム登録］を押します。

登録名称入力画面が表示されます。

❍ 登録名称を変更する場合は、変更するコピープログラムキーを押し、［名称変更］を押します。

ひとこと

【設定内容】を押すと、現在設定されているコピー条件を確認できます。詳しくは、「コピー条件を確認する（設定内容）」（p. 4-2）をごらんください。

以降の操作途中に登録を中断する場合は、【リセット】または【プログラム】を押します。
いずれの画面が表示されていても、登録操作は中断されます。
または、基本設定画面にもどるまで［キャンセル］を押します。

コピープログラムが 30 件登録されている場合は、不要なコピープログラムを削除してから登録してください。コピープログラムの削除については、「コピープログラムの削除のしかた」（p. 4-10）をごらんください。

文字キーで登録名称を入力します。

- 登録名称は全角で最大 8 文字、半角で最大 16 文字で登録できます。
- ［日本語］を押すと、かなキーボード画面が表示されます。

5 入力が完了したら、［OK］を押します。

コピープログラム呼び出し画面にもどります。登録が完了し、入力した登録名称のキーが表示されます。

6 ［OK］を押します。

文字の入力のしかたは「文字を入力するには」（p. 13-2）をごらんください。

- 既存のコピープログラムキーと同じ登録名称をつけることができます。
- 登録名称の入力を中断する場合は、［キャンセル］を押します。

- コピープログラムキーを押し、［設定内容］を押すと、登録したコピープログラムを確認できます。詳しくは「登録したコピープログラムでコピーする（コピープログラム呼び出し）」（p. 4-11）をごらんください。
- コピープログラムは、変更できません。
- 登録したコピープログラムに、設定メモリロック設定や変更禁止設定をすると、［名称変更］［削除］は表示されません。詳しくは、「環境設定」（p. 12-28）をごらんください。

■ コピープログラムの削除のしかた

1 コピープログラム呼び出し画面で、削除したいコピープログラムキーを押します。

2 ［削除］を押します。

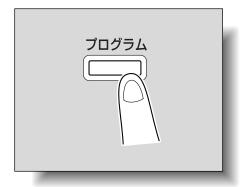
削除確認画面が表示されます。

3 ［はい］を押します。

プログラム呼び出し画面にもどります。キーと登録されていたコピー条件は削除されます。

4.5 登録したコピープログラムでコピーする（コピープログラム呼び出し）

登録したコピープログラムを呼び出してコピーします。

1 原稿をセットします。

2 【プログラム】を押します。

コピープログラム呼び出し画面が表示されます。

3 呼び出したいコピープログラムが登録されているコピープログラムキーを押します。

❍ 選択したコピープログラムキーに登録されているコピープログラムを確認しない場合は、手順 8 に進みます。

原稿セット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

コピープログラムの呼び出しを中断する場合は、【リセット】、【プログラム】、［キャンセル］のいずれかを押します。

4

［設定内容］を押します。

設定内容画面が表示されます。

5

選択したコピープログラムキーに登録されているコピープログラムを確認します。

6

［終了］を押します。

コピープログラム呼び出し画面にもどります。

7

もう1度呼び出したいコピープログラムが登録されているコピープログラムキーを押します。

8

［OK］を押します。

選択したコピープログラムを呼び出して設定し、基本設定画面にもどります。

9

【スタート】を押します。

呼び出されたコピープログラムでコピーを開始します。

- 設定内容画面は3画面あります。画面タイトルの右側に現在の画面番号が表示されます。
- ［←前画面］を押すと1つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。
- 出荷時設定から設定を変更した機能は、反転表示されます。
- 設定内容画面では、設定変更できません。

コピープログラムキーを選択しないで［OK］を押すと、コピープログラムを呼出さずに基本設定画面にもどります。

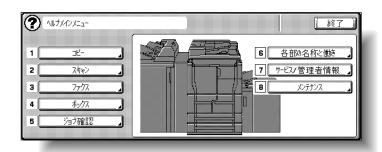
4.6 機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能）

各機能の説明や操作方法を画面上に表示して、確認できます。
ヘルプ画面の表示方法は 2 つあります。

- ヘルプ基本画面（基本設定画面から）
- 設定手順のヘルプ画面（基本設定画面以外の画面から）

■ ヘルプ基本設定画面の概要

ヘルプは、以下のメニューで構成されています。

- 第 1 階層 ヘルプメインメニュー

項目	説明
[1 コピー] [2 スキャン] [3 ファクス] [4 ボックス] [5 ジョブ確認]	各機能のヘルプメニューに進みます。
[6 各部の名称と働き]	各部の名称と働きのヘルプメニューに進みます。 本体とオプションについての説明を確認できます。
[7 サービス / 管理者情報]	管理者名、内線番号、E-Mail アドレスを確認できます。
[8 メンテナンス]	トナーカートリッジの交換、ステープル針の補給、パンチくずの処理方法を確認できます。

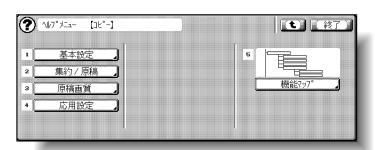
ヘルプ画面を表示させると、画面の左上に ? マークが表示されます。
以下の状態のときはヘルプ機能を使用できません。

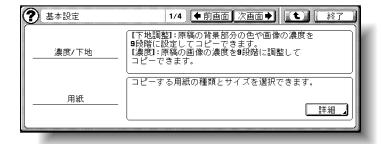
- スキャン中、プリント中、確認コピー中、拡大表示時、ユニバーサル設定中

ヘルプ機能使用中は、以下の操作パネルのキーは無効となります。

- 【スタート】、【ストップ】、【クリア】、【割込み】、【確認コピー】、【ID】、【プログラム】、【拡大表示】、【設定内容】

- メインメニュー画面とヘルプメニュー画面では、画面のキーを押すか、キーの番号をテンキーで押して項目を選択します。
- ［終了］を押すと、ヘルプ機能を終了し、【ヘルプ】を押す前の画面にもどります。

● 第 2 階層 ヘルプメニュー（例：コピー）

項目	説明
[1 基本設定] [2 集約 / 原稿] [3 原稿画質] [4 応用設定]	各キーのヘルプ画面の 1 画面目に進みます。
[5 機能マップ]	機能マップ画面に進みます。機能や設定項目が階層表示されます。

● 第 3 階層 ヘルプ画面（例 : コピー、基本設定）

- ［6 各部の名称と働き］のヘルプメニューは、装着しているオプションの構成によって表示される項目が異なります。
- ［ ］を押すと、1 つ上の階層が表示されます。

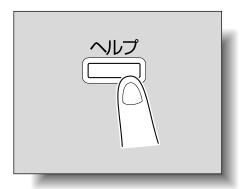
- 画面タイトルの右の数字（左の画面では「1/4」）は、現在表示している画面番号 / 表示した項目の総ヘルプ画面数を示しています。
- ［←前画面］を押すと 1 つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。
- ［詳細］が表示されたら、［詳細］を押して詳細説明（第 4 階層のヘルプ画面）を確認します。

- 機能マップについて（例 : コピー）

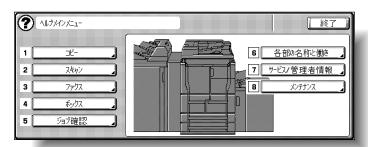
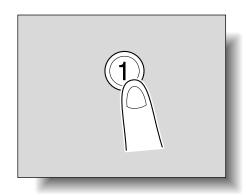
❍ 機能マップ画面では、機能や設定項目が階層表示されます。一覧から見たいヘルプ画面を選択できます。

- コピーの機能マップ画面は、全部で 7 画面あります。数字の分子が現在表示している画面番号を示しています。
- ［↑］を押すと 1 つ前の画面に、［↓］を押すと次の画面に切換わります。
- 機能マップ画面では、テンキーで番号を押して選択します。
- 機能マップ画面で選択して表示したヘルプ画面で、［↰］を押すと 1 つ上の階層が表示されます。

■ ヘルプ基本画面を表示させる

ここでは、コピーに関するヘルプ画面を例として説明します。

1 基本設定画面で、【ヘルプ】を押します。

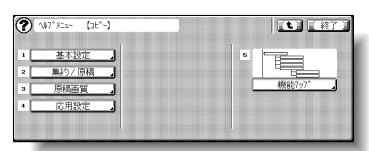
ヘルプメインメニューが表示されます。

2 ［コピー］またはテンキーの【1】を押します。

コピーに関するヘルプメニューが表示されます。

ヘルプ機能を終了する場合は、【ヘルプ】または［終了］を押します。

ヘルプ画面のキーについては、「ヘルプ基本設定画面の概要」（p. 4-13）をごらんください。

3

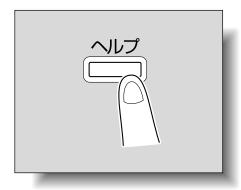
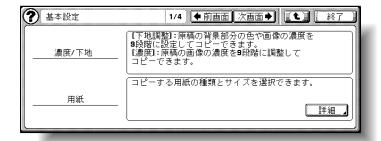
目的の画面上のキー、またはキーの左の番号のテンキーを押し、目的のヘルプ画面を表示させます。

4

ヘルプ内容の確認が終了したら、［終了］または【ヘルプ】を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 機能設定中にヘルプ画面を表示させる

設定中のコピー条件のヘルプを表示できます。

目的のコピー条件の設定画面を表示し、【ヘルプ】を押します。

目的の機能の内容や操作方法に関するヘルプ画面が表示されます。

2

ヘルプ内容の確認が終了したら、[終了] または【ヘルプ】を押します。

【ヘルプ】を押す前の画面にもどります。

- 展開した画面によっては、その機能のヘルプがないことがあります。
- [詳細] が表示されたら、[詳細] を押して詳細説明を確認します。

参照

ヘルプ画面のキーについては、「ヘルプ基本設定画面の概要」(p. 4-13) をごらんください。

ひとこと

[↰] を押すと、表示されたヘルプメニューの１つ上の階層が表示されます。

4.7 操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定）

操作パネルに関する設定を変更する方法と、タッチパネルの調整について説明します。

■ ユニバーサル設定画面を表示させる

【ユニバーサル】を押します。

ユニバーサル設定画面が表示されます。

ひとこと

ユニバーサル設定画面から基本設定画面にもどる場合は、［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

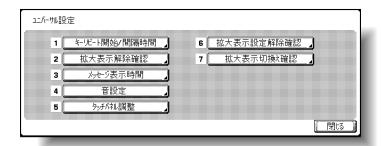
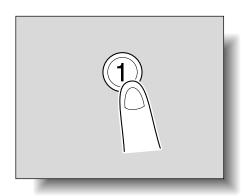
■ キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする

拡大表示時、倍率画面に表示される［+］、［-］および濃度画面に表示される［うすく］、［こく］を押してから数値が変わりはじめるまでの時間と、上記のキーを押し続けたときに次の数値に変わるまでの時間を設定できます。

原則

設定したキーリピート開始 / 間隔時間は拡大表示時にのみ反映されます。

ユニバーサル設定画面を表示させます。

［キーリピート開始 / 間隔時間］またはテンキーの【1】を押します。

キーリピート開始 / 間隔時間設定画面が表示されます。

ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナ、ファクシミリの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、キーリピート開始は「0.8 秒」、間隔時間は「0.3 秒」に設定されています。

3

[+]、[–］を押して、キーリピート開始時間と間隔時間を設定します。

- [+］を押すごとに時間が長くなります。
- [–］を押すごとに時間が短くなります。
- キーリピート開始、間隔時間はともに、0.1 秒～3.0 秒の範囲を 0.1 秒単位で設定できます。
- [キャンセル］を押すと設定は変更されません。

4

[OK］を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

5

[閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

■ 拡大表示解除確認の設定をする

拡大表示時、システムオートリセット機能が動作するときに、拡大表示解除の確認画面を表示できます。

また、拡大表示解除確認画面の表示時間を設定できます。

ひとこと

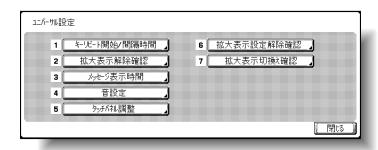
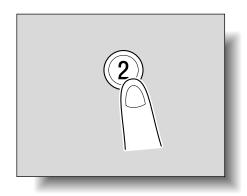
- 拡大表示画面は、コピー、スキャナ、ファクシミリの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド 拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、［しない］に設定されています。

原則

拡大表示解除確認の設定は、拡大表示時のみ有効です。

1. ユニバーサル設定画面を表示させます。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

2. ［拡大表示解除確認］またはテンキーの【2】を押します。

拡大表示解除確認画面が表示されます。

3 目的の表示時間を選択します。

4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

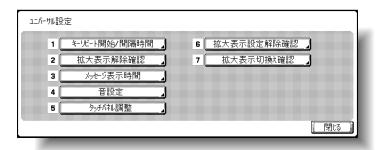
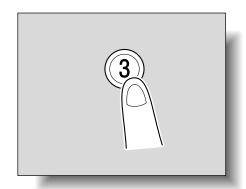
詳しく説明します

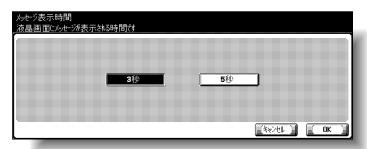
- 拡大表示解除確認画面を表示しない場合は、［しない］を押します。
- 拡大表示解除確認画面を表示する場合は、目的の時間キーを押します。時間は、［30 秒］、［60 秒］、［90 秒］、［120 秒］から選択できます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ メッセージ表示時間の設定をする

誤った操作を行ったときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定できます。

1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［メッセージ表示時間］またはテンキーの【3】を押します。

メッセージ表示時間設定画面が表示されます。

3 メッセージ表示時間を選択します。

4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

ひとこと

出荷時設定では、［3 秒］に設定されています。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

- メッセージ表示時間は、［3 秒］、［5 秒］から選択できます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

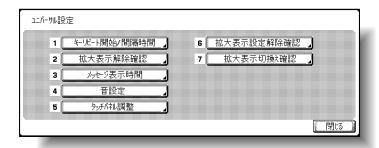
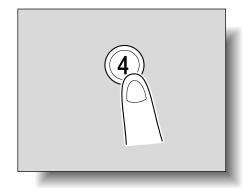
基本設定画面にもどります。

■ キー受付音を設定する

キー受付音の設定をします。

操作パネルのキーやタッチパネルのキーを押したときに、音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。

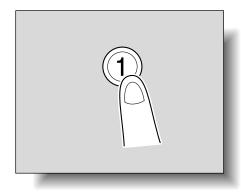
1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［音設定］またはテンキーの【4】を押します。

音設定画面が表示されます。

3 ［受付音］またはテンキーの【1】を押します。

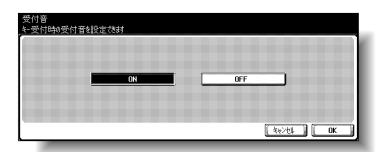
ひとこと

出荷時設定では、受付音は［ON］に設定されています。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

受付音設定画面が表示されます。

4

受付音を設定します。

❍ 鳴らす場合は［ON］を、鳴らさない場合は［OFF］を押します。

5

［OK］を押します。

音設定画面にもどります。

6

［閉じる］を押します。

ユニバーサル画面にもどります。

7

［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

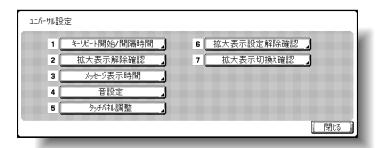
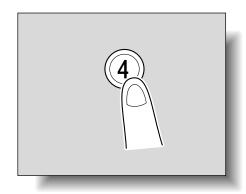
［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 警告音を設定する

警告音の設定をします。

紙づまりや用紙がなくなったときなど、警告時に音を鳴らすか鳴らさないかを設定できます。また、音の長さも設定することができます。

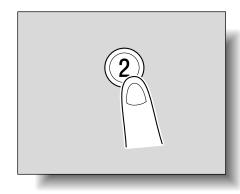
1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［音設定］またはテンキーの【4】を押します。

音設定画面が表示されます。

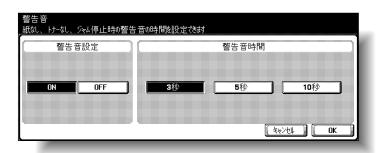
ひとこと

出荷時設定では、警告音は［ON］、警告音時間は［3秒］に設定されています。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

3 ［警告音］またはテンキーの【2】を押します。

警告音設定画面が表示されます。

4 警告音を設定します。

❍ 鳴らす場合は［ON］を、鳴らさない場合は［OFF］を押します。
❍ 警告音の時間を選択します。

5 ［OK］を押します。

音設定画面にもどります。

6 ［閉じる］を押します。

ユニバーサル画面にもどります。

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

7

［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

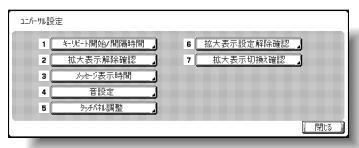
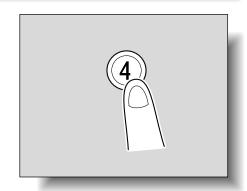
■ ブザー音量を設定する

ブザー音量の設定をします。操作パネルやタッチパネルのキーを押したときの音の大きさが設定できます。

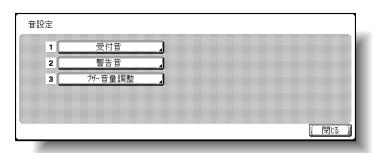
1

ユニバーサル設定画面を表示させます。

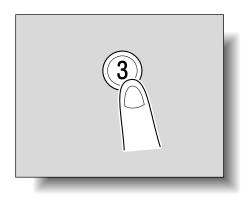
2

［音設定］またはテンキーの【4】を押します。

音設定画面が表示されます。

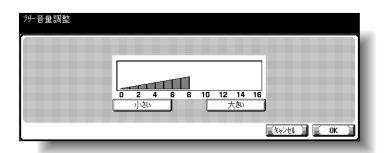
3

［ブザー音量調整］またはテンキーの【3】を押します。

ひとこと

出荷時設定では、ブザー音量は「ステップ 8」に設定されています。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

ブザー音量調整画面が表示されます。

4 ブザー音量を設定します。

❍［小さい］または［大きい］を押して設定します。

5 ［OK］を押します。

音設定画面にもどります。

6 ［閉じる］を押します。

ユニバーサル画面にもどります。

7 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

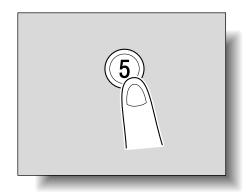
- ブザー音量は、0~16 ステップから選択できます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

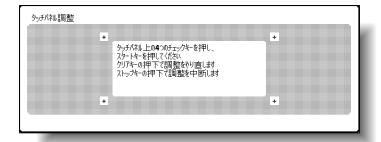
■ タッチパネルの調整をする

タッチパネルのキーを押しても正常に反応しないときは、パネル内のキー表示位置と実際のタッチセンサーの位置がずれている可能性があるため、タッチパネルの表示位置を調整します。

1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［タッチパネル調整］またはテンキーの【5】を押します。

ユニバーサル設定
1 キーリピート開始/間隔時間
2 拡大表示解除確認
3 メッセージ表示時間
4 音設定
5 タッチパネル調整
6 拡大表示設定解除確認
7 拡大表示切換え確認
閉じる

タッチパネル調整画面が表示されます。

3 4つのチェックキー［+］を、ブザー音を確認しながら押します。

正しく押されると、【スタート】のランプが緑色に点灯します。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

ひとこと

［タッチパネル調整］を押しても反応しない場合は、タッチセンサーと画面が合っていません。テンキーの【5】を押してください。

- チェックキー［+］を押す順番は、任意でかまいません。
- 調整をやり直すときは【クリア】を押し、4つのチェックキー［+］を押しなおしてください。
- タッチパネルの調整を中断する場合は、【ストップ】を押します。

【スタート】を押します。

タッチパネルの調整が行われ、ユニバーサル設定画面にもどります。

5

［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

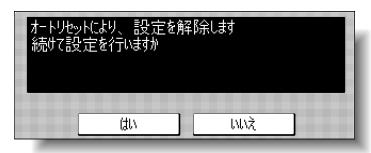
基本設定画面にもどります。

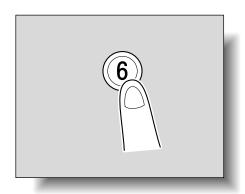
ひとこと

調整できないときは、サービス実施店にご連絡ください。

■ 拡大表示機能時の設定解除確認表示の設定をする

オートリセット機能が動作するときに、拡大表示の設定解除確認画面を表示できます。

また、拡大表示の設定解除確認画面を表示する時間を設定できます。

1 ユニバーサル設定画面を表示させます。

2 ［拡大表示設定解除確認］またはテンキーの【6】を押します。

拡大表示設定解除確認画面が表示されます。

ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナ、ファクシミリの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、「しない」に設定されています。
- オートリセットの時間設定とシステムオートリセットの時間設定が同じ場合は、拡大表示解除確認画面の表示が優先され、拡大表示設定解除確認は表示されません。

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

3 目的の表示時間を選択します。

4 ［OK］を押します。

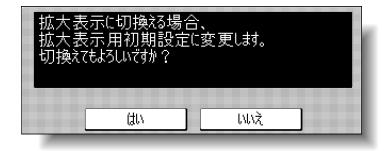
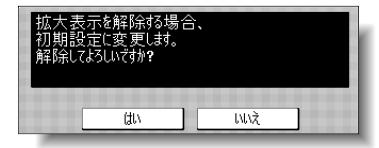
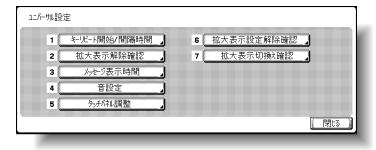
ユニバーサル設定画面にもどります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

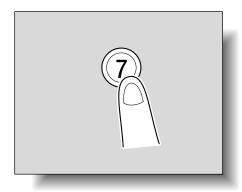
- 拡大表示設定解除確認画面を表示しない場合は、［しない］を押します。
- 拡大表示設定解除確認画面を表示する場合は、目的の時間キーを押します。時間は、[30 秒]、[60 秒]、[90 秒]、[120 秒］から選択できます。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

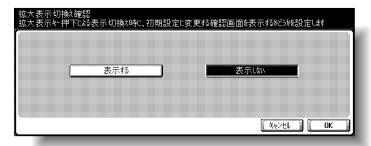
■ 拡大表示機能との切換え時に、初期設定への変更確認表示の設定をする

【拡大表示】を押して画面表示を切換えるときに、各設定が初期値にもどる確認画面を表示できます。

1. ユニバーサル設定画面を表示させます。
2. ［拡大表示切換え確認］またはテンキーの【7】を押します。

ひとこと

- 拡大表示画面は、コピー、スキャナ、ファクシミリの基本的な機能に対応しています。文字やイラストが拡大サイズで表示されるため見やすくなっています。拡大表示については、別冊の「ユーザーズガイド拡大表示機能編」をごらんください。
- 出荷時設定では、「表示しない」に設定されています。
- 拡大表示切換え確認画面で［いいえ］を押すと、画面表示は切換わりません。

参照

ユニバーサル設定画面の表示のしかたについては、「ユニバーサル設定画面を表示させる」（p. 4-19）をごらんください。

3 拡大表示切換え確認画面が表示されます。

表示方法を選択します。

4 ［OK］を押します。

ユニバーサル設定画面にもどります。

5 ［閉じる］または【ユニバーサル】を押します。

基本設定画面にもどります。

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

第 5 章
トラブルの処理

5
トラブル
の処理

トラブルの処理方法ついて説明します。

5.1 「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）.................................... 5-2
5.2 「紙づまりです」と表示されたら 5-4
5.3 「用紙を補給してください」と表示されたら 5-6
5.4 「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら 5-7
5.5 簡単なトラブルの処理 5-9
5.6 おもなメッセージと処理のしかた 5-12

5.1 「トラブルです」と表示されたら（サービスコール）

お客様では処理できないトラブルが起こったとき、「トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください」というメッセージが表示されます。（サービスコール画面）

サービスコール画面の中央には、通常、お客様のサービス実施店の電話番号とファクス番号が表示されます。

＜拡大表示機能時の表示＞

トラブルが発生すると下図が表示されます。

A→A を押すと、下図のメッセージが表示されます。

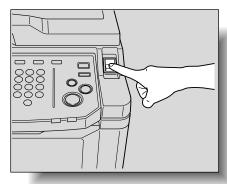
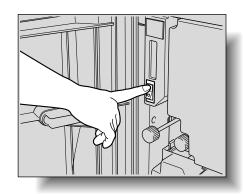
1 サービスコール画面のトラブルコード（例：C-0001）を書き留めます。

故障の原因になるおそれがありますので、サービスコール画面が表示されたら、速やかに左記の手順にしたがってサービス実施店にご連絡ください。

ひとこと

サービス実施店による CS Remote Care が行われている機械の場合は、自動でサービス実施店にトラブルコードが連絡されます。「すでに自動通報によりサービスに通知しましたお急ぎの時は担当営業所へ連絡願います」という画面表示を確認した後、【副電源スイッチ】、【主電源スイッチ】を OFF にして、本体の電源プラグをコンセントから抜いてください。

2

【副電源スイッチ】と【主電源スイッチ】を OFF にします。

3

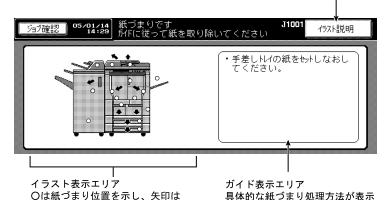
本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

4

サービス実施店に連絡し、書き留めたトラブルコードをお知らせください。

5.2 「紙づまりです」と表示されたら

コピー／プリント中に紙づまりが発生すると、「紙づまりです」というメッセージと、紙づまりの箇所が画面上に表示されます。（ジャム位置表示画面）

このとき、紙づまりが適切に処理されるまでは、コピー／プリントができなくなっています。

紙づまりが複数箇所で発生していると、複数の“○”マークや矢印が点滅、または点灯します。点滅している“○”マークや矢印は、最優先で処理すべき紙づまりの位置をあらわしています。ガイド表示エリアのメッセージに従って、紙づまり処理を行ってください。

1 ジャム位置表示画面の［イラスト説明］を押します。

イラスト説明画面が表示されます。

2 画面上の指示に従って、紙づまり処理を行います。

❍ つまっている用紙を取り除くときは、紙を破ったり、紙片を機内に残さないようにしてください。

❍ ドラム面に手を触れたり、傷をつけたりしないようにしてください。

ひとこと

• 左図は参考のため、すべての“○”マークと矢印を表示していますが、実際に全部表示されることはありません。
• ジャム位置表示画面のイラスト表示エリアに、ジャムコードを表示させることができます。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。

• イラスト説明画面が数ページにわたる場合は、画面右下に［次へ→］が表示されます。［次へ→］を押すと、次の画面に切換わります。
• 1 つ前のイラスト説明画面にもどるときは、［←前へ］を押します。
• ［JAM 位置表示］を押すと、ジャム位置表示画面にもどります。

紙づまり処理をする前に、警告ラベルや注意ラベルの位置を、p. 1-10 で必ずご確認ください。

処理が終わると、基本画面にもどります。

紙づまり箇所が複数の場合は、ジャム位置表示画面にもどります。次に処理すべき箇所とメッセージを確認し、手順 1 〜 2 を繰り返します。

紙づまり処理がすべて完了すると、基本画面にもどります。

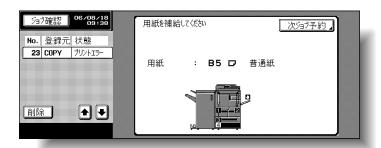
警告

本体内部中央のドラム部付近は、高電圧が発生しています。感電事故を防ぐため、紙づまり処理時にドラム部付近には絶対手を触れないようにしてください。

注意

本体内部左側の定着部は高温になっています。やけどの原因となりますので、紙づまり処理時にはこの付近に手を触れないようにしてください。

5.3「用紙を補給してください」と表示されたら

コピー中またはプリント終了後に用紙がなくなったときは、「用紙を補給してください」というメッセージが表示されます。

1 反転表示されているトレイを確認して、用紙を補給します。

❍ トレイの用紙がなくなったときに、別のトレイに入っている用紙を使って出力を続ける場合は、[給紙トレイ設定]を押し、任意のトレイを選択してください。

用紙の補給について詳しくは、「第1／第2給紙トレイへ用紙をセットする」(p. 2-36)、「第3／第4給紙トレイへ用紙をセットする」(p. 2-37)、「手差しトレイへ用紙をセットする」(p. 2-39)、「大容量給紙ユニット(LU-401/LU-402)へ用紙をセットする」(p. 2-42)をごらんください。

5.4 「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら

本機はメモリを使用してコピーを行っています。

メモリの容量には限りがありますので、コピー操作中にメモリ残量不足を起こしたときは、「メモリ残量不足のため、読込みの継続ができません」「メモリ残量不足のため、読込み中ジョブを削除しました」のメッセージが表示されます。

それぞれの方法にしたがって、作業を続けてください。

■ 読込み中のメモリ不足

コピー機能中の読込みで、メモリが足りず、読込みが停止したときに表示されます。

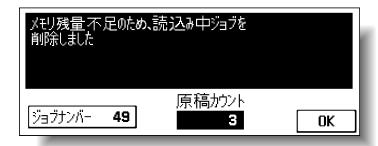
- 読込んだページまでをプリントするときは、[プリント]を押します。
- 読込んだページのジョブを破棄するときは、[削除]を押します。

＜拡大表示機能時の表示＞

■ 予約ジョブ中のメモリ不足

予約ジョブの原稿の読込み中に、メモリが足りなくなり、読込んだジョブを破棄したときに表示されます。

原稿カウントの枚数を確認して、予約ジョブ枚数を調整してください。

<拡大表示機能時の表示>

5.5 簡単なトラブルの処理

<table>
<tr><th></th><th>トラブルの内容</th><th>チェックポイント</th><th>処理のしかた</th></tr>
<tr><td rowspan="16">本体</td><td rowspan="2">【主電源スイッチ】を入れても機械が始動しない</td><td>コンセントへの接続は確実ですか？</td><td>【主電源スイッチ】および【副電源スイッチ】を OFF にした後に、電源プラグを正しくコンセントに接続してください。</td></tr>
<tr><td>【副電源スイッチ】は ON になっていますか？</td><td>【副電源スイッチ】を ON にしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">コピーがスタートしない</td><td>前ドア（右 / 左）やフィニッシャードアなど、ドアを確実に閉じていますか？</td><td>前ドア（右 / 左）やフィニッシャードアなど、ドアを確実に閉じてください。</td></tr>
<tr><td>原稿に見合った適正な用紙が入っていますか？</td><td>適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像がうすい／色がうすい</td><td>濃度の設定が、うすくなっていませんか？</td><td>濃度画面で［こく］を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 3-48）</td></tr>
<tr><td>用紙が湿気をおびていませんか？</td><td>用紙を新しいものに交換してください。（p. 2-36）、（p. 2-37）、（p. 2-39）、（p. 2-42）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像がこい／色がこい</td><td>濃度の設定が、こくなっていませんか？</td><td>濃度画面で［うすく］を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。（p. 3-48）</td></tr>
<tr><td>原稿が原稿ガラス上から浮き上がっていませんか？</td><td>原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。（p. 3-8）</td></tr>
<tr><td rowspan="2">画像がにじむまたはボケる</td><td>用紙が湿気をおびていませんか？</td><td>用紙を新しいものに交換してください。（p. 2-36）、（p. 2-37）、（p. 2-39）、（p. 2-42）</td></tr>
<tr><td>原稿が原稿ガラス上から浮き上がっていませんか？</td><td>原稿が原稿ガラス上に密着するようにセットしてください。（p. 3-8）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">プリントの全体が汚れる
プリントにスジが表れる</td><td>原稿ガラスが汚れていませんか？</td><td>原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 10-2）</td></tr>
<tr><td>スリットガラスが汚れていませんか？</td><td>スリットガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 10-2）</td></tr>
<tr><td>ADF プラテンガイドカバーが汚れていませんか？</td><td>ADF プラテンガイドカバーを柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 10-4）</td></tr>
<tr><td>第 2 原紙、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか？</td><td>原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。（p. 3-8）</td></tr>
<tr><td>両面原稿を使っていませんか？</td><td>うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、おもて面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。（p. 3-49）</td></tr>
</table>

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
	プリントの画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか？	原稿を原稿スケールに、正しくセットしてください。（p. 3-8） 原稿を ADF にセットし、原稿セットガイドを原稿サイズに正しく合わせてください。（p. 3-6）
		ADF に適した原稿がセットされていますか？	ADF に適していない原稿の場合は、原稿ガラスを使用してコピーしてください。（p. 3-8）
		原稿ガラスに異物が付着していませんか？（ADF 使用時）	原稿ガラスを柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 10-2）
		給紙トレイのガイド板がきちんと用紙に合わせてありますか？	用紙端面にきちんとガイド板を合わせてください。
		カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか？	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。
	プリントされた用紙が反っている	お使いになる用紙（再生紙など）によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
			吸湿していない、新しい用紙に交換してください。
	画像の周りが汚れる	ADF プラテンガイドカバーが汚れていませんか？	ADF プラテンガイドカバーを柔らかな布で乾拭きしてください。（p. 10-4）
		原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか？ （等倍コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。（p. 3-30）
		原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか？ （等倍コピー時）	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
		用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか？ （縮小コピー倍率手動入力時）	用紙サイズにあった倍率を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。（p. 3-30）
	紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか？	JAM 位置表示などを見て、他の場所につまっている用紙を取り除いてください。（p. 5-4）
	両面＞片面、両面＞両面機能にならない	組合わせできない設定を選んでいませんか？	選んでいる設定の組合わせをご確認ください。
	部門管理設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	「部門別カウンタが上限値です」が表示されていませんか？	管理者にご確認ください。

	トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
ADF	原稿が送られない	ADF が浮いていませんか？	ADF を確実に閉じてください。
		仕様以外の原稿を使用していませんか？	仕様に合った原稿にかえてください。（p. 7-31）
		正しく原稿をセットしてありますか？	原稿を正しくセットしてください。（p. 3-6）
フィニッシャー	フィニッシャーが作動しない	フィニッシャー内に紙づまりがありませんか？	紙片があれば取り除いてください。
		フィニッシャードアは完全に閉じていますか？	フィニッシャードアを確実に閉じてください。
	ステープルができない	ステープル針がなくなっていませんか？	ステープル針を補給してください。（p. 9-7）
	ステープルの位置が 90 度ずれる	ステープルの位置指定は合っていますか？	ステープルの位置を目的の位置に指定してください。（p. 3-57）
	排紙される用紙が均一に積載されず、パンチ穴やステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか？	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
		用紙をセットしている給紙トレイのガイド板と用紙の間に隙間がありませんか？	給紙トレイのガイド板を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	パンチを設定してもパンチされない（PK-502/PK-503/ZU-602 が装着された FS-504/FS-505/FS-602）	「パンチくずがいっぱいです」が表示されていませんか？	パンチ廃棄ボックスからパンチくずをすててください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。
処理してもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

5.6 おもなメッセージと処理のしかた

メッセージ	原因	処理のしかた
原稿ガラス上に原稿が残っています	原稿ガラス上に原稿を置き忘れています。	原稿ガラス上の原稿を取り除いてください。
最適用紙がありません 用紙を選択してください	適合するサイズの用紙が用紙トレイにセットされていません。	他のサイズのコピー用紙を選択するか、必要なサイズの用紙をセットしてください。
原稿サイズが検出できません 用紙を選択してください	原稿が正しくセットされていません。	原稿を正しくセットしてください。
	不定形サイズまたは、検出できない小サイズの原稿を使用しています。	コピー用紙を選択して、コピーしてください。
○○○ とは同時設定できません	先の設定が優先される機能を選択しています。	先に設定した機能を解除するなど、どちらか一方の機能でコピーしてください。
トレイの容量オーバーです →のトレイのコピー用紙を取り除いてください	表示されているフィニッシャートレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	表示されているトレイ上のコピー用紙をすべて取り除いてください。
ログインするユーザ名とパスワードを入力してください	ユーザ認証が設定されています。ユーザ名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	ユーザ名と正しいパスワードを入力してください。(p. 2-30)
ログインする部門名とパスワードを入力してください	部門管理が設定されています。部門名と正しいパスワードを入力しない限りコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。(p. 2-33)
部門別カウンタが上限値です	プリントできる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
→部が開いています 確実に閉めてください	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、コピーができません。	本体のドアやカバー、オプションを確実にセットしてください。
用紙を補給してください	表示されているトレイに用紙がありません。	コピー用紙を補給してください。(p. 2-36、p. 2-37、p. 2-39、p. 2-42)
トナーがなくなりました	トナーがなくなったため、コピーできません。	トナーカートリッジを交換してください。
ステープル針がありません。ステープルカートリッジを交換するか、ステープルを解除してください	ステープル針がなくなりました。	ステープルカートリッジを交換してください。(p. 9-7)
紙づまりです	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取り除いてください。(p. 5-4)
トラブルです サービスにトラブルコードを連絡してください	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店に連絡してください。

上記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。処理してもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

第 6 章
仕様・保守サービス

本体およびオプションの仕様・保守サービスについて説明します。

6.1　仕様 6-2
6.2　保守サービス 6-12

6.1　仕様

■ 本体仕様

仕様	
形式	コンソールタイプ
原稿台方式	固定式
感光体	OPC
光源	キセノンランプ
複写方式	レーザー静電転写方式
現像方式	乾式 2 成分反転磁気ブラシ現像
定着方式	ヒートローラ
解像度	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類：シート、ブック（見開き）、立体物 サイズ：最大 A3（11 × 17） 厚み：最大 30 mm、重量：6.8 kg（立体物）
複写紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 ～ 200 g/m^2）、 薄紙（50 ～ 59 g/m^2）、ユーザ紙 1/2/3、再生紙、色紙、特殊紙、 上質紙、ラベル紙 *、レターヘッド紙、インデックス紙、 OHP フィルム *、第 2 原紙 *、官製はがき * は手差しトレイのみ使用可
複写紙サイズ	＜第 1 ／第 2 給紙トレイ＞ A4、B5、A5、官製はがき、8-1/2 × 11、5-1/2 × 8-1/2 ＜第 3 ／第 4 給紙トレイ＞ A3 ～ A5、官製はがき、11 × 17、8-1/2 × 11、 8-1/2 × 14、F4 [*1] 幅：182 mm ～ 314 mm、長さ：139.7 mm ～ 458 mm ＜手差しトレイ＞ A3 ～ B6、官製はがき、11 × 17、8-1/2 × 11、 8-1/2 × 14 幅：100 mm ～ 314 mm、長さ：139.7 mm ～ 458 mm
用紙収容枚数	＜第 1 給紙トレイ＞ 普通紙：1,650 枚（64 g/m^2） ＜第 2 給紙トレイ＞ 普通紙：1,100 枚（64 g/m^2） ＜第 3 ／第 4 給紙トレイ（ユニバーサルトレイ）＞ 普通紙：550 枚（64 g/m^2） ＜手差しトレイ（ユニバーサルトレイ）＞ 普通紙：100 枚（64 g/m^2）
ウォームアップタイム	約 30 秒
画像欠損	先端・後端 1.5 mm±1.5 mm（オモテ面）／ 2.0 mm±2.0 mm（ウラ面）以内、手前・奥側 1 mm±1 mm 以内
ファーストコピータイム	bizhub 750：2.9 秒以下 bizhub 600：3.3 秒以下

仕様	
連続複写速度	bizhub 750：75 枚 / 分（A4 ）、43 枚 / 分（A3 ）、 49 枚 / 分（B4 ）、58 枚 / 分（A4 ）、65 枚 / 分（B5 ）、 75 枚 / 分（B5 ）、75 枚 / 分（A5 ） bizhub 600：60 枚 / 分（A4 ）、35 枚 / 分（A3 ）、 40 枚 / 分（B4 ）、47 枚 / 分（A4 ）、52 枚 / 分（B5 ）、 60 枚 / 分（B5 ）、60 枚 / 分（A5 ）
複写倍率	等倍：× 1.000±1.0% 以下 拡大：× 1.154、× 1.224、× 1.414、× 2.000 縮小：× 0.866、× 0.816、× 0.707、× 0.500 小さめ：0.930 ズーム：× 0.250 ～ × 4.000　0.1 % 単位 倍率登録　3
連続複写枚数	1 ～ 9,999 枚、1 ～ 9,999 部
濃度調整	コピー濃度：自動および手動調整（9 段階） 下地濃度：手動調整（9 段階）
電源	AC100 V、15 A、50/60 Hz
騒音	75 dB 以下（作動時）
消費電力	最大 1.5 KW 以下（含オプション）
エネルギー消費効率	bizhub 750：106 wh/h bizhub 600：55 wh/h
大きさ	幅 650 mm × 奥行 791 mm × 高さ 1,140 mm
機械占有寸法 *2	幅 1,275 mm × 奥行 791 mm
メモリ	512 MB
質量	約 222 kg

*1　F4（Foolscap）には、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8-1/2 × 13 、8 × 13 の 4 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

*2　機械占有寸法は、手差しトレイを最大に開いた状態の寸法です。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

6
仕様・保守サービス

■ ADF

仕様	
原稿通紙機能	標準機能：片面原稿、両面原稿 混載原稿機能：片面原稿、両面原稿 Z 折れ原稿機能：片面原稿 インデックス原稿機能：片面原稿
原稿種類	50 g/m^2 ～ 200 g/m^2
原稿サイズ	片面原稿 / 両面原稿：A3 ～ B6 、官製はがき、 11 × 17 、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11 混載原稿：表 1 を参照
原稿積載量	最大 100 枚（80 g/m^2）
電源	本体から供給
大きさ	幅 625 mm × 奥行 576 mm × 高さ 154 mm
質量	約 12.9 kg

表 1（混載原稿時の組み合わせ表）

最大原稿幅→ ↓原稿サイズ	A3	A4	B4	B5	A4	A5	B5	A5	B6
A3	○	○	—	—	—	—	—	—	—
A4	○	○	—	—	—	—	—	—	—
B4	○	○	○	○	—	—	—	—	—
B5	○	○	○	○	—	—	—	—	—
A4	○	○	○	○	○	○	—	—	—
A5	○	○	○	○	○	○	—	—	—
B5	—	—	○	○	○	○	○	—	—
A5	—	—	—	—	—	—	—	○	—
B6	—	—	—	—	—	—	—	○	○

○：可

—：不可

■ 大容量給紙ユニット LU-401

仕様	
用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、 薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）
用紙サイズ	A4、B5、8-1/2 × 11、幅 182 ～ 223 mm × 長さ 257 ～ 314 mm
収容枚数	5,000 枚（64 g/m^2 紙）
電源	本体から供給
大きさ	幅 430 mm × 奥行 639 mm × 高さ 690 mm
質量	30 kg

■ 大容量給紙ユニット LU-402

仕様	
用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、 薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）
用紙サイズ	A3 ～ A4 /、11 × 17、8-1/2 × 11 /、 8-1/2 × 14、F4[*1]、幅 182 ～ 458 mm × 長さ 257 ～ 314 mm
収容枚数	4,500 枚（64 g/m^2 紙）
電源	本体から供給
大きさ	幅 670 mm × 奥行 639 mm × 高さ 695 mm
質量	42 kg

*1 F4（Foolscap）には、8-1/4 × 13、8-1/8 × 13-1/4、8-1/2 × 13、8 × 13 の 4 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

■ フィニッシャー FS-504

仕様	
排出トレイ	メイントレイ、サブトレイ
通紙機能	ノンステープル、オフセット、ステープル
用紙種類	＜メイントレイ＞ ソート、グループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）、ラベル紙、 OHP フィルム、第 2 原紙、官製はがき 仕分けソート、仕分けグループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙） ステープル：普通紙（60 ～ 90g/m^2 紙） ＜サブトレイ＞ ソート、グループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）、官製はがき
用紙サイズ	＜メイントレイ＞ A3 ～ B6、A6、官製はがき、 11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /、8-1/2 × 14、F4 ＜サブトレイ＞ A3 ～ B6、A6、官製はがき、 11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /、8-1/2 × 14、F4
用紙積載量	＜メイントレイ＞ B4 以上 1,500 枚、A4 ～ B5 3,000 枚、A5 以下 500 枚、100 部（A4 ステープル 9 枚） ＜サブトレイ＞ 200 枚
シフト量	30 mm
ステープル機能	用紙サイズ（とじ枚数）：A3 ～ A5（2 ～ 50 枚）
電源	本体から供給
大きさ	幅 424 mm × 奥行 656 mm × 高さ 990 mm
質量	約 60 kg
消耗品	ステープルカートリッジ

■ フィニッシャー FS-505

仕様	
排出トレイ	メイントレイ、サブトレイ
通紙機能	ノンステープル、オフセット、ステープル
用紙種類	＜メイントレイ＞ ソート、グループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）、ラベル紙、 OHP フィルム、第 2 原紙、官製はがき 仕分けソート、仕分けグループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙） ステープル：普通紙（60 ～ 90g/m^2 紙） ＜サブトレイ＞ ソート、グループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）、官製はがき
用紙サイズ	＜メイントレイ＞ A3 ～ B6、A6、官製はがき、 11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2、8-1/2 × 14、F4 ＜サブトレイ＞ A3 ～ B6、A6、官製はがき、 11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2、8-1/2 × 14、F4
用紙積載量	＜メイントレイ＞ B4 以上 1,500 枚、A4 ～ B5 3,000 枚、A5 以下 500 枚、100 部（A4 ステープル 9 枚） ＜サブトレイ＞ 200 枚
シフト量	30 mm
ステープル機能	用紙サイズ：とじ枚数 A3：2 ～ 50 枚　B4：2 ～ 65 枚　その他：2 ～ 100 枚
電源	本体から供給
大きさ	幅 424 mm × 奥行 656 mm × 高さ 990 mm
質量	約 60 kg
消耗品	ステープルカートリッジ

■ フィニッシャー FS-602

仕様	
排出トレイ	メイントレイ、サブトレイ、BM トレイ
通紙機能	ノンステープル、オフセット、ステープル、ブックレット、3 つ折り
用紙種類	＜メイントレイ＞ ソート、グループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）、ラベル紙、 OHP フィルム、第 2 原紙、官製はがき 仕分けソート、仕分けグループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙 （91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙） ステープル：普通紙（60 ～ 80 g/m^2 紙） ＜サブトレイ＞ ソート、グループ：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）、官製はがき ＜ BM トレイ＞ ブックレット（中とじ）：普通紙（60 ～ 80 g/m^2 紙）、 ブックレット（中折り）：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、 厚紙（91 ～ 105 g/m^2 紙） 3 つ折り：普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙（91 ～ 105 g/m^2 紙）
用紙サイズ	＜メイントレイ＞ A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、官製はがき、 11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、8-1/2 × 14 ▭、F4 ＜サブトレイ＞ A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、官製はがき、 11 × 17 ▭ ～ 5-1/2 × 8-1/2 ▭/▯、8-1/2 × 14 ▭、F4 ＜ BM トレイ＞ A3 ワイド ▭ ～ A4 ▭
用紙積載量	＜メイントレイ＞ B4 以上 1,500 枚、A4 ～ B5 2,500 枚、A5 以下 500 枚、100 部（A4 ステープル 9 枚） ＜サブトレイ＞ 200 枚 ＜ BM トレイ＞ 20 部（A3 中とじ 5 枚）、33 部（A3 中折り 3 枚）、 50 部（3 つ折り 1 枚）
シフト量	30 mm
ステープル機能	用紙サイズ（とじ枚数）：A3 ▭ ～ A5 ▯（2 ～ 50 枚）
電源	本体から供給
大きさ	幅 424 mm × 奥行 656 mm × 高さ 990 mm
質量	約 65 kg
消耗品	ステープルカートリッジ

■ パンチキット PK-502/PK-503

仕様	
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴径	6.5±0.5 mm
パンチ穴ピッチ	80±0.5 mm
用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙（91 ～ 128 g/m^2 紙）
用紙サイズ	A3 ～ A5
電源	フィニッシャーから供給
大きさ	幅 68 mm × 奥行 442 mm × 高さ 120 mm（PK-502）/ 幅 130 mm × 奥行 470 mm × 高さ 115 mm（PK-503）
質量	約 2 kg（PK-502）/ 約 3 kg（PK-503）

■ Z 折りユニット ZU-602

仕様	
パンチ穴数	2 穴
パンチ穴径	6.5±0.5 mm
穴ピッチ	80±0.5 mm
パンチ出力時の用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）
パンチ出力時の用紙サイズ	A3 ～ A5
折り種類	Z 折り
Z 折り出力時の用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）
Z 折り出力時の用紙サイズ	A3、B4
電源	外部コンセントから供給
大きさ	幅 169 mm × 奥行 660 mm × 高さ 930 mm
質量	約 38 kg

■ ポストインサータ PI-501

仕様	
構成	上下 2 段給紙トレイ
カバー紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、 薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）
カバー紙サイズ	上段トレイ：A4 ▭/▯ ～ A5 ▯ 下段トレイ：A3▭ ～ A5 ▯、 ワイドサイズ紙（最大 314 mm × 458 mm）
用紙積載量	上段・下段とも 200 枚
電源	フィニッシャーから供給
大きさ	幅 511 mm × 奥行 620 mm × 高さ 220 mm
質量	約 10.5 kg

■ シフトトレイ SF-601

仕様	
用紙種類	普通紙（60 ～ 90 g/m^2 紙）、厚紙（91 ～ 200 g/m^2 紙）、 薄紙（50 ～ 59 g/m^2 紙）
用紙サイズ	A3 ▭ ～ B6 ▭、A6 ▭、官製はがき
用紙積載量	B4 以上 500 枚、A4 ～ B5 1,250 枚、A5 以下 100 枚
シフト量	30 mm
電源	本体から供給
大きさ	幅 400 mm × 奥行 600 mm × 高さ 480 mm
質量	約 15 kg

■ セキュリティキット SC-501

仕様	
基本機能	HDD 保存データの暗号化、読み出しデータの複合化

■ 同梱品

bizhub 750/600 CD	1
ドラム	1
現像剤	1
トレイラベル	1
ユーザーズガイド ・コピー機能編 ・拡大表示機能編 ・ボックス機能編 ・ネットワーク／スキャナ機能編 ・ファクシミリ機能編 ・ネットワークファクス機能編	各 1
チャージシステムお申し込み書	1
QA シート	1
インストールマニュアル	1
ワーキングテーブル	1
機内ヒーター	1
副電源表示集合ラベル	1
はがきレバー集合ラベル	1
感光体管理シール	1

6.2 保守サービス

本機には以下の保守サービスシステムがあります。

- コピーチャージシステム

機械を安定した状態でお使いいただくための保守サービスをご提供いたします。専門のサービス技術者を派遣し、点検、整備及び部品交換を行います。

その対価としてコピーチャージ料金を申し受けるシステムです。

尚、保守サービスの為に必要な補修用性能部品（機械の性能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は複写機の製造中止後 7 年間です。

第 7 章
用紙・原稿について

本機で使用する用紙と原稿の条件について説明します。

7.1　用紙について 7-2
7.2　手差しトレイの用紙設定 7-8
7.3　給紙トレイの用紙設定 7-20
7.4　原稿について 7-31

7.1 用紙について

以下の条件を満たす用紙をご使用ください。

■ 使用できる用紙サイズ

不定形サイズ紙：

給紙口・その他		用紙幅	用紙長
手差しトレイ		100.0 mm ～ 314.0 mm	139.7 mm ～ 458.0 mm
第 3 ／第 4 給紙トレイ		182.0 mm ～ 314.0 mm	139.7 mm ～ 458.0 mm
大容量給紙ユニット	LU-401	257.0 mm ～ 314.0 mm	182.0 mm ～ 223.0 mm
	LU-402	210.0 mm ～ 314.0 mm	195.0 mm ～ 458.0 mm
両面プリント		105.0 mm ～ 314.0 mm	149.0 mm ～ 458.0 mm

定形紙：

給紙口・その他		用紙サイズ
手差しトレイ		A3 ～ B6 *1、11 × 17 、5-1/2 × 8-1/2 / *1、8-1/2 × 14 *1、F4*1、官製はがき *2
第 1 ／第 2 給紙トレイ		A4 、B5 、A5 *1、8-1/2 × 11 、5-1/2 × 8-1/2 *1、官製はがき *2
第 3 ／第 4 給紙トレイ		A3 ～ A5 *1、11 × 17 、5-1/2 × 8-1/2 *1、8-1/2 × 11 *1/ 、8-1/2 × 14 *1、F4*1、官製はがき *2
大容量給紙ユニット	LU-401	A4 、B5 、8-1/2 × 11
	LU-402	A3 ～ A4 / *1、11 × 17 、8-1/2 × 11 *1/ 、8-1/2 × 14 *1、F4*1
両面プリント		A3 ～ A5 *1、11 × 17 、5-1/2 × 8-1/2 *1、8-1/2 × 14 *1、F4*1

積載する装置	積載可能サイズ
フィニッシャー FS-504	＜メイントレイ＞ ソート、グループ：A3 ～ B6、A6、官製はがき *2 仕分けソート、仕分けグループ：A3 ～ B5 ステープル：A3 ～ B5、A5 パンチ：A3 ～ A5 / *3 ＜サブトレイ＞ ソート、グループ：A3 ～ B6、A6、官製はがき *2
フィニッシャー FS-505	＜メイントレイ＞ ソート、グループ：A3 ～ B6、A6、官製はがき *2 仕分けソート、仕分けグループ：A3 ～ B5 ステープル：A3 ～ B5、A5 パンチ：A3 ～ A5 / *3 ＜サブトレイ＞ ソート、グループ：A3 ～ B6、A6、官製はがき *2
フィニッシャー FS-602	＜メイントレイ＞ ソート、グループ：A3 ～ B6、A6、官製はがき *2 仕分けソート、仕分けグループ、ステープル：A3 ～ B5 パンチ：A3 ～ A5 / *3 ＜サブトレイ＞ ソート、グループ：A3 ～ B6、A6、官製はがき *2 ＜ BM トレイ＞ ブックレット（中とじ / 中折り）：A3 ～ A4 3 つ折り：A4
シフトトレイ SF-601	A3 ～ B5、A5、A6、官製はがき *2
排紙トレイ（標準）	A3 ～ B6、11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2、 8-1/2 × 14 *1、F4 *1、官製はがき *2

*1　以下の用紙サイズは、管理者設定でいずれかを選択できます。（p. 12-37）
- A4 または 8-1/2 × 11
- A5 または 5-1/2 × 8-1/2
- 8-1/2 × 14 または F4

F4 は 4 種類のサイズから 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス技術者におたずねください。

*2　官製はがきは、方向にのみセット可能です。

*3　オプションのパンチキット PK-502/PK-503 または、Z 折りユニット ZU-602 を装着した場合に使用できます。

■ 用紙種類および用紙容量

用紙種類 給紙口・その他		普通紙	OHP フィルム	第 2 原紙	官製 はがき
手差しトレイ		100 枚	1 枚	1 枚	40 枚
第 1 給紙トレイ		1,650 枚 （64 g/m^2 紙）	—	—	600 枚
第 2 給紙トレイ		1,100 枚 （64 g/m^2 紙）	—	—	400 枚
第 3 ／ 4 給紙トレイ		550 枚 （64 g/m^2 紙）	—	—	200 枚
大容量給紙ユニット	LU-401	5,000 枚 （64 g/m^2 紙）	—	—	—
	LU-402	4,500 枚 （64 g/m^2 紙）	—	—	—
両面プリント		○	—	—	—

■ 専用紙について

OHP フィルムや色紙など、普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。OHP フィルムや色紙などをセットした給紙トレイは、必ず専用紙として設定してください。誤使用を防止できます。

用紙種類	アイコン	説明
特殊紙		特定のメーカーの用紙や普段頻繁に使用したくないような特別な用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
厚紙		坪量 91 g/m^2 ～ 200 g/m^2 の厚手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。
薄紙		坪量 50 g/m^2 ～ 59 g/m^2 の薄手の用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
OHP		OHP フィルムをセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。
ユーザ紙 1		ユーザ紙 1 をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
ユーザ紙 2		ユーザ紙 2 をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
ユーザ紙 3		ユーザ紙 3 をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
インデックス紙		インデックス紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。
再生紙		再生紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
色紙		色紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
上質紙		上質紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。*1
ラベル紙		ラベル紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。

用紙種類	アイコン	説明
レターヘッド紙		あらかじめ社名や定型文などがプリントされた普通紙とは区別したい用紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。
第 2 原紙		第 2 原紙をセットする場合に選択します。 自動用紙設定時および ATS（自動トレイ切換え機能）時、用紙を自動選択しません。

*1 ユーザ設定により、用紙を自動選択するように変更できます。詳しくは「＜給紙トレイ設定＞」（p. 12-18）をごらんください。

■ 用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。
プリント品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 一度通紙した OHP フィルム（白紙状態で排紙された OHP フィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンタやインクジェットプリンタでプリントされた用紙
- 厚すぎる用紙や薄すぎる用紙
- 折目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

■ 用紙の保管

- 用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。
- 用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
  トレイにセットしきれなかった用紙は、包装紙に包み、または包装紙から取出した用紙はポリ袋に入れ、湿気の少ない冷暗所に保管してください。
- 用紙は、立てて置かずに水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。
- 幼児や子供の手の届くところには置かないようにしてください。

■ ATS 機能（自動トレイ切換え機能）

連続プリント中、選択した給紙トレイの用紙が無くなった場合、以下の動作条件を満たした他の給紙トレイがあれば、自動的に給紙トレイを切換えてプリントを続けます。オプションの大容量給紙ユニット LU-401 を装着した場合、最大 8,950 枚（A4（64 g/m^2）の場合）の連続プリントが可能となります。（ユーザ設定の「ATS 許可」で「許可する」が設定されている場合だけ可能となります。）

＜動作条件＞

- 同じサイズの用紙
- 同じ向きの用紙
- 同じ種類の用紙
- 自動選択トレイで選択されている給紙トレイ

参照

自動選択トレイで選択される給紙トレイの設定については、「環境設定」（p. 12-18）をごらんください。

■ 給紙トレイ切換え順位

ATS 機能（自動トレイ切換え機能）がはたらいた場合、ユーザ設定の「給紙トレイ自動選択」で設定した優先順位で給紙トレイが選択されます。

給紙トレイの優先順位を変更したい場合は、「環境設定」（p. 12-18）をごらんください。

7.2 手差しトレイの用紙設定

ここでは、手差しトレイにセットされた用紙サイズおよび用紙種類の設定方法について説明します。

■ 用紙サイズを自動で検出させる（自動検出）

手差しトレイの用紙サイズを自動的に検出します。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを選択し、［選択トレイの設定変更］を押します。

3 ［自動検出］を押します。

4 ［OK］を２回押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

出荷時設定では［自動検出］が設定されています。

参照

- 第３／第４給紙トレイの用紙設定については「給紙トレイの用紙設定」（p. 7-20）をごらんください。
- 手差しトレイの用紙のセットについては「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

■ 用紙サイズを指定する（サイズ指定）

手差しトレイで、自動検出されないサイズを選択する場合に設定します。

例えば、インチサイズの用紙など自動的にサイズ検出されない用紙を設定しておくと、頻繁に使用する環境では便利です。

ここでは手差しトレイに 8-1/2 × 11 インチ用紙を設定する方法を説明します。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを選択し、［選択トレイの設定変更］を押します。

3 ［サイズ指定］を押します。

サイズ指定画面が表示されます。

サイズ指定された用紙サイズ以外の用紙をセットした場合、用紙サイズを自動検出しないため、紙づまりの原因となります。

手差しトレイの用紙のセットについては「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

4

［8-1/2 × 11▭］を押します。

5

［OK］を 3 回押します。

基本設定画面にもどります。

■ 定形外サイズの用紙をセットする（不定形サイズ）

手差しトレイで、定形外サイズの用紙を使用する場合は、用紙サイズを入力する必要があります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを選択し、［選択トレイの設定変更］を押します。

3 ［不定形］を押します。

不定形サイズ画面が表示されます。

手差しトレイの用紙のセットについては「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

用紙の長さ［X］／幅［Y］を入力します。

- ❍［X］が反転していることを確認し、テンキーで X 辺の長さを設定します。（139.7 mm ～ 458.0 mm）
- ❍［Y］を押して反転させ、テンキーで Y 辺の長さを設定します。（100.0 mm ～ 314.0 mm）

5

［OK］を 3 回押します。

基本設定画面にもどります。

参照

- 入力した不定形サイズは、5 つまで登録できます。
- 用紙サイズの登録については「目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズーメモリ登録）」（p. 7-13）をごらんください。
- 登録した用紙サイズはメモリキーを押して呼び出します。
- メモリキーの名称は変更できます。変更のしかたについては「目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズーメモリ登録）」（p. 7-13）をごらんください。

詳しく説明します

- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

■ 目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズーメモリ登録）

手差しトレイでは、定形外の用紙サイズを 5 つまで登録できます。

よく使用する用紙サイズを登録しておけば、次回使用するときに用紙サイズを入力する必要がなくなります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを選択し、［選択トレイの設定変更］を押します。

3 ［不定形］を押します。

手差しトレイの用紙のセットについては「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

用紙の長さ［X］／幅［Y］を設定し、［メモリ登録］を押します。

❍［X］が反転していることを確認し、テンキーで、X 辺の長さを設定します。（139.7 mm ～ 458.0 mm）

❍［Y］を押して反転させ、テンキーで、Y 辺の長さを設定します。（100.0 mm ～ 314.0 mm）

• X 辺、Y 辺は、画面のイラストで確認してください。
• 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。
• 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

5

登録するメモリキーを押します。

❍ 登録名を変更する場合は、［用紙名称］を押し、変更するメモリキーを押します。

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 13-2）をごらんください。

❍ 表示されるキーボードで登録名称を入力し、[OK] を 2 回押します。

6

[OK] を 4 回押します。

基本設定画面にもどります。

■ ワイド紙の設定をする

手差しトレイで、ワイド紙を使用する場合は、用紙サイズを設定する必要があります。

ワイド紙は定形サイズの一回り大きいサイズの紙で、定形サイズの原稿紙端を欠損しないでコピーできます。例えば、A3 ワイド紙を使用すると、458 mm × 314 mm までプリントでき、A3 全面プリントが可能になります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを選択し、［選択トレイの設定変更］を押します。

3 ［ワイド紙］を押します。

ワイド紙画面が表示されます。

手差しトレイの用紙のセットについては「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

4

セットする用紙のサイズおよび画像合わせの位置を選択します。

5

サイズの変更をしたい場合は、［サイズ変更］を押します。

ワイド紙のサイズ変更画面が表示されます。

6

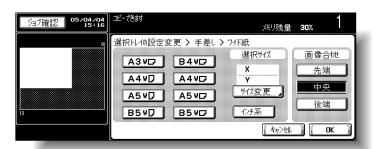
用紙の長さ［X］／幅［Y］を設定し、［OK］を押します。

❍［X］が反転していることを確認し、テンキーで、X 辺の長さを設定します。（最大 458.0 mm）

❍［Y］を押して反転させ、テンキーで、Y 辺の長さを設定します。（最大 314.0 mm）

7

［OK］を 3 回押します。

基本設定画面にもどります。

詳しく説明します

インチサイズの用紙を選択したい場合は［インチ系］を押します。インチ系用紙の一覧が表示されます。

詳しく説明します

- 入力したサイズは、サイズキーに登録されます。次回からは、サイズの入力は不要です。また、サイズを変更することもできます。
- 設定可能範囲を超える数値を入力した場合、「入力エラー」となります。設定可能範囲の数値を入力しなおしてください。設定可能範囲は、用紙のサイズによって異なります。
- 入力を間違えたときは、【クリア】を押し、正しい数値を入力します。

■ 専用紙として設定する

OHP フィルムや特殊紙などを専用紙として設定しておくことで、自動用紙機能や自動トレイ切換え機能がはたらいたとき、自動選択されなくなります。

1 基本設定画面の［用紙］を押します。

用紙画面が表示されます。

2 手差しトレイのキーを選択し、［選択トレイの設定変更］を押します。

3 専用紙の種類を設定します。

目的の用紙種類のキーを押します。

手差しトレイに OHP フィルムや厚紙をセットした場合、必ず該当する用紙種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。

手差しトレイの用紙のセットについては「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

［レターヘッド紙］、［インデックス紙］、［第 2 原紙］、［ユーザ紙 1/2/3］、［再生紙］、［上質紙］、［ラベル紙］、［色紙］を設定するときは、選択トレイの設定変更画面で［その他用紙］を押します。

［OK］を２回押します。

基本設定画面にもどります。

7.3 給紙トレイの用紙設定

ここでは、第3／第4給紙トレイの用紙サイズの設定方法、および各給紙トレイの用紙種類の設定方法について説明します。

■ 給紙トレイ設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、給紙トレイ設定画面を表示させるまでの手順を説明します。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［2 ユーザ設定］を押します。

ユーザ設定画面が表示されます。

3 ［1 環境設定］を押します。

ひとこと

第1／第2給紙トレイ、大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）の用紙サイズを変更したいときはサービス実施店にご連絡ください。

ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。
［2 ユーザ設定］の場合は、テンキーの【2】を押します。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、サブエリアの［終了］または【設定メニュー / カウンタ】を押します。コピー、スキャナ、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

環境設定画面が表示されます。

[3 給紙トレイ設定] を押します。

給紙トレイ設定画面が表示されます。

■ 定形サイズの用紙を設定する（定形サイズ）

第 3 ／第 4 給紙トレイで、定形サイズの用紙を設定します。

ここでは第 3 給紙トレイでの定形サイズの設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［1 用紙種類設定］を押します。

用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 第 3 給紙トレイのキーを選択し、「特殊サイズ設定」の［用紙サイズ種別］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

3 「用紙サイズ種別」の［定形サイズ］を押します。

4 ［OK］を押します。

給紙トレイに定形サイズの用紙をセットすると、用紙サイズが自動で検出されます。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 7-20）をごらんください。
- 第 3 ／第 4 給紙トレイの用紙サイズの変更のしかたは、「給紙トレイの用紙サイズを変更する」（p. 2-45）をごらんください。

ひとこと

表示される用紙サイズ画面は、選択されている用紙サイズ種別によって異なります。

■ 定形の特殊サイズ用紙を設定する（定形特殊サイズ）

第 3 ／第 4 給紙トレイで、代表的なインチサイズの用紙を使用する場合に定形特殊サイズを設定します。

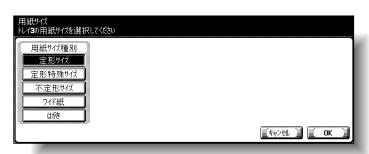
ここでは第 3 給紙トレイでの定形特殊サイズの設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［1 用紙種類設定］を押します。

用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 第 3 給紙トレイのキーを選択し、「特殊サイズ設定」の［用紙サイズ種別］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

3 「用紙サイズ種別」の［定形特殊サイズ］を押します。

設定できるサイズキーが表示されます。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 7-20）をごらんください。
- 第 3 ／第 4 給紙トレイの用紙サイズの変更のしかたは、「給紙トレイの用紙サイズを変更する」（p. 2-45）をごらんください。

ひとこと

表示される用紙サイズ画面は、選択されている用紙サイズ種別によって異なります。

セットする用紙のサイズを選択します。

5

［OK］を押します。

■ 定形外サイズの用紙を設定する（不定形サイズ）

第 3 ／第 4 給紙トレイで、定形外サイズの用紙を使用する場合に不定形サイズを設定します。

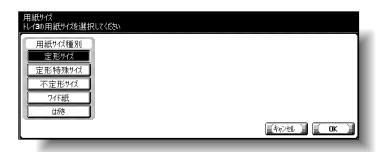
ここでは第 3 給紙トレイでの不定形サイズ用紙の設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［1 用紙種類設定］を押します。

用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 第 3 給紙トレイのキーを選択し、「特殊サイズ設定」の［用紙サイズ種別］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

3 「用紙サイズ種別」の［不定形サイズ］を押します。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 7-20）をごらんください。
- 第 3 ／第 4 給紙トレイの用紙サイズの変更のしかたは、「給紙トレイの用紙サイズを変更する」（p. 2-45）をごらんください。

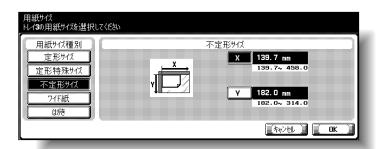
ひとこと

表示される用紙サイズ画面は、選択されている用紙サイズ種別によって異なります。

用紙の長さ［X］／幅［Y］を入力します。

❍ ［X］が反転していることを確認し、テンキーで X 辺の長さを設定します。（139.7 mm 〜 458.0mm）

❍ ［Y］を押して反転させ、テンキーで Y 辺の長さを設定します。（182.0 mm 〜 314.0 mm）

5

［OK］を押します。

■ ワイド紙を設定する（ワイド紙）

第 3 ／第 4 給紙トレイで、定形サイズの一回り大きいサイズの用紙を使用する場合にワイド紙を設定します。

ここでは第 3 給紙トレイでのワイド紙の設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［1 用紙種類設定］を押します。

用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 第 3 給紙トレイのキーを選択し、「特殊サイズ設定」の［用紙サイズ種別］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

3 「用紙サイズ種別」の［ワイド紙］を押します。

設定できるサイズキーが表示されます。

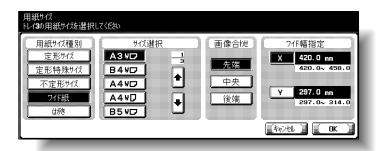
参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 7-20）をごらんください。
- 第 3 ／第 4 給紙トレイの用紙サイズの変更のしかたは、「給紙トレイの用紙サイズを変更する」（p. 2-45）をごらんください。

ひとこと

表示される用紙サイズ画面は、選択されている用紙サイズ種別によって異なります。

セットする用紙のサイズを選択します。

❍ サイズの指定をしたい場合は、テンキーで「ワイド幅指定」の長さ［X］／幅［Y］を入力します。

5 画像合わせの位置を選択します。

6 ［OK］を押します。

■ はがきを設定する（はがき）

第 3 ／第 4 給紙トレイで、官製はがきを使用する場合にはがきを設定します。

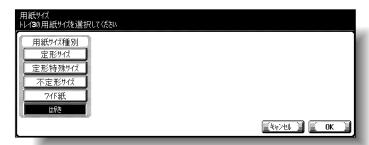
ここでは第 3 給紙トレイでのはがきの設定方法を説明します。

1 給紙トレイ設定画面で［1 用紙種類設定］を押します。

用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 第 3 給紙トレイのキーを選択し、「特殊サイズ設定」の［用紙サイズ種別］を押します。

用紙サイズ画面が表示されます。

3 「用紙サイズ種別」の［はがき］を押します。

4 ［OK］を押します。

参照

- 給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 7-20）をごらんください。
- 第 3 ／第 4 給紙トレイの用紙サイズの変更のしかたは、「給紙トレイの用紙サイズを変更する」（p. 2-45）をごらんください。

■ 用紙種類を設定する

第 1 ／第 2 ／第 3 ／第 4 給紙トレイ、大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）に用紙種類を設定できます。

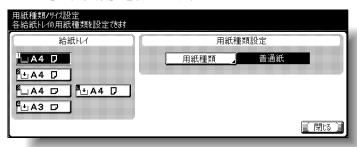
ここでは第 1 給紙トレイでの用紙種類の設定方法を説明します。

給紙トレイに OHP フィルムや厚紙をセットした場合、必ず該当する用紙種類に設定してください。誤った設定を行うと紙づまりの原因となります。

給紙トレイ設定画面の表示のしかたは、「給紙トレイ設定画面を表示させる」（p. 7-20）をごらんください。

1 給紙トレイ設定画面で［1 用紙種類設定］を押します。

用紙種類 / サイズ設定画面が表示されます。

2 第 1 給紙トレイのキーを選択し、「用紙種類設定」の［用紙種類］を押します。

用紙種類画面が表示されます。

3 セットする用紙の種類を選択します。

4 ［OK］を押します。

7.4 原稿について

原稿をコピーするときは、ADF または原稿ガラス上にセットします。

ADF にセットできない原稿は、原稿ガラス上に直接セットしてコピーしてください。

■ ADF にセットできる原稿

ADF を使用する場合、4 つの設定があります。

- 通常設定
- 混載原稿設定
- Z 折れ原稿設定
- インデックス原稿設定

各設定によりセット可能な原稿種類に制限があります。

Z 折れ原稿の読込みは、ADF のみとなります。

通常設定

	片面原稿／両面原稿
原稿種類／坪量	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、 厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、 薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）
原稿サイズ	A3 ～ B6 、官製はがき 11 × 17 、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11
積載量	100 枚（80 g/m^2）

混載原稿設定

	片面原稿／両面原稿
原稿種類／坪量	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、 厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、 薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）
原稿サイズ	混載原稿一覧参照
積載量	100 枚（80 g/m^2）

混載原稿一覧

「混載原稿」で使用できる定形紙の組み合わせは以下のとおりです。

最大原稿幅 *1 → ↓原稿サイズ *2	A3 ▭	A4 ▯	B4 ▭	B5 ▯	A4 ▭	A5 ▯	B5 ▭	A5 ▭	B6 ▭
A3 ▭	○	○	—	—	—	—	—	—	—
A4 ▯	○	○	—	—	—	—	—	—	—
B4 ▭	○	○	○	○	—	—	—	—	—
B5 ▯	○	○	○	○	—	—	—	—	—
A4 ▭	○	○	○	○	○	○	—	—	—
A5 ▯	○	○	○	○	○	○	—	—	—
B5 ▭	—	—	○	○	○	○	○	—	—
A5 ▭	—	—	—	—	—	—	—	○	—
B6 ▭	—	—	—	—	—	—	—	○	○

○：可

—：不可

Z 折れ原稿設定

	片面原稿
原稿種類／坪量	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、 厚紙（91 g/m^2 ～ 200 g/m^2）、 薄紙（50 g/m^2 ～ 59 g/m^2）
原稿サイズ	A3、B4、A4▭/▯、B5▭/▯、A5▭/▯、B6▭、 ハガキ ▭、11 × 17、8-1/2 × 14、8-1/2 × 11
積載量	100 枚（80 g/m^2）

*1 混載原稿の中で、最も幅（ADF 原稿セットガイドの開き幅）が長い原稿を示します。

*2 最大原稿幅と同時にセットできる原稿サイズを示します。

■ ADF にセットする原稿についての注意

以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原紙などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿
- 201 g/m^2 以上の厚手の原稿
- 50 g/m^2 未満の薄手の原稿
- 両面コピー時の 111 g/m^2 以上の原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせてある原稿
- 切取りや切抜きのある原稿
- ラベル紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機でプリントした直後の原稿

中折り、Z 折れ原稿など折目のついた原稿を ADF にセットするときは折目をよく伸ばしてください。

■ 原稿ガラス上にセットできる原稿

ADF にセットできない原稿などを、原稿ガラス上に直接セットしてコピーします。

原稿種類	シート、ブック（見開き）、立体物
原稿サイズ	A3 ～ B6 11 × 17 ～ 5-1/2 × 8-1/2 /
最大質量	6.8 kg

■ 原稿ガラス上にセットする原稿についての注意

以下のような原稿を原稿ガラス上にセットする場合は注意が必要です。

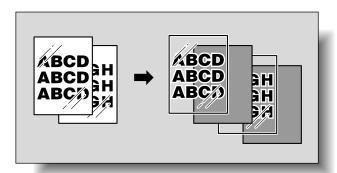
- 11 × 17、8 1/2 × 14、8 1/2 × 11 などのインチサイズの原稿は、原稿サイズを自動検出しません。サービス技術者による設定が必要です。詳しくはサービス技術者にご相談ください。
- 不定形サイズの原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できないため、自動用紙および自動倍率機能が使用できません。不定形サイズの原稿をセットした場合は、コピーする用紙サイズを選択してください。
- OHPフィルムや第2原紙などの透明度の高い原稿をセットした場合、原稿サイズを自動検出できません。原稿と同じサイズの白紙を重ねてセットしてください。
- 質量が 6.8 kg を超えるような原稿は、故障の原因となりますので、原稿ガラス上にはセットしないでください。
- 厚手の本などをセットした場合、強い力で上から押さえつけないでください。故障の原因となります。

第 8 章
応用機能

便利な応用機能を使ってコピーする方法について説明します。

8.1　OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）..................... 8-2
8.2　別の原稿コピーを指定したページに差込む（差込みページ）........................ 8-5
8.3　表紙をつける（カバーシート）.. 8-9
8.4　挿入紙をつける（インターシート）.. 8-13
8.5　指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）................................ 8-19
8.6　原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）
.... 8-23
8.7　原稿の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）................................ 8-27
8.8　ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）............... 8-28
8.9　1 枚の用紙に画像を繰返しコピーする（リピート）.................................... 8-34
8.10 原稿を 2 ページに分けてコピーする（ページ連写）................................... 8-44
8.11 コピーにとじ代をつける（とじ代）.. 8-46
8.12 原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）.......................... 8-51
8.13 中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）.. 8-54
8.14 原稿以外の部分を消去してコピーする（消去）.. 8-56
8.15 付属情報を印字してコピーする（スタンプ / オーバレイ）.......................... 8-63

8.1 OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙）

OHP フィルムにコピーする場合に、コピー後の熱で OHP フィルム同士が密着するのを防ぐために、間に用紙（合紙）を挿入します。合紙は白紙のままでも、OHP フィルムと同じ画像をコピーして挿入することもできます。

原則

- ステープル、パンチ、紙折りなどのフィニッシャー機能は使用できません。オプションのフィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 のメイントレイに出力されます。
- OHP 合紙は、サイズの異なる原稿との混載はできません。

1 原稿をセットします。

2 OHP フィルムを手差しトレイにセットします。

3 手差しトレイの用紙設定で OHP を選択します。

❍ 手差しトレイの用紙設定画面は、用紙画面で手差しトレイキーを選択してから［選択トレイの設定変更］を押すと表示されます。

4 ［OK］を押します。

用紙画面が表示されます。

参照

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。
- 手差しトレイの用紙のセットについては、「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）をごらんください。

ひとこと

- OHP フィルムは手差しトレイに 1 枚ずつ ▯ 方向にセットします。
- 手差しトレイに OHP を用紙設定します。詳しくは「専用紙として設定する」（p. 7-18）をごらんください。

5

OHP フィルムと同じサイズの合紙となる用紙を、手差しトレイ以外の給紙トレイにセットします。

6

［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

7

［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

8

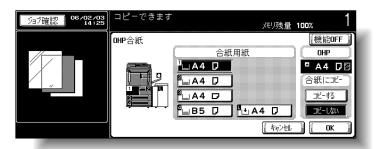
［OHP 合紙］を押します。

OHP 合紙画面が表示されます。

用紙のセット方法については、「第 1 ／第 2 給紙トレイへ用紙をセットする」（p. 2-36）、「第 3 ／第 4 給紙トレイへ用紙をセットする」（p. 2-37）、「大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）へ用紙をセットする」（p. 2-42）をごらんください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

8
応用機能

9 手順 5 で OHP 合紙用にセットした給紙トレイを選択します。

❍ 合紙にコピーする場合は「合紙にコピー」で［コピーする］を押します。

［OK］を 2 回押します。

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

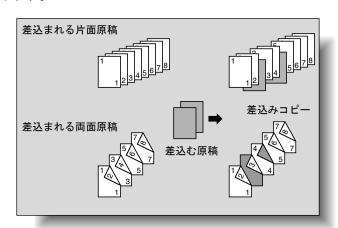
【スタート】を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- OHP 合紙機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

- 自動倍率、ソートの仕上りが設定されます。
- コピー部数は 1 です。設定変更できません。

8.2 別の原稿コピーを指定したページに差込む（差込みページ）

最初に ADF で読込んだ原稿に、あとから原稿ガラスで読込んだ複数の画像を、指定の位置に差込みます。差込みページでは、指定したページの後ろに差込み原稿が挿入されます。両面原稿に差込むページを指定する場合、原稿 1 枚はオモテウラ 2 ページ分とみなします。原稿 2 枚目ウラを指定する場合は、「4」となります。

1 差込まれる原稿を ADF にセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

最大 999 ページまでの原稿に、最大 30 箇所まで別の原稿を差込むことができます。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

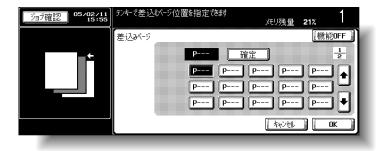
原稿は必ず最初のページから順にセットします。最後のページからセットすると、目的のコピーが得られません。

3 ［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

4 ［差込みページ］を押します。

差込みページ（編集）画面が表示されます。

5 挿入位置指定キーを押します。

詳しく説明します

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 差込みページ機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

6 テンキーで差込むページを指定します。指定したページの後ろにあとから読込んだ原稿が差込まれます。

＜差込みページ(編集)画面＞

❍［確定］を押すと入力したページが確定され、差込みページ（確定）画面が表示されます。

＜差込みページ(確定)画面＞

7 ［OK］を２回押します。

8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9 テンキーでコピー部数を入力します。

10 【スタート】を押します。

差込まれる原稿の読込みが開始されます。

11 差込む原稿を、原稿ガラス上にセットします。

- 差込み原稿枚数に対して、指定箇所数が少ない場合、残りの差込み原稿は最終ページの後ろに差込まれます。
- 差込み原稿枚数に対して、指定箇所数が多い場合、原稿枚数以上の指定箇所は無効になります。
- 同じページを２度入力した場合、該当箇所に差込み原稿２枚分が差込まれます。
- 入力したページが差込まれる原稿枚数より大きい場合、該当の差込み原稿は最終ページの後ろに差込まれます。

ひとこと

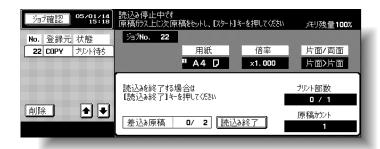
［↑］または［↓］で、1 ～ 15 箇所と 16 ～ 30 箇所の表示を切換えます。

確定したページを削除する場合は、［編集］を押して差込みページ（編集）画面にもどります。削除するページを押して、【クリア】で削除します。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

【スタート】を押します。

差込む原稿の読込みが開始されます。

［読込み終了］を押します。

【スタート】を押します。

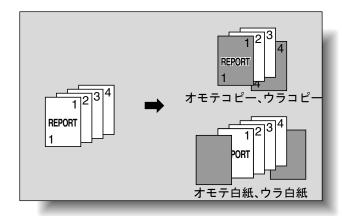
出力が開始されます。

複数枚の原稿を差込む場合は、手順 11 と 12 の操作を繰返し、全ての差込み原稿を読込みます。

8.3 表紙をつける（カバーシート）

表紙と本文原稿で異なる用紙を使って、コピーにオモテ表紙またはウラ表紙をつけます。オプションのポストインサータ PI-501 を装着している場合は、ポストインサータからオモテ表紙、ウラ表紙をつけることができます。

カバーシートには以下の種類があり、オモテ表紙、ウラ表紙のそれぞれに、コピーするかどうかを選択できます。

機能名	説明
［オモテコピー］	原稿の 1 枚目がオモテ表紙用用紙にコピーされます。 両面コピーの場合、原稿の 2 枚目はオモテ表紙用用紙のウラ面にコピーされます。
［オモテ白紙］	コピーの 1 枚目にオモテ表紙用用紙が挿入されます。 両面コピーの場合も同様の結果となります。
［ウラコピー］	原稿の最終ページがウラ表紙用用紙にコピーされます。 両面コピーの場合、原稿枚数が偶数のときは、原稿の最後 2 ページがウラ表紙用用紙に両面コピーされます。
［ウラ白紙］	コピーの最終ページにウラ表紙用用紙が挿入されます。 両面コピーの場合も同様の結果となります。

1 原稿をセットします。

ポストインサータ用紙とトレイ用紙の表紙設定の併用は可能です。このとき、ポストインサータにセットされた用紙はオモテ表紙が先に、ウラ表紙が後につけられます。

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。
- 原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

8 応用機能

2 表紙用の用紙を目的のトレイにセットします。本文コピー用の用紙を別のトレイにセットします。

3 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

4 ［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

5 ［カバーシート］を押します。

カバーシート画面が表示されます。

ひとこと

表紙に厚紙を使用する場合は、用紙の補給方法について「手差しトレイへ用紙をセットする」（p. 2-39）、「用紙種類および用紙容量」（p. 7-4）をごらんください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

6

「オモテ表紙」または「ウラ表紙」で、目的の表紙の形態を選択します。

- ❍ 表紙用の用紙を本体トレイにセットした場合は、手順 7 へ進みます。
- ❍ 表紙用の用紙をポストインサータのトレイにセットした場合は、手順 10 に進みます。

7

表紙用の用紙をセットしたトレイを設定します。

- ❍ オモテ表紙については［オモテカバー用紙］、ウラ表紙については［ウラカバー用紙］を押します。

それぞれのカバー用紙画面が表示されます。

8

表紙用の用紙をセットしたトレイを選択します。

9

［OK］を押します。

カバーシート画面が表示されます。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- カバーシート機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

詳しく説明します

- 表紙用のトレイの初期設定は設定メニューで変更することができます。詳しくは「コピー設定」（p. 12-40）の「インターシートトレイ選択」をごらんください。
- オプションのポストインサータ PI-501 を装着している場合、［ポストインサータ］が表示されます。

出荷時設定では、「オモテカバー用紙」「ウラカバー用紙」ともにトレイ 2 が設定されています。

8
応用機能

［ポストインサータ］を押し、表紙用の用紙をセットしたトレイを設定します。

❍ オモテ表紙については［オモテ白紙］、ウラ表紙については［ウラ白紙］を押し、トレイを選択します。

［OK］を 3 回押します。

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

テンキーでコピー部数を入力します。

14

【スタート】を押します。

ポストインサータのトレイを選択した場合は、表紙にコピー出力はできません。白紙が挿入されます。

8.4 挿入紙をつける（インターシート）

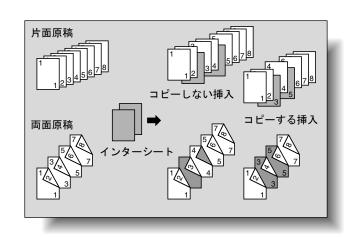
原稿のコピーとは異なる用紙を使って、目的の箇所に用紙を挿入します。オプションのポストインサータ PI-501 を装着している場合は、ポストインサータから用紙を挿入することができます。

インターシートには［コピーする］と［コピーしない］の 2 種類があり、挿入紙にコピーするかどうかを選択できます。設定によって以下のような仕上がりになります。

［コピーする］設定で挿入ページを「11」に設定したとき

項目	説明
片面＞片面	コピーの 11 枚目に用紙が挿入され、原稿の 11 枚目がその挿入紙にコピーされます。
片面＞両面	コピーの 6 枚目に用紙が挿入され、原稿の 11 枚目と 12 枚目がその挿入紙にコピーされます。「12 」と設定した場合は、6 枚目のウラ面が白紙となり、7 枚目が挿入紙にコピーされます。
両面＞両面	コピーの 6 枚目に用紙が挿入され、原稿の 6 枚目がその挿入紙にコピーされます。
両面＞片面	コピーの 11 枚目に用紙が挿入され、原稿の 6 枚目のオモテ面だけがその挿入紙にコピーされます。

［コピーしない］設定で挿入ページを「11」に設定したとき

項目	説明
片面＞片面	コピーの 12 枚目に白紙が挿入されます。
片面＞両面	コピーの 6 枚目のオモテ面に原稿の 11 枚目がコピーされ、コピーの 7 枚目に白紙が挿入されます。
両面＞両面	コピーの 6 枚目のオモテ面に原稿の 11 枚目がコピーされ、コピーの 7 枚目に白紙が挿入されます。
両面＞片面	コピーの 11 枚目に原稿の 6 枚目のオモテ面がコピーされ、コピーの 12 枚目に白紙が挿入されます。

最大 999 ページまでの原稿に、最大 30 枚まで別の用紙を挿入できます。

8 応用機能

1 原稿をセットします。

2 挿入用の用紙を目的のトレイにセットします。本文コピー用の用紙を別のトレイにセットします。

3 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

4 ［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

5 ［インターシート］を押します。

インターシート（編集）画面が表示されます。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

ひとこと

表紙用の用紙と本文用の用紙は同じサイズの用紙を使用し、同じ方向にセットしてください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

6 挿入位置指定キーを押します。

<インターシート（編集）画面>

❍ 挿入紙用の用紙を本体トレイにセットした場合は、手順 7 に進みます。

❍ 挿入紙用の用紙をポストインサータのトレイにセットした場合は、手順 12 に進みます。

7 テンキーで用紙を挿入したいページを指定します。

<インターシート（編集）画面>

❍ ［確定］を押すと入力したページが確定され、インターシート（確定）画面が表示されます。

<インターシート（確定）画面>

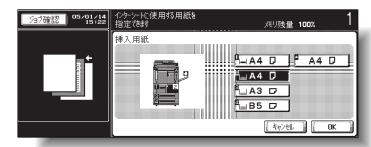
オプションのポストインサータ PI-501 を装着している場合、［ポストインサータ］が表示されます。

- 数値は、小さい方から順に入力しなくても、確定後、自動的にページ順にソートされます。
- 同じページを 2 度入力した場合、同一ページと設定され仕上がりは変わりません。
- 入力したページが原稿枚数より大きい場合、無効になります。

確定したページを削除する場合は、［編集］を押してインターシート（編集）画面にもどります。削除するページを押して、【クリア】で削除します。

8 ［挿入用紙］を押します。

挿入用紙画面が表示されます。

9 挿入紙用の用紙をセットしたトレイを押します。

10 ［OK］を押します。

インターシート（編集）画面が表示されます。

11 「挿入方法」で、［コピーする］または［コピーしない］を押します。

❍ ［コピーする］を設定した場合、指定したページに手順 9 で選択したトレイの用紙が挿入され、原稿がコピーされます。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- インターシート機能を解除するときは［機能OFF］を押します。

❍ ［コピーしない］を設定した場合、指定したページの後ろに手順 9 で選択したトレイの用紙が挿入されます。

12 ［ポストインサータ］を押し、テンキーで用紙を挿入したいページを指定します。

❍ ［確定］を押すと入力したページが確定され、ポストインサータ（確定）画面が表示されます。

13 ［挿入用紙］を押します。

14 挿入用の用紙をセットしたトレイを押します。

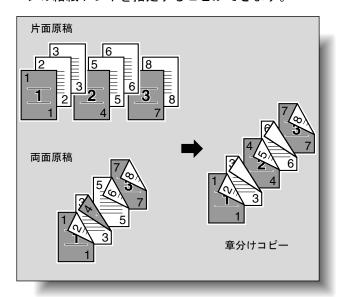
15 ［OK］を 3 回押します。

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

テンキーでコピー部数を入力します。

【スタート】を押します。

8.5 指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け）

両面コピーする場合、指定したページが必ずオモテ面になるようにコピーします。指定ページがコピーのウラ面にくるとき白紙ページが挿入され、指定ページは次のページに送られることにより、必ずオモテ面になるようにコピーされます。また、指定ページの給紙トレイを指定することができます。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

詳しく説明します

- 章の先頭ページは最大999 ページまでの原稿で、1 部につき最大 30 箇所までオモテ面にしたいページを設定できます。
- 章分け機能を設定すると、コピー機能は自動的に［片面＞両面］になります。
- 両面原稿をセットする場合は、［両面＞両面］に設定してください。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

詳しく説明します

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

3 ［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

4 ［章分け］を押します。

章分け（編集）画面が表示されます。

5 章分け位置指定キーを押します。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

6

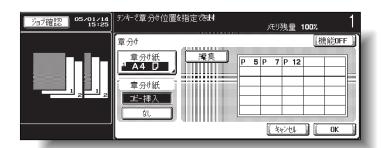
テンキーで章の先頭ページを指定します。指定したページがオモテ面になるように両面コピーされます。

<章分け（編集）画面>

❍［確定］を押すと入力したページが確定され、章分け（確定）画面が表示されます。

<章分け（確定）画面>

7

「章分け紙」で章の先頭ページの給紙トレイを設定します。

❍［コピー挿入］を選択した場合、章の先頭ページ用に給紙トレイを指定できます。手順 9 をごらんください。

❍［なし］を設定した場合、章の先頭ページは通常の給紙トレイの用紙でコピーされます。手順 12 をごらんください。

詳しく説明します

- 入力したページが原稿枚数より大きい場合、無効になります。
- 同じページを 2 度入力した場合は、同一ページと設定され仕上がりは変わりません。

ひとこと

［↑］または［↓］で、1 ～ 15 箇所と 16 ～ 30 箇所の表示を切換えます。

詳しく説明します

確定したページを削除する場合は、［編集］を押して章分け（編集）画面にもどります。削除するページを押して、【クリア】で削除します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 章分け機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

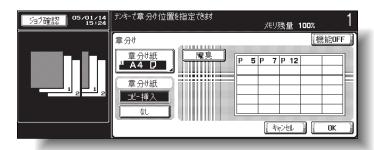
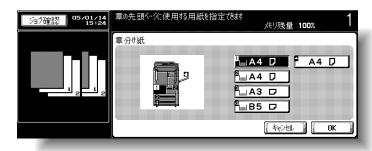
8

［章分け紙］を押します。

章分け紙画面が表示されます。

9

章の先頭ページに使用する用紙をセットしたトレイを押します。

10

［OK］を押します。

章分け（編集）画面が表示されます。

11

［OK］を 2 回押します。

12

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

13

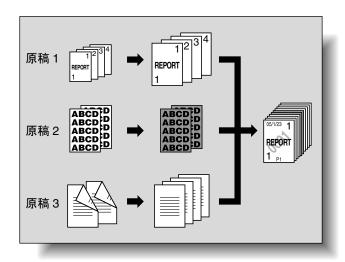
テンキーでコピー部数を入力します。

14

【スタート】を押します。

- コピー機能は［片面>両面］に設定されます。
- 両面原稿をセットする場合は、［両面>両面］に設定してください。

8.6 原稿ごとに異なる設定で読込みまとめてコピーする（プログラムジョブ）

セットする原稿ごとに異なる設定で読込み、一度にまとめてコピーします。一部の原稿のみ倍率や用紙を変更したり、全ての原稿を読込んだあとで仕上り機能やナンバリングを設定してコピーすることができます。

原則

原稿は 100 束まで設定できます。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

3 ［ページ編集］を押します。

ページ編集画面が表示されます。

4 ［プログラムジョブ］を押し、［OK］を押します。

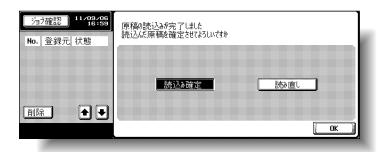
5 目的のコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

❍【確認コピー】を押すと 1 部だけプリントされ、仕上りを確認できます。

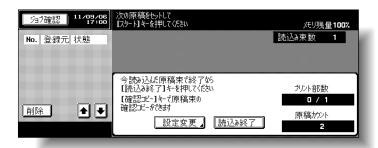
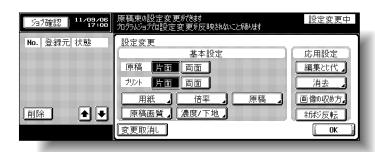
読込みが開始されます。

6 ［読込み確定］を選択して［OK］を押します。

詳しく説明します

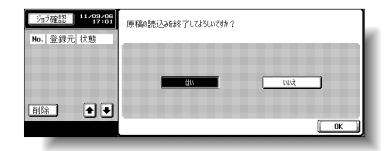
全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

- 原稿を原稿ガラス上にセットした場合は、表示される原稿読込み終了の確認画面で［読込み終了］を押します。
- ［読み直し］を選択した場合、［設定変更］を押してコピー条件を変更できます。

7 次の原稿をセットして［設定変更］を押します。

8 目的のコピー条件を設定して、【スタート】を押します。

❍【確認コピー】を押すと 1 部だけプリントされ、仕上りを確認できます。

読込みが開始されます。読込み後、［読込み確定］を選択して［OK］を押します。

9 全ての原稿を読込んだあと、［読込み終了］を押します。

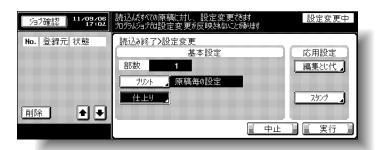
読込み終了の確認画面が表示されます。

手順 6 と 7 を繰り返して、全ての原稿を読込みます。画面右上部の［メモリ残量］表示で、メモリの残量が確認できます。また［読込み束数］で原稿束数が確認できます。

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

ひとこと

［変更取消し］を押すと設定は変更されません。

10 ［はい］を選択して［OK］を押します。

11 必要に応じて、仕上りのコピー条件を設定します。

- ❍［プリント］を押すと、読込んだ全ての原稿に対してプリント方法を設定できます。

12 テンキーでコピー部数を入力します。

13 ［実行］または【スタート】を押します。

ひとこと

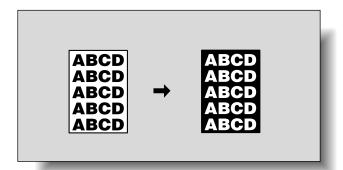
［いいえ］を選択した場合、［設定変更］を押してコピー条件を変更できます。

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

ひとこと

［中止］を押すとデータ破棄の確認画面が表示されます。プリントを中止する場合は、［はい］を選択して［OK］を押します。

8.7 原稿の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転）

原稿の濃淡および白黒（階調）を反転させてコピーします。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

3 ［ネガポジ反転］を押して反転させます。

4 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5 テンキーでコピー部数を入力します。

6 【スタート】を押します。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

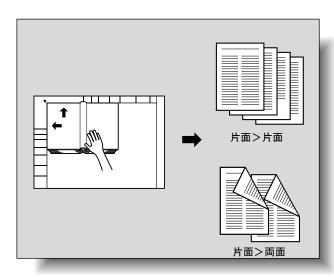
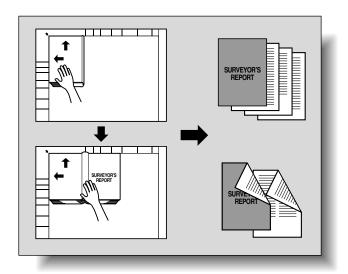
ネガポジ反転機能を解除するときは再度［ネガポジ反転］を押します。

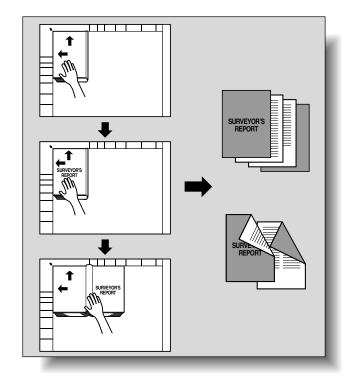
8.8 ブック原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写）

本やカタログなどの見開きの原稿をコピーする場合に、左右のページが分割され、それぞれ 1 ページとしてコピーされます。また枠消しや折目消し機能を合わせて設定できます。

ブック連写には以下の種類があり、設定を変えずに本のオモテ表紙、ウラ表紙のコピーをつけることもできます。

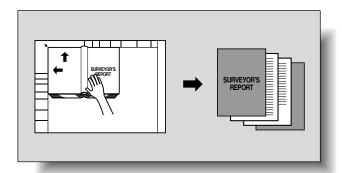
機能名	説明
［見開き］	見開き原稿が、分割されずそのままコピーされます。
［分割］	見開き原稿がページ順に左右 1 ページずつ分割出力されます。用紙サイズと原稿サイズを指定した場合、原稿サイズにあわせて原稿を読込みます。用紙サイズのみ指定した場合、用紙サイズにあわせて原稿を読込みます。
［オモテ表紙］	オモテ表紙 + ページ順の分割コピーの順で出力されます。 原稿の読込みは、オモテ表紙、見開き本文原稿の順でセットします。
［オモテ + ウラ表紙］	オモテ表紙 + ページ順の分割コピー + ウラ表紙の順で出力されます。 原稿の読込みは、オモテ表紙、ウラ表紙、見開き本文原稿の順でセットします。

［分割］を設定する場合

[オモテ表紙] を設定する場合

[オモテ + ウラ表紙] を設定する場合

原則

原稿は原稿ガラス上にセットします。

1 原稿ガラス上に最初のページからセットします。

❍ 表紙のコピーをつける場合は、最初に表紙をセットします。

2 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。

3 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

4 ［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。
- 原稿の読込みについては、「複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする」（p. 3-12）をごらんください。

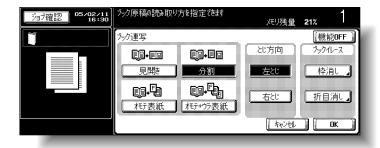
オモテとウラ表紙のコピーをつける場合、原稿の読込みは、オモテ表紙、ウラ表紙、見開き本文原稿の順に行います。

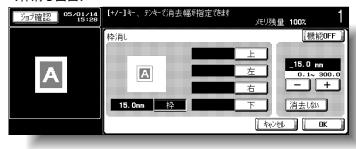
全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

5

［ブック連写］を押します。

6

ブック連写画面が表示されます。
目的の仕上がり設定を選択します。

- ❍ ［分割］［オモテ表紙］［オモテ + ウラ表紙］を選択した場合、とじ方向を設定します。
- ❍ 必要に応じて、「ブックイレース」を設定します。
［枠消し］または［折目消し］を選択し、消去幅を［–］、［+］またはテンキーで設定して、［OK］を押します。

<枠消し画面>

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ブック連写機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

- ［枠消し］と［折目消し］は組合わせて使用できます。
- 「ブックイレース」を設定する場合は、応用設定画面で［画像の収め方］を押し、［サイズ指定］を押して原稿サイズを指定する必要があります。

参照

- ［枠消し］については、「指定部分を消してコピーする（枠消し）」（p. 8-57）をごらんください。
- ［折目消し］については、「原稿の折目を消してコピーする（折目消し）」（p. 8-59）をごらんください。

詳しく説明します

- テンキーで設定する場合は、【クリア】を押して入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【クリア】を押して入力しなおします。

<折目消し画面>

7 ［OK］を 3 回押します。

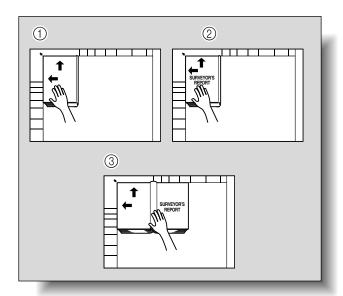
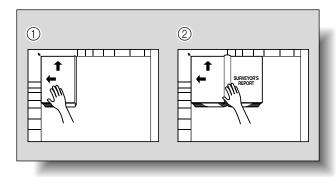
8 基本設定画面で［用紙］を押し、用紙をセットした給紙トレイを選択します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10 テンキーでコピー部数を入力します。

【スタート】を押します。

読込みが開始されます。

❍ ［オモテ＋ウラ表紙］を選択した場合は、オモテ表紙を読込んだあと、ウラ表紙を読込み、最後に見開き本文原稿をページ順に読込みます。

❍ ［オモテ表紙］を選択した場合は、オモテ表紙を読込んだあと、見開き本文原稿をページ順に読込みます。

12 全ての原稿を読込み、［読込み終了］を押します。

13 【スタート】を押します。

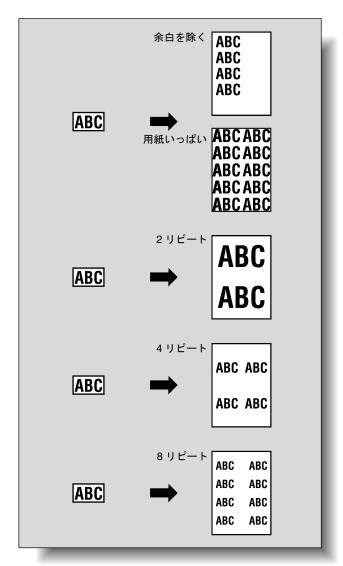
出力が開始されます。

原稿をセットしたあと、手順 11 の操作を繰返し、全ての原稿を読込みます。

8.9 1 枚の用紙に画像を繰返しコピーする（リピート）

指定した読込み範囲を、1 枚の用紙に複数コピーします。

原稿画像に応じて自動的に指定回数を検出するリピートと、希望の回数を指定する定型リピートの 2 種類があります。また画像の配置方法を以下の 2 種類から選択できます。

機能名	説明
［余白を除く］	画像を繰返しコピーするようなリピート回数を検出します。選択範囲に収まりきらない画像はコピーされず、余白として残されます。
［用紙いっぱい］	画像を繰返しコピーするようなリピート回数を自動的に検出します。

参照

定型リピートについては「リピート数を指定して繰返しコピーする（定型リピート）」（p. 8-40）をごらんください。

詳しく説明します

通常は、用紙サイズに対して先端約 3 mm、後端約 4 mm、左端 / 右端に約 2 mm ずつの余白部分を設定してコピーしています。

■ 自動で読込む範囲を検出する（自動検出）

1. 原稿ガラス上に原稿をセットします。
2. 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。
3. ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

4. ［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

5 ［リピート］を押します。

リピート画面が表示されます。

6 「配置方法」を選択します。

7 ［自動検出］を押します。

読込み範囲が検出され、「読込み範囲」にサイズが表示されます。

❍ 範囲を指定したい場合は、［範囲指定］を押して読込むサイズを設定します。

8 「読込み範囲」を確認し、［OK］を 2 回押します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

10 テンキーでコピー部数を入力します。

11 【スタート】を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- リピート機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

詳しく説明します

- ADF に原稿をセットした場合は、【スタート】を押したあと原稿サイズが検出されるため、原稿サイズは「読込み範囲」に表示されません。
- ［自動検出］を設定すると、リピート回数も自動で設定されます。任意に設定したい場合は「リピート数を指定して繰返しコピーする（定型リピート）」（p. 8-40）をごらんください。

サイズの設定については「指定した範囲を繰返しコピーする（範囲指定）」（p. 8-37）をごらんください。

■ 指定した範囲を繰返しコピーする（範囲指定）

指定した範囲を、1 枚の用紙に指定回数分繰返しコピーします。

1 原稿をセットします。

2 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。

3 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

4 ［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

5 ［リピート］を押します。

リピート画面が表示されます。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

6 「配置方法」を選択します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- リピート機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

7 ［範囲指定］を押し、読込み範囲を設定します。

範囲指定画面が表示されます。

8 いずかのサイズキーを押し、原稿サイズを指定します。

<定型サイズ画面>

<不定形サイズ画面>

詳しく説明します

- ［↑］または［↓］で、定型サイズの表示を切換えます。
- ［不定形］を押すと、不定形サイズ画面が表示されます。［X］または［Y］を選択し【クリア】を押して、テンキーで数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから、入力しなおします。

9 ［OK］を 3 回押します。

リピート回数を任意に設定できます。設定については「リピート数を指定して繰返しコピーする（定型リピート）」（p. 8-40）をごらんください。

10 基本設定画面で［用紙］を押し、用紙をセットしたトレイを選択します。

11 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

12 テンキーでコピー部数を入力します。

13 【スタート】を押します。

■ リピート数を指定して繰返しコピーする（定型リピート）

リピート数を選択してコピーします。
ここでは、定型リピートの設定操作について説明します。

原則

2 リピートを選択した場合のみ、リピート間隔が設定できます。

1 原稿をセットします。

2 使用する用紙を目的の給紙トレイにセットします。

3 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

4 ［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

5 ［リピート］を押します。

リピート画面が表示されます。

6 「配置方法」を選択します。

7 ［自動検出］を押します。

読込み範囲が検出され、「読込み範囲」にサイズが表示されます。

❍ サイズが表示されない場合や範囲を指定したい場合は、［範囲指定］を押して読込むサイズを設定します。

8 ［定型リピート］を押します。

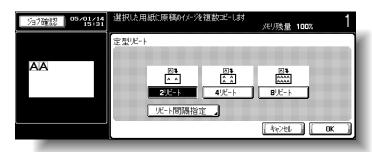
定型リピート画面が表示されます。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- リピート機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

サイズの設定については「指定した範囲を繰返しコピーする（範囲指定）」(p. 8-37）をごらんください。

リピート条件の設定については、「1 枚の用紙に画像を繰返しコピーする（リピート）」(p. 8-34）をごらんください。

希望するキーを押しリピート回数を設定します。

2 リピート	1 枚の用紙に、原稿を 2 回繰返してコピーします。 ［リピート間幅指定］を設定して、出力紙のセンターの幅を設定できます。
4 リピート	1 枚の用紙に、原稿を 4 回繰返してコピーします。
8 リピート	1 枚の用紙に、原稿を 8 回繰返してコピーします。

❍ 2 リピートを設定し、用紙のセンターの幅を設定する場合は、手順 10 へ進みます。

❍ 4 リピート､8 リピートを設定した場合は､手順 12 へ進みます。

［リピート間幅指定］を押します。

❍ シフト幅を［–］、［+］またはテンキーで設定します。

［OK］を押します。

［OK］を 2 回押します。

- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または間隔幅の数値入力を間違えた場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから、入力しなおします。
- 間隔幅を設定しない場合は、［シフトしない］を押します。

13 基本設定画面で［用紙］を押し、用紙をセットしたトレイを選択します。

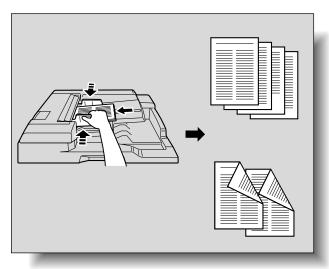
14 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

15 テンキーでコピー部数を入力します。

16 【スタート】を押します。

8.10 原稿を 2 ページに分けてコピーする（ページ連写）

見開き原稿を 1 度の操作で左右 1 ページずつ別々にコピーします。

片面コピーの場合は、用紙 2 枚分、両面コピーの場合はオモテウラ合わせて用紙 1 枚分になります。

原則

原稿は ADF にセットします。

1 原稿を ADF にセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については「ADF に原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

3

［連写 / リピート］を押します。

連写 / リピート画面が表示されます。

4

［ページ連写］を押します。

ページ連写画面が表示されます。

5

とじ方を設定します。

6

［OK］を 2 回押します。

7

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8

テンキーでコピー部数を入力します。

9

【スタート】を押します。

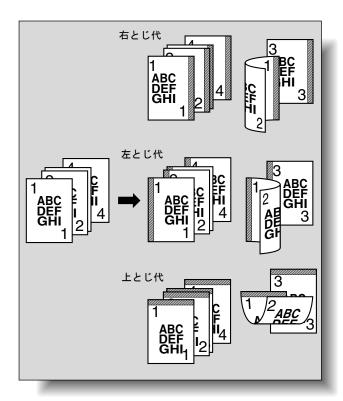
全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

横書き原稿の場合は［左とじ］、縦書き原稿の場合は［右とじ］を選択します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ページ連写機能を解除するときは、［機能 OFF］を押します。

8.11 コピーにとじ代をつける（とじ代）

原稿の画像をファイリングしやすいように、用紙にとじ代（余白）をつくってコピーします。両面コピーする場合、とじ代位置を指定することにより画像の向きを補正できます。また、とじ代をつくらずに画像の向きのみを補正することもできます。

詳しく説明します

ステープルやパンチの位置指定ととじ代の位置が異なる場合、ステープルやパンチ位置の設定が優先されます。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

3 ［とじ代］を押します。

とじ代作成画面が表示されます。

4 とじ代位置を選択します。

5 ［左］、［右］、［上］を選択した場合、テンキーでとじ代幅を入力します。

❍［なし］が設定されている場合、とじ幅が 0 mm に設定されます。両面コピーする場合に、とじ代はつくらずに画像の向きのみを補正することができます。

6 ［OK］を押します。

7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- とじ代機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。
- 出荷時設定ではとじ幅は［自動］、とじ代幅は［なし］が設定されています。
- ［自動］を押すと、原稿の方向から用紙へのとじ代位置を自動的に判断し、原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にとじ代位置を設定し、原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にとじ代位置を設定します。

詳しく説明します

- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、またはとじ幅の入力を間違えた場合は、［なし］または【クリア】を押して数値を取り消してから、入力しなおします。
- とじ幅の数値を保持したまま、とじ位置を変更できます。

■ とじ代の位置を調整する（編集とじ代）

読込んだ画像の位置を任意に動かして（シフト）、コピーにとじ代をつくります。また、両面コピー時には表裏の画像の位置ズレを調整します。

原則

- 上下方向（上シフト、下シフト）と左右方向（左シフト、右シフト）のシフトができます。
- 用紙の表面、裏面ごとにシフト方向、シフト幅を調整できます。

1 原稿ガラス上に原稿をセットします。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

3 ［とじ代］を押します。

とじ代作成画面が表示されます。

とじ代作成画面で［編集とじ代］を押します。

編集とじ代画面が表示されます。

5

シフト方向とシフト幅を設定します。

- 左右方向（左右シフト）と上下方向（上下シフト）を任意に設定します。
- ［シフトしない］が設定されている場合、シフト幅が 0 mm に設定されます。テンキーの【クリア】を押しても設定することができます。

6

［裏面編集］を押します。

裏面編集画面が表示されます。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- とじ代機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

詳しく説明します

- 左右方向は、［左］または［右］を押して、シフト方向を設定します。上下方向は［上］または［下］を押して、シフト方向を設定します。左右方向と上下方向で組み合わせて設定することができます。
- 左右方向、上下方向とも、シフトしない場合は［シフトしない］を選択します。

7 シフト方向とシフト幅を設定します。

8 ［OK］を 3 回押します。

9 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

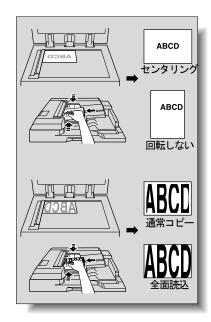
10 テンキーでコピー部数を入力します。

11 【スタート】を押します。

- 左右方向は、［左］または［右］を押して、シフト方向を設定します。上下方向は［上］または［下］を押して、シフト方向を設定します。左右方向と上下方向で組み合わせて設定することができます。
- 左右方向、上下方向とも、シフトしない場合は［シフトしない］を選択します。
- 裏面のとじ代を設定しない場合には、以下の設定となります。
  •表面と逆のシフト方向
  •表面と同じシフト幅

8.12 原稿を用紙サイズに合わせてコピーする（画像の収め方）

画像位置を調整してコピーします。
画像の収め方には以下の種類があり、組合わせて使用することもできます。

項目	説明
［センタリング］	画像を用紙の中央に配置してコピーします。
［回転しない］	用紙に合わせて画像を回転させないようにコピーします。
［全面読込］	用紙の周りに余白を作らずにコピーします。原稿いっぱいに文字が書かれている場合でも、欠けることなく原稿がコピーされます。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

通常は、用紙サイズに対して先端約 3 mm、後端約 4 mm、左端 / 右端に約 2 mm ずつの画像消しを行ってコピーしています。［全面読込］を選択すると、上記の画像消しを行わずに、用紙ぎりぎりまで画像をコピーします。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

8 応用機能

3

［画像の収め方］を押します。

画像の収め方画面が表示されます。

4

画像の収め方を選択します。

5

原稿サイズを設定します。

❍［自動検出］を選択した場合、ADF に原稿をセットし【スタート】を押したときに原稿サイズが検出されます。

❍ 原稿ガラス上にセットした原稿が検出されなかったり、原稿サイズを指定する場合は［サイズ指定］を押し、いずれかの画面で原稿サイズを指定します。

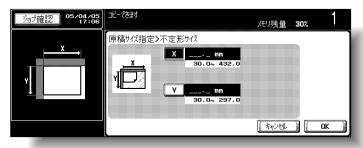
<定型サイズ画面>

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 反転させた機能を解除するときは再度同じキーを押します。

- 出荷時設定では［自動検出］が設定されています。
- ［↑］または［↓］で、定型サイズの表示を切換えます。
- ［不定形］を押すと、不定形サイズ画面が表示されます。［X］または［Y］を選択し【クリア】を押して数値を取り消してから、テンキーで数値を入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または原稿サイズの入力を間違えた場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから、入力しなおします。

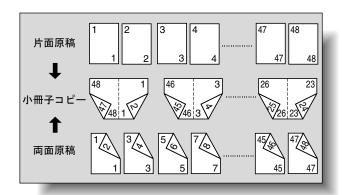
<不定形サイズ画面>

6 ［OK］を2回押します。

7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

8.13 中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子）

2 つ折りにしたとき中とじ本の仕上がりになるように、原稿ページを並べ換えて両面コピーします。オプションのフィニッシャー FS-602 を装着している場合、ステープルで仕上げることができます。

1 原稿をセットします。

2 使用する用紙をトレイにセットします。

3 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

詳しく説明します

- 原稿枚数は片面＞両面設定時は 4 の倍数、両面＞両面設定時は 2 の倍数が基本です。足りない場合は、自動的に白紙画像を末尾に挿入します。
- 設定メニューでお勧め倍率が設定されている場合は、その倍率でコピーします。お勧め倍率については「集約 / 小冊子倍率」（p. 12-23）をごらんください。

参照

- 原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。
- ステープル仕上げについては、「用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）」（p. 3-65）をごらんください

詳しく説明します

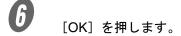
原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

［小冊子］を押します。

小冊子画面が表示されます。

5

［左とじ］または［右とじ］を押します。

❍ 必要に応じて、［編集とじ代］および［ページ間隔］を設定します。

6

［OK］を押します。

7

必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8

テンキーでコピー部数を入力します。

9

【スタート】を押します。

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 小冊子機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

［ページ間隔］を設定する場合は、左側のページと右側のページの間隔を［-］、［+］またはテンキーで設定します。

参照

［編集とじ代］については「とじ代の位置を調整する（編集とじ代）」（p. 8-48）をごらんください。

とじ代幅は自動的に設定されます。

8 応用機能

8.14 原稿以外の部分を消去してコピーする（消去）

原稿の折り目やパンチ穴の影、受信したファックス用紙の受信記録など、原稿の周囲の不要部分を消去してコピーします。

消去機能には以下の 3 つがあります。

枠消し	原稿の周囲 4 辺の不要部分を消去します。
折目消し	原稿の中央部にできた黒い影を消去します。
原稿外消去	原稿の大きさを検知し、原稿外の部分を消去します。

■ 指定部分を消してコピーする（枠消し）

枠消し機能を使って、原稿の周囲の不要部分を消去します。

4 辺を同じ幅で一括消去する設定と、1 辺ごとに消去する幅を指定する設定があります。

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

3 ［消去］を押します。

消去画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

4 ［枠消し］を押します。

枠消し画面が表示されます。

5 消去位置を選択します。

❍ 原稿の周囲 4 辺を同じ幅で消去する場合、［枠］を設定します。

❍ 消去位置によって異なる消去幅を設定する場合、［上］、［左］、［右］、［下］の全てをそれぞれ設定します。

6 消去幅を設定します。［–］、［+］またはテンキーで消去幅を入力します。

❍ 消去しない辺は、［消去しない］を押します。

7 ［OK］を 2 回押します。

8 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

9 テンキーでコピー部数を入力します。

10 【スタート】を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 枠消し機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。
- 出荷時設定では［枠］が反転されています。
- ［枠］はその他のキー（［上］、［左］、［右］および［下］）と同時設定できません。

ひとこと

- テンキーで設定する場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または消去幅の入力を間違えた場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから、入力しなおします。

■ 原稿の折目を消してコピーする（折目消し）

原稿の折り目やとじ部分の影を消してコピーします。

原則

前回設定した数値が、そのままコピー条件として設定されています。

1. 原稿をセットします。

2. ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

3. ［消去］を押します。

消去画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

4 ［折目消し］を押します。

折目消し画面が表示されます。

5 消去幅を設定します。[–]、[+］またはテンキーで消去幅を入力します。

6 ［OK］を 2 回押します。

7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 折目消し機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。
- テンキーで設定する場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから入力します。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または間隔幅の数値入力を間違えた場合は、【クリア】を押して数値を取り消してから、入力しなおします。

■ 指定部分を消してコピーする（原稿外消去）

原稿ガラス上にセットされた原稿の大きさを検知して、原稿以外の部分を消してコピーします。

原則

原稿は原稿ガラスにセットします。

1 原稿を原稿ガラスにセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

3 ［消去］を押します。

消去画面が表示されます。

参照

原稿のセット方法については、「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ADF を完全に開けた状態で、コピーしてください。ADF が完全に開いていないと正しくコピーできないことがあります。

8 応用機能

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

4 ［原稿外消去］を押します。

5 ［OK］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 【スタート】を押します。

ひとこと

原稿外消去機能を解除するときは再度［原稿外消去］を押します。

8.15 付属情報を印字してコピーする（スタンプ / オーバレイ）

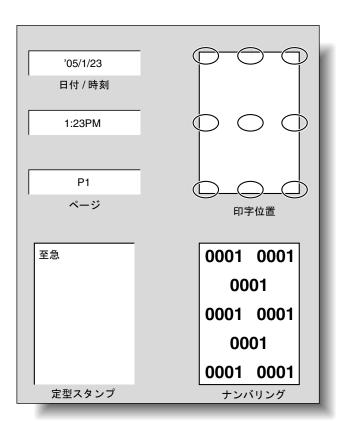
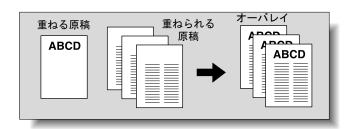
印字位置を指定して日付 / 時刻やページ番号を入れたり、複数部コピーする場合に管理番号を入れたりしてコピーします。

スタンプ / オーバレイには以下の種類があり、組合わせて使用することもできます。最初にスタンプ / オーバレイ画面を表示させ、目的の機能を設定します。

項目	説明
［日付 / 時刻］	表示形式を選択し、指定したページに日付や時刻を印字します。（p. 8-67）
［ページ］	表示形式を選択し、指定した番号からページ数を印字します。（p. 8-69）
［ナンバリング］	コピー部数ごとに、用紙の背景いっぱいに 4 桁の管理番号を印字します。（p. 8-73）
［定型スタンプ］	［至急］や［回覧］など、定型パターンのスタンプを印字します。（p. 8-74）
［ウォータマーク］	定型パターンの文字を印字します。（p. 8-76）
［オーバレイ］	最初に読込んだ画像を、後から読込んだ画像に重ねて印字します。（p. 8-77）
［登録オーバレイ］	あらかじめ読み込んだ画像を HDD に保存（オーバレイ画像登録）しておき、必要に応じて保存した画像を呼び出し、重ねて印字（登録オーバレイ出力）します。（p. 8-77）

'05/1/23
日付 / 時刻
1:23PM
P1
ページ
印字位置
至急
定型スタンプ
0001 0001
0001
0001 0001
0001
0001 0001
ナンバリング

重ねる原稿
ABCD
重ねられる
原稿
オーバレイ
ABCD

オーバレイ画像登録
ABCD
HDD
HDD に保存
重ねる原稿
登録オーバレイ出力
ABCD
ABCD
出力
呼び出された
重ねる画像
重ねられる画像原稿
オーバレイコピー

原則

HDD を装着していない場合、登録オーバレイによる印字はできません。

■ スタンプ/オーバレイ画面を表示させるには

1 原稿をセットします。

2 ［応用設定］を押します。

応用設定画面が表示されます。

3 ［スタンプ/オーバレイ］を押します。

スタンプ/オーバレイ画面が表示されます。

4 目的のスタンプを設定します。

参照

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

ひとこと

全ての応用設定を解除する場合は、［全機能 OFF］を押します。

ひとこと

印字設定は、組合わせて使用することもできます。

■ 日付 / 時刻を印字するには（日付 / 時刻）

1 スタンプ / オーバレイ画面で［日付 / 時刻］を押します。

2 「日付種類」、「時刻種類」、「印字ページ」をそれぞれ選択します。

3 ［印字位置］を押し、印字位置を選択します。

❍ 印字位置の微調整を行う場合は、手順 4 へ進みます。

❍ 微調整を行わない場合は手順 6 へ進みます。

参照

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 日付 / 時刻機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。
- 「時刻種類」で［なし］を設定すると、時刻が印字されません。

4 ［調整変更］を押します。

❍「左右調整」「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは［–］、［+］で調整値を入力します。

5 ［OK］を押します。

印字位置指定画面へもどります。

6 ［OK］を 3 回押します。

7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

ひとこと

- 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- ［調整しない］を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- 範囲外の数値を入力した場合は「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、［調整しない］または【クリア】を押して入力しなおします。

■ ページ数を印字するには（ページ）

1

スタンプ / オーバレイ画面で［ページ］を押します。

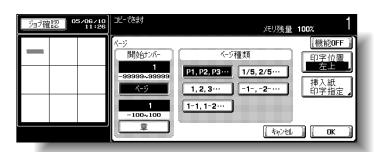
ページ画面が表示されます。

2

「開始ナンバー」で、［ページ］または［章］を選択します。

❍ テンキーで開始ページを入力します。

3

「ページ種類」を選択します。

❍ カバーシート、インターシートを設定し、挿入紙がある場合は手順 4 へ進みます。

❍ 挿入紙がない場合は手順 6 へ進みます。

参照

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ページ機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。
- ページの「開始ナンバー」は -99999 ～ 99999 の範囲で設定します。
- 章の「開始ナンバー」は -100 ～ 100 の範囲で設定します。
- 「開始ナンバー」の設定では【*】で設定値の正負を入換えることができます。

4 ［挿入紙印字指定］を押します。

挿入紙印字指定画面が表示されます。

5 印字ページを設定して、［OK］を押します。

ページ画面へもどります。

6 ［印字位置］を押します。

印字位置指定画面が表示されます。

- 「カバーシート」で［全ページ］を選択した場合、オモテ表紙ウラ表紙を含め、全ページにページ数が印字されます。
- 「カバーシート」で［オモテ表紙除く］を選択した場合、オモテ表紙以外の全ページにページ数が印字されます。
- 「カバーシート」で［オモテウラ表紙除く］を選択した場合、オモテ表紙とウラ表紙以外の全ページにページ数が印字されます。
- 「コピー挿入紙」で［印刷する］を選択した場合、用紙に印字してコピーします。
- 「コピー挿入紙」、「白紙挿入紙」で［印刷しない］を選択した場合、共にページ数はカウントされますが、印字されません。［スキップ］を選択した場合、ページ数はカウントされず、印字もされません。

7 印字位置を選択します。

❍ 印字位置微調整を行う場合は、手順 8 へ進みます。

❍ 微調整を行わない場合は手順 10 へ進みます。

8 ［調整変更］を押します。

❍「左右調整」「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは［–］、［+］で調整値を入力します。

9 ［OK］を押します。

印字位置指定画面へもどります。

10 ［OK］を 2 回押します。

11 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

ひとこと

- 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- ［調整しない］を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- 範囲外の数値を入力した場合は、「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、［調整しない］または【クリア】を押して入力しなおします。

8 応用機能

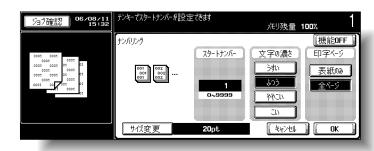
テンキーでコピー部数を入力します。

【スタート】を押します。

■ 管理用ナンバーを印字する（ナンバリング）

1 スタンプ / オーバレイ画面で［ナンバリング］を押します。

ナンバリング画面が表示されます。

2 テンキーで「スタートナンバー」を入力します。

3 「文字の濃さ」、「印字ページ」をそれぞれ選択します。

4 ［サイズ変更］を押し、文字サイズを選択します。

5 ［OK］を押します。

6 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

7 テンキーでコピー部数を入力します。

8 【スタート】を押します。

参照

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ナンバリング機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

詳しく説明します

- 「スタートナンバー」は 0 ～ 9999 の範囲で入力します。
- 管理ナンバーは常に 4 桁で印字されます。「スタートナンバー」に「1」を指定した場合、印字は「0001」となります。

ひとこと

ソートが自動的に設定されます。

■ 定型パターンのスタンプを印字する（定型スタンプ）

1 スタンプ / オーバレイ画面で［定型スタンプ］を押します。

定型スタンプ画面が表示されます。

2 印字する定型スタンプ、「印字ページ」を選択します。

❍［サイズ変更］を押し、文字サイズを選択します。

3［印字位置］を押し、印字位置を選択します。

❍ 印字位置の微調整を行う場合は、手順 4 へ進みます。

❍ 微調整を行わない場合は手順 6 へ進みます。

参照

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください。

- ［表紙のみ］を選択した場合、表紙のみ印字します。
- ［全ページ］を選択した場合、全てのページに印字します。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 定型スタンプ機能を解除するときは［機能 OFF］を押します。

4 ［調整変更］を押します。

❍「左右調整」「上下調整」でそれぞれ方向を選択し、テンキーまたは［–］、［+］で調整値を入力します。

5 ［OK］を押します。

印字位置指定画面へもどります。

6 ［OK］を 2 回押します。

7 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

8 テンキーでコピー部数を入力します。

9 【スタート】を押します。

ひとこと

- 印字位置の微調整は 0.1 mm 単位で設定します。
- ［調整しない］を設定した場合は、左右方向および上下方向への調整が行われません。
- 範囲外の数値を入力した場合は、「入力エラー」が表示されます。「入力エラー」が表示された場合、または調整値の入力を間違えた場合は、［調整しない］または【クリア】を押して入力しなおします。

■ コピー画像の中心に定型パターン文字を印字する（ウォータマーク）

1 スタンプ / オーバレイ画面で［ウォータマーク］を押します。

ウォータマーク画面が表示されます。

2 印字する定型パターンの文字を選択します。

3 ［OK］を 2 回押します。

4 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

5 テンキーでコピー部数を入力します。

6 【スタート】を押します。

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください。

ひとこと

- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- ウォータマーク機能を解除するときは［機能OFF］を押します。

■ 画像を重ねてコピーする（オーバレイ）

原則

自動的に連続読込みモードが設定されます。

1 スタンプ / オーバレイ画面で［オーバレイ］を押して反転させます。

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください。

2 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

3 ［OK］を押します。

応用設定画面にもどります。

このとき、自動用紙および自動倍率の機能は自動的に解除され、倍率は［等倍］に設定されます。

4 テンキーでコピー部数を入力します。

5 重ねる画像の原稿をセットします。

❍ ADF または原稿ガラスに、原稿を 1 枚セットします。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

6 【スタート】を押します。

セットされた原稿の画像が読込まれます。

7 重ねられる画像の原稿をセットします。

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

8 【スタート】を押します。

セットされた原稿の画像が読込まれます。

9 ［読込み終了］を押します。

10 【スタート】を押します。

■ 重ねる画像を登録して重ねてコピーする（登録オーバレイ）

すでに登録されている画像から登録オーバレイ出力をする場合は、手順 8 に進んでください。

1 スタンプ / オーバレイ画面で［登録オーバレイ］を押します。

オーバレイ画像呼出画面が表示されます。

2 ［オーバレイ画像登録］を押します。

オーバレイ画像登録画面が表示されます。

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）をごらんください

3 原稿サイズ、登録箇所、登録名を設定します。

❍「登録名」の［変更］を押し、重ねる画像の名前を入力します。

❍ 原稿サイズを指定する場合は、［サイズ指定］を押して、原稿サイズを設定します。

❍ 登録オーバレイの登録箇所を指定する場合は、［指定］を押して、任意の登録箇所を設定します。

4 ［OK］を 3 回押します。

応用設定画面にもどります。

5 重ねる画像の原稿をセットします。

❍ ADF または原稿ガラスに､原稿を 1 枚セットします。

6 【スタート】を押します。

基本設定画面にもどります。

7 スタンプ / オーバレイ画面を表示させ、［登録オーバレイ］を押します。

登録オーバレイ画面が表示されます。

- 半角 8 文字まで入力できます。入力した名前に、日付が自動的に付加されます。
- 最大 100 件のオーバレイ画像を登録できます。
- 重ねる画像の名前が重複していると、確認のポップアップ画面が表示されます。
- 「登録名が重複しています上書きしてもよろしいですか ?」というメッセージが表示されているときは、上書きができます。［はい］を押すと上書きされ、既存の画像はなくなります。別の名前で保存するときは［いいえ］を押します。
- 「登録名が重複しています新たな登録名を入力してください」というメッセージが表示されているときは、画像の上書きはできません。別の名前をつけ直してください。画面表示をするかどうかの設定は、管理者設定で変更できます。登録済みの画像に上書きするかどうかの設定については、「＜ユーザ操作禁止設定＞」（p. 12-30）をごらんください。

原稿のセット方法については「原稿をセットする」（p. 3-6）をごらんください。

スタンプ / オーバレイ画面の表示方法については、「スタンプ / オーバレイ画面を表示させるには」（p. 8-66）

8 重ねる画像を呼び出します。

❍ HDDから呼び出したい画像の登録キーを押して反転させ、［OK］を押します。

スタンプ / オーバレイ設定画面にもどります。

9 ［OK］を押します。

応用設定画面にもどります。

10 必要に応じて、そのほかのコピー条件を設定します。

11 重ねられる画像の原稿をセットします。

12 テンキーでコピー部数を入力します。

13 【スタート】を押します。

セットされた原稿の画像が読込まれます。

14 ［読み込み終了］を押します。

15 【スタート】を押します。

ひとこと

- ［削除］が表示されている場合は、登録済みの画像を削除できます。削除したい画像のキーを押して選択し、［削除］を押して［はい］を押します。
- 登録済みの画像を削除できるようにするかしないかの設定は、管理者設定で変更できます。登録済みの画像を削除できるようにする方法については「＜ユーザ操作禁止設定＞」（p. 12-30）をごらんください。

原稿枚数が 100 枚を超える場合は、「原稿を分割して読込む（連続読み設定）」（p. 3-10）をごらんください。

第 9 章
トナーカートリッジ交換／ステープル針交換／パンチくず処理

トナーカートリッジの交換やステープル針の交換、処理などについて説明します。

9.1　トナーカートリッジを交換する 9-2
9.2　ステープル針を交換する 9-7
9.3　パンチくずを処理する 9-14

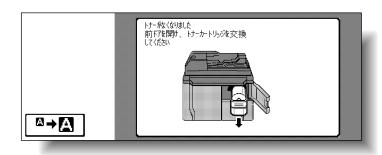
9.1 トナーカートリッジを交換する

トナーが残り少なくなると、下図の通知メッセージが表示されます。トナーカートリッジの交換を行なってください。

トナーがなくなると、下図のメッセージが表示され、コピーができなくなります。

- 「トナーカートリッジの交換時期です」が表示されたらトナーカートリッジの交換をおすすめ致します。
- 「トナーがなくなりました」が表示されると、本機は停止します。

トナーカートリッジの交換のしかたについては、「トナーカートリッジ交換のしかた」(p. 9-4)をごらんください。

<拡大表示機能時の表示>
トナーがなくなると、下図が表示されます。

キーを押すと、メッセージが拡大され表示されます。

⚠ 警告

トナーおよびトナーカートリッジの取り扱い
トナーまたはトナーカートリッジを火中に投じないでください。
トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。

⚠ 注意

トナーで本体内や衣服または手などを汚さないように注意して取り扱ってください。
トナーで手を汚してしまった場合は、水や中性洗剤などを使って洗い流してください。
目に入ってしまった場合は、すぐ水で洗い流し、医師にご相談ください。

■ トナーカートリッジ交換のしかた

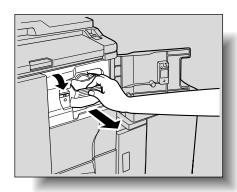
1

トナー補給ドアを開きます。

2

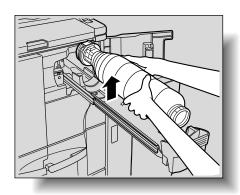
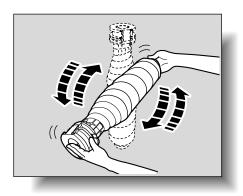
カートリッジホルダーを引き出します。

トナーユニットレバーを前に引きながら、カートリッジホルダーが止まるまで手前に引き出します。

3

使い終わったトナーカートリッジを上に持ち上げて取り出します。

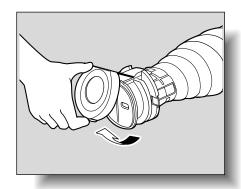
必ず守ってください

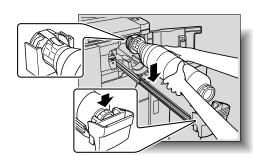
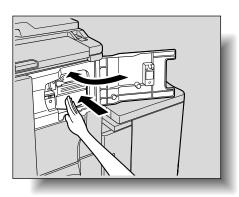
トナーカートリッジは指定のカートリッジナンバーのものをご使用ください。異なるトナーカートリッジを使用すると故障の原因になります。

4

新しいトナーカートリッジを5回ほど天地が逆になるように振ります。

トナーカートリッジ内でトナーが固まっていることがありますので、必ずこの動作を行なって、トナーをよく砕いてからトナーカートリッジの交換をしてください。

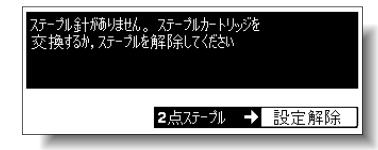
5

トナーカートリッジのカバーを取り外します。

6

向きに注意してトナーカートリッジを取り付けます。

トナーカートリッジ先端のラベル部を上に向け、底部がカートリッジホルダーの溝にしっかり入るようにセットします。

カートリッジホルダーをもとの位置にもどし、トナー補給ドアを閉じます。

9.2 ステープル針を交換する

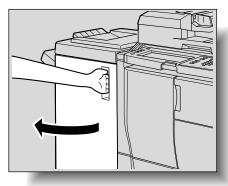
フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 を装着している場合、
ステープル針がなくなると下図のメッセージが表示されます。

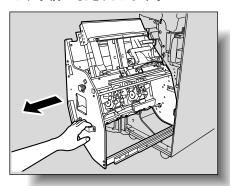
＜拡大表示機能時の表示＞

詳しく説明します

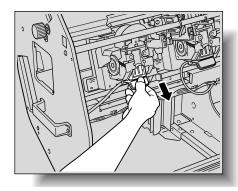
どちらか一方のステープルカートリッジの針がなくなった場合、「ステープルカートリッジ 1 を交換してください」「ステープルカートリッジ 2 を交換してください」というメッセージが表示されます。

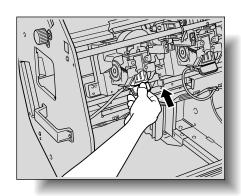
ステープルカートリッジの交換は、必ずメッセージが表示されたあとに行ってください。メッセージが表示される前に、ステープルカートリッジを取り外すと故障の原因になります。

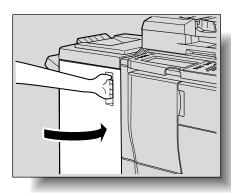
■ フィニッシャー FS-504/FS-505 のステープルカートリッジ交換のしかた

1. フィニッシャードアを開きます。

2. スタッカユニットを引き出します。

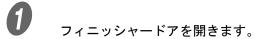
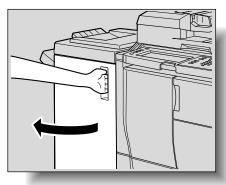
   スタッカユニット取手を持って、スタッカユニットが止まるまでゆっくり手前に引き出します。

3. 空になったステープルカートリッジを取り出します。
   - ステープルカートリッジのつまみを持って、下に引き出します。

4

新しいステープルカートリッジを取り付けます。

❍ ステープルカートリッジを上に押し込み、奥までしっかり固定されたことを確認します。

5

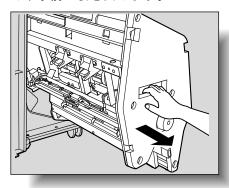
スタッカユニットをもとの位置にもどします。

6

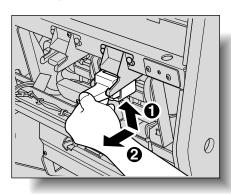
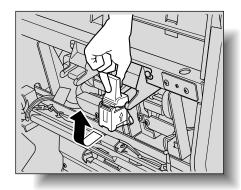
フィニッシャードアを閉じます。

■ フィニッシャー FS-602 のステープルカートリッジ交換のしかた

1 フィニッシャードアを開きます。

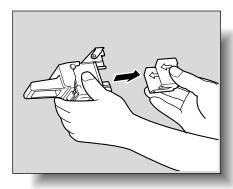
2 スタッカユニットを引き出します。

スタッカユニット取手を持って、スタッカユニットが止まるまでゆっくり手前に引き出します。

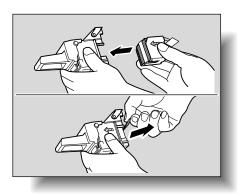
3

ステープルカートリッジを取り出します。

❍ ステープルカートリッジのつまみを上にあげながら手前に引き出します。

❍ レールに沿わせながらステープルカートリッジを取り出します。

4

ステープルカートリッジから空になったカートリッジケースを取り出します。

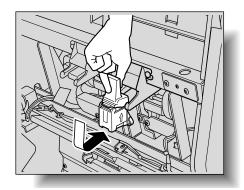
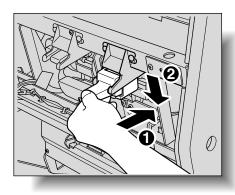
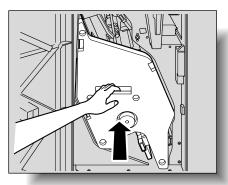
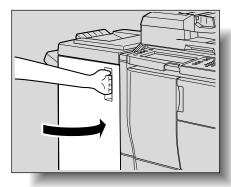
5

新しいカートリッジケースをステープルカートリッジにセットします。

❍ カートリッジケースの矢印の面とステープルカートリッジの矢印の面を合わせ、カートリッジケースを奥までしっかり入れます。

❍ カートリッジケースのストッパーシールを静かに引き抜きます。

残っている針は取り除かないでください。取り除くと、交換後のステープルは空打ちされ、ステープルされません。

6

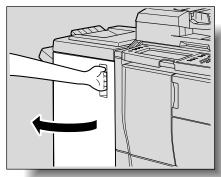
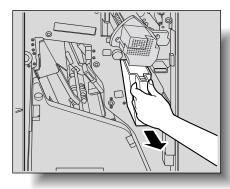
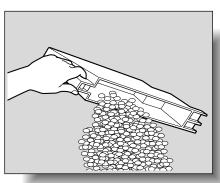
ステープルカートリッジを取り付けます。

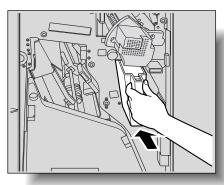
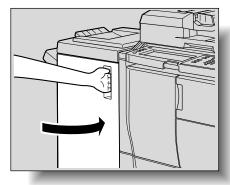
❍ ステープルカートリッジをレールにセットし、沿わせながらもとの位置にもどします。

❍ ステープルカートリッジを下に押し込み、奥までしっかり固定されたことを確認します。

7 スタッカユニットをもとの位置にもどします。

8 フィニッシャードアを閉じます。

■ パンチキットのパンチくずを処理する

フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 にパンチキット PK-502/PK-503 を装着している場合に、パンチくずがいっぱいになると下図のメッセージが表示されます。

<拡大表示機能時の表示>

1 フィニッシャードアを開きます。

2 パンチ廃棄ボックスを引き出します。

3 パンチくずを廃棄します。

4 パンチ廃棄ボックスをもとの位置に取り付けます。

5 フィニッシャードアを閉じます。

■ Z 折りユニットのパンチくずを処理する

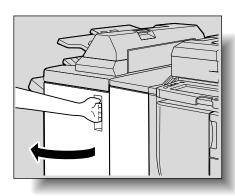
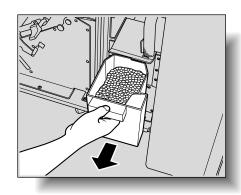
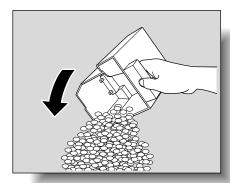
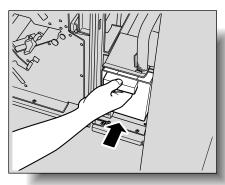
フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 に Z 折りユニット ZU-602 を装着している場合に、パンチくずがいっぱいになると下図のメッセージが表示されます。

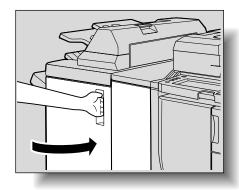
＜拡大表示機能時の表示＞

1 フィニッシャードアを開き、Z 折りユニット前ドアを開きます。

2 パンチ廃棄ボックスを引き出します。

3 パンチくずを廃棄します。

4

パンチ廃棄ボックスをもとの位置に取り付けます。

5

Z 折りユニット前ドアを閉じ、フィニッシャードアを閉じます。

第 10 章
日頃の管理

本機の日頃の管理について説明します。

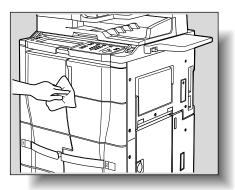
10.1 清掃のしかた 10-2
10.2 カウントを確認する（セールスカウンタ）.. 10-5
10.3「装置の定期点検時期です」と表示されたら 10-6

10.1 清掃のしかた

ここでは各部の清掃のしかたについて説明します。

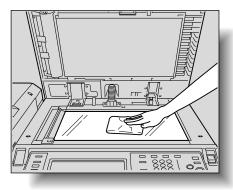
■ 外装カバー

1

柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、外装カバーの表面の汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

- 清掃時は必ず本体の【主電源スイッチ】を OFF にしてください。
- 外装カバーの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

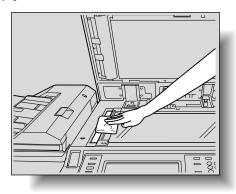
■ 原稿ガラス

柔らかな布で原稿ガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

原稿ガラスの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

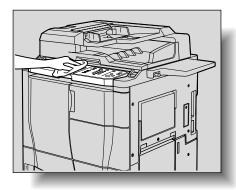
■ スリットガラス

1

柔らかな布でスリットガラスの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

スリットガラスの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 操作パネル

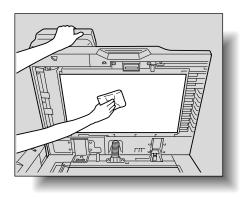
柔らかな布で操作パネルの表面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

操作パネルのキー、タッチパネルを傷めるおそれがあるため、強く押さえないでください。また、家庭用中性洗剤、ガラスクリーナー、ベンジン、シンナーなどは絶対に使用しないでください。

■ ADF プラテンガイドカバー

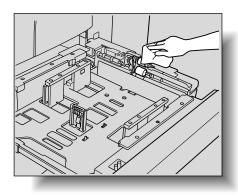
1

柔らかな布でガイドカバー面を乾拭きし、汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

ADF プラテンガイドカバーの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

■ 給紙ローラ

柔らかな布で給紙ローラを乾拭きし、汚れを拭き取ります。

必ず守ってください

給紙ローラの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

10.2 カウントを確認する（セールスカウンタ）

セールスカウンタ画面を表示させて、カウント開始日からのトータルカウントを確認できます。
また、カウンタリストをプリントできます。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 サブエリアの［詳細確認］を押します。

カウンタリスト表示画面が表示されます。

❍ カウンタリストをプリントする場合は、［プリント］を押し、給紙トレイおよび片面 / 両面を選択して【スタート】を押します。

3 ［閉じる］を押します。

基本設定画面にもどります。

ひとこと

コピー／プリント中でもカウンタリスト表示画面を表示させることができます。

10 日頃の管理

10.3「装置の定期点検時期です」と表示されたら

「装置の定期点検時期です」と表示されたら、サービス実施店にご連絡し、定期点検を受けてください。

第 11 章
ジョブ確認

本機に登録されたジョブの確認、操作について説明します。

11.1 ジョブ確認画面の概要 11-2
11.2 ジョブ操作をする 11-5

11.1 ジョブ確認画面の概要

■ ジョブについて

コピーの準備をし、【スタート】を押すと、1 件のコピー動作が本機に登録されます。登録された動作をジョブと呼びます。同様に、読込み動作やスキャナ、PC プリント指示もジョブとして登録されます。

- ジョブ確認画面で、実行中のジョブやジョブ履歴を確認できます。
- 実行中リストの一番上にあるジョブからプリントされます。
- ジョブは、登録された順にジョブナンバが付けられプリントなど動作実行の順番を待ちます。

■ マルチジョブ機能について

- 1 つのジョブのプリント中でも、別のジョブを登録できます。全てのジョブを合わせて最大 78 件まで登録できます。
- 1 つのジョブのプリントが完了すると、次に登録されたプリントジョブを自動的に開始します。

■ ジョブ確認画面について

- ジョブ確認画面は以下の各機能ごとに表示されます。
  - ❍ プリント :
    コピー、PC プリントのジョブリストです。
  - ❍ スキャナ送信 :
    スキャナ送信のジョブリストです。
  - ❍ 受信 / 保存 :
    プリント受信ボックスに蓄積した場合のジョブリストです。

各機能の切換えは、どのジョブ確認画面でも行えます。ただし、ジョブの設定変更中に機能を切換えたときは、その設定は取消されます。

- 各機能のジョブリストは、それぞれ実行中リストと履歴リストがあります。
  - ❍ 実行中リスト :
    登録済みジョブ、現在実行中のジョブのリストです。現在の状況を確認できます。
  - ❍ 履歴リスト :
    動作終了ジョブのリストです。エラーなどで実行できなかったジョブも含みます。ジョブ履歴、実行結果を確認できます。

ひとこと

- ジョブナンバは識別番号です。プリント順を示す番号ではありません。またジョブナンバはジョブが削除されるまで変更されません。
- 優先出力機能を使うと、指定したジョブを先にプリントできます。

ひとこと

出荷時設定では、ジョブ確認画面の初期表示は［プリント実行中リスト］が設定されています。

参照

ジョブ確認初期表示の設定については、「<ジョブ確認初期表示>」（p. 12-22）をごらんください。

- 実行中リストと履歴リストは、表示するジョブの種類を選択できます。例えば、プリント画面の実行中リストの場合は蓄積ジョブまたは動作中ジョブから、履歴リストの場合は消去ジョブ、終了ジョブ、全ジョブから選択できます。画面によって選択できるジョブの種類は異なります。
- ジョブ画面の各キーのはたらきは、以下のとおりです。反転表示されているキーが、現在表示されているジョブリストの条件を示しています。[蓄積ジョブ]、[動作中ジョブ]、[優先出力]、[削除]、[設定内容] は、プリント画面の実行中リストに表示されます。

名称	説明
[プリント]	ジョブ確認のプリント画面に切換わります。
[スキャナ送信]	ジョブ確認のスキャナ送信画面に切換わります。詳しくは、別冊の「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
[受信 / 保存]	ジョブ確認の受信 / 保存画面に切換わります。詳しくは、別冊の「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
[実行中リスト]	履歴リストから実行中リストに切換わります。現在実行中のジョブとプリント待ち（待機中）ジョブが表示されます。
[履歴リスト]	実行中リストから履歴リストに切換わります。実行済みジョブが表示されます。
[蓄積ジョブ] [動作中ジョブ]	ジョブリストに表示するジョブの種類を指定できます。キーを押すと機能が切換わります。 キーの内容は、機能や実行中 / 履歴リストによって異なります。

名称	説明
［終了］	ジョブ確認機能は解除され、［ジョブ確認］を押す前の画面にもどります。
［削除］	実行中リストのジョブを削除できます。詳しくは、「ジョブを削除する」（p. 11-5）をごらんください。
［優先出力］	プリント中ジョブの次にプリントするジョブを変更できます。詳しくは「優先出力の設定をする」（p. 11-15）をごらんください。 ここに表示されるキーは、画面や実行中 / 履歴リストによって異なります。
［設定内容］	実行中リストのジョブの設定を確認できます。詳しくは「ジョブの設定内容を確認する」（p. 11-7）、をごらんください。
［詳細］	実行中 / 履歴リストのジョブの状態、実行結果、エラー詳細、ユーザ名、登録時間、終了時間、原稿枚数、部数などを確認できます。詳しくは、「ジョブの詳細確認をする」（p. 11-8）をごらんください。
［↑］／［↓］	ジョブの件数が、1 度に表示できる件数（5 件）を超えた場合にキーを押すと、現在表示されているジョブよりプリント順位の高いジョブ、またはプリント順位の低いジョブを表示します。

プリント画面の内容は以下のとおりです。

名称	説明
No.	ジョブの登録時につけられる、ジョブの識別番号を表示します。
登録元	ジョブの種類を表示します。コピージョブは“COPY”と表示されます。
状態	ジョブの状態を表示します。
ドキュメント名	PC プリントジョブ時にファイル名を表示します。 ユーザ認証時は、他のユーザにはドキュメント名を表示しません。機密文書の場合、ドキュメント名は表示しません。
登録時間	ジョブの登録時間を表示します。
原稿	原稿枚数を表示します。
部数	設定されたプリント枚数を表示します。
実行結果（履歴リストのみ）	ジョブの実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザ消去、モード解除）を表示します。

■ ジョブを削除する

登録されたジョブやプリント中のジョブ（動作中リストのジョブ）を削除できます。

1 ［ジョブ確認］を押します。

ジョブ確認画面が表示されます。

2 プリント画面で削除したいジョブを表示させます。

3 削除したいジョブを選択し、［削除］を押します。

削除確認画面が表示されます。

ひとこと

ユーザ認証を行っている場合に、他のユーザがジョブを削除できない設定をしていると、削除できません。

ひとこと

履歴リストのジョブは削除できません。

詳しく説明します

- 削除したいジョブが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーを再度押すと選択は取り消されます。

4 内容を確認し、[はい] を押します。

実行中リストからジョブが削除されジョブ確認にもどります。

5 [終了] または【リセット】を押します。

[ジョブ確認] を押す前の画面にもどります。

詳しく説明します

削除を中断する場合は、[いいえ] を押します。

■ ジョブの設定内容を確認する

登録されたジョブやプリント中のジョブ、プリント待ち、蓄積ジョブなどの設定内容を確認できます。

1 基本設定画面の［ジョブ確認］を押します。

ジョブ確認画面が表示されます。

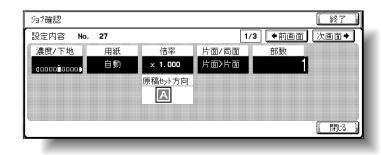
2 設定内容を確認したいジョブを表示させます。

3 確認したいジョブを選択し、［設定内容］を押します。

設定内容画面が表示されます。

4 設定内容の確認が終了したら、［閉じる］、［終了］、【リセット】のいずれかを押します。

❍ ［閉じる］を押すとジョブ確認画面にもどります。

❍ ［終了］または【リセット】を押すと、基本設定画面にもどります。

ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーを再度押すと選択は取り消されます。

- 設定内容画面の内容、画面数は、ジョブ画面によって異なります。
- ［←前画面］の左の数字は現在表示されている画面番号 / 総画面数を示しています。
- ［←前画面］を押すと 1 つ前の画面に、［次画面→］を押すと次の画面に切換わります。

■ ジョブの詳細確認をする

ジョブ確認画面で、以下の内容を確認できます。

- プリント画面
  状態（受信中、プリント待ち、プリント中、プリント停、プリントエラー、蓄積中、削除中）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザ消去、モード解除）*2、エラー詳細 *2、ファイル名、ユーザ名、登録時間、原稿枚数、部数、排紙先
- スキャナ送信画面
  状態（送信中、送信待ち）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザ消去）*2、エラー詳細 *2、宛先、送信種別、ユーザ名、登録時間、原稿枚数、ファイル名、宛先件数（分子：送信中ジョブ件数 分母：設定宛先件数）*3
- 受信 / 保存画面
  状態（受信中、プリント待ち、プリント中、プリント停、プリントエラー、メモリ保存中）*1、実行結果（正常終了、エラー消去、ユーザ消去、モード解除）*2、エラー詳細 *2、受信ボックス（ボックス番号 / ボックス名）、ユーザ名、登録時間、原稿枚数、部数、排紙先、ファイル名

*1　実行中リストのジョブのみ表示
*2　履歴リストのジョブのみ表示
*3　実行中リストの複数宛先へ送信ジョブのみ表示

1 基本設定画面の［ジョブ確認］を押します。

ジョブ確認画面が表示されます。

2 詳細確認をしたいジョブを表示させます。

3

詳細確認をしたいジョブを選択し、［詳細］を押します。

詳細確認画面が表示されます。

確認が終了したら、［閉じる］、［終了］、【リセット】のいずれかを押します。

- ［閉じる］を押すと、ジョブ確認画面にもどります。
- ［終了］または【リセット】を押すと、基本設定画面にもどります。

ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押しなおすか、反転されたキーを再度押すと選択は取り消されます。

登録されたジョブまたは実行中のジョブの詳細確認画面で、［削除］を押すとジョブを削除できます。

■ 実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する

コピー機能、PC プリント機能の受信プリントの実行中リストが表示されます。

1 基本設定画面の［ジョブ確認］を押します。

ジョブ確認画面が表示されます。

2 ［蓄積ジョブ］または［動作ジョブ］を押し、表示したいジョブの種類を選択します。

❍ 蓄積ジョブ : 蓄積ジョブのみを表示

❍ 動作中ジョブ : 動作中ジョブのみを表示

選択したジョブの種類の実行中リストが表示されます。

参照

各キーのはたらきについては、「ジョブ確認画面について」（p. 11-2）をごらんください。

参照

- 蓄積ジョブ画面で［確認プリント］を押すと、蓄積ジョブを 1 部プリントして確認できます。詳しくは、「蓄積ジョブを 1 部プリントして確認する」（p. 11-12）をごらんください。
- 蓄積ジョブ画面で［蓄積解除］を押すと、蓄積ジョブをプリントできます。詳しくは、「蓄積ジョブをプリントする」（p. 11-13）をごらんください。
- 動作中ジョブ画面で［優先出力］を押すと、目的のジョブを優先出力できます。詳しくは、「優先出力の設定をする」（p. 11-15）をごらんください。

■ 履歴リストを表示する

1 基本設定画面の［ジョブ確認］を押します。

ジョブ確認画面が表示されます。

2 ［履歴リスト］を押します。

プリントの履歴リスト画面が表示されます。

3 ［消去ジョブ］、［終了ジョブ］、［全ジョブ］のいずれかを押し、表示したいジョブの種類を選択します。

❍ 消去ジョブ : 終了前に消去したジョブのみを表示

❍ 終了ジョブ : 正常終了したジョブのみを表示

❍ 全ジョブ : すべてのジョブを表示

選択したジョブの種類の履歴リストが表示されます。

■ 蓄積ジョブを1部プリントして確認する

確認のために蓄積ジョブを1部プリントできます。

蓄積ジョブリストには、確認コピー中にシステムオートリセットが機能したジョブが表示されます。

1 プリントの実行中リストの蓄積ジョブ画面を表示します。

2 [蓄積解除] を押します。

蓄積解除画面が表示されます。

3 ジョブリストから確認プリントをするジョブを選択し、[確認プリント] を押します。

4 [実行] を押します。

❍ 1部プリントされますので、プリント結果を確認します。

参照

表示のしかたは、「実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する」（p. 11-10）をごらんください。

詳しく説明します

- 確認プリントをしたいジョブが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、選択したジョブを再度押すと選択は取消されます。
- 確認プリントを中止する場合は、【ストップ】を押します。
- [中止] を押すと、蓄積解除画面を終了し、実行中リストの全ジョブ画面を表示します。
- 設定を変更したい場合は、蓄積解除画面で [設定変更] を押します。詳しくは、「蓄積ジョブをプリントする」（p. 11-13）をごらんください。

■ 蓄積ジョブをプリントする

蓄積を解除し、ジョブをプリントします。また、蓄積ジョブの設定変更もできます。

1 プリントの実行中リストの蓄積ジョブ画面を表示します。

2 ［蓄積解除］を押します。

蓄積解除画面が表示されます。

3 ジョブリストから蓄積解除をするジョブを選びます。

❍ 設定されているコピー条件を変更する場合は、手順4へ進みます。

❍ 設定されているコピー条件を変更しない場合は、手順7へ進みます。

4 ［プリント］を押します。

［設定変更］が表示されます。

表示のしかたは、「実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する」(p. 11-10）をごらんください。

詳しく説明します

- 蓄積解除をしたいジョブが表示されていないときは、［↑］または［↓］で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを押し直すか、選択したジョブを再度押すと選択は取り消されます。
- 蓄積解除を中止したい場合は［中止］を押します。

5

［設定変更］を押します。

設定変更画面が表示されます。

6

変更したいコピー条件のキーを押します。

7

各コピー条件の設定画面でコピー条件を変更して、［OK］を押します。

8

蓄積解除画面で［実行］を押します。

蓄積ジョブは動作中ジョブリストに表示され、プリントされます。

- 部数を変更したいときは、【クリア】を押してから、テンキーで数字を入力します。
- ［キャンセル］を押すと設定は変更されません。
- 確認コピー後に、設定できるコピー条件は以下のとおりです。
  - 部数、片面または両面、仕上り、紙折り、カバーシート、インターシート、章分け、とじ代、スタンプ/オーバレイ

各設定方法については、各設定の説明ページをごらんください。

確認プリントをしたい場合は、p. 11-12 をごらんください。

蓄積解除を中止する場合は、［中止］を押します。

■ 優先出力の設定をする

プリント中のジョブの次にプリントするジョブを変更できます。

原則

管理者設定のジョブ優先順位変更を禁止に設定している場合は、[優先出力]は表示されず、優先出力は設定できません。

1 プリントの実行中リストの動作中ジョブ画面を表示します。

2 [優先出力] を押します。

優先出力画面が表示されます。

3 ジョブリストから優先出力するジョブを選択し、[実行] を押します。

選択したジョブがリストの一番上に移動し、プリントを開始します。

- プリント中のジョブが割込み可能な設定の場合は、プリントを中断して優先出力ジョブをプリントします。中断されたジョブは、割込んだジョブのプリントが完了すると自動的にプリントを再開します。
- プリント中のジョブが割込み不可な設定の場合（割込みコピー中、および優先出力中）は、現在のプリントの完了後に割込みプリントを開始します。

表示のしかたは、「実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する」(p. 11-10) をごらんください。

- 優先出力をしたいジョブが表示されていないときは、[↑] または [↓] で、表示を切換えます。
- ジョブを間違えて選択したときは、ジョブを選択しなおすか、選択したジョブを再度押すと選択は取消されます。
- 優先出力を中止する場合は、[中止] を押します。

第 12 章
設定メニュー

日頃の使い方に合わせて、本機の設定を変更、管理する方法について説明します。

12.1 設定メニューの概要 12-2
12.2 宛先登録を選択する 12-16
12.3 ユーザ設定を選択する 12-18
12.4 管理者設定を選択する 12-28
12.5 プリンタ調整 12-48
12.6 フィニッシャ調整 12-52
12.7 認証方式 12-80
12.8 ユーザ認証設定 12-86
12.9 部門管理設定 12-95
12.10パスワード規約 12-100
12.11セキュリティ強化設定 12-101

12.1 設定メニューの概要

■ 登録・設定項目一覧表

【設定メニュー / カウンタ】を押したときに表示されるキーを説明します。

ひとこと

各画面に表示されるキーは設定により異なります。*、** マークがついているキーについては、p. 12-43 をごらんください。*** マークがついているキーの表示方法についてはサービス技術者にご相談ください。(F) はファクスキットを装着している場合にのみ表示されるキーです。詳しくは「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」をごらんください。

[1] 宛先登録（つづき）
[3] ボックス登録（つづき）
[3] 中継ボックス
[2] ユーザ設定（p. 12-18）
[1] 環境設定（p. 12-18）
[1] 言語選択
[2] 単位系設定
[3] 給紙トレイ設定
[1] 用紙種類設定
用紙種類
用紙サイズ種別
[2] 給紙トレイ自動選択
[3] ATS 許可
[4] 指定給紙トレイ不一致
[5] リストプリント出力設定
[6] ポストインサータ設定
[4] LCD バックライト設定 *
[5] パワーセーブ設定 *
ローパワー設定 *
スリープ設定 *
[6] 出力設定 **
[1] 受信プリント出力設定 **
プリンタ **
ファクス **
[2] 排紙トレイ設定 **
[7] 原稿画質の濃度シフト **
[2] 画面切替え設定（p. 12-21）
[1] 表示サブエリア切替え
[2] コピー設定
回転しないキー表示
[3] スキャナ設定
基本画面表示
プログラム初期表示
アドレス帳初期表示
宛先種類記号表示
[4] ファクス設定 (F)
基本画面表示

[2] ユーザ設定（つづき）
[2] 画面切替え設定（つづき）
[4] ファクス設定 (F)（つづき）
プログラム初期表示
短縮 / アドレス初期表示
宛先種類記号表示
宛名表示文字数
[5] コピー動作中画面
プリント中画面表示
[6] ファクス動作中画面 (F)
送信中画面表示
受信中画面表示
[7] コピー初期画面切換え
[8] ジョブ確認初期表示
[3] 初期設定（p. 12-22）
[4] コピー設定（p. 12-23）
中とじ / 中折り時小冊子
集約 / 小冊子倍率
ソート / グループ自動切換え
AMS 方向不可動作
原稿ガラス自動倍率 *
ADF 自動倍率 *
APS 解除時のトレイ指定 *
インターシートトレイ選択 *
連続読み時の出力設定
原稿ガラス 1 枚排紙 *
原稿ガラスコピー排出方向 *
三つ折り印刷面方向 *
コピー操作時のプリント受付 **
[5] スキャナ設定（p. 12-25）
白黒 2 値圧縮方法

[2] ユーザ設定
（つづき）
[6] プリンタ設定
（p. 12-26）
[1] 基本設定
PDL 設定
プリント部数
画像の向き
スプール設定
用紙サイズ変換
バナー設定
管理ナンバー
印字濃度
白紙抑制
[2] 用紙設定
給紙トレイ
用紙サイズ
両面プリント
とじ方向
ステープル
パンチ
バナー給紙トレイ
[3] PCL 設定
[1] フォント設定
[2] シンボルセット
[3] フォントサイズ
[4] ライン / ページ
[5] CR/LF マッピング
[4] PS 設定
PS エラープリント
[5] レポート出力
設定情報リスト
デモページ
PCL フォントリスト

[2] ユーザ設定（つづき）
[6] プリンタ設定（つづき）
[5] レポート出力（つづき）
PS フォントリスト
[9] トナー補給
[3] 管理者設定（p. 12-28）
[1] 環境設定（p. 12-28）
[1] パワーセーブ設定
ローパワー設定
スリープ設定
パワーセーブキー節電切替
パワーセーブ移行 - ファクス (F)
[2] 出力設定
[1] 受信プリント出力設定
プリンタ
[2] 排紙トレイ設定
[4] ジョブ毎のシフト排出設定
[5] 定型文字設定 ***
[3] 日時設定
[4] サマータイム設定
[5] ウィークリータイマー設定
[1] ウィークリータイマ使用設定
[2] タイマー予約時刻設定
[3] 動作日設定
[4] 昼休み OFF 機能設定
[5] 時間外パスワード設定
[6] ユーザ操作禁止設定
[1] コピープログラムロック設定
[2] コピープログラム削除
[3] 変更禁止設定
ジョブ優先順位変更
他ユーザジョブ削除
宛先登録変更
倍率登録変更
From アドレス変更

[3] 管理者設定（つづき）
[1] 環境設定（つづき）
[6] ユーザ操作禁止設定（つづき）
[3] 変更禁止設定（つづき）
登録オーバレイ変更
[4] 操作禁止設定
ファクス複数宛先禁止
[7] エキスパート調整
[1] 原稿画質の濃度シフト
[2] 消去補正
原稿外消去機能
原稿外消去動作設定
ADF 枠消し
[3] プリンタ調整
[1] プリント位置：先端
[2] プリント位置：側端
[3] 通紙方向倍率 ***
[4] 通紙交差方向倍率 ***
[4] 裏面倍率補正設定
[5] フィニッシャ調整
[1] 中とじ位置調整
[2] 中折り位置調整
[3] パンチ調整
[1] パンチ縦位置
[2] パンチ横位置
[3] パンチユニット縦位置
[4] パンチユニット横位置
[5] パンチレジストループ量
[4] Z 折り位置調整
[1] 第 1Z 折り位置
[2] 第 2Z 折り位置
[5] 三つ折り位置
[6] 平とじ 2 点ステープル
[7] ポストインサータトレイサイズ
[6] スキャンエリア ***
スキャン画像位置：先端

[3] 管理者設定（つづき）
[1] 環境設定（つづき）
[7] エキスパート調整（つづき）
[6] スキャンエリア（つづき）
スキャン画像位置：側端
通紙方向倍率 ***
[7] ADF センタ調整 ***
センタ調整
[8] リスト / カウンタ
[1] マシン管理リストプリント
設定値リスト
[2] 用紙サイズ / 種類カウンタ
[9] リセット設定
[1] システムオートリセット
[2] オートリセット
[3] モードリセット
使用者変更
ADF 原稿セット
次ジョブ
ステープル設定
原稿セット / とじ方向
送信後設定解除
[4] 確認コピー時リセット
[0] ボックス設定
不要ボックス削除
機密文書削除
機密文書削除時間
[1] LCD バックライト設定 ***
[2] サイズ設定 ***
原稿ガラス原稿サイズ検知
ADF 原稿サイズ検知
原稿ガラス最小サイズ検知
原稿サイズ検知切替 1
原稿サイズ検知切替 2
原稿サイズ検知切替 3
Foolscap サイズ設定
検知サイズ設定

[3] 管理者設定（つづき）
[2] 管理者 / 本体登録（p. 12-37）
[1] 管理者登録
[2] 本体アドレス登録
[3] 宛先登録（p. 12-37）
[1] スキャナ登録
[1] 短縮宛先
[1] E-Mail 宛先
[2] FTP 宛先
[3] SMB 宛先
[4] ボックス宛先
[2] グループ宛先
[3] プログラム宛先
[4] E-Mail
[1] タイトル
[2] 本文
[2] ファクス登録 (F)
[1] 短縮宛先
[1] ダイアル宛先
[2] E-Mail 宛先
[3] ボックス宛先
[4] IP アドレスファクス宛先
[5] インターネットファクス宛先
[2] グループ宛先
[3] プログラム宛先
[4] E-Mail
[1] タイトル
[2] 本文
[3] ボックス登録
[1] 共有 / 個人ボックス
[2] 掲示板ボックス (F)
[3] 中継ボックス
[4] ファイリングナンバーボックス
[4] 宛先登録リスト
[1] 短縮宛先リスト

12 設定メニュー

[3] 管理者設定（つづき）
[3] 宛先登録（つづき）
[4] 宛先登録リスト（つづき）
[2] グループ宛先リスト
[3] プログラム宛先リスト
[4] タイトル / 本文リスト
[4] ユーザ認証 / 部門管理（p. 12-38）
[1] 認証方式
[2] ユーザ認証設定
[1] 管理設定
ユーザ名一覧表示
初期機能制限
パブリックユーザの認証
[2] ユーザ登録
[3] ユーザカウンタ
[3] 部門管理設定
[1] 部門登録
[2] 部門カウンタ
[4] 認証指定なしプリント
[5] 使用管理カウンタリスト
[5] ネットワーク設定（p. 12-40）
[1] ネットワーク使用設定
[2] TCP/IP 設定
[3] NetWare 設定
[4] http サーバ設定
[5] FTP 設定
[6] SMB 設定
[7] AppleTalk 設定
[8] LDAP 設定
[1] LDAP 使用設定
[2] LDAP サーバ登録
[3] 検索デフォルト設定
[9] E-Mail 設定
[1] E-Mail 送信（SMTP）

[3] 管理者設定（つづき）
[5] ネットワーク設定（つづき）
[9] E-Mail 設定（つづき）
[2] E-Mail 受信（POP）
[0] 詳細設定
[1] デバイス設定
[2] 時刻補正設定
[3] 状態通知設定
[1] 通知先登録
[2] 通知項目設定
[3] 通知時間設定
[4] トータルカウンタ通知設定
[5] PING 応答確認
[6] SLP 設定
[7] LPD 設定
[8] アドレス入力付加設定
[1] アドレス入力付加
[2] Prefix/Suffix 登録
[9] 証明書無効時処理
[1] SNMP 設定
[2] Bonjour 設定
[3] TCP Socket 設定
[4] ネットワークファクス設定
[1] ネットワークファクス機
IP アドレスファクス機能
SIP ファクス機能
インターネットファクス機能
[2] SMTP 送信設定
[3] SMTP 受信設定
[6] コピー設定（p. 12-40）
原稿ガラス自動倍率
ADF 自動倍率
APS 解除時のトレイ指定

[3] 管理者設定（つづき）
[6] コピー設定（つづき）
インターシートトレイ選択
画像回転
コピー操作時のプリント受付
原稿ガラス 1 枚排紙
三つ折り印刷面方向
[7] プリンタ設定（p. 12-42）
[1] I/F タイムアウト
[8] ファクス設定 (F)
[1] 発信元 / ファクス ID 登録
[2] 発信元 / 受信情報
発信元情報
相手先印字
受信情報
[3] 回線パラメータ設定
ダイアル方式
受信方式
着信回数設定
オートリダイアル回数
オートリダイアル間隔
TEL/FAX 自動切換え
留守電接続設定
回線モニター音
回線モニター音レベル
[4] 送信 / 受信設定
受信原稿両面プリント
インチ系用紙優先選択
記録用紙優先選択
記録用紙サイズ
ボックス番号エラー動作

[3] 管理者設定（つづき）
[8] ファクス設定 (F)（つづき）
[4] 送信 / 受信設定（つづき）
給紙トレイ固定
縮小率
ページ分割記録
ポーリング送信後文書
受信プリント部数
[5] 機能設定
[1] 機能 ON/OFF 設定
F コード送信機能
中継受信機能
中継プリント
宛先確認表示機能
ナンバーディスプレイ機能
[2] ダイアルイン設定
[3] 強制メモリ受信設定
[4] 閉域受信設定
[5] 転送ファクス設定
[6] リモート受信設定
[7] 再送信設定
[8] PC-FAX 受信設定
[9] TSI 受信振分け設定
[6] PBX 接続設定
[7] レポート出力設定
通信管理レポート
送信結果レポート
順次通信結果レポート
予約レポート
親展受信レポート

[3] 管理者設定
（つづき）
[8] ファクス設定
(F) （つづき）
[7] レポート出力
設定（つづき）
掲示板送信結果
レポート
中継結果レポー
ト
中継依頼受付レ
ポート
PC-FAX 送信エ
ラーレポート
同報結果レポー
ト出力
送信結果レポー
ト画面
NW ファクス受信
エラーレポート
MDN メッセージ
DSN メッセージ
正常受信メール
本文
[8] 設定値リスト
[9] 増設回線設定
回線パラメータ
ダイアル方式
着信回数設定
回線モニター音
回線モニター音
レベル
機能設定
PC-FAX 送信設
定
ナンバーディス
プレイ機能
複数回線使用設
定
ファクス ID
[0] ネットワーク
ファクス設定
[1] 白黒 2 値圧縮
方法
[2] SIP アダプタ
接続確認
[3] I-Fax 自機受
信能力
[4] I-Fax 拡張設
定
[9] システム連携
（p. 12-42）
[1] IS OpenAPI
設定
アクセス設定

[3] 管理者設定（つづき）
[9] システム連携（つづき）
[1] IS OpenAPI 設定（つづき）
ポート番号
認証
[3] Pre/Suffix 自動設定（F）
[0] セキュリティ設定（p. 12-43）
[1] 管理者パスワード
[2] ボックス管理者設定
[3] ユーザ開放レベル
[4] セキュリティ詳細
パスワード規約
認証操作禁止機能
手動宛先入力
プリントデータキャプチャ
機密文書アクセス方式
FAX 送信禁止
[5] セキュリティ強化設定
[6] HDD 管理設定
[1]HDD 容量確認
[2] 一時データ上書き削除
[3] 全データ上書き削除
[4] HDD ロックパスワード
[5]HDD フォーマット
[6]HDD 暗号化設定
画像データ暗号化ワード
管理データ暗号化ワード
[7] 管理機能設定
[3] ネットワーク機能使用設定

12.2 宛先登録を選択する

ここでは【設定メニュー / カウンタ】を押し、［宛先登録］で設定できる主な登録および機能について紹介します。

■ スキャナ登録

設定項目	機能説明
短縮宛先	スキャナに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
グループ宛先	
プログラム宛先	
E-Mail	

■ ボックス登録

設定項目	機能説明
共有 / 個人ボックス	ボックスに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
掲示板ボックス	
中継ボックス	

ひとこと

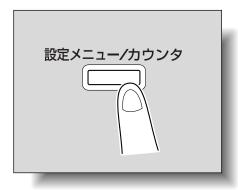
ユーザ認証を設定した場合、ユーザがログアウト状態のとき［1 宛先登録］は表示されません。ただし、ユーザ認証によりログインしているとき［1 宛先登録］は表示されます。

ひとこと

［3 ボックス登録］はハードディスクを装着している場合にのみ設定できます。

■ 宛先登録画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、宛先登録画面を表示させるまでの手順を説明します。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［1 宛先登録］を押します。

宛先登録画面が表示されます。

ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。
［1 宛先登録］の場合は、テンキーの【1】を押します。

ひとこと

設定メニューの設定を終了するときは、サブエリアの［終了］または【設定メニュー / カウンタ】を押します。コピー、スキャナ、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

12.3 ユーザ設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンタ】を押し、［ユーザ設定］で設定できる主な登録および機能について紹介します。

■ 環境設定

＜言語選択＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
タッチパネルに表示される言語を設定できます。	英語 / 日本語

＜単位系設定＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
タッチパネルに表示される数値の単位を設定できます。	mm（数値）/ インチ（数値）/ インチ（分数）

＜給紙トレイ設定＞

項目設定		機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
用紙種類設定	用紙種類	各給紙トレイに用紙種類を設定できます。	普通紙 / 厚紙 / 薄紙 / ユーザ紙 1/ ユーザ紙 2/ ユーザ紙 3/ インデックス紙 / 再生紙 / 色紙 / 特殊紙 / 上質紙 / レターヘッド紙
	用紙サイズ種別	第 3 ／第 4 給紙トレイの用紙サイズを設定できます。 • ［定形サイズ］： 定形サイズの用紙を自動検出します。 • ［定形特殊サイズ］： 8-1/2 × 11 ▭、5-1/2 × 8-1/2 ▯、F4 サイズの用紙を使用する場合に設定します。 • ［不定形サイズ］： 定形外の用紙を使用する場合に設定します。 • ［ワイド紙］： 定形サイズの一回り大きいサイズの用紙を使用する場合に設定します。 • ［はがき］： 官製はがきを使用する場合に設定します。	定形サイズ / 定型特殊サイズ / 不定形サイズ / ワイド紙 / はがき

ひとこと

第 1 ／第 2 給紙トレイ、大容量給紙ユニットの用紙サイズの変更はサービス実施店にご連絡ください。

項目設定	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
給紙トレイ自動選択	自動用紙機能や自動トレイ切換え機能で選択される給紙トレイを設定します。 • 「自動選択トレイ」: 自動用紙機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。 • 「トレイの優先順」: 自動トレイ切換え機能がはたらいたとき、トレイを切換える優先順位を設定できます。	-
ATS 許可	コピー中、給紙トレイに用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えるかどうかを設定できます。	許可する / 許可しない
指定給紙トレイ不一致	指定した給紙トレイに該当する用紙がない場合の動作を設定できます。 • ［指定給紙トレイ固定］: 動作を停止します。 • ［指定給紙トレイ優先］: 指定給紙トレイに該当する用紙の有無を優先して判断し、ない場合、他の給紙トレイに該当する用紙があればその給紙トレイを選択します。	指定給紙トレイ固定 / 指定給紙トレイ優先
リストプリント出力設定	セールスカウンタなどのリストを出力するときの給紙トレイを設定できます。また、片面 / 両面を選択できます。	第 1 給紙トレイ / 第 2 給紙トレイ / 第 3 給紙トレイ / 第 4 給紙トレイ / 手差しトレイ /LCT
ポストインサータ設定	ポストインサータの用紙サイズと紙方向を表示するかどうかを設定できます。	する / しない

＜ LCD バックライト設定＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
LCD パネルのバックライトの明るさを 16 段階で調整できます。	1 〜 16 : 8

「自動選択トレイ」で選択した給紙トレイのみ、「トレイ優先順位」で設定できます。

ポストインサータ設定は、オプションのポストインサータ PI-501 を装着している場合に表示されます。

ひとこと

［LCD バックライト設定］は、管理者設定のユーザ開放レベルを［レベル 1］または［レベル 2］に設定している場合に表示されます。

ユーザ開放レベルについては「セキュリティ設定」（p. 12-43）をごらんください。

＜パワーセーブ設定＞

項目設定	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ローパワー設定	ローパワーモードがはたらくまでの時間を設定できます。	1 分～ 240 分： 1 分（オプション未装着機）、 15 分（オプション装着機）
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を設定できます。	1 分～ 240 分： 1 分（オプション未装着機）、 60 分（オプション装着機）

＜出力設定＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
受信プリント出力設定	プリンタ機能およびファクス機能に関する設定を行います。詳しくは、「IC-202 ユーザーズガイド」、「ユーザーズガイドファクシミリ機能編」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンタ、レポート出力時、各機能ごとに優先する排紙トレイを設定できます。	コピー：1/2 プリンタ：1/2 レポート出力：1/2

＜原稿画質の濃度シフト＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
原稿画質の濃度の初期値を設定します。原稿画質の機能ごとに濃度を設定できます。	文字： 0（うすい）～5（こい）：3 文字写真： 0（うすい）～5（こい）：3 薄文字原稿： 0（うすい）～5（こい）：2 写真： 0（うすい）～5（こい）：1

ひとこと

- ［パワーセーブ設定］は、管理者設定のユーザ開放レベルを［レベル 1］または［レベル 2］に設定している場合に表示されます。
- ［出力設定］、［日時設定］、［サマータイム設定］、［原稿画質の濃度シフト］は、管理者設定のユーザ開放レベルを［レベル 2］に設定している場合に表示されます。

参照

ユーザ開放レベルについては「セキュリティ設定」（p. 12-43）をごらんください。

- 受信プリント出力設定は、オプションのプリントコントローラ IC-202 を装着している場合に表示されます。
- 排紙トレイ設定は、オプションのフィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 を装着している場合に設定できます。

■ 画面切替え設定

＜表示サブエリア切換え＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
サブエリアの表示を設定できます。 • ［設定値］: 選択されたキーのイラストが表示されます。 • ［ジョブリスト］: 実行されているジョブの一覧が表示されます。	設定値 / ジョブリスト

＜コピー設定＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
回転しないキー表示	基本画面に［回転しない］キーを表示させるかどうかを設定します。	する / しない

＜スキャナ設定＞

設定項目	機能説明
基本画面表示	スキャナ機能に関する設定を行います。詳しくは､「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
プログラム初期表示	
アドレス帳初期表示	
宛先種類記号表示	

＜コピー動作中画面＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
プリント中画面表示	プリント動作中の画面表示を設定できます。 • ［ON］: プリント中画面が表示され［次ジョブ予約］を押すとジョブの予約ができます。 • ［OFF］: コピー機能の基本設定画面が表示され、コピー予約ができます。	ON/OFF

詳しく説明します

スキャンした画像が欠けないように、画像を 90° 回転させ、コピーする場合があります。この機能を使用しないときは、基本画面の［回転しない］を押し、反転させます。

＜コピー初期画面切替え＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
コピー機能の基本設定画面の表示を設定できます。 • ［TYPE1］： 基本設定画面で設定する各機能の名称キーと、現在の設定値が表示されます。 • ［TYPE2］： 基本設定画面で設定する各機能の各選択キーが一部表示され、現在の設定値が反転表示されます。	TYPE1/TYPE2

＜ジョブ確認初期表示＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ジョブ確認画面で初期表示されるジョブリストを設定できます。 • ［プリント実行中リスト］： プリントタブの実行中リストが表示されます。 • ［プリント履歴リスト］： プリントタブの履歴リストが表示されます。	プリント実行中リスト / プリント履歴リスト

■ 初期設定

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
コピー機能の初期設定値を設定できます。 電源スイッチを ON にしたとき、または【リセット】を押したときに選択されるコピー条件を設定できます。 • ［現在の設定値］： 設定メニュー画面に入る前にタッチパネル上で設定された各項目がコピー機能の初期設定として登録されます。 • ［出荷時の設定値］： 工場出荷時の設定値がコピー機能の初期設定に登録されます。	現在の設定値 / 出荷時の設定値

初期設定、出荷時設定については p. 2-25 をごらんください。

スキャン機能の初期設定を変更する場合、【スキャン】を押し、設定メニュー画面を表示してから、これらの設定を行います。

■ コピー設定

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
中とじ / 中折り時小冊子	中とじを選択したとき自動で小冊子の設定をするかしないかの設定ができます。	自動選択する / 自動選択しない
集約 / 小冊子倍率	自動用紙設定時に集約または小冊子を選択すると、自動で適した倍率を選択するかどうかを設定できます。 • ［お勧め倍率］: 以下のように倍率が設定されます。 2in1、小冊子・・・×0.707 4in1・・・×0.500 8in1・・・×0.353 • ［設定しない］: 倍率は自動で設定されません。	お勧め倍率 / 設定しない
ソート / グループ自動切換え	1 ジョブでプリントする用紙枚数が 2 枚以上ある場合、ソートする／しないの自動切換えをするかどうかを設定できます。 • ［する］: ADF に原稿をセットし、【スタート】を押したときに、原稿枚数が 1 枚の場合は自動的にソートしないを選択し、原稿枚数が 2 枚以上の場合は自動的にソートするを選択します。 • ［しない］: ソートする／しないの自動切換えは行ないません。	する / しない

中とじ / 中折り時小冊子は、オプションのフィニッシャー FS-602 を装着している場合にのみ設定が有効となります。

12 設定メニュー

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
AMS 方向不可時動作	自動倍率を設定しているときに、原稿と用紙の方向が適さない場合にプリントするかどうかを設定できます。 • ［プリントする］： 設定したサイズの用紙に、設定した方向のままで自動的に倍率設定してコピーされます。 • ［ジョブ削除］： ジョブが削除され、コピーされません。	プリントする / ジョブ削除
原稿ガラス自動倍率	給紙トレイが選択されているとき（自動用紙設定時は除く）に、自動倍率を設定するかしないかを設定できます。	ON/OFF
ADF 自動倍率	給紙トレイが選択されているとき（自動用紙設定時は除く）に、自動倍率を設定するかしないかを設定できます。	ON/OFF
APS 解除時のトレイ指定	自動用紙（APS）が解除されたときに、どのトレイを使用するかを設定できます。 • ［APS 選択前トレイ］： APS を選択する前に設定したトレイを使用します。 • ［初期設定トレイ］： 出荷時設定で設定されているトレイを使用します。	APS 選択前トレイ / 初期設定トレイ
インターシートトレイ選択	インターシートおよびカバーシート用の用紙をセットするトレイをあらかじめ設定します。	トレイ 1/トレイ 2/トレイ 3/トレイ 4/手差し /LCT/PI
連続読み時の出力設定	原稿を分割して読込んだり、複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットしたりするときに、原稿読込み中でもプリントするか、原稿読込み終了後にプリントするかを設定できます。 • ［自動出力］： 原稿読込み中でも出力可能なプリントが開始されます。 • ［一括出力］： 全ての原稿読込み終了後にプリントが開始されます。	自動出力 / 一括出力

ひとこと

• ［原稿ガラス自動倍率］、［ADF 自動倍率］、［APS 解除時のトレイ指定］、［インターシートトレイ選択］、［原稿ガラス 1 枚排紙］、［原稿ガラスコピー排出方向］、［三つ折り印刷面方向］は、管理者設定のユーザ開放レベルを［レベル 1］または［レベル 2］に設定している場合に表示されます。
• ［コピー操作時のプリント受付］は、管理者設定のユーザ開放レベルを［レベル 2］に設定している場合に表示されます。

参照

ユーザ開放レベルについては「セキュリティ設定」（p. 12-43）をごらんください。

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
原稿ガラス1枚排紙	原稿ガラスにセットした原稿のコピー排紙方向を設定します。 •［フェイスダウン］: プリント面が下になって排紙されます。 •［フェイスアップ］: プリント面が上になって排紙されます。	フェイスダウン / フェイスアップ
原稿ガラスコピー排出方向	原稿ガラス上に原稿をセットし、コピーを1部プリントしたときの排紙方向を設定します。 •［方向合わせする］: 排出方向を優先してプリントします。 •［方向合わせしない］: コピー速度を優先してプリントします。	方向合わせする / 方向合わせしない
三つ折り印刷面方向	三つ折り出力をするときに、プリント面を内側にして折るか、外側にして折るかを設定できます	外側 / 内側
コピー操作時のプリント受付	コピーを操作をしているときにプリントデータのプリント受付をするかしないかを設定できます。 •［プリントする］: プリントデータを受付け、プリントします。 •［プリント抑制］: プリントデータは、コピー操作が終わるとプリントされます。 •［受信しない］: プリントデータを受信しません。	プリントする / プリント抑制 / 受信しない

ひとこと

原稿ガラスコピー排出方向の設定についてはサービス実施店にご連絡ください。

詳しく説明します

三つ折り印刷面方向は、オプションのフィニッシャー FS-602 を装着している場合にのみ設定が有効となります。

■ スキャナ設定

設定項目	機能説明
白黒2値圧縮方式	スキャナ機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

■ プリンタ設定

設定項目	機能説明
基本設定	プリンタ機能に関する設定を行います。詳しくは、「IC-202 ユーザーズガイド」をごらんください。
用紙設定	
PCL 設定	
PS 設定	
レポート出力	プリンタ機能に関する設定内容をレポートとしてプリントできます。詳しくは、「IC-202 ユーザーズガイド」をごらんください。

［6 プリンタ設定］は、オプションのプリントコントローラ IC-202 を装着している場合に表示されます。

■ ユーザ設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、ユーザ設定画面を表示させるまでの手順を説明します。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［2 ユーザ設定］を押します。

ユーザ設定画面が表示されます。

ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。
［2 ユーザ設定］の場合は、テンキーの【2】を押します。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、サブエリアの［終了］または【設定メニュー / カウンタ】を押します。コピー、スキャナ、ボックスのいずれかの画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

12.4 管理者設定を選択する

ここでは、【設定メニュー / カウンタ】を押し、［管理者設定］で設定できる主な登録および機能について紹介します。

■ 環境設定

＜パワーセーブ設定＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ローパワー設定	ローパワーモードがはたらくまでの時間を設定できます。	1 分～ 240 分：1 分（オプション未装着機）、15 分（オプション装着機）
スリープ設定	スリープモードがはたらくまでの時間を設定できます。	1 分～ 240 分：1 分（オプション未装着機）、60 分（オプション装着機）
パワーセーブキー節電切替	【パワーセーブ】を押したときに開始されるパワーセーブ機能の種類を設定できます。 • ［ローパワー］： タッチパネルの表示を消し、節電状態となります。 • ［スリープ］： ローパワーモードよりも節電効果が得られます。しかし、再操作時にウォームアップを必要とするため、準備時間はローパワーモードよりもかかります。	ローパワー / スリープ
パワーセーブ移行 - ファクス	ファクス機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ファクシミリ機能編」、「ユーザーズガイドネットワークファクス編」をごらんください。	

＜出力設定＞

設定項目	機能説明	設定値 （下線は出荷時設定）
受信プリント出力設定	プリンタ機能に関する設定を行います。詳しくは、「IC-202 ユーザーズガイド」をごらんください。	
排紙トレイ設定	コピー、プリンタ、レポート出力のそれぞれのジョブに、優先出力される排紙トレイを設定できます。	コピー：トレイ 1/ トレイ 2 プリンタ：トレイ 1/ トレイ 2 レポート出力：トレイ 1/ トレイ 2
ジョブ毎のシフト排出設定	フィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 装着時に仕分け機能を設定した場合、コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排出するかしないかを設定できます。 • ［する］：用紙がシフト排出されます。 • ［しない］：用紙がシフトせずに排出されます。	する / しない
定型文字設定	プリント時、定型文字として印字する文字列の登録、設定を行います。詳しくはサービス技術者にご相談ください。	

＜日時設定＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
本機内蔵の時計の日時やタイムゾーンを設定できます。	タイムゾーン： -12:00 ～ 13:00 00:00

＜サマータイム設定＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
本機内蔵の時計をサマータイムにするかしないかを設定できます。サマータイムの進める時間を設定できます。	ON/OFF サマータイム： 1 分～ 150 分： 60 分

詳しく説明します

- 受信プリント出力設定は、オプションのプリントコントローラ IC-202 を装着している場合に表示されます。
- 排紙トレイ設定は、オプションのフィニッシャー FS-504/FS-505/FS-602 を装着している場合に設定できます。

＜ウィークリータイマー設定＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ウィークリータイマ使用設定	ウィークリータイマーを使用するかしないかを設定できます。	する / しない
タイマー予約時刻設定	タイマーの ON/OFF 時刻を曜日ごとに設定できます。	-
動作日設定	タイマーの動作日を 1 日ずつ個別に、または曜日ごとに設定できます。	-
昼休み OFF 機能設定	ウィークリータイマー設定中で電源が ON のときに、電源の OFF/ON する時刻を設定できます。	昼休み OFF する / 連続運転
時間外パスワード設定	ウィークリータイマー設定中で電源が OFF のときに、パスワードを入力してから本機を使用するかどうかの設定ができます。	ON/OFF

＜ユーザ操作禁止設定＞

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定値（下線は出荷時設定）</th></tr>
<tr><td colspan="2">コピープログラムロック設定</td><td>登録されたコピープログラムの変更や削除を禁止する設定ができます。</td><td>-</td></tr>
<tr><td colspan="2">コピープログラム削除</td><td>登録されたコピープログラムを削除できます。</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="6">変更禁止設定</td><td>ジョブ優先順位変更</td><td>ジョブのプリント優先順位の変更を許可／禁止します。</td><td>許可 / 禁止</td></tr>
<tr><td>他ユーザジョブ削除</td><td>ユーザ認証されている場合に、他のユーザがジョブを削除することを許可／禁止します。</td><td>許可 / 禁止</td></tr>
<tr><td>宛先登録変更</td><td>登録されている宛先の変更を許可／禁止します。</td><td>許可 / 禁止</td></tr>
<tr><td>倍率登録変更</td><td>登録されている倍率の変更を許可／禁止します。</td><td>許可 / 禁止</td></tr>
<tr><td>From アドレス変更</td><td>設定されている From アドレスの変更を許可／禁止します。</td><td>許可 / 禁止</td></tr>
<tr><td>登録オーバレイ変更</td><td>登録オーバレイに登録した画像を削除したり、上書きできるようにするかどうかを設定します。</td><td>許可 / 禁止</td></tr>
<tr><td>操作禁止設定</td><td>ファクス複数宛先禁止</td><td>ファクスジョブの送信で、複数の宛先設定を禁止する設定ができます。</td><td>する / しない</td></tr>
</table>

- ウィークリータイマーが設定されているときは、電源が OFF のときでも本機の電源プラグをコンセントに接続したままにしてください。
- ウィークリータイマーを設定する場合は、日時を正確に設定してください。

＜エキスパート調整＞

設定項目		機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
原稿画質の濃度シフト		原稿画質の濃度の初期値を設定します。原稿画質の機能ごとに濃度を設定できます。	文字： 0（うすい）～ 5（こい）：3 文字写真： 0（うすい）～ 5（こい）：3 薄文字原稿： 0（うすい）～ 5（こい）：2 写真： 0（うすい）～ 5（こい）：1
消去補正	原稿外消去機能	原稿外消去の条件を設定できます。 • ［制限なし］： 条件を指定しません。 • ［自動サイズ / 等倍時のみ］： 自動サイズか等倍のときに原稿外の消去をします。 • ［原稿ガラス等倍を除く］： 等倍以外の倍率のときに原稿外の消去をします。	制限なし / 自動サイズ / 自動倍率時のみ / 原稿ガラス等倍を除く
	原稿外消去動作設定	原稿外消去を設定できます。 • ［自動］： 自動で消去します。 • ［指定］： 目的にあわせて消去方法、原稿濃度を選択します。濃度レベルは 5 段階で調整できます。	自動 / 指定 消去方法：斜角消去 / 矩角消去 原稿濃度： 1（うすく）～ 5（こく）： 3（ふつう）
	ADF 枠消し	ADF 使用時の枠消しの幅を設定できます。	0 mm ～ 5 mm:3 mm
プリンタ調整	プリント位置：先端	用紙排紙方向に対しての用紙先端部分のプリント開始位置を 0.1 mm 単位で調整できます。 用紙種類ごとに設定できます。	普通紙：-3.0 ～ 6.0:0.0 はがき：-3.0 ～ 6.0:0.0 厚紙：-3.0 ～ 6.0:0.0
	プリント位置：側端	用紙排紙方向に対しての用紙左端部分のプリント開始位置を 0.1 mm 単位で調整できます。	-6.4 ～ 6.3:0.0
	通紙方向倍率	コピー画像に歪み（伸び、縮み）がある場合、用紙搬送スピードと画像書き出しスピードを同期させ、コピー画像の歪みを調整できます。調整のしかたについて詳しくは、サービス技術者にご相談ください。	
	通紙交差方向倍率	コピー画像に歪み（伸び、縮み）がある場合、原稿通紙交差方向の倍率を調整できます。調整のしかたについて詳しくは、サービス技術者にご相談ください。	

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
裏面倍率補正設定	トレイごとに裏面プリントの倍率補正を設定できます。	1 ～ 4、手、LCT キー：指定なし /-0.1%/-0.2%/-0.3%

設定項目		機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
フィニッシャ調整	中とじ位置調整	中とじ機能でプリントするときのステープル位置を 0.1 mm 単位で調整できます。 （FS-602 装着時）	-12.8 ～ 12.7:0.0
	中折り位置調整	中折り機能でプリントするときの中央折り位置を 0.1 mm 単位で調整できます。 （FS-602 装着時）	-12.8 ～ 12.7:0.0
	パンチ調整	パンチの位置を調整できます。 • ［パンチ縦位置］： パンチの縦位置を用紙サイズごとに 0.1 mm 単位で調整できます。（PK-502/503 装着時） • ［パンチ横位置］： パンチの横位置を 0.1 mm 単位で調整できます。（PK-502/503 装着時） • ［パンチユニット縦位置］： パンチの縦位置を用紙サイズごとに 0.1 mm 単位で調整できます。（ZU-602 装着時） • ［パンチユニット横位置］： パンチの横位置を用紙サイズごとに 0.1 mm 単位で調整できます。（ZU-602 装着時） • ［パンチレジストループ量］： 両面出力やカバーシート出力時のパンチの位置ずれを 0.8 mm 単位で調整できます。 （PK-502/503、ZU-602 装着時）	パンチ縦位置： -5.0 ～ 5.0:0.0 パンチ横位置： -5.0 ～ 5.0:0.0 パンチユニット縦位置： -5.0 ～ 5.0:0.0 パンチユニット横位置： -5.0 ～ 5.0:0.0 パンチレジストループ量：本体（反転排紙 /ADU 排紙）：-16.0 ～ 16.0:0.0 PI（上段トレイ / 下段トレイ）： -16.0 ～ 16.0:0.0
	Z 折り位置調整	Z 折り時の用紙の折り位置を用紙サイズごとに調整できます。 • ［第 1Z 折り位置］：1 番目の折りの位置を 0.1 mm 単位で調整できます。 • ［第 2Z 折り位置］：2 番目の折りの位置を 0.1 mm 単位で調整できます。 （ZU-602 装着時または PK-502/503+ZU-602 装着時）	第 1Z 折り位置：-12.8 ～ 12.7:0.0 第 2Z 折り位置：-12.8 ～ 12.7:0.0
	三つ折り位置	3 つ折り時の用紙の折り位置を 0.1 mm 単位で調整できます。 （FS-602 装着時）	-

ひとこと

PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th><th>設定値（下線は出荷時設定）</th></tr>
<tr><td rowspan="2">フィニッシャ調整</td><td>平とじ 2 点ステープル</td><td>平とじ、中とじのステープル間隔を 1 mm 単位で調整できます。
（FS-602 装着時）</td><td>平とじ：128 ～ 160:128
中とじ：128 ～ 160:128</td></tr>
<tr><td>ポストインサータトレイサイズ</td><td>ポストインサータトレイのサイズを正しく検知しないときに調整します。
（PI-501 装着時）</td><td>-</td></tr>
<tr><td rowspan="3">スキャンエリア</td><td>スキャン画像位置：先端</td><td colspan="2">原稿画像の読取り開始位置（原稿通紙方向）を調整できます。調整のしかたについて詳しくは、サービス技術者にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>スキャン画像：側端</td><td colspan="2">原稿画像の読取り開始位置（原稿通紙交差方向）を調整できます。調整のしかたについて詳しくは、サービス技術者にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>通紙方向倍率</td><td colspan="2">読込み画像に歪み（伸び、縮み）がある場合、スキャナ部の原稿通紙方向の倍率を調整できます。調整のしかたについて詳しくは、サービス技術者にご相談ください。</td></tr>
<tr><td>ADFセンタ調整</td><td>センタ調整</td><td colspan="2">原稿通紙交差方向のセンタ位置自動調整実行時、センタ位置を自動調整しきれない場合手動で調整できます。調整のしかたについて詳しくは、サービス技術者にご相談ください。</td></tr>
</table>

＜リスト / カウンタ＞

<table>
<tr><th colspan="2">設定項目</th><th>機能説明</th></tr>
<tr><td>マシン管理リストプリント</td><td>設定値リスト</td><td>本機の各設定値をプリントできます。また、片面 / 両面を選択できます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">用紙サイズ / 種類カウンタ</td><td>特定の用紙サイズと用紙種類を組み合わせて 9 件まで登録し、カウントする設定ができます。</td></tr>
</table>

＜リセット設定＞

設定項目		機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
システムオートリセット		システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。 •「優先機能」: システムオートリセット時などに表示する機能を設定できます。 •「システムオートリセット時間」: システムオートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。	優先機能： コピー / スキャナ システムオートリセット時間： しない /1 分～ 9 分：1 分
オートリセット		各機能でのオートリセット機能がはたらくまでの時間を設定できます。	コピー：しない /1 分～ 9 分 :1 分 スキャナ：しない /1 分～ 9 分：1 分
モードリセット	使用者変更	使用者が変更したときに、機能をリセット（初期化）するかしないかを設定できます。	初期化する / 初期化しない
	ADF 原稿セット	ADF に原稿をセットした場合に、機能をリセットするかしないかを設定できます。	リセットする / リセットしない
	次ジョブ	ステープル設定： ステープル設定されたジョブが開始されたあと、次のジョブ設定が可能になったとき、同じ設定にするか解除するかを設定できます。	解除する / 解除しない
		原稿セット / とじ方向： 原稿のセット方向または原稿のとじ代方向が設定されたジョブが開始されたあと、次のジョブ設定が可能になったとき、同じ設定にするか解除するかを設定できます。	解除する / 解除しない
		送信後設定解除： スキャン送信を行ったあと、次のスキャン送信時同じ設定にするか解除するかを設定できます。（ただし、［解除しない］を選択した場合でも、宛先は解除されます。）	解除する / 解除しない
確認コピー時リセット		確認コピー停止中に、システムオートリセットをするかしないかを設定できます。	リセットする / リセットしない

システムオートリセットが［しない］に設定されている場合、拡大表示機能は解除されません。また、ユーザ認証 / 部門管理機能は、システムオートリセットが［しない］に設定されていても 1 分で解除されます。

詳しく説明します

オプションのキーカウンタ、データコントローラの磁気カードを抜き取ったときやユーザ認証時および部門管理設定時、【ID】を押したときに本機は使用者が変更した（交代した）と判断します。

12 設定メニュー

＜ボックス設定＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
不要ボックス削除	ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイドボックス機能編」をごらんください。	
機密文書削除		
機密文書削除時間	ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイドボックス機能編」をごらんください。	

＜ LCD バックライト設定＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
LCD パネルのバックライトの明るさを 16 段階で調整できます。	1 ～ 16 : 8

＜サイズ設定＞

項目設定	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
原稿ガラス原稿サイズ検知	原稿ガラスで検知する用紙の規格を設定できます。	AB 系 / インチ系 / A 系配列のみ / フルサイズ
ADF 原稿サイズ検知	ADF で検知する用紙の規格を設定できます。	
原稿ガラス最小サイズ検知	原稿ガラスで検知する用紙の最小サイズを設定できます。	A5 /B6 / 5-1/2 × 8-1/2/ B5/A4 / 8-1/2 × 11/ はがき
原稿サイズ検知切替 1	類似した原稿サイズの検知設定を変更できます。	A5/5-1/2 × 8-1/2
原稿サイズ検知切替 2		A4/8-1/2 × 11
原稿サイズ検知切替 3		8-1/2 × 14/ 8 × 13
Foolscap サイズ設定	Foolscap 用紙サイズの変更を行うことができます。 Foolscap には、8-1/4×13 、8-1/8×13-1/4 、8-1/2 × 13 、8 × 13 の 4 種類があります。 詳しくは、サービス技術者にご相談ください。	
検知サイズ設定	詳しくはサービス技術者にご相談ください。	

ひとこと

［原稿サイズ検知切替 3］は 8-1/2 × 14 と Foolscap サイズの検知設定です。［Foolscap サイズ設定］で選択したサイズと切り替えることができます。

■ 管理者 / 本体登録

設定項目	機能説明
管理者登録	ヘルプ機能のサービス / 管理者情報画面で表示する管理者情報や、本機からのメール送信の From アドレスを登録できます。
本体アドレス登録	本機の名前と E メールアドレスを登録できます。登録したアドレスは本機のボックスにメールを受信したり、スキャナジョブの From アドレスのひとつとして使用できます。出荷時設定では、KMBT_750 または KMBT_600 が設定されています。登録した E-Mail アドレスは、インターネットファクスを利用する場合に使用します。

■ 宛先登録

設定項目	機能説明
スキャナ登録	スキャナ機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
ボックス登録	ボックス機能に関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
宛先登録リスト	詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

ひとこと

ボックス登録はハードディスクを装着している場合にのみ設定できます。

■ ユーザ認証 / 部門管理

＜認証方式＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
本機の使用を制限するユーザ認証や部門管理の設定ができます。 • 「ユーザ認証」: ユーザ認証の方法を選択します。 • 「パブリックユーザ」: 認証されているユーザ以外が本機を共有することを許可するかしないかを設定します。 • 「部門管理」: 部門管理をするかしないかを設定します。 • 「部門管理認証方式」: 部門管理の認証方法を設定します。 • 「上限値到達時の動作」: 部門管理またはユーザ認証で設定した上限値に到達したときにプリント中のジョブを停止させ次のジョブのプリントを開始させる場合は、［ジョブ飛越し］を押します。 部門管理で設定した上限値に到達したときに本機を停止する場合は、［停止］を押します。 • 「ユーザ認証 / 部門認証の連動」: ユーザ認証と部門認証を連動するかしないかを設定します。 • 「ユーザカウンタ割り当て数」: 「ユーザカウンタ割当て数」の数値により、ユーザ登録可能件数と部門登録可能件数を調整できます。	ユーザ認証： 認証しない / 外部サーバ認証 / 本体装置認証 パブリックユーザ： 許可しない / 許可する 部門管理： 管理しない / 管理する 部門管理認証方式： 部門名 + パスワード / パスワードのみ ユーザ認証 / 部門認証の連動： 連動する / 連動しない ユーザカウンタ割り当て数： 1 ～ 999:500

- 「パブリックユーザ」は以下の場合には設定できません。
  - 「ユーザ認証」が［認証しない］を選択しているとき
  - 「ユーザ認証 / 部門認証の連動」が［連動しない］を選択しているとき
- 「部門管理認証方式」は以下の場合には設定できません。
  - 「部門管理」が［管理しない］を選択しているとき
- 「ユーザ認証 / 部門認証の連動」および「ユーザカウンタ割り当て数」は以下の場合には表示されません。
  - 「ユーザ認証」が［認証しない］を選択しているとき
  - 「部門管理」が［管理しない］を選択しているとき
- 「ユーザカウンタ割当て数」の数値を 50 個にした場合、部門登録可能件数は 950 個となります。
- HDD 非装着時、ユーザカウンタ割当て数は 100 件になります。

＜ユーザ認証設定＞

設定項目		機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
管理設定	ユーザ名一覧表示	ユーザ認証画面でユーザ名の一覧キーを表示させるかどうか設定ができます。	表示する / 表示しない
	初期機能制限	外部サーバとの認証時、本機での操作を制限することができます。	コピー操作： 許可する / 許可しない スキャン操作： 許可する / 許可しない プリンタ印字： 許可する / 許可しない 蓄積文書操作： 許可する / 許可しない
	パブリックユーザの認証	認証方式で「パブリックユーザ」が「許可する」に設定されている場合に、ユーザ認証画面でパブリックユーザの認証をするかしないかを設定できます。	認証する / 認証しない
ユーザ登録		本機を使用するユーザごとに、パスワード、プリント許可、プリント枚数の上限値、使用できる機能を設定できます。	-
ユーザカウンタ		ユーザごとにコピー、プリンタ、スキャナの使用状況を確認できます。	-

＜部門管理設定＞

設定項目	機能説明
部門登録	本機を使用する部門ごとに、パスワード、プリント許可、プリント枚数の上限値を設定できます。
部門カウンタ	部門ごとにコピー、プリンタ、スキャナの使用状況を確認できます。

＜認証指定なしプリント＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ユーザ、部門が特定できないプリントを許可するかどうかの設定ができます。許可した場合プリント枚数は、パブリックユーザとしてカウントされます。	許可 / 禁止

＜使用管理カウンタリスト＞

機能説明
ユーザカウンタと部門カウンタをプリントできます。また、片面 / 両面を選択できます。

「使用管理カウンタリスト」は以下の場合には設定できません。
- 「ユーザ認証」が［認証しない］を選択しているとき
- 「部門管理」が［管理しない］を選択しているとき

■ ネットワーク設定

設定項目	機能説明
ネットワーク使用設定	ネットワークに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。
TCP ／ IP 設定	
NetWare 設定	
http サーバ設定	
FTP 設定	
SMB 設定	
AppleTalk 設定	
LDAP 設定	
E-Mail 設定	
詳細設定	
SNMP 設定	
Bonjour 設定	
TCP Socket 設定	
ネットワークファクス設定	ネットワークファクスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイドネットワークファクス編」をごらんください。

■ コピー設定

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
原稿ガラス自動倍率	給紙トレイが選択されているとき（自動用紙設定時は除く）に、原稿ガラス上に原稿がセットされたことを検知した場合、自動で倍率を設定するかしないかを設定できます。	ON/OFF
ADF 自動倍率	給紙トレイが選択されているとき（自動用紙設定時は除く）に、ADF に原稿がセットされたことを検知した場合、自動で倍率を設定するかしないかを設定できます。	ON/OFF

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
APS 解除時のトレイ指定	自動用紙（APS）が解除されたときに、どのトレイを使用するかを設定します。 •［APS 選択前トレイ］： APS を選択する前に設定したトレイを使用します。 •［初期設定トレイ］： 初期設定で設定されているトレイを使用します。	APS 選択前トレイ / 初期設定トレイ
インターシートトレイ選択	インターシートおよびカバーシート用の用紙をセットするトレイをあらかじめ設定します。	トレイ 1/ トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4/ 手差し /LCT/ PI
画像回転	画像を自動回転させるかどうかを設定します。 •［APS/AMS 時のみ］： 自動用紙（APS）または自動倍率（AMS）が設定されている場合のみ画像を自動回転します。 •［APS/AMS/ 縮小時のみ］： 自動用紙（APS）または自動倍率（AMS）が設定され、画像が縮小される場合のみ画像を自動回転します。	APS/AMS 時のみ / APS/AMS/ 縮小時のみ
コピー操作時のプリント受付	コピーを操作しているときにプリントデータのプリント受付をするかしないかを設定できます。 •［プリントする］： プリントデータを受付け、プリントします。 •［プリント抑制］： プリントデータは、コピー操作が終わるとプリントされます。 •［受信しない］： プリントデータを受信しません。	プリントする / プリント抑制 / 受信しない

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
原稿ガラス 1 枚排紙	原稿ガラスにセットした原稿のコピー排紙方向を設定します。 • ［フェイスダウン］: プリント面が下になって排紙されます。 • ［フェイスアップ］: プリント面が上になって排紙されます。	フェイスダウン / フェイスアップ
三つ折り印刷面方向	三つ折り出力をするときに、プリント面を内側にして折るか、外側にして折るかを設定できます。	外側 / 内側

三つ折り印刷面方向は、オプションのフィニッシャー FS-602 を装着している場合にのみ設定が有効となります。

■ プリンタ設定

設定項目	機能説明
I／F タイムアウト	プリンタに関する登録を行います。詳しくは、「IC-202 ユーザーズガイド」をごらんください。

［7 プリンタ設定］は、オプションのプリントコントローラ IC-202 を装着している場合にのみ表示されます。

■ システム連携

設定項目	機能説明
IS OpenAPI 設定	ネットワークに関する登録を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

■ セキュリティ設定

＜管理者パスワード＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
管理者設定を行う場合に使用する管理者パスワードの変更ができます。	

＜ボックス管理者設定＞

機能説明
ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。

＜ユーザ開放レベル＞

機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ユーザに許可する管理者機能の範囲を設定できます。 • ［レベル 1］： LCD バックライト設定、パワーセーブ設定、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、原稿ガラス 1 枚排紙、三つ折り印刷面方向、連続読み時の出力設定、原稿ガラスコピー排出方向をユーザが設定できます。 • ［レベル 2］： LCD バックライト設定、パワーセーブ設定、出力設定、日時設定、サマータイム設定、原稿画質の濃度シフト、原稿ガラス自動倍率、ADF 自動倍率、APS 解除時のトレイ指定、インターシートトレイ選択、原稿ガラス 1 枚排紙、三つ折り印刷面方向、コピー操作時のプリント受付、連続読み時の出力設定、原稿ガラスコピー排出方向をユーザが設定できます。 • ［開放しない］： ユーザにレベル 1、レベル 2 の設定のどちらも許可しません。	レベル 1/ レベル 2/ 開放しない

＜セキュリティ詳細＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
パスワード規約	パスワード規約を適用するかしないかを設定します。パスワード規約を適用すると、セキュリティを強化することができます。	ON/OFF
認証操作禁止機能	ユーザが認証に失敗した場合に、本機操作の禁止を設定できます。 •［モード 1］: 一定時間、操作ができません。 •［モード 2］: 認証失敗を繰り返すと操作パネルの操作ができません。認証失敗回数は 1 ～ 5 回から設定できます。 パネル操作禁止になった場合は、［操作禁止解除］を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。 •［ユーザ + 部門］: ユーザ認証、部門管理に対する操作 •［機密文書］: 機密文書に対する操作 •［ボックス］: パスワード付きボックスに対する操作 •［SNMP］: SNMP v3 Write ユーザーの認証に対する操作	モード 1/ モード 2
手動宛先入力	宛先入力画面で、手動宛先入力を許可するか禁止するかを設定できます。	許可 / 禁止
プリントデータキャプチャ	プリンタ機能に関する設定を行います。詳しくは、「IC-202 ユーザーズガイド」をごらんください。	
機密文書アクセス方式	機密文書に対する操作方式を確認できます。認証操作禁止機能が［モード 1］の場合、［モード 1］が設定されます。認証操作禁止機能が［モード 2］の場合、［モード 2］が設定されます。 ［モード 1］: 機密文書 ID とパスワードを入力し、文書を選択します。 ［モード 2］: 機密文書 ID を入力し、文書を選択したあとパスワードを入力します。	モード 1/ モード 2
FAX 送信禁止	FAX 送信を禁止するかどうかを設定できます。	ON/OFF

- 認証操作禁止機能の対象になるのは、以下のパスワードです。
  ユーザ認証パスワード、
  部門認証パスワード、
  ボックスのパスワード、
  機密文書のパスワード、
  管理者パスワード
- 認証操作禁止機能の［操作禁止解除］で解除を設定しても操作パネルが操作できない場合や、管理者パスワードの認証失敗で操作できない場合は、本機を再起動してください。

必ず守ってください

【主電源スイッチ】を OFF/ON する場合は、主電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

詳しく説明します

プリントデータキャプチャは、オプションのプリントコントローラ IC-202 を装着している場合にのみ表示されます。

＜セキュリティ強化設定＞

機能説明
セキュリティ強化設定を適用するために必要な設定が表示されます。必要な設定がされている場合は、セキュリティ強化設定を適用するかしないかを設定できます。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。

＜ HDD 管理設定＞

設定項目	機能説明
HDD 容量確認	ボックスに関する設定を行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
一時データ上書き削除	
全データ上書き削除	
HDD ロックパスワード	
HDD フォーマット	ハードディスクのフォーマットを行います。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。
HDD 暗号化設定	オプションのセキュリティキット装着時に表示され、ハードディスクの暗号化を行うための設定をします。詳しくは、「ユーザーズガイド ボックス機能編」をごらんください。この設定を行うとハードディスクに書き込むデータがすべて暗号化され、ハードディスク内のデータを守ることができます。なお暗号化の設定を変更した場合には、ハードディスクの再フォーマットが必要です。

＜管理機能設定＞

設定項目	機能説明	設定値（下線は出荷時設定）
ネットワーク機能使用設定	管理機能使用時に、カウント管理が困難なネットワーク機能の設定ができます。	<u>使用する</u> / 使用しない

■ 管理者設定画面を表示させる

【設定メニュー / カウンタ】を押し、管理者設定画面を表示させるまでの手順を説明します。

1 【設定メニュー / カウンタ】を押します。

2 ［3 管理者設定］を押します。

3 パスワードを入力し、［OK］を押します。

ひとこと

キーに表示されている番号をテンキーで入力しても選択できます。
［3 管理者設定］の場合は、テンキーの【3】を入力します。

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 13-2）をごらんください。

管理者設定画面が表示されます。

ひとこと

設定メニューを終了するときは、サブエリアの［終了］または【設定メニュー / カウンタ】を押します。目的の画面になるまで［閉じる］を押しても終了できます。

■ プリント位置：先端

用紙排紙方向に対しての用紙先端部分のプリント開始位置を用紙ごとに調整できます。

原則

プリント開始位置は工場出荷時に調整済みです。通常の場合、設定値を変更する必要はありません。

1. 管理者設定画面を表示させます。

2. ［1 環境設定］を押します。

   環境設定画面が表示されます。

3. ［7 エキスパート調整］を押します。

   エキスパート調整画面が表示されます。

4. ［3 プリンタ調整］を押します。

   プリンタ調整画面が表示されます。

5. ［1 プリント位置：先端］を押します。

   プリント位置：先端画面が表示されます。

6. 設定する用紙種類のキーを押します。

7. ［テストコピー］を押します。

   テストコピー画面が表示されます。

8. 【スタート】を押します。

   テストパターンがプリントされます。

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

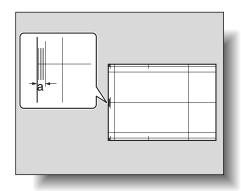
9

テストコピー画面で［閉じる］を押します。

プリント位置：先端画面にもどります。

10

用紙の先端からテストパターンのプリント開始位置の幅（a）を確認します。

11

希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍ 幅（a）を増やす場合は、「調整値」の［+］を押します。（0.1 mm ～ 6.0 mm）

❍ 幅（a）を減らす場合は、「調整値」の［–］を押します。（-0.1 mm ～ -3.0 mm）

12

希望する調整結果が得られるまで手順 7 ～ 11 を繰り返します。

13

［OK］を押します。

プリント位置が調整されます。

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ プリント位置：側端

用紙排紙方向に対しての用紙左端部分のプリント開始位置を調整できます。

原則

プリント開始位置は工場出荷時に調整済みです。通常の場合、設定値を変更する必要はありません。

1. 管理者設定画面を表示させます。

2. ［1 環境設定］を押します。

   環境設定画面が表示されます。

3. ［7 エキスパート調整］を押します。

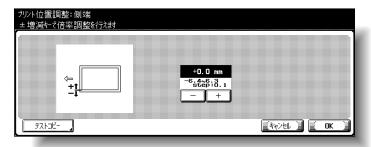
   エキスパート調整画面が表示されます。

4. ［3 プリンタ調整］を押します。

   プリンタ調整画面が表示されます。

5. ［2 プリント位置：側端］を押します。

   プリント位置：側端画面が表示されます。

6. ［テストコピー］を押します。

   テストコピー画面が表示されます。

7. 【スタート】を押します。

   テストパターンがプリントされます。

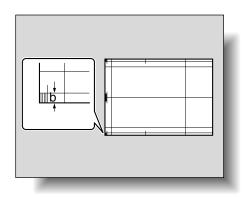
8. ［閉じる］を押します。

   プリント位置：側端画面にもどります。

管理者設定画面の表示のしかたは「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

9

用紙の端からテストパターンのプリント位置の幅（b）を確認します。

10

希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

- ❍ 幅（b）を増やす場合は、［+］を押します。（0.1 mm 〜 6.3 mm）
- ❍ 幅（b）を減らす場合は、［–］を押します。（-0.1 mm 〜 -6.4 mm）

11

希望する調整結果が得られるまで手順 6 〜 10 を繰り返します。

12

［OK］を押します。

プリント位置が調整されます。

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 中とじ位置調整

中とじ機能でプリントするときのステープル位置を用紙ごとに調整できます。

原則

中とじ機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［1 環境設定］を押します。

環境設定画面が表示されます。

3 ［7 エキスパート調整］を押します。

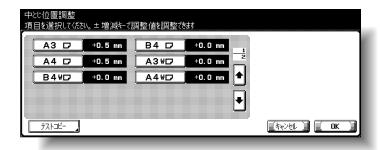
エキスパート調整画面が表示されます。

4 ［5 フィニッシャ調整］を押します。

フィニッシャ調整画面が表示されます。

5 ［1 中とじ位置調整］を押します。

中とじ位置調整画面が表示されます。

6 設定する用紙サイズのキーを押します。

7 ［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

8 【スタート】を押します。

コピーサンプルを作成します。

参照

中とじ機能については、「用紙の中央をとじて排紙する（中とじ）」（p. 3-65）をごらんください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

9

［閉じる］を押します。

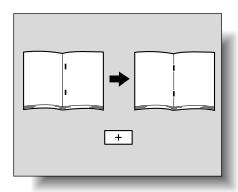
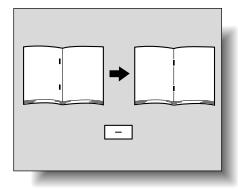
中とじ位置調整画面にもどります。

10

サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。

11

希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍ 用紙の中央に対して右側にステープル位置がずれている場合は､「調整値」の［+］を押します。
（0.1 mm 〜 12.7 mm）

❍ 用紙の中央に対して左側にステープル位置がずれている場合は､「調整値」の［–］を押します。
（-0.1 mm 〜 -12.8 mm）

12

希望する調整結果が得られるまで手順 6 〜 11 を繰り返します。

13

［OK］を押します。

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

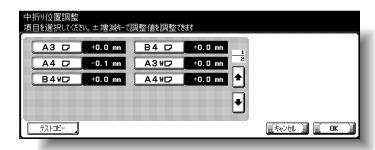
［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 中折り位置調整

中折り機能でプリントするときの中折り位置を用紙ごとに調整できます。

原則

中折り機能を使い、1 冊のコピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。
   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. ［2 中折り位置調整］を押します。
   中折り位置調整画面が表示されます。
6. 設定する用紙サイズのキーを押します。

7. ［テストコピー］を押します。
   テストコピー画面が表示されます。
8. 【スタート】を押します。
   コピーサンプルを作成します。

参照

中折り機能については、「2 つ折りにして排紙する（中折り）」（p. 3-64）をごらんください。

参照

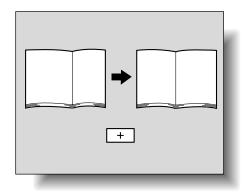
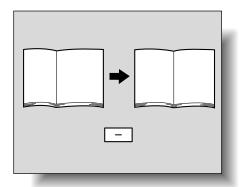
管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

9 ［閉じる］を押します。

中折り位置調整画面にもどります。

10 サンプルの左側のページと、右側のページの幅を比較し、用紙の中央を確認します。

11 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

- ❍ 用紙の中央に対して右側に折り位置がずれている場合は、「調整値」の［+］を押します。
（0.1 mm 〜 12.7 mm）

- ❍ 用紙の中央に対して左側に折り位置がずれている場合は、「調整値」の［–］を押します。
（-0.1 mm 〜 -12.8 mm）

12 希望する調整結果が得られるまで手順 6 〜 11 を繰り返します。

13 ［OK］を押します。

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

12 設定メニュー

■ パンチ調整（パンチ縦位置）

PK-502/503 装着時、パンチの縦位置を調整できます。

原則

パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［1 環境設定］を押します。

環境設定画面が表示されます。

3 ［7 エキスパート調整］を押します。

エキスパート調整画面が表示されます。

4 ［5 フィニッシャ調整］を押します。

フィニッシャ調整画面が表示されます。

5 ［3 パンチ調整］を押します。

パンチ調整画面が表示されます。

6 ［1 パンチ縦位置］を押します。

パンチ縦位置画面が表示されます。

ひとこと

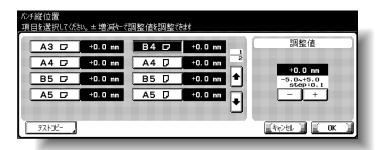
PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

7 設定する用紙サイズのキーを押します。

8 ［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

9 【スタート】を押します。

コピーサンプルを作成します。

10 ［閉じる］を押します。

パンチ縦位置画面にもどります。

11 サンプルのパンチ位置と用紙の中央を確認します。

12 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

- ❍ 用紙の中央に対して上側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［+］を押します。
（0.1 mm ～ 5.0 mm）

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

12 設定メニュー

❍ 用紙の中央に対して下側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［–］を押します。
（-0.1 mm 〜 -5.0 mm）

13 希望する調整結果が得られるまで手順 7 〜 12 を繰り返します。

14 ［OK］を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ パンチ調整（パンチ横位置）

PK-502/503 装着時、パンチの横位置を調整できます。

原則

パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させせます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。
   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. ［3 パンチ調整］を押します。
   パンチ調整画面が表示されます。
6. ［2 パンチ横位置］を押します。

パンチ横位置画面が表示されます。

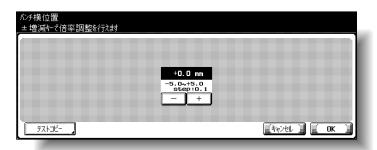
ひとこと

PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

12 設定メニュー

7 ［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

8 【スタート】を押します。

コピーサンプルを作成します。

9 ［閉じる］を押します。

パンチ横位置画面にもどります。

10 サンプルのパンチ位置を確認します。

11 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍ 用紙の右側にパンチの位置をずらす場合は、［+］を押して補正値を増やします。（0.1 mm ～ 5.0 mm）

ひとこと

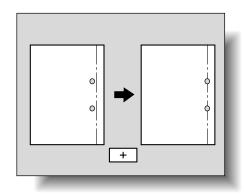
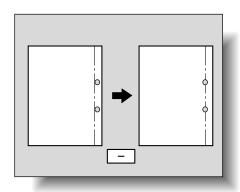
［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

❍ 用紙の左側にパンチの位置をずらす場合は、[–] を押します。(-0.1 mm ～ -5.0 mm)

12 希望する調整結果が得られるまで手順 7 ～ 11 を繰り返します。

13 [OK] を押します。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

■ パンチ調整（パンチユニット縦位置）

ZU-602 装着時、パンチの縦位置を調整できます。

原則

パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。
   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. ［3 パンチ調整］を押します。
   パンチ調整画面が表示されます。
6. ［3 パンチユニット縦位置］を押します。

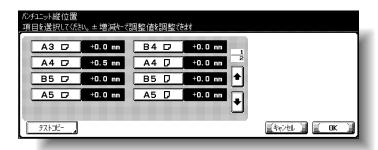
パンチユニット縦位置画面が表示されます。

ひとこと

PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

7 設定する用紙サイズのキーを押します。

8 ［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

9 【スタート】を押します。

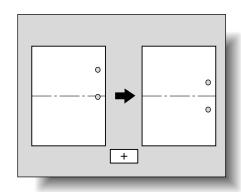
コピーサンプルを作成します。

10 ［閉じる］を押します。

パンチユニット縦位置画面にもどります。

11 サンプルのパンチ位置と用紙の中央を確認します。

12 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍ 用紙の中央に対して上側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［+］を押します。
（0.1 mm ～ 5.0 mm）

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

❍ 用紙の中央に対して下側にパンチの位置がずれている場合は、「調整値」の［–］を押します。
（-0.1 mm 〜 -5.0 mm）

13 希望する調整結果が得られるまで手順 7 〜 12 を繰り返します。

14 ［OK］を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ パンチ調整（パンチユニット横位置）

ZU-602 装着時、パンチの横位置を調整できます。

原則

パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させせます。

2. ［1 環境設定］を押します。

   環境設定画面が表示されます。

3. ［7 エキスパート調整］を押します。

   エキスパート調整画面が表示されます。

4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。

   フィニッシャ調整画面が表示されます。

5. ［3 パンチ調整］を押します。

   パンチ調整画面が表示されます。

6. ［4 パンチユニット横位置］を押します。

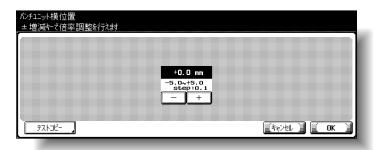
パンチユニット横位置画面が表示されます。

ひとこと

PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

7 ［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

8 【スタート】を押します。

コピーサンプルを作成します。

9 ［閉じる］を押します。

パンチユニット横位置画面にもどります。

10 サンプルのパンチ位置を確認します。

11 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍ 用紙の右側にパンチの位置をずらす場合は、［+］を押して補正値を増やします。（0.1 mm ～ 5.0 mm）

ひとこと

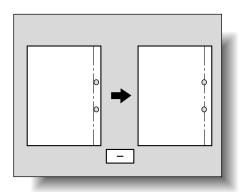
［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

❍ 用紙の左側にパンチの位置をずらす場合は、[–] を押します。(-0.1 mm ～ -5.0 mm)

12 希望する調整結果が得られるまで手順 7 ～ 11 を繰り返します。

13 [OK] を押します。

ひとこと

[キャンセル] を押すと設定は変更されません。

■ パンチ調整（パンチレジストループ量）

両面出力やカバーシート出力時のパンチ位置の傾きを調整できます。

原則

パンチ機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。
   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. ［3 パンチ調整］を押します。
   パンチ調整画面が表示されます。
6. ［5 パンチレジストループ量］を押します。

パンチレジストループ量画面が表示されます。

ひとこと

PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

7

設定する項目のキーを押します。

8

［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

9

【スタート】を押します。

コピーサンプルを作成します。

10

［閉じる］を押します。

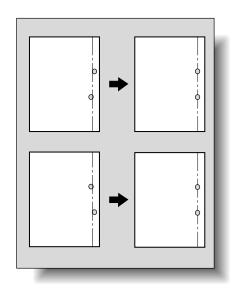
パンチレジストループ量画面にもどります。

11

サンプルのパンチ位置を確認します。

12

希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍ 用紙にたいしてパンチの位置が傾く場合は、調整値の［+］/［–］で調整します。
調整値の量が多いと、用紙の先端が折れることがあります。

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

希望する調整結果が得られるまで手順 7 ～ 12 を繰り返します。

［OK］を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ Z 折り位置調整

Z 折り時の 1 番目と 2 番目の折りの位置を調整できます。

原則

Z 折り機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。また、第 1Z 折り位置、第 2Z 折り位置の両方を調整する場合は、必ず第 1Z 折り位置から調整を行ってください。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［1 環境設定］を押します。

環境設定画面が表示されます。

3 ［7 エキスパート調整］を押します。

エキスパート調整画面が表示されます。

4 ［5 フィニッシャ調整］を押します。

フィニッシャ調整画面が表示されます。

5 ［4 Z 折り位置調整］を押します。

Z 折り位置画面が表示されます。

6 ［第 1Z 折り位置調整］または［第 2Z 折り位置調整］を押します。

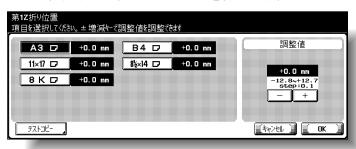
- 第 1Z 折り位置調整では、1 番目の折りの位置を調整します。
- 第 2Z 折り位置調整では、2 番目の折りの位置を調整します。

第 1Z 折り位置調整または第 2Z 折り位置調整画面が表示されます。

Z 折り位置調整は、オプションの Z 折りユニット ZU-602 装着時に設定できます。

ひとこと

PK-502/503+ZU-602 装着時、パンチ調整と Z 折り位置調整の両方を調整することができます。サービス実施店にご連絡ください。

7 設定する用紙サイズのキーを押します。

8 ［テストコピー］を押します。

テストコピー画面が表示されます。

9 【スタート】を押します。

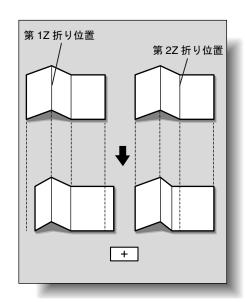
コピーサンプルを作成します。

10 ［閉じる］を押します。

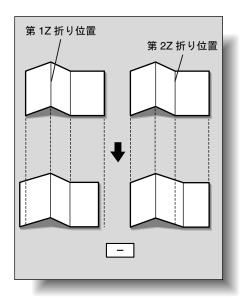
第 1Z 折り位置調整または第 2Z 折り位置調整画面にもどります。

11 サンプルの折り位置を確認します。

12 希望する結果が得られないときは調整値を変更します。

❍ 用紙の折り位置を左側にずらす場合は、「調整値」の［+］を押して補正値を増やします。（0.1 mm ～ 12.7 mm）

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

❍ 用紙の折り位置を右側にずらす場合は、「調整値」の［–］を押します。（-0.1 mm ～ -12.8 mm）

13 希望する調整結果が得られるまで手順 8 ～ 12 を繰り返します。

14 ［OK］を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 三つ折り位置

3 つ折り時の用紙の折り位置を調整できます。

原則

3 つ折り機能を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. [1 環境設定] を押します。

   環境設定画面が表示されます。
3. [7 エキスパート調整] を押します。

   エキスパート調整画面が表示されます。
4. [5 フィニッシャ調整] を押します。

   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. [5 三つ折り位置] を押します。

   三つ折り位置画面が表示されます。
6. 設定する用紙サイズのキーを押します。

7. [テストコピー] を押します。

   テストコピー画面が表示されます。
8. 【スタート】を押します。

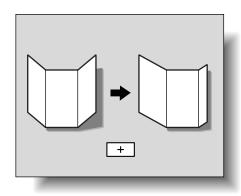
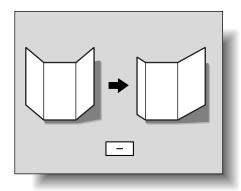
   コピーサンプルを作成します。

9 ［閉じる］を押します。

三つ折り位置画面にもどります。

10 サンプルの折り位置を確認します。

11 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

- 用紙の折り位置を右側にずらす場合は、「調整値」の［+］を押して補正値を増やします。（0.1 mm ～ 12.7 mm）

- 用紙の折り位置を左側にずらす場合は、「調整値」の［–］を押します。（-0.1 mm ～ -12.8 mm）

12 希望する調整結果が得られるまで手順 7 ～ 11 を繰り返します。

13 ［OK］を押します。

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 平とじ 2 点ステープル

2 点ステープル（平とじ、中とじ）のステープル間隔を調整できます。

原則

2 点ステープル機能（平とじ、中とじ）を使い、コピーサンプルを作成し、作成したサンプルを見ながら調整を行います。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。
   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. ［6 平とじ 2 点ステープル］を押します。
   平とじ 2 点ステープル画面が表示されます。
6. 設定する項目のキーを押します。

7. ［テストコピー］を押します。
   テストコピー画面が表示されます。
8. 【スタート】を押します。
   コピーサンプルを作成します。

2 点ステープル（平とじ、中とじ）のステープル間隔は、FS-602 装着時に調整できます。

9 ［閉じる］を押します。

平とじ 2 点ステープル画面にもどります。

10 サンプルのステープル間隔を確認します。

11 希望する結果が得られないときは、調整値を変更します。

❍「調整値」の［+］または［–］を押してステープル間隔を調整します。（128 mm ～ 160 mm）

12 希望する調整結果が得られるまで手順 7 ～ 11 を繰り返します。

13 ［OK］を押します。

ひとこと

［+］または［–］を押しつづけると、数値が連続で変化します。

ひとこと

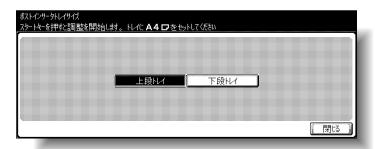
［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ ポストインサータトレイサイズ

ポストインサータトレイのサイズを正しく検知しないときに調整します。

原則

ポストインサータ PI-501 を装着していないと設定できません。

1. 管理者設定画面を表示させます。
2. ［1 環境設定］を押します。
   環境設定画面が表示されます。
3. ［7 エキスパート調整］を押します。
   エキスパート調整画面が表示されます。
4. ［5 フィニッシャ調整］を押します。
   フィニッシャ調整画面が表示されます。
5. ［7 ポストインサータトレイサイズ］を押します。
   ポストインサータトレイサイズ画面が表示されます。
6. 調整するポストインサータトレイサイズのキーを押します。

7. 選択したトレイに A4 ▭ サイズの用紙をセットします。
8. 【スタート】を押します。
   ポストインサータトレイの調整が行われます。

他のトレイを調整する場合は、手順 6 ～ 8 を繰り返します。

［閉じる］を押します。

フィニッシャ調整画面にもどります。

12.7 認証方式

本機の使用を制限するユーザ認証や部門管理の設定ができます。

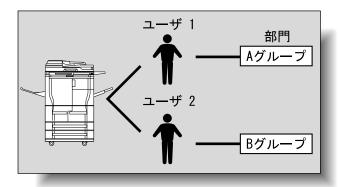
ユーザ認証は個人を管理するとき、部門管理はグループや複数のユーザを管理するときに設定するのが適しています。

ユーザ認証と部門管理を組合わせて使用すると、ユーザ別に各部門のカウント管理ができます。

■ ユーザ認証と部門管理について

ユーザ認証と部門管理は、それぞれ以下の機能があります。

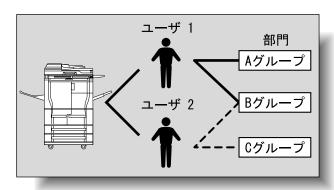
- ユーザ認証
  - ❍ 操作可能な機能を制限する（コピー操作／スキャナ操作／プリンタ印字）
  - ❍ ユーザ毎に出力／読込みのカウントを行う
  - ❍ 出力枚数制限をする
  - ❍ 各ユーザ所有の個人ボックスの操作をする
- 部門管理
  - ❍ 部門毎に出力／読込みのカウントを行う
  - ❍ 出力枚数制限をする

■ ユーザ認証と部門管理を連動する場合

本機を複数の部署で使用する場合に、各社員を部署ごとに管理して利用するときに適しています。この設定をすると、社員別（ユーザ別）に集計をとったり、部署ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

ひとこと

- 本機では、HDD 装着時、ユーザ認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。
- HDD 非装着時は、合計 100 件まで登録できます。
- 認証方式が設定されていると、本機の待機中に認証画面が表示されます。ユーザ認証 / 部門認証して本機を使用するには、ユーザ名、パスワードなどを入力する必要があります。詳しくは、「ユーザ認証にしたがって本機を使用する」（p. 2-30）をごらんください。

部門管理やユーザ認証はそれぞれ単独で設定できます。それぞれ機能の違いを確認して設定してください。

■ ユーザ認証と部門管理でそれぞれ認証する場合

本機を複数の社員で使用する場合に、それぞれの社員が複数の業務を行い、業務単位の集計をとるときに適しています。この設定をすると、それぞれの社員別（ユーザ別）に統計をとったり、業務ごと（部門ごと）に集計をとることができます。

■ 認証方式の設定のしかた

1. 管理者設定画面を表示させます。

2. ［4 ユーザ認証 / 部門管理］を押します。

   ユーザ認証 / 部門管理画面が表示されます。

3. ［1 認証方式］を押します。

   認証方式画面が表示されます。

4. 「ユーザ認証」を設定します。
   - ユーザ認証をしない場合は、［認証しない］を押します。
   - 外部サーバを使用してユーザ認証を行う場合は、［外部サーバ認証］を押し、サーバの種類を選択します。
   - 本機の認証システムを使用してユーザ認証を行う場合は、［本体装置認証］を押します。

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

外部サーバ認証については、「ユーザーズガイドネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

原則

外部サーバのユーザ名は大文字と小文字の区別をしないでください。
bizhub 750/600 では大文字小文字の区別ができないため、正しく処理できないことがあります。

5 「パブリックユーザ」を設定します。

- ❍ [許可しない]は本機に登録されていないユーザは使用できない設定です。
- ❍ [許可する]はユーザ認証設定をしている場合でも、ユーザ名やパスワードを入力しないで使用できる設定です。

6 「部門管理」を設定します。

- ❍ 部門管理をしない場合は[管理しない]を押します。
- ❍ 部門管理を行う場合は[管理する]を押します。

7 「部門管理認証方式」を設定します。

- ❍ [部門名 + パスワード]は、部門認証画面で部門名とパスワードを入力してから本機を使用できる設定です。
- ❍ [パスワードのみ]は、部門認証画面でパスワードを入力すると本機を使用できる設定です。

ひとこと

- パブリックユーザの使用を[許可する]に設定した場合でも、「ユーザ認証 / 部門認証の連動」を[連動しない]に設定すると、パブリックユーザの使用は[許可しない]が設定されます。
- 「ユーザ認証 / 部門認証の連動」は、「ユーザ認証」が[外部サーバ認証]または[本体装置認証]を選択して「部門管理」が[管理する]を選択しているときに、表示されます。

詳しく説明します

- ユーザ認証と部門管理を同時に設定した場合、部門管理認証方式は、「部門名 + パスワード」が設定されます。
- 「パブリックユーザ」の使用を許可する場合は機能制限設定することをおすすめします。詳しくは、「ユーザ登録」(p. 12-89)をごらんください。
- 「ユーザ認証」の[外部サーバ認証]と「部門管理」の[管理する]を同時に選択した場合は、ログイン時に、ユーザ認証画面で「ユーザ名」と「パスワード」を入力してから、部門認証画面で「部門名」と「パスワード」を入力します。

[次画面→] を押し、「ユーザ認証 / 部門認証の連動」を設定します。

❍ [連動する] を設定した場合、外部サーバ認証時と本体装置認証時で必要な認証が異なります。
外部サーバ認証時：
初めて使用するときはユーザ認証と部門認証が必要ですが、次回からはユーザ名を入力するだけで、本機を使用できます。
本体装置認証時：
ユーザ認証だけで本機を使用できます。

❍ [連動しない] は、本機を使用するたびにユーザ認証と部門認証を行う設定です。

「ユーザカウンタ割当て数」を設定します。

❍【クリア】を押しテンキーで数値を入力します。（1 個～ 999 個）

❍ ユーザ認証と部門管理を連動させる場合は、カウンタを部門用とユーザ用の両方に割振ることができ、両方のカウント値も集計できます。

10

[OK] を押します。

❍「ユーザ認証」または「部門管理」の設定を変更すると、「全ての使用管理データをクリアします。よろしいですか？」というメッセージが表示されます。

「ユーザ認証 / 部門認証の連動」で [連動しない] を選択した場合、パブリックユーザの使用を許可することはできません。

ひとこと

- 「ユーザ認証 / 部門認証の連動」および「ユーザカウンタ割当て数」は、「ユーザ認証」が [外部サーバ認証] または [本体装置認証] を選択して「部門管理」が [管理する] を選択しているときに表示されます。
- ユーザカウンタ割当て数を 50 個にした場合、部門数は 950 個まで登録できます。

11

［はい］を押します。

認証方式が設定されます。

ひとこと

- ［いいえ］を押した場合は、使用管理データはクリアされませんが、設定を変更できません。設定を変更するときにデータを保存したい場合は、PageScope Data Administrator でデータのバックアップができます。詳しくは PageScope Data Administrator のユーザーズガイドをごらんください。
- 外部サーバ認証から本体認証に切換えた場合はデータはクリアされません。

12.8 ユーザ認証設定

ユーザ認証に関する設定ができます。

■ 管理設定

＜ユーザ名一覧表示＞

ユーザ認証設定をしているときに、ユーザ認証画面やユーザ名入力画面に［一覧］を表示することができます。［一覧］を押すと、本機に登録されているユーザ名が表示されるため、一覧から選択するだけでユーザ名を設定できます。

＜初期機能制限＞

外部サーバ認証を設定している場合、認証したユーザが本機で使用できる機能を制限できます。

制限できるのは、以下の機能です。

- コピー操作
- スキャン操作
- プリンタからの印字
- ハードディスクに蓄積されている文書の操作
- 送信機能の印字

＜パブリックユーザの認証＞

ユーザ認証を設定しパブリックユーザの使用を許可している場合、パブリックユーザの認証を［認証しない］に設定すると、電源 ON 時に認証画面が表示されず、パブリックユーザとしてログインします。

ひとこと

- 出荷時設定では、「ユーザ名一覧表示」は［表示しない］、「初期機能制限」は［許可する］が設定されています。
- 認証済みのユーザに使用制限をかけたい場合は、［ユーザ登録］で設定します。

1. 管理者設定画面を表示させます。

2. ［4 ユーザ認証 / 部門管理］を押します。

   ユーザ認証 / 部門管理画面が表示されます。

3. ［2 ユーザ認証設定］を押します。

   ユーザ認証設定画面が表示されます。

4. ［1 管理設定］を押します。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

ひとこと

［2 ユーザ認証設定］は、認証方式でユーザ認証が［認証しない］に設定されていると選択できません。

5 ［ユーザー名一覧表示］を押し、［表示する］または［表示しない］を選択します。

ユーザ名の一覧キーの表示が設定されます。

6 ［初期機能制限］を押します。

初期機能制限画面が表示されます。

7 目的のキーを押します。

❍ 操作を許可する場合は、［許可する］を押します。

❍ 操作を許可しない場合は、［許可しない］を押します。

8 ［OK］を押します。

初期機能制限が設定されます。

［パブリックユーザの認証］を押し、［認証する］または［認証しない］を選択します。

パブリックユーザの認証が設定されます。

■ ユーザ登録

本機を使用するユーザごとに、パスワード、プリント許可、プリント枚数の上限値、使用できる機能を設定できます。

ここではユーザ認証が本体装置認証時のユーザ登録を例に説明します。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザ認証 / 部門管理］を押します。

ユーザ認証 / 部門管理画面が表示されます。

3 ［2 ユーザ認証設定］を押します。

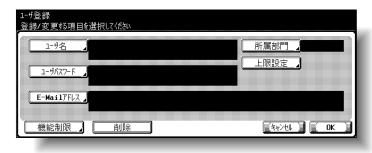
ユーザ認証設定画面が表示されます。

4 ［2 ユーザ登録］を押します。

ユーザ登録画面が表示されます。

5 目的のユーザキーを押します。

各ユーザ登録画面が表示されます。

6 ［ユーザ名］を押します。

ユーザ名画面が表示されます。

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

- 本機では、HDD 装着時、ユーザ認証と部門管理は合計 1000 件まで登録できます。
- HDD 非装着時は、合計 100 件まで登録できます。
- 認証方式でパブリックユーザが［許可する］に設定されている場合は、Public が 1 件追加されます。パブリックユーザの機能制限ができます。
- 認証方式で部門管理を［管理する］に設定されている場合は、カウンタ割当てで設定された件数まで登録できます。
- 外部サーバ認証をする場合、自動的にユーザ登録されます。あらかじめ、登録をする場合は、機能制限を設定することもできます。
- ［削除］を押すと、選択中のユーザ情報が削除されます。

7 ユーザ名を入力し（半角 64 文字まで）、［OK］を押します。

ユーザ名が設定されます。

8 ［ユーザパスワード］を押します。

パスワード画面が表示されます。

9 パスワードを入力し（半角 64 文字まで）、［OK］を押します。

再びパスワード画面が表示されます。

10 手順 9 で入力したパスワードを再度入力し、［OK］を押します。

ユーザパスワードが設定されます。

11 ［E-Mail アドレス］を押します。

E-Mail アドレス画面が表示されます。

12 E-Mail アドレスを入力し（半角 320 文字まで）、［OK］を押します。

E-Mail アドレスが設定されます。

13 ［所属部門］を押します。

所属部門画面が表示されます。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 13-2）をごらんください。

ひとこと

［ユーザパスワード］は、認証方式でユーザ認証が［外部サーバ認証］に設定されていると表示されません。

ひとこと

E-Mail アドレスが 116 文字以上になると、各ユーザ登録画面に［詳細］が表示されます。［詳細］を押すと E-Mail アドレス詳細画面が表示され、E-Mail アドレスを確認できます。

ひとこと

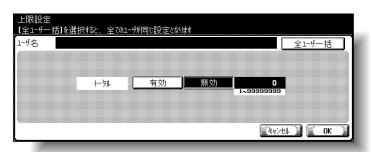
［所属部門］は部門管理が［管理する］を選択しているときに表示されます。

14 目的の所属部門キーを押し、[OK] を押します。

所属部門が設定されます。

15 [上限設定] を押します。

上限設定画面が表示されます。

16 [有効] または [無効] を押します。

❍ [有効] を押した場合、テンキーで上限枚数を入力します。

17 [OK] を押します。

上限枚数が設定されます。

18 [機能制限] を押します。

機能制限画面が表示されます。

19 目的のキーを押します。

❍ 操作を許可する場合は、[許可する] を押します。

❍ 操作を許可しない場合は、[許可しない] を押します。

参照

所属部門を選択する前に部門登録が必要です。
部門の登録のしかたは、「部門登録」（p. 12-95）をごらんください。

ひとこと

[全ユーザー括] を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザ登録にも反映されます。[全ユーザー括] を押して [OK] を 2 回押すと、データ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。

ひとこと

- [全ユーザー括] を押すと、現在の画面の設定が、他のユーザ登録にも反映されます。[全ユーザー括] を押して [OK] を 2 回押すと、データ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。
- ユーザに許可されている機能が本機の初期設定と異なる場合、ログインの際に強制で他の機能に切換わります。切換えの優先順位は、コピー→スキャナー→ボックスです。
- どの機能も許可されていない場合は、ユーザ認証されません。

［OK］を押します。

機能制限が設定されます。

［OK］を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと、現在の画面の設定が、取消されます。

■ ユーザカウンタ

ユーザごとに以下の項目を確認できます。

＜全プリント＞

コピー、プリンタの総プリント枚数が表示されます。

- トータル：総プリント枚数
- 上限値：ユーザ登録で設定したプリント枚数の上限設定値
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリント枚数

＜原稿枚数＞

- スキャンした原稿枚数が表示されます。

＜用紙枚数＞

- プリント時に使用した用紙枚数が表示されます。

＜コピー＞

コピーの総プリント枚数が表示されます。

- トータル：総コピープリント枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総コピープリント枚数

＜プリンタ＞

プリンタの総プリント枚数が表示されます。

- トータル：総プリンタプリント枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリンタプリント枚数

＜スキャナ＞

- トータル：スキャナでの総読取り枚数／総プリント枚数
- 大サイズ：スキャナの大サイズ用紙での総読取り枚数／総プリント枚数

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザ認証 / 部門管理］を押します。

ユーザ認証 / 部門管理画面が表示されます。

3 ［2 ユーザ認証設定］を押します。

ユーザ認証設定画面が表示されます。

4 ［3 ユーザカウンタ］を押します。

ユーザカウンタ画面が表示されます。

外部サーバ認証時のユーザカウンタは、自動的にカウント処理されます。

参照

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

ユーザカウンタ画面で表示されている［一括カウンタクリア］を押すと、全てのユーザのカウンタをクリアします。［一括カウンタクリア］を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押すと、全てのユーザのカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

5 目的のユーザキーを押します。

各ユーザカウンタ画面が表示されます。

6 確認する項目のキーを押し、カウンタを確認します。

7 ［閉じる］を押します。

各ユーザカウンタ画面で表示されている［カウンタクリア］を押すと、表示しているユーザのカウンタをクリアします。［カウンタクリア］を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押すと、表示しているユーザのカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

■ 部門登録

本機を使用する部門ごとに、パスワード、プリント枚数の上限値を設定できます。

ここでは部門管理の認証方式を［部門名 + パスワード］に設定した場合を例に説明します。

1 管理者設定画面を表示させます。

2 ［4 ユーザ認証 / 部門管理］を押します。

ユーザ認証 / 部門管理画面が表示されます。

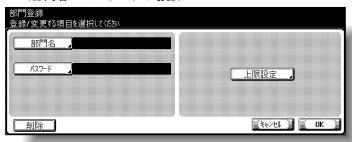
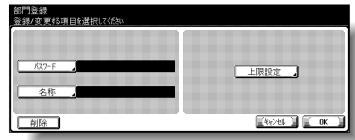
3 ［3 部門管理設定］を押します。

部門管理設定画面が表示されます。

4 ［1 部門登録］を押します。

5 目的の部門キーを押します。

各部門登録画面が表示されます。

＜部門名 + パスワードの場合＞

＜パスワードのみの場合＞

6 ［部門名］を押します。

部門名画面が表示されます。

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

ひとこと

- 本機では、ユーザ認証と部門管理は合計 1,000 件まで登録できます。
- 部門管理の認証方式の設定により表示される画面が異なります。
- ［削除］を押すと、選択中の部門情報が削除されます。

7

部門名を入力し（英数字 8 文字まで）、[OK] を押します。

部門名が設定されます。

8

[パスワード] を押します。

パスワード画面が表示されます。

9

パスワードを入力し（半角 8 文字まで）、[OK] を押します。

再びパスワード画面が表示されます。

10

手順 9 で入力したパスワードを再度入力し、[OK] を押します。

ユーザパスワードが設定されます。

11

[上限設定] を押します。

上限設定画面が表示されます。

12

[無効] または [有効] を押します。

❍ [有効] を押した場合、テンキーで上限枚数を入力します。

参照

文字の入力のしかたは、「文字を入力するには」（p. 13-2）をごらんください。

ひとこと

- [名称] が表示されている場合は、部門名称を入力し、（英数字最大 20 文字、全角文字最大 10 文字）[OK] を押します。
- 認証方式が [部門名 + パスワード] に設定されている場合、同じ部門名は登録できません。

ひとこと

- セキュリティ設定／パスワード規約が [ON] に設定されている場合、以下のパスワードは設定できません。
  - 現在設定されているパスワードと同じパスワード
  - 同一文字によるパスワード
    例 : “11111111” など
  - 8 文字以下のパスワード

[全部門一括] を押すと、現在の画面の設定が、他の部門登録にも反映されます。[全部門一括] を押して [OK] を 2 回押すとデータ処理中のメッセージが表示され、一括処理が行われます。

13 ［OK］を押します。

上限枚数が設定されます。

14 ［OK］を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと、現在の画面の設定が、取消されます。

■ 部門カウンタ

部門ごとに以下の項目を確認できます。

<全プリント>

コピー、プリンタの総プリント枚数が表示されます。

- トータル：総プリント枚数
- 上限値：部門登録で設定したプリント枚数の上限設定値
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリント枚数

<原稿枚数>

- スキャンした原稿枚数が表示されます。

<用紙枚数>

- プリント時に使用した用紙枚数が表示されます。

<コピー>

コピーの総プリント枚数が表示されます。

- トータル：総コピープリント枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総コピープリント枚数

<プリンタ>

プリンタの総プリント枚数が表示されます。

- トータル：総プリンタプリント枚数
- 大サイズ：大サイズ用紙での総プリンタプリント枚数

<スキャナ>

- トータル：スキャナでの総読取り枚数／総プリント枚数
- 大サイズ：スキャナの大サイズ用紙での総読取り枚数／総プリント枚数

1. 管理者設定画面を表示させます。

2. ［4 ユーザ認証 / 部門管理］を押します。

   ユーザ認証 / 部門管理画面が表示されます。

3. ［3 部門管理設定］を押します。

   部門管理設定画面が表示されます。

4. ［2 部門カウンタ］を押します。

   部門カウンタ画面が表示されます。

管理者設定画面の表示のしかたは、「管理者設定画面を表示させる」（p. 12-46）をごらんください。

部門カウンタ画面で表示されている［一括カウンタクリア］を押すと、全ての部門のカウンタをクリアします。［一括カウンタクリア］を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押すと、全ての部門のカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

5

目的の部門キーを押します。

各部門カウンタ画面が表示されます。

6

確認する項目のキーを押し、カウンタを確認します。

7

［閉じる］を押します。

各部門カウンタ画面で表示されている［カウンタクリア］を押すと、表示している部門のカウンタをクリアします。［カウンタクリア］を押すと、カウンタクリアの確認画面が表示されます。確認画面で［はい］を押すと、表示しているユーザのカウンタがクリアされます。上限値はクリアされません。

12.10パスワード規約

パスワード規約を適用すると、パスワードに対して以下のような制約がかかり、セキュリティを強化することができます。

パスワード規約を適用したときに、すでに設定してあるパスワードがパスワード規約に合わない場合、そのパスワードを入力しても受け付けなくなります。その場合は、管理者にパスワード規約をいったん OFF にしてもらい、以下の条件に合うようなパスワードを設定しなおしてください。

■ パスワード規約による制約

＜管理者パスワード＞

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字（大文字と小文字は区別する）	• 同一文字のみのパスワードは登録できません。 • 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

管理者設定を行う場合に使用します。

＜ユーザパスワード / 部門パスワード＞

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字以上の半角英数字（大文字と小文字は区別する）	• 同一文字のみのパスワードは登録できません。 • 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

ユーザ認証 / 部門認証時に使用します。

＜ボックスパスワード＞

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字（大文字と小文字は区別する）	• 同一文字のみのパスワードは登録できません。 • 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

詳しくは、ユーザーズガイドボックス編をごらんください。

＜機密文書パスワード＞

文字数の制約	登録 / 変更時の制約
8 文字の半角英数字（大文字と小文字は区別する）	• 同一文字のみのパスワードは登録できません。 • 変更前のパスワードと同じパスワードの登録はできません。

ひとこと

詳しくは、ユーザーズガイドボックス編をごらんください。

12.11セキュリティ強化設定

本機にセキュリティ強化設定を適用すると、さまざまなセキュリティ機能設定が連動して切換えられ、スキャンされたデータの管理において安全性をより高めることができます。ユーザの操作には制限がかかり、パブリックユーザの使用を禁止したり、ボックス操作やプリントジョブが制限されたりします。

セキュリティ強化設定を ON にするには、あらかじめ必要な機能設定や強制的に切換えられる機能設定があります。セキュリティ強化設定を ON にする前に、各セキュリティ機能の設定を確認しておく必要があります。

セキュリティ強化設定に適合しない機能設定がある場合、セキュリティ強化設定を ON にすることができません。

- セキュリティ強化設定を適用するには、必要な条件があります。詳しくは、サービス実施店にお問い合わせください。
- セキュリティ強化設定を ON にすると、必要な設定や強制的に切換えられた設定は変更できません。

＜必要な設定＞

セキュリティ強化設定を ON にするには、あらかじめ以下の設定が必要です。

管理者設定の設定メニュー	必要な設定
ユーザ認証 / 部門管理／認証方式／ユーザ認証	［外部サーバ認証］、［本体装置認証］のどちらかを選択します。
システム連携／ IS OpenAPI 設定／ SSL 使用	キーが表示された状態にします。
セキュリティ設定／管理者パスワード	パスワード規約を満たすパスワードに設定します。
セキュリティ設定／ HDD 管理設定／ HDD ロックパスワード	HDD ロックパスワードを設定します。
セキュリティ設定／ HDD 管理設定／ HDD 暗号化設定／管理データ暗号化ワード（オプションのセキュリティキット装着時）	管理データ暗号化ワードを設定します。

- 認証方式で部門管理を設定する場合は、部門管理認証方式で［部門名 + パスワード］を選択します。［パスワードのみ］を選択してある場合、セキュリティ強化設定を ON にしても認証操作禁止機能の設定が切換わりません。
- SSL 使用は PageScope Web Connection で証明書が登録済の場合に表示されます。

<変更される設定>

セキュリティ強化設定を ON にすると、セキュリティを強化するため連動して以下のように設定変更されます。

管理者設定の設定メニュー	変更される設定
環境設定／ユーザ操作禁止設定／変更禁止設定／宛先登録変更	［禁止］に設定されます。
ユーザ認証 / 部門管理／認証方式／パブリックユーザ	［許可しない］に設定されます。
ユーザ認証 / 部門管理／ユーザ認証設定／管理設定／ユーザ名一覧表示	［表示しない］に設定されます。
ユーザ認証 / 部門管理／認証指定なしプリント	［禁止］に設定されます。
セキュリティ設定／ボックス管理者設定	［認めない］に設定されます。
セキュリティ設定／セキュリティ詳細／パスワード規約	［ON］に設定されます。
セキュリティ設定／セキュリティ詳細／認証操作禁止機能	［モード 2］、チェック回数 3 回以下に設定されます。
セキュリティ設定／セキュリティ詳細／機密文書アクセス方式	［モード 2］に設定されます。
セキュリティ設定／ HDD 管理設定／一時データ上書き削除	［モード 2］に設定されます。

<ユーザの操作制限>

セキュリティ強化設定を ON にすると、タッチパネルにアイコンが表示され、ユーザに対して以下のように操作が制限されます。

- パブリックユーザは本機を使用できません。
- ユーザ認証画面でユーザ一覧が表示されません。
- ユーザが認証に指定回数連続失敗した場合、操作パネルの操作ができなくなります。パネル操作禁止になった場合は、［操作禁止解除］を押して、操作禁止を解除する項目を選択します。
- ユーザによる、宛先の変更ができません。
- PageScope Net Care、PageScope VISUALCOUNT-MASTER で、本機内のカウンタデータの取り出しができません。
- SNMP v1/v2c で write を行うアプリケーションは、接続できません。
- SNMP v3 で、Write ユーザーは認証が必要になります。

ひとこと

- 認証操作禁止機能の設定で、チェック回数は 1 回～ 3 回から変更することができます。
- 変更された設定は、セキュリティ強化設定を OFF にもどした場合、変更されません。
- パスワード規約が ON に設定されると、規約を満たしていないパスワードは認証時に認証失敗になります。パスワード規約については、「パスワード規約」（p. 12-100）をごらんください。

参照

変更されるネットワーク設定については、「ユーザーズガイドネットワーク／スキャナ機能編」をごらんください。

参照

- ユーザに対するボックス操作の制限については、「ユーザーズガイドボックス機能編」をごらんください。
- ユーザに対するプリント方法の制限については、「ユーザーズガイドプリンタ機能編」をごらんください。
- 認証失敗による操作禁止の解除方法について、詳しくは「セキュリティ設定」（p. 12-43）をごらんください。

第 13 章
付録

文字入力のしかたの説明とおもな機能の組合せについて書いてあります。

13.1 文字を入力するには 13-2
13.2 入力文字一覧 13-9
13.3 おもな機能の組合わせ一覧表 13-17

13.1 文字を入力するには

部門登録や不定形サイズの用紙登録などで名前を入力するときに表示される、文字入力画面の操作について手順を説明します。
数字を入力するときはテンキーから直接入力もできます。

文字入力画面には以下のような種類があります。

例

パスワード入力画面：

不定形サイズ用紙名称変更画面：

ここでは、文字入力の方法を不定形サイズ用紙名称変更画面で説明します。

ひとこと

ユーザ名、プログラム名、BOX 名、グループ名、アドレス帳に「¥」や「～」を使用した場合、PC から参照すると文字化けをおこすことがあります。

■ 英数字を入力する

表示されているキーボードから、入力する文字のキーを押します。

- ❍ 大文字、記号を入力する場合は、［Shift］を押します。
- ❍ 全角文字を入力する場合は、［全角］を押します。
- ❍ 数字はテンキーからでも入力できます。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ ひらがなを入力する

1 ［日本語］を押します。

2 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」)、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、［他かな］を押します。

3 ［無変換］を押します。

文字ボックスに入力した文字が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ カタカナを入力する

1. ［日本語］を押します。

2. ［カタカナ］を押します。

3. 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。
   - ❍ 濁音（「ガギグゲゴ」など）や半濁音（「パピプペポ」）、拗音（「キャキュキョ」など）を入力したいときは、［他カナ］を押します。
   - ❍ 半角文字を入力する場合は、［半角］を押します。

   文字ボックスに入力した文字が表示されます。

詳しく説明します

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 漢字を入力する

1 ［日本語］を押します。

2 表示されている 50 音表から、入力する文字のキーを押します。

❍ 濁音（「がぎぐげご」など）や半濁音（「ぱぴぷぺぽ」）、拗音（「きゃきゅきょ」など）を入力したいときは、［他かな］を押します。

3 ［変換］を押します。

変換候補選択画面が表示されます。

4 表示された候補の中から入力したい漢字のキーを押します。

5 ［OK］を押します。

文字ボックスに確定した文字が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。

- 熟語単位で変換できます。
- 入力した文字が、変換の対象になります。
- 変換を中止するときは、［キャンセル］を押します。
- 候補が 12 個以上ある場合に、［↑］または［↓］のキーが現れます。
  - •［↑］を押すと前候補が表示されます。
  - •［↓］を押すと次候補が表示されます。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

■ 文字コードで入力する

16 進数（1 ～ 0、A ～ F の組合わせ）の文字コードで、文字や記号を入力します。

［文字コード入力］を押します。

2

表示されているキーボードから、文字コードを入力し、［入力］を押します。

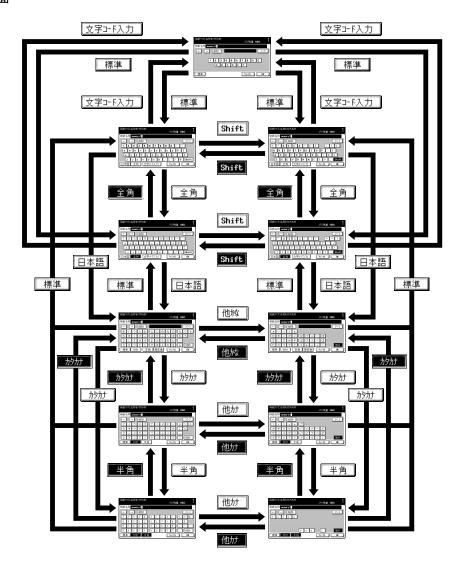
文字コードにしたがって、文字ボックスに文字が表示されます。

- 入力した文字や数字を修正する場合は、［←］、［→］で修正する文字にカーソルを合わせ、［削除］を押し、文字や数字を入力します。
- 入力した文字を全て取消す場合は、【クリア】を押します。
- 設定する項目によって、使用できない文字コードがあります。

ひとこと

［キャンセル］を押すと設定は変更されません。

入力画面

文字コード入力
標準
文字コード入力
標準
Shift
全角
Shift
日本語
標準
他かな
カタカナ
他カナ
半角
他カナ

<table>
<tr><td>ひらがな</td><td>あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねのはひふへほまみむ
めもやゆよらりるれろわをんがぎぐげござじずぜぞだぢづでどばびぶべぼ
ぱぴぷぺぽ

ぁぃぅぇぉゃゅょゎっ　ー</td></tr>
<tr><td>カタカナ（全角）</td><td>アイウエオカキクケコサシスセソタチツテトナニヌネノハヒフヘホマミム
メモヤユヨラリルレロワヲンガギグゲゴザジズゼゾダヂヅデドバビブベボ
パピプペポヴ

ァィゥェォャュョヮッ　ー</td></tr>
<tr><td>カタカナ（半角）</td><td>ｱｲｳｴｵｶｷｸｹｺｻｼｽｾｿﾀﾁﾂﾃﾄﾅﾆﾇﾈﾉﾊﾋﾌﾍﾎﾏﾐﾑﾒﾓﾔﾕﾖﾗﾘﾙﾚﾛﾜｦﾝ

ｧｨｩｪｫｬｭｮｯ ｰﾟﾞ</td></tr>
<tr><td>英数字／記号
（全角）</td><td>ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ
（スペース）！”＃＄％＆’（）＋，－．／＼：；<＝>？＠［］＾＿‘｛｜｝～＊０１２３４５６７８９</td></tr>
<tr><td>英数字／記号</td><td>ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZabcdefghijklmnopqrstuvwxyz
（スペース）!"#$%&'()+,-./¥:;<=>?@[]^_`{|}~*0123456789</td></tr>
</table>

Shift-JIS コード
（一部入力できないものもあります）

	0123456789ABCDEF
8140	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾
8150	￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼
8160	～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛
8170	｝〈〉《》「」『』【】＋－±×
8180	÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥
8190	＄￠￡％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆
81A0	□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
81B0	∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩
81C0	∧∨￢⇒⇔∀∃
81D0	∠⊥⌒∂∇≡
81E0	≒≪≫√∽∝∵∫∬
81F0	Å‰♯♭♪†‡¶ ◯
8240	０
8250	１２３４５６７８９
8260	ＡＢＣＤＥＦＧＨＩＪＫＬＭＮＯＰ
8270	ＱＲＳＴＵＶＷＸＹＺ
8280	ａｂｃｄｅｆｇｈｉｊｋｌｍｎｏ
8290	ｐｑｒｓｔｕｖｗｘｙｚ ぁ
82A0	あぃいぅうぇえぉおかがきぎくぐけ

	0123456789ABCDEF
82B0	げこごさざしじすずせぜそぞただち
82C0	ぢっつづてでとどなにぬねのはばぱ
82D0	ひびぴふぶぷへべぺほぼぽまみむめ
82E0	もゃやゅゆょよらりるれろゎわゐゑ
82F0	をん
8340	ァアィイゥウェエォオカガキギクグ
8350	ケゲコゴサザシジスズセゼソゾタダ
8360	チヂッツヅテデトドナニヌネノハバ
8370	パヒビピフブプヘベペホボポマミ
8380	ムメモャヤュユョヨラリルレロヮワ
8390	ヰヱヲンヴヵヶ Α
83A0	ΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡ
83B0	ΣΤΥΦΧΨΩ α
83C0	βγδεζηθικλμνξοπρ
83D0	στυφχψω
83E0	
83F0	
8440	АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНО
8450	ПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮ
8460	Я

	0123456789ABCDEF
8470	абвгдеёжзийклмн
8480	опрстуфхцчшщъыьэ
8490	юя ─
84A0	│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛
84B0	┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂
84C0	
84D0	
84E0	
84F0	
8540	！″＃＄
8550	
8560	
8570	
8580	
8590	
85A0	
85B0	
85C0	
85D0	
85E0	
85F0	
8640	
8650	
8660	
8670	
8680	

	0123456789ABCDEF
8690	′″′
86A0	
86B0	
86C0	
86D0	
86E0	
86F0	
8740	①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯
8750	⑰⑱⑲⑳ⅠⅡⅢⅣⅤⅥⅦⅧⅨⅩ ㍉
8760	㌔㌢㍍㌘㌧㌃㌶㍑㍗㌍㌦㌣㌫㍊㌻㎜
8780	㎝㎞㎎㎏㏄㎡ ㍻
8790	〝〟№㏍℡㊤㊥㊦㊧㊨㈱㈲㈹㍾㍽㍼
87A0	≒≡∫∮∑√⊥∠∟⊿∵∩∪
87B0	
87C0	
87D0	
87E0	
87F0	
8840	
8850	
8860	
8870	
8880	
8890	亜

	0123456789ABCDEF
88A0	唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦
88B0	芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或粟袷
88C0	安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委
88D0	威尉惟意慰易椅為畏異移維緯胃萎衣
88E0	謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨
88F0	芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤蔭
8940	院陰隠韻吋右宇烏羽迂雨卯鵜窺丑碓
8950	臼渦嘘唄欝蔚鰻姥厩浦瓜閏噂云運雲
8960	荏餌叡営嬰影映曳栄永泳洩瑛盈穎頴
8970	英衛詠鋭液疫益駅悦謁越閲榎厭円
8980	園堰奄宴延怨掩援沿演炎焔煙燕猿縁
8990	艶苑薗遠鉛鴛塩於汚甥凹央奥往応押
89A0	旺横欧殴王翁襖鴬鴎黄岡沖荻億屋憶
89B0	臆桶牡乙俺卸恩温穏音下化仮何伽価
89C0	佳加可嘉夏嫁家寡科暇果架歌河火珂
89D0	禍禾稼箇花苛茄荷華菓蝦課嘩貨迦過
89E0	霞蚊俄峨我牙画臥芽蛾賀雅餓駕介会
89F0	解回塊壊廻快怪悔恢懐戒拐改
8A40	魁晦械海灰界皆絵芥蟹開階貝凱劾外
8A50	咳害崖慨概涯碍蓋街該鎧骸浬馨蛙垣
8A60	柿蛎鈎劃嚇各廓拡撹格核殻獲確穫覚

	0123456789ABCDEF
8A70	角赫較郭閣隔革学岳楽額顎掛笠樫
8A80	橿梶鰍潟割喝恰括活渇滑葛褐轄且鰹
8A90	叶椛樺鞄株兜竃蒲釜鎌噛鴨栢茅萱粥
8AA0	刈苅瓦乾侃冠寒刊勘勧巻喚堪姦完官
8AB0	寛干幹患感慣憾換敢柑桓棺款歓汗漢
8AC0	澗潅環甘監看竿管簡緩缶翰肝艦莞観
8AD0	諌貫還鑑間閑関陥韓館舘丸含岸巌玩
8AE0	癌眼岩翫贋雁頑顔願企伎危喜器基奇
8AF0	嬉寄岐希幾忌揮机旗既期棋棄
8B40	機帰毅気汽畿祈季稀紀徽規記貴起軌
8B50	輝飢騎鬼亀偽儀妓宜戯技擬欺犠疑祇
8B60	義蟻誼議掬菊鞠吉吃喫桔橘詰砧杵黍
8B70	却客脚虐逆丘久仇休及吸宮弓急救
8B80	朽求汲泣灸球究窮笈級糾給旧牛去居
8B90	巨拒拠挙渠虚許距鋸漁禦魚亨享京供
8BA0	侠僑兇競共凶協匡卿叫喬境峡強彊怯
8BB0	恐恭挟教橋況狂狭矯胸脅興蕎郷鏡響
8BC0	饗驚仰凝尭暁業局曲極玉桐粁僅勤均
8BD0	巾錦斤欣欽琴禁禽筋緊芹菌衿襟謹近
8BE0	金吟銀九倶句区狗玖矩苦躯駆駈駒具
8BF0	愚虞喰空偶寓遇隅串櫛釧屑屈

	0123456789ABCDEF
8C40	掘窟沓靴轡窪熊隈粂栗繰桑鍬勲君薫
8C50	訓群軍郡卦袈祁係傾刑兄啓圭珪型契
8C60	形径恵慶慧憩掲携敬景桂渓畦稽系経
8C70	継繋罫茎荊蛍計詣警軽頚鶏芸迎鯨
8C80	劇戟撃激隙桁傑欠決潔穴結血訣月件
8C90	倹倦健兼券剣喧圏堅嫌建憲懸拳捲検
8CA0	権牽犬献研硯絹県肩見謙賢軒遣鍵険
8CB0	顕験鹸元原厳幻弦減源玄現絃舷言諺
8CC0	限乎個古呼固姑孤己庫弧戸故枯湖狐
8CD0	糊袴股胡菰虎誇跨鈷雇顧鼓五互伍午
8CE0	呉吾娯後御悟梧檎瑚碁語誤護醐乞鯉
8CF0	交佼侯候倖光公功効勾厚口向
8D40	后喉坑垢好孔孝宏工巧巷幸広庚康弘
8D50	恒慌抗拘控攻昂晃更杭校梗構江洪浩
8D60	港溝甲皇硬稿糠紅紘絞綱耕考肯肱腔
8D70	膏航荒行衡講貢購郊酵鉱砿鋼閤降
8D80	項香高鴻剛劫号合壕拷濠豪轟麹克刻
8D90	告国穀酷鵠黒獄漉腰甑忽惚骨狛込此
8DA0	頃今困坤墾婚恨懇昏昆根梱混痕紺艮

	0123456789ABCDEF
8DB0	魂些佐叉唆嵯左差査沙瑳砂詐鎖裟坐
8DC0	座挫債催再最哉塞妻宰彩才採栽歳済
8DD0	災采犀砕砦祭斎細菜裁載際剤在材罪
8DE0	財冴坂阪堺榊肴咲崎埼碕鷺作削咋搾
8DF0	昨朔柵窄策索錯桜鮭笹匙冊刷
8E40	察拶撮擦札殺薩雑皐鯖捌錆鮫皿晒三
8E50	傘参山惨撒散桟燦珊産算纂蚕讃賛酸
8E60	餐斬暫残仕仔伺使刺司史嗣四士始姉
8E70	姿子屍市師志思指支孜斯施旨枝止
8E80	死氏獅祉私糸紙紫肢脂至視詞詩試誌
8E90	諮資賜雌飼歯事似侍児字寺慈持時次
8EA0	滋治爾璽痔磁示而耳自蒔辞汐鹿式識
8EB0	鴫竺軸宍雫七叱執失嫉室悉湿漆疾質
8EC0	実蔀篠偲柴芝屡蕊縞舎写射捨赦斜煮
8ED0	社紗者謝車遮蛇邪借勺尺杓灼爵酌釈
8EE0	錫若寂弱惹主取守手朱殊狩珠種腫趣
8EF0	酒首儒受呪寿授樹綬需囚収周
8F40	宗就州修愁拾洲秀秋終繍習臭舟蒐衆
8F50	襲讐蹴輯週酋酬集醜什住充十従戎柔

	0123456789ABCDEF
8F60	汁渋獣縦重銃叔夙宿淑祝縮粛塾熟出
8F70	術述俊峻春瞬竣舜駿准循旬楯殉淳
8F80	準潤盾純巡遵醇順処初所暑曙渚庶緒
8F90	署書薯藷諸助叙女序徐恕鋤除傷償勝
8FA0	匠升召哨商唱嘗奨妾娼宵将小少尚庄
8FB0	床廠彰承抄招掌捷昇昌昭晶松梢樟樵
8FC0	沼消渉湘焼焦照症省硝礁祥称章笑粧
8FD0	紹肖菖蒋蕉衝裳訟証詔詳象賞醤鉦鍾
8FE0	鐘障鞘上丈丞乗冗剰城場壌嬢常情擾
8FF0	条杖浄状畳穣蒸譲醸錠嘱埴飾
9040	拭植殖燭織職色触食蝕辱尻伸信侵唇
9050	娠寝審心慎振新晋森榛浸深申疹真神
9060	秦紳臣芯薪親診身辛進針震人仁刃塵
9070	壬尋甚尽腎訊迅陣靭笥諏須酢図厨
9080	逗吹垂帥推水炊睡粋翠衰遂酔錐錘随
9090	瑞髄崇嵩数枢趨雛据杉椙菅頗雀裾澄
90A0	摺寸世瀬畝是凄制勢姓征性成政整星
90B0	晴棲栖正清牲生盛精聖声製西誠誓請
90C0	逝醒青静斉税脆隻席惜戚斥昔析石積
90D0	籍績脊責赤跡蹟碩切拙接摂折設窃節
90E0	説雪絶舌蝉仙先千占宣専尖川戦扇撰

	0123456789ABCDEF
90F0	栓栴泉浅洗染潜煎煽旋穿箭線
9140	繊羨腺舛船薦詮賎践選遷銭銑閃鮮前
9150	善漸然全禅繕膳糎噌塑岨措曾曽楚狙
9160	疏疎礎祖租粗素組蘇訴阻遡鼠僧創双
9170	叢倉喪壮奏爽宋層匝惣想捜掃挿掻
9180	操早曹巣槍槽漕燥争痩相窓糟総綜聡
9190	草荘葬蒼藻装走送遭鎗霜騒像増憎臓
91A0	蔵贈造促側則即息捉束測足速俗属賊
91B0	族続卒袖其揃存孫尊損村遜他多太汰
91C0	詑唾堕妥惰打柁舵楕陀駄騨体堆対耐
91D0	岱帯待怠態戴替泰滞胎腿苔袋貸退逮
91E0	隊黛鯛代台大第醍題鷹滝瀧卓啄宅托
91F0	択拓沢濯琢託鐸濁諾茸凧蛸只
9240	叩但達辰奪脱巽竪辿棚谷狸鱈樽誰丹
9250	単嘆坦担探旦歎淡湛炭短端箪綻耽胆
9260	蛋誕鍛団壇弾断暖檀段男談値知地弛
9270	恥智池痴稚置致蜘遅馳築畜竹筑蓄
9280	逐秩窒茶嫡着中仲宙忠抽昼柱注虫衷
9290	註酎鋳駐樗瀦猪苧著貯丁兆凋喋寵帖
92A0	帳庁弔張彫徴懲挑朝朝潮牒町眺聴脹
92B0	腸蝶調諜超跳銚長頂鳥勅捗直朕沈珍

	0123456789ABCDEF
92C0	賃鎮陳津墜椎槌追鎚痛通塚栂掴槻佃
92D0	漬柘辻蔦綴鍔椿潰坪壷嬬紬爪吊釣鶴
92E0	亭低停偵剃貞呈堤定帝底庭廷弟悌抵
92F0	挺提梯汀碇禎程締艇訂諦蹄逓
9340	邸鄭釘鼎泥摘擢敵滴的笛適鏑溺哲徹
9350	撤轍迭鉄典填天展店添纏甜貼転顛点
9360	伝殿澱田電兎吐堵塗妬屠徒斗杜渡登
9370	菟賭途都鍍砥砺努度土奴怒倒党冬
9380	凍刀唐塔塘套宕島嶋悼投搭東桃梼棟
9390	盗淘湯涛灯燈当痘祷等答筒糖統到董
93A0	蕩藤討謄豆踏逃透鐙陶頭騰闘働動同
93B0	堂導憧撞洞瞳童胴萄道銅峠鴇匿得徳
93C0	涜特督禿篤毒独読栃橡凸突椴届鳶苫
93D0	寅酉瀞噸屯惇敦沌豚遁頓呑曇鈍奈那
93E0	内乍凪薙謎灘捺鍋楢馴縄畷南楠軟難
93F0	汝二尼弐迩匂賑肉虹廿日乳入
9440	如尿韮任妊忍認濡禰祢寧葱猫熱年念
9450	捻撚燃粘乃廼之埜嚢悩濃納能脳膿農
9460	覗蚤巴把播覇杷波派琶破婆罵芭馬俳
9470	廃拝排敗杯盃牌背肺輩配倍培媒梅
9480	楳煤狽買売賠陪這蝿秤矧萩伯剥博拍

	0123456789ABCDEF
9490	柏泊白箔粕舶薄迫曝漠爆縛莫駁麦函
94A0	箱硲箸肇筈櫨幡肌畑畠八鉢溌発醗髪
94B0	伐罰抜筏閥鳩噺塙蛤隼伴判半反叛帆
94C0	搬斑板氾汎版犯班畔繁般藩販範釆煩
94D0	頒飯挽晩番盤磐蕃蛮匪卑否妃庇彼悲
94E0	扉批披斐比泌疲皮碑秘緋罷肥被誹費
94F0	避非飛樋簸備尾微枇毘琵眉美
9540	鼻柊稗匹疋髭彦膝菱肘弼必畢筆逼桧
9550	姫媛紐百謬俵彪標氷漂瓢票表評豹廟
9560	描病秒苗錨鋲蒜蛭鰭品彬斌浜瀕貧賓
9570	頻敏瓶不付埠夫婦富冨布府怖扶敷
9580	斧普浮父符腐膚芙譜負賦赴阜附侮撫
9590	武舞葡蕪部封楓風葺蕗伏副復幅服福
95A0	腹複覆淵弗払沸仏物鮒分吻噴墳憤扮
95B0	焚奮粉糞紛雰文聞丙併兵塀幣平弊柄
95C0	並蔽閉陛米頁僻壁癖碧別瞥蔑箆偏変
95D0	片篇編辺返遍便勉娩弁鞭保舗鋪圃捕
95E0	歩甫補輔穂募墓慕戊暮母簿菩倣俸包
95F0	呆報奉宝峰峯崩庖抱捧放方朋
9640	法泡烹砲縫胞芳萌蓬蜂褒訪豊邦鋒飽
9650	鳳鵬乏亡傍剖坊妨帽忘忙房暴望某棒

13
付録

	0123456789ABCDEF
9660	冒紡肪膨謀貌貿鉾防吠頬北僕卜墨撲
9670	朴牧睦穆釦勃没殆堀幌奔本翻凡盆
9680	摩磨魔麻埋妹昧枚毎哩槙幕膜枕鮪柾
9690	鱒桝亦俣又抹末沫迄侭繭麿万慢満漫
96A0	蔓味未魅巳箕岬密蜜湊蓑稔脈妙粍民
96B0	眠務夢無牟矛霧鵡椋婿娘冥名命明盟
96C0	迷銘鳴姪牝滅免棉綿緬面麺摸模茂妄
96D0	孟毛猛盲網耗蒙儲木黙目杢勿餅尤戻
96E0	籾貰問悶紋門匁也冶夜爺耶野弥矢厄
96F0	役約薬訳躍靖柳薮鑓愉愈油癒
9740	諭輸唯佑優勇友宥幽悠憂揖有柚湧涌
9750	猶猷由祐裕誘遊邑郵雄融夕予余与誉
9760	輿預傭幼妖容庸揚揺擁曜楊様洋溶熔
9770	用窯羊耀葉蓉要謡踊遥陽養慾抑欲
9780	沃浴翌翼淀羅螺裸来莱頼雷洛絡落酪
9790	乱卵嵐欄濫藍蘭覧利吏履李梨理璃痢
97A0	裏裡里離陸律率立葎掠略劉流溜琉留
97B0	硫粒隆竜龍侶慮旅虜了亮僚両凌寮料
97C0	梁涼猟療瞭稜糧良諒遼量陵領力緑倫
97D0	厘林淋燐琳臨輪隣鱗麟瑠塁涙累類令
97E0	伶例冷励嶺怜玲礼苓鈴隷零霊麗齢暦

	0123456789ABCDEF
97F0	歴列劣烈裂廉恋憐漣煉簾練聯
9840	蓮連錬呂魯櫓炉賂路露労婁廊弄朗楼
9850	榔浪漏牢狼篭老聾蝋郎六麓禄肋録論
9860	倭和話歪賄脇惑枠鷲亙亘鰐詫藁蕨椀
9870	湾碗腕
9880	
9890	弌
98A0	丐丕个丱丶丼丿乂乖乘亂亅豫亊舒弍
98B0	于亞亟亠亢亰亳亶从仍仄仆仂仗仞仭
98C0	仟价伉佚估佛佝佗佇佶侈侏侘佻佩佰
98D0	侑佯來侖儘俔俟俎俘俛俑俚俐俤俥倚
98E0	倨倔倪倥倅伜俶倡倩倬俾俯們倆偃假
98F0	會偕偐偈做偖偬偸傀傚傅傴傲
9940	僉僊傳僂僖僞僥僭僣僮價僵儉儁儂儖
9950	儕儔儚儡儺儷儼儻儿兀兒兌兔兢竸兩
9960	兪兮冀冂囘册冉冏冑冓冕冖冤冦冢冩
9970	冪冫决冱冲冰况冽凅凉凛几處凩凭
9980	凰凵凾刄刋刔刎刧刪刮刳刹剏剄剋剌
9990	剞剔剪剴剩剳剿剽劍劔劒剱劈劑辨辧
99A0	劬劭劼劵勁勍勗勞勣勦飭勠勳勵勸勹
99B0	匆匈甸匍匐匏匕匚匣匯匱匳匸區卆卅

	0123456789ABCDEF
99C0	廿卉卍凖卞卩卮夘卻卷厂厖厠厦厥厮
99D0	厰厶參簒雙叟曼燮叮叨叭叺吁吽呀听
99E0	吭吼吮吶吩吝呎咏呵咎呟呱呷呰咒呻
99F0	咀呶咄咐咆哇咢咸咥咬哄哈咨
9A40	咫哂咤咾咼哘哥哦唏唔哽哮哭哺哢唹
9A50	啀啣啌售啜啅啖啗唸唳啝喙喀咯喊喟
9A60	啻啾喘喞單啼喃喩喇喨嗚嗅嗟嗄嗜嗤
9A70	嗔嘔嗷嘖嗾嗽嘛嗹噎噐營嘴嘶嘲嘸
9A80	噫噤嘯噬噪嚆嚀嚊嚠嚔嚏嚥嚮嚶嚴囂
9A90	嚼囁囃囀囈囎囑囓囗囮囹圀囿圄圉圈
9AA0	國圍圓團圖嗇圜圦圷圸坎圻址坏坩埀
9AB0	垈坡坿垉垓垠垳垤垪垰埃埆埔埒埓堊
9AC0	埖埣堋堙堝塲堡塢塋塰毀塒堽塹墅墹
9AD0	墟墫墺壞墻墸墮壅壓壑壗壙壘壥壜壤
9AE0	壟壯壺壹壻壼壽夂夊夐夛梦夥夬夭夲
9AF0	夸夾竒奕奐奎奚奘奢奠奧奬奩
9B40	奸妁妝佞侫妣妲姆姨姜妍姙姚娥娟娑
9B50	娜娉娚婀婬婉娵娶婢婪媚媼媾嫋嫂媽
9B60	嫣嫗嫦嫩嫖嫺嫻嬌嬋嬖嬲嫐嬪嬶嬾孃
9B70	孅孀孑孕孚孛孥孩孰孳孵學斈孺宀
9B80	它宦宸寃寇寉寔寐寤實寢寞寥寫寰寶

	0123456789ABCDEF
9B90	寳尅將專對尓尠尢尨尸尹屁屆屎屓屐
9BA0	屏孱屬屮乢屶屹岌岑岔妛岫岻岶岼岷
9BB0	峅岾峇峙峩峽峺峭嶌峪崋崕崗嵜崟崛
9BC0	崑崔崢崚崙崘嵌嵒嵎嵋嵬嵳嵶嶇嶄嶂
9BD0	嶢嶝嶬嶮嶽嶐嶷嶼巉巍巓巒巖巛巫已
9BE0	巵帋帚帙帑帛帶帷幄幃幀幎幗幔幟幢
9BF0	幤幇幵并幺麼广庠廁廂廈廐廏
9C40	廖廣廝廚廛廢廡廨廩廬廱廳廰廴廸廾
9C50	弃弉彝彜弋弑弖弩弭弸彁彈彌彎弯彑
9C60	彖彗彙彡彭彳彷徃徂彿徊很徑徇從徙
9C70	徘徠徨徭徼忖忻忤忸忱忝悳忿怡恠
9C80	怙怐怩怎怱怛怕怫怦怏怺恚恁恪恷恟
9C90	恊恆恍恣恃恤恂恬恫恙悁悍惧悃悚悄
9CA0	悛悖悗悒悧悋惡悸惠惓悴忰悽惆悵惘
9CB0	慍愕愆惶惷愀惴惺愃愡惻惱愍愎慇愾
9CC0	愨愧慊愿愼愬愴愽慂慄慳慷慘慙慚慫
9CD0	慴慯慥慱慟慝慓慵憙憖憇憬憔憚憊憑
9CE0	憫憮懌懊應懷懈懃懆憺懋罹懍懦懣懶
9CF0	懺懴懿懽懼懾戀戈戉戍戌戔戛
9D40	戞戡截戮戰戲戳扁扎扞扣扛扠扨扼抂
9D50	抉找抒抓抖拔抃抔拗拑抻拏拿拆擔拈

	0123456789ABCDEF
9D60	拜拌拊拂拇抛拉挌拮拱挧挂挈拯拵捐
9D70	挾捍搜捏掖掎掀掫捶掣掏掉掟掵捫
9D80	捩掾揩揀揆揣揉插揶揄搖搴搆搓搦搶
9D90	攝搗搨搏摧摯摶摎攪撕撓撥撩撈撼據
9DA0	擒擅擇撻擘擂擱擧舉擠擡抬擣擯攬擶
9DB0	擴擲擺攀擽攘攜攅攤攣攫攴攵攷收攸
9DC0	畋效敖敕敍敘敞敝敲數斂斃變斛斟斫
9DD0	斷旃旆旁旄旌旒旛旙无旡旱杲昊昃旻
9DE0	杳昵昶昴昜晏晄晉晁晞晝晤晧晨晟晢
9DF0	晰暃暈暎暉暄暘暝曁暹曉暾暼
9E40	曄暸曖曚曠昿曦曩曰曵曷朏朖朞朦朧
9E50	霸朮朿朶杁朸朷杆杞杠杙杣杤枉杰枩
9E60	杼杪枌枋枦枡枅枷柯枴柬枳柩枸柤柞
9E70	柝柢柮枹柎柆柧檜栞框栩桀桍栲桎
9E80	梳栫桙档桷桿梟梏梭梔條梛梃檮梹桴
9E90	梵梠梺椏梍桾椁棊椈棘椢椦棡椌棍棔
9EA0	棧棕椶椒椄棗棣椥棹棠棯椨椪椚椣椡
9EB0	棆楹楷楜楸楫楔楾楮椹楴椽楙椰楡楞
9EC0	楝榁楪榲榮槐榿槁槓榾槎寨槊槝榻槃
9ED0	榧樮榑榠榜榕榴槞槨樂樛槿權槹槲槧
9EE0	樅榱樞槭樔槫樊樒櫁樣樓橄樌橲樶橸

	0123456789ABCDEF
9EF0	檥橢橙橦橈樸樢檐檍檠檄檢檣
9F40	檗蘗檻櫃櫂檸檳檬櫞櫑櫟檪櫚櫪櫻欅
9F50	蘖櫺欒欖鬱欟欸欷盜欹飮歇歃歉歐歙
9F60	歔歛歟歡歸歹歿殀殄殃殍殘殕殞殤殪
9F70	殫殯殲殱殳殷殼毆毋毓毟毬毫毳毯
9F80	麾氈氓气氛氤氣汞汕汢汪沂沍沚沁沛
9F90	汾汨汳沒沐泄泱泓沽泗泅泝沮沱沾沺
9FA0	泛泯泙泪洟衍洶洫洽洸洙洵洳洒洌浣
9FB0	涓浤浚浹浙涎涕濤涅淹渕渊涵淇淦涸
9FC0	淆淬淞淌淨淒淅淺淙淤淕淪淮渭湮渮
9FD0	渙湲湟渾渣湫渫湶湍渟湃渺湎渤滿渝
9FE0	游溂溪溘滉溷滓溽溯滄溲滔滕溏溥滂
9FF0	溟潁漑灌滬滸滾漿滲漱滯漲滌
E040	漾漓滷澆潺潸澁澀潯潛濳潭澂潼潘澎
E050	澑濂潦澳澣澡澤澹濆澪濟濕濬濔濘濱
E060	濮濛瀉瀋濺瀑瀁瀏濾瀛瀚潴瀝瀘瀟瀰
E070	瀾瀲灑灣炙炒炯烱炬炸炳炮烟烋烝
E080	烙焉烽焜焙煥煕熈煦煢煌煖煬熏燻熄
E090	熕熨熬燗熹熾燒燉燔燎燠燬燧燵燼燹
E0A0	燿爍爐爛爨爭爬爰爲爻爼爿牀牆牋牘
E0B0	牴牾犂犁犇犒犖犢犧犹犲狃狆狄狎狒

	0123456789ABCDEF
E0C0	狢狠狡狹狷倏猗猊猜猖猝猴猯猩猥猾
E0D0	獎獏默獗獪獨獰獸獵獻獺珈玳珎玻珀
E0E0	珥珮珞璢琅瑯琥珸琲琺瑕琿瑟瑙瑁瑜
E0F0	瑩瑰瑣瑪瑶瑾璋璞璧瓊瓏瓔珱
E140	瓠瓣瓧瓩瓮瓲瓰瓱瓸瓷甄甃甅甌甎甍
E150	甕甓甞甦甬甼畄畍畊畉畛畆畚畩畤畧
E160	畫畭畸當疆疇畴疊疉疂疔疚疝疥疣痂
E170	疳痃疵疽疸疼疱痍痊痒痙痣痞痾痿
E180	痼瘁痰痺痲痳瘋瘍瘉瘟瘧瘠瘡瘢瘤瘴
E190	瘰瘻癇癈癆癜癘癡癢癨癩癪癧癬癰癲
E1A0	癶癸發皀皃皈皋皎皖皓皙皚皰皴皸皹
E1B0	皺盂盍盖盒盞盡盥盧盪蘯盻眈眇眄眩
E1C0	眤眞眥眦眛眷眸睇睚睨睫睛睥睿睾睹
E1D0	瞎瞋瞑瞠瞞瞰瞶瞹瞿瞼瞽瞻矇矍矗矚
E1E0	矜矣矮矼砌砒礦砠礪硅碎硴碆硼碚碌
E1F0	碣碵碪碯磑磆磋磔碾碼磅磊磬
E240	磧磚磽磴礇礒礑礙礬礫祀祠祗祟祚祕
E250	祓祺祿禊禝禧齋禪禮禳禹禺秉秕秧秬
E260	秡秣稈稍稘稙稠稟禀稱稻稾稷穃穗穉
E270	穡穢穩龝穰穹穽窈窗窕窘窖窩竈窰
E280	窶竅竄窿邃竇竊竍竏竕竓站竚竝竡竢

	0123456789ABCDEF
E290	竦竭竰笂笏笊笆笳笘笙笞笵笨笶筐筺
E2A0	笄筍笋筌筅筵筥筴筧筰筱筬筮箝箘箟
E2B0	箍箜箚箋箒箏筝箙篋篁篌篏箴篆篝篩
E2C0	簑簔篦篥籠簀簇簓篳篷簗簍篶簣簧簪
E2D0	簟簷簫簽籌籃籔籏籀籐籘籟籤籖籥籬
E2E0	籵粃粐粤粭粢粫粡粨粳粲粱粮粹粽糀
E2F0	糅糂糘糒糜糢鬻糯糲糴糶糺紆
E340	紂紜紕紊絅絋紮紲紿紵絆絳絖絎絲絨
E350	絮絏絣經綉絛綏絽綛綺綮綣綵緇綽綫
E360	總綢綯緜綸綟綰緘緝緤緞緻緲緡縅縊
E370	縣縡縒縱縟縉縋縢繆繦縻縵縹繃縷
E380	縲縺繧繝繖繞繙繚繹繪繩繼繻纃緕繽
E390	辮繿纈纉續纒纐纓纔纖纎纛纜缸缺罅
E3A0	罌罍罎罐网罕罔罘罟罠罨罩罧罸羂羆
E3B0	羃羈羇羌羔羞羝羚羣羯羲羹羮羶羸譱
E3C0	翅翆翊翕翔翡翦翩翳翹飜耆耄耋耒耘
E3D0	耙耜耡耨耿耻聊聆聒聘聚聟聢聨聳聲
E3E0	聰聶聹聽聿肄肆肅肛肓肚肭冐肬胛胥
E3F0	胙胝胄胚胖脉胯胱脛脩脣脯腋
E440	隋腆脾腓腑胼腱腮腥腦腴膃膈膊膀膂
E450	膠膕膤膣腟膓膩膰膵膾膸膽臀臂膺臉

	0123456789ABCDEF
E460	臍臑臙臘臈臚臟臠臧臺臻臾舁舂舅與
E470	舊舍舐舖舩舫舸舳艀艙艘艝艚艟艤
E480	艢艨艪艫舮艱艷艸艾芍芒芫芟芻芬苡
E490	苣苟苒苴苳苺莓范苻苹苞茆苜茉苙茵
E4A0	茴茖茲茱荀茹荐荅茯茫茗茘莅莚莪莟
E4B0	莢莖茣莎莇莊荼莵荳荵莠莉莨菴萓菫
E4C0	菎菽萃菘萋菁菷萇菠菲萍萢萠莽萸蔆
E4D0	菻葭萪萼蕚蒄葷葫蒭葮蒂葩葆萬葯葹
E4E0	萵蓊葢蒹蒿蒟蓙蓍蒻蓚蓐蓁蓆蓖蒡蔡
E4F0	蓿蓴蔗蔘蔬蔟蔕蔔蓼蕀蕣蕘蕈
E540	蕁蘂蕋蕕薀薤薈薑薊薨蕭薔薛藪薇薜
E550	蕷蕾薐藉薺藏薹藐藕藝藥藜藹蘊蘓蘋
E560	藾藺蘆蘢蘚蘰蘿虍乕虔號虧虱蚓蚣蚩
E570	蚪蚋蚌蚶蚯蛄蛆蚰蛉蠣蚫蛔蛞蛩蛬
E580	蛟蛛蛯蜒蜆蜈蜀蜃蛻蜑蜉蜍蛹蜊蜴蜿
E590	蜷蜻蜥蜩蜚蝠蝟蝸蝌蝎蝴蝗蝨蝮蝙蝓
E5A0	蝣蝪蠅螢螟螂螯蟋螽蟀蟐雖螫蟄螳蟇
E5B0	蟆螻蟯蟲蟠蠏蠍蟾蟶蟷蠎蟒蠑蠖蠕蠢
E5C0	蠡蠱蠶蠹蠧蠻衄衂衒衙衞衢衫袁衾袞
E5D0	衵衽袵衲袂袗袒袮袙袢袍袤袰袿袱裃
E5E0	裄裔裘裙裝裹褂裼裴裨裲褄褌褊褓襃

	0123456789ABCDEF
E5F0	褞褥褪褫襁襄褻褶褸襌褝襠襞
E640	襦襤襭襪襯襴襷覃覈覊覓覘覡覩覦
E650	覬覯覲覺覽覿觀觚觜觝觧觴觸訃訖訐
E660	訌訛訝訥訶詁詛詒詆詈詼詭詬詢誅誂
E670	誄誨誡誑誥誦誚誣諄諍諂諚諫諳諧
E680	諤諱謔諠諢諷諞諛謌謇謚諡謖謐謗謠
E690	謳鞫謦謫謾謨譁譌譏譎證譖譛譚譫譟
E6A0	譬譯譴譽讀讌讎讒讓讖讙讚谺豁谿豈
E6B0	豌豎豐豕豢豬豸豺貂貉貅貊貍貎貔豼
E6C0	貘戝貭貪貽貲貳貮貶賈賁賤賣賚賽賺
E6D0	賻贄贅贊贇贏贍贐齎贓賍贔贖赧赭赱
E6E0	赳趁趙跂趾趺跏跚跖跌跛跋跪跫跟跣
E6F0	跼踈踉跿踝踞踐踟蹂踵踰踴蹊
E740	蹇蹉蹌蹐蹈蹙蹤蹠踪蹣蹕蹶蹲蹼躁躇
E750	躅躄躋躊躓躑躔躙躪躡躬躰軆躱躾軅
E760	軈軋軛軣軼軻軫軾輊輅輕輒輙輓輜輟
E770	輛輌輦輳輻輹轅轂輾轌轉轆轎轗轜
E780	轢轣轤辜辟辣辭辯辷迚迥迢迪迯邇迴
E790	逅迹迺逑逕逡逍逞逖逋逧逶逵逹迸遏
E7A0	遐遑遒逎遉逾遖遘遞遨遯遶隨遲邂遽
E7B0	邁邀邊邉邏邨邯邱邵郢郤扈郛鄂鄒鄙

	0123456789ABCDEF
E7C0	鄲鄰酊酖酘酣酥酩酳酲醋醉醂醢醫醯
E7D0	醪醵醴醺釀釁釉釋釐釖釟釡釛釼釵釶
E7E0	鈞釿鈔鈬鈕鈑鉞鉗鉅鉉鉤鉈銕鈿鉋鉐
E7F0	銜銖銓銛鉚鋏銹銷鋩錏鋺鍄錮
E840	錙錢錚錣錺錵錻鍜鍠鍼鍮鍖鎰鎬鎭鎔
E850	鎹鏖鏗鏨鏥鏘鏃鏝鏐鏈鏤鐚鐔鐓鐃鐇
E860	鐐鐶鐫鐵鐡鐺鑁鑒鑄鑛鑠鑢鑞鑪鈩鑰
E870	鑵鑷鑽鑚鑼鑾钁鑿閂閇閊閔閖閘閙
E880	閠閨閧閭閼閻閹閾闊濶闃闍闌闕闔闖
E890	關闡闥闢阡阨阮阯陂陌陏陋陷陜陞陝
E8A0	陟陦陲陬隍隘隕隗險隧隱隲隰隴隶隸
E8B0	隹雎雋雉雍雜霍雕雹霄霆霈霓霎霑
E8C0	霏霖霙霤霪霰霹霽霾靄靆靈靂靉靜靠
E8D0	靤靦靨勒靫靱靹鞅靼鞁靺鞆鞋鞏鞐鞜
E8E0	鞨鞦鞣鞳鞴韃韆韈韋韜韭齏韲竟韶韵
E8F0	頏頌頸頤頡頷頽顆顏顋顫顯顰
E940	顱顴顳颪颯颱颶飄飃飆飩飫餃餉餒餔
E950	餘餡餝餞餤餠餬餮餽餾饂饉饅饐饋饑
E960	饒饌饕馗馘馥馭馮馼駟駛駝駘駑駭駮
E970	駱駲駻駸騁騏騅駢騙騫騷驅驂驀驃
E980	騾驕驍驛驗驟驢驥驤驩驫驪骭骰骼髀

	0123456789ABCDEF
E990	髏髑髓體髞髟髢髣髦髯髫髮髴髱髷髻
E9A0	鬆鬘鬚鬟鬢鬣鬥鬧鬨鬩鬪鬮鬯鬲魄魃
E9B0	魏魍魎魑魘魴鮓鮃鮑鮖鮗鮟鮠鮨鮴鯀
E9C0	鯊鮹鯆鯏鯑鯒鯣鯢鯤鯔鯡鰺鯲鯱鯰鰕
E9D0	鰔鰉鰓鰌鰆鰈鰒鰊鰄鰮鰛鰥鰤鰡鰰鱇
E9E0	鰲鱆鰾鱚鱠鱧鱶鱸鳧鳬鳰鴉鴈鳫鴃鴆
E9F0	鴪鴦鶯鴣鴟鵄鴕鴒鵁鴿鴾鵆鵈
EA40	鵝鵞鵤鵑鵐鵙鵲鶉鶇鶫鵯鵺鶚鶤鶩鶲
EA50	鷄鷁鶻鶸鶺鷆鷏鷂鷙鷓鷸鷦鷭鷯鷽鸚
EA60	鸛鸞鹵鹹鹽麁麈麋麌麒麕麑麝麥麩麸
EA70	麪麭靡黌黎黏黐黔黜點黝黠黥黨黯
EA80	黴黶黷黹黻黼黽鼇鼈皷鼕鼡鼬鼾齊齒
EA90	齔齣齟齠齡齦齧齬齪齷齲齶龕龜龠堯
EAA0	槇遙瑤凜熙
EAB0	
EAC0	
EAD0	
EAE0	
EAF0	
EB40	
EB50	

13.3 おもな機能の組合わせ一覧表

■ おもな機能の組合わせ一覧表

		原稿		給紙			用紙種類													倍率					濃度		
	後設定→	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
先設定↓		部数	ADF	原稿ガラス	自動用紙	本体トレイ／大容量給紙ユニット	手差しトレイ	普通紙	再生紙	上質紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーザ紙	インデックス紙	レターヘッド紙	特殊紙	薄紙	厚紙	色紙	自動倍率	等倍	固定倍率	ズーム	独立ズーム	濃度：自動	濃度：下地調整	濃度：濃度調整
1	部数		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ADF	○		－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	原稿ガラス	○	－		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	自動用紙	○	○	○		▼	▼	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	▼	○	○	○
5	本体トレイ / 大容量給紙ユニット	○	○	○	▼		▼	○	○	○	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	手差しトレイ	○	○	○	▼	▼		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	普通紙	○	○	○	○	○	○		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
8	再生紙	○	○	○	▼	○	○	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
9	上質紙	○	○	○	▼	○	○	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
10	OHP	○	○	○	▼	－	○	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ラベル紙	○	○	○	▼	－	○	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
12	第 2 原紙	○	○	○	▼	－	○	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
13	ユーザ紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
14	インデックス紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
15	レターヘッド紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
16	特殊紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
17	薄紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	－	○	○	○	○	○	○	○	○
18	厚紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		－	○	○	○	○	○	○	○	○
19	色紙	○	○	○	▼	○	○	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－		○	○	○	○	○	○	○	○
20	自動倍率	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		▼	▼	▼	▼	○	○	○
21	等倍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼		▼	▼	▼	○	○	○
22	固定倍率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼		▼	▼	○	○	○
23	ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼		▼	○	○	○
24	独立ズーム	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼		○	○	○
25	濃度：自動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		▼	○
26	濃度：下地調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼		○
27	濃度：濃度調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
28	文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	文字 / 写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	薄文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	片面原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	両面原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	ブック連写：分割	○	①	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
35	ブック連写：見開き	○	①	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
36	混載原稿	○	○	②	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
37	Z 折れ原稿	○	○	⑦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	インデックス原稿	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
39	原稿サイズ設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	不定形サイズ原稿	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○

13
付録

		画質設定				原稿モード									仕上げ設定 注1)													
	後設定→	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
先設定↓		文字	文字／写真	写真	薄文字	片面原稿	両面原稿	ブック連写：分割	ブック連写：見開き紙	混載原稿	Z折れ原稿	インデックス原稿	原稿サイズ設定	不定形サイズ原稿	グループ	ソート	仕分け：シフト	仕分け：回転	ステープル：コーナー	ステープル：2点	排紙トレイ設定：メイン	排紙トレイ設定：サブ	中綴じ	パンチ	フェイスアップ／ダウン	中折り	Z折り	3つ折り
1	部数	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ADF	○	○	○	○	○	○	①	①	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	原稿ガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	自動用紙	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	▼	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	本体トレイ / 大容量給紙ユニット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑱	○	○	⑱	○	○
6	手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	普通紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	再生紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	上質紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	OHP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	△	△
11	ラベル紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	△	△
12	第 2 原紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	△	△
13	ユーザ紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	インデックス紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	△	△
15	レターヘッド紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	特殊紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	薄紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	厚紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑭	⑭	○	○	⑭	△	○	△	△	△
19	色紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	△	○	○	○	○
20	自動倍率	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	▼	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
21	等倍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㉒	○	○	○	○	○
22	固定倍率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㉒	○	○	○	○	○
23	ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㉒	○	○	○	○	○
24	独立ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㉑	○	○	○	○	○
25	濃度：自動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	濃度：下地調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	濃度：濃度調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	文字	＼	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	文字 / 写真	▼	＼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	写真	▼	▼	＼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	薄文字	▼	▼	▼	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	片面原稿	○	○	○	○	＼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	両面原稿	○	○	○	○	▼	＼	▼	▼	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
34	ブック連写：分割	○	○	○	○	○	▼	＼	▼	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	△
35	ブック連写：見開き	○	○	○	○	○	▼	▼	＼	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	△
36	混載原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	▼	△	△	△	⑬	○	△	△	○	○	○	○	△	○	○	△	○	△
37	Z 折れ原稿	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	＼	△	△	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
38	インデックス原稿	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	＼	▽	▽	○	○	○	○	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	○
39	原稿サイズ設定	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	＼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
40	不定形サイズ原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

先設定↓	後設定→	印字モード						合紙					連写モード				カラー	画像編集								
		55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
		片面プリント	両面プリント	2 in 1	4 in 1	8 in 1	小冊子	OHP合紙	インターシート：表紙／合紙	差し込みページ	章分け	カバーシート	ページ連写	リピート：範囲指定	リピート：自動検出	リピート：定型	ネガポジ反転	枠消し／折目消し	原稿外消去	全面画像	原稿方向指定	原稿とじ代	とじ代	編集とじ代	センタリング	回転しない
1	部数	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	ADF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	①	○	○	○	○	○	○	○
3	原稿ガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	自動用紙	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	⑪	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	○	○	○	○	○	▼	○
5	本体トレイ / 大容量給紙ユニット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	普通紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	再生紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	上質紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	OHP	○	△	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	ラベル紙	○	△	○	○	○	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	第 2 原紙	○	△	○	○	○	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	ユーザ紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
14	インデックス紙	○	△	○	○	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○
15	レターヘッド紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
16	特殊紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
17	薄紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
18	厚紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
19	色紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	自動倍率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	○	○	○	○	○	▼	○
21	等倍	○	○	④	④	④	④	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	固定倍率	○	○	④	④	④	④	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	ズーム	○	○	④	④	④	④	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	独立ズーム	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	濃度：自動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
26	濃度：下地調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
27	濃度：濃度調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
28	文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
29	文字 / 写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
30	写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
31	薄文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
32	片面原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
33	両面原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	▼	○	○	○	○	○	△	○
34	ブック連写：分割	○	○	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	▼	▼	▼	○	○	○	△	△	△	○	○	⑮	○
35	ブック連写：見開き	○	○	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	▼	▼	▼	○	○	○	△	△	△	○	○	⑮	○
36	混載原稿	○	○	▼	▼	▼	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
37	Z 折れ原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	△	○
38	インデックス原稿	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	○	○	△	○	△	△	○	○	○	○
39	原稿サイズ設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	▼	○
40	不定形サイズ原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	△	○	○	○	○	○	▼	○

		番号文字印刷								その他						
	後設定→	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
先設定↓		スタンプ：ナンバリング	オーバーレイ	登録オーバーレイ：画像登録	登録オーバーレイ：画像出力	スタンプ：定型スタンプ	スタンプ：ページ	スタンプ：日付／時刻	スタンプ：ウォータマーク	連続読み	割込み	プログラム登録	コピープログラム呼び出し	HDD 蓄積	プログラムジョブ	メモリコピー
1	部数	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
2	ADF	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
3	原稿ガラス	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
4	自動用紙	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
5	本体トレイ / 大容量給紙ユニット	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
6	手差しトレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
7	普通紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
8	再生紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
9	上質紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
10	OHP	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
11	ラベル紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
12	第 2 原紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
13	ユーザ紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
14	インデックス紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
15	レターヘッド紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
16	特殊紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
17	薄紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
18	厚紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
19	色紙	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	⑧	⑧	○	○	○
20	自動倍率	○	▼	▼	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
21	等倍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
22	固定倍率	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
23	ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
24	独立ズーム	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
25	濃度：自動	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
26	濃度：下地調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
27	濃度：濃度調整	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
28	文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
29	文字 / 写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
30	写真	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
31	薄文字	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
32	片面原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
33	両面原稿	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
34	ブック連写：分割	○	△	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
35	ブック連写：見開き	○	△	△	○	○	△	△	○	○	−	○	▼	○	△	○
36	混載原稿	○	△	△	○	○	○	○	△	○	−	○	▼	○	○	○
37	Z 折れ原稿	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
38	インデックス原稿	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
39	原稿サイズ設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
40	不定形サイズ原稿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○

			原稿		給紙			用紙種類													倍率					濃度		
	後設定→	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
先設定↓		部数	ADF	原稿ガラス	自動用紙	本体トレイ／大容量給紙ユニット	手差しトレイ	普通紙	再生紙	上質紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーザ紙	インデックス紙	レターヘッド紙	特殊紙	薄紙	厚紙	色紙	自動倍率	等倍	固定倍率	ズーム	独立ズーム	濃度：自動	濃度：下地調整	濃度：濃度調整
41	グループ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	ソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	仕分け：シフト	⑥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	仕分け：回転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	ステープル：コーナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	⑭	△	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ステープル：2 点	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	⑭	△	○	○	○	○	○	○	○	○
47	排紙トレイ設定：メイン	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	排紙トレイ設定：サブ	○	－	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	中綴じ	○	○	○	○	⑱	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	⑭	○	○	○	○	○	○	○	○	○
50	パンチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○
51	フェイスアップ／ダウン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	中折り	○	○	○	○	⑱	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	Z 折り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	3 つ折り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	片面プリント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	両面プリント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	2in1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	4in1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	8in1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	小冊子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	OHP 合紙	▽	○	○	△	△	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	インターシート：表紙 / 合紙	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	差し込みページ	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
64	章分け	○	○	○	⑪	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
65	カバーシート	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
66	ページ連写	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
67	リピート：範囲指定	○	①	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
68	リピート：自動検出	○	①	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
69	リピート：定型	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
70	ネガポジ反転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
71	枠消し / 折目消し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	原稿外消去	○	①	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
73	全面画像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	原稿方向指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	原稿とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	編集とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	センタリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
79	回転しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	スタンプ：ナンバリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	後設定→	画質設定				原稿モード									仕上げ設定 注1)													
		28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
先設定↓		文字	文字／写真	写真	薄文字	片面原稿	両面原稿	ブック連写：分割	ブック連写：見開き紙	混載原稿	Z折れ原稿	インデックス原稿	原稿サイズ設定	不定形サイズ原稿	グループ	ソート	仕分け：シフト	仕分け：回転	ステープル：コーナー	ステープル：2点	排紙トレイ設定：メイン	排紙トレイ設定：サブ	中綴じ	パンチ	フェイスアップ／ダウン	中折り	Z折り	3つ折り
41	グループ	○	○	○	○	○	○	○	○	⑬	○	○	○	○	＼	▼	○	○	▼	▼	○	○	▼	○	○	▼	○	▼
42	ソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	＼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	仕分け：シフト	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	＼	－	▼	▼	○	▼	▼	○	▼	▼	○	▼
44	仕分け：回転	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	○	－	＼	－	－	－	－	－	－	○	－	－	－
45	ステープル：コーナー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	－	＼	▼	○	▼	▼	⑨	▼	▼	○	▼
46	ステープル：2点	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	－	▼	＼	○	▼	▼	⑨	▼	▼	○	▼
47	排紙トレイ設定：メイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	＼	▼	▼	○	▼	▼	○	▼
48	排紙トレイ設定：サブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	－	▼	▼	▼	＼	▼	▼	○	▼	▼	▼
49	中綴じ	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	○	⑯	○	○	▼	○	▼	－	▼	▼	△	△	＼	▼	▼	▼	▼	▼
50	パンチ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	⑨	⑨	○	▼	▼	＼	▼	▼	○	▼
51	フェイスアップ／ダウン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	▼	▼	▼	○	▼	▼	＼	▼	▼	▼
52	中折り	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	○	⑯	○	○	▼	○	△	－	▼	▼	△	△	▼	▼	▼	＼	▼	▼
53	Z 折り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	○	○	○	△	▼	○	▼	▼	＼	▼
54	3 つ折り	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	○	○	○	○	▼	○	△	－	▼	▼	△	△	▼	▼	▼	▼	▼	＼
55	片面プリント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㉓	○	○	○	○	○
56	両面プリント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○
57	2in1	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	⑫
58	4in1	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	⑫
59	8in1	○	○	○	○	○	○	△	△	▼	○	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	⑫
60	小冊子	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	△	○	○	△	△	△	○	○	○	△	△	○	△	⑫
61	OHP 合紙	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	△	○	○	△	○	△	○	△	△	○	○	△	△	○	△	△	△
62	インターシート：表紙 / 合紙	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	⑳	△	⑩	⑳	△	○	⑫
63	差し込みページ	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	⑩	○	○	○	△
64	章分け	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	⑩	△	○	○	△
65	カバーシート	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	⑳	⑰	⑩	⑳	⑰	○	⑫
66	ページ連写	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	△
67	リピート：範囲指定	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	○	⑫
68	リピート：自動検出	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	○	⑫
69	リピート：定型	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	○	△	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	△	○	△	○	⑫
70	ネガポジ反転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	△
71	枠消し / 折目消し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
72	原稿外消去	○	○	○	○	○	△	○	○	○	△	△	▽	△	○	○	○	○	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	○
73	全面画像	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
74	原稿方向指定	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
75	原稿とじ代	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
76	とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	○
77	編集とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	㉔	○	○	㉔	○	○
78	センタリング	○	○	○	○	○	△	○	○	△	△	○	▽	▽	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	回転しない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	⑯	○	○	⑯	○	○
80	スタンプ：ナンバリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		印字モード						合紙					連写モード				カラー	画像編集								
	後設定→	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
先設定↓		片面プリント	両面プリント	2in1	4in1	8in1	小冊子	OHP合紙	インターシート：表紙／合紙	差し込みページ	章分け	カバーシート	ページ連写	リピート：範囲指定	リピート：自動検出	リピート：定型	ネガポジ反転	枠消し／折目消し	原稿外消去	全面画像	原稿方向指定	原稿とじ代	とじ代	編集とじ代	センタリング	回転しない
41	グループ	○	○	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
42	ソート	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	仕分け：シフト	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	仕分け：回転	○	○	▼	▼	▼	▼	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○
45	ステープル：コーナー	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	ステープル：2点	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
47	排紙トレイ設定：メイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
48	排紙トレイ設定：サブ	○	○	○	○	○	○	○	⑳	○	○	⑳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
49	中綴じ	○	○	⑯	⑯	⑯	○	▼	△	○	○	⑰	△	△	△	△	△	○	⑯	○	○	○	⑯	㉔	○	⑯
50	パンチ	○	○	○	○	○	▼	▼	⑩	⑩	⑩	⑩	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
51	フェイスアップ／ダウン	○	▼	○	○	○	▼	○	⑳	○	▼	⑳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	中折り	○	○	⑯	⑯	⑯	○	▼	△	○	○	⑰	△	△	△	△	△	○	⑯	○	○	○	⑯	㉔	○	⑯
53	Z折り	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	3つ折り	○	○	⑫	⑫	⑫	⑫	▼	⑫	△	△	⑫	△	⑫	⑫	⑫	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	片面プリント		▼	○	○	○	▼	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	両面プリント	▼		○	○	○	○	▼	○	○	○	○	○	▼	▼	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	2in1	○	○		▼	▼	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△
58	4in1	○	○	▼		▼	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△
59	8in1	○	○	▼	▼		△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△
60	小冊子	△	○	△	△	△		△	△	○	○	⑰	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	△	○	○	△
61	OHP合紙	○	△	△	△	△	△		▼	▼	▼	▼	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	インターシート：表紙/合紙	○	○	△	△	△	△	▼		▼	○	○	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
63	差し込みページ	○	○	△	△	△	○	▼	▼		▼	▼	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
64	章分け	△	○	△	△	△	○	▼	○	▼		○	△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
65	カバーシート	○	○	△	△	△	⑰	▼	○	▼	○		△	△	△	△	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
66	ページ連写	○	○	△	△	△	△	○	△	△	△	△		▼	▼	▼	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○
67	リピート：範囲指定	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	▼		▼	▼	○	○	△	△	△	△	△	△	△	○
68	リピート：自動検出	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	▼	▼		▼	○	○	○	△	△	△	△	△	△	○
69	リピート：定型	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	▼	▼	▼		○	○	○	△	△	△	△	△	△	○
70	ネガポジ反転	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○		○	△	△	○	○	○	○	○	○
71	枠消し/折目消し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	△	○	○	○	○	○	○
72	原稿外消去	○	○	△	△	△	△	○	△	△	△	△	△	▼	○	○	△	○		△	△	△	○	○	○	○
73	全面画像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△		○	○	○	○	○	○
74	原稿方向指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	△	○		○	○	○	○	○
75	原稿とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	△	○	○		○	○	○	○
76	とじ代	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○		○	○	○
77	編集とじ代	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○		○	○
78	センタリング	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○		○
79	回転しない	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
80	スタンプ：ナンバリング	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		番号文字印刷								その他						
	後設定→	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
先設定↓		スタンプ：ナンバリング	オーバーレイ	登録オーバーレイ：画像登録	登録オーバーレイ：画像出力	スタンプ：定型スタンプ	スタンプ：ページ	スタンプ：日付／時刻	スタンプ：ウォータマーク	連続読み	割込み	プログラム登録	コピープログラム呼び出し	HDD 蓄積	プログラムジョブ	メモリコピー
41	グループ	▼	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	▼	○
42	ソート	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
43	仕分け：シフト	○	○	▼	▼	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
44	仕分け：回転	○	△	▼	▼	○	○	○	○	○	−	○	○	○	○	○
45	ステープル：コーナー	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
46	ステープル：2 点	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
47	排紙トレイ設定：メイン	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
48	排紙トレイ設定：サブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
49	中綴じ	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
50	パンチ	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
51	フェイスアップ／ダウン	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
52	中折り	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
53	Z 折り	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
54	3 つ折り	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
55	片面プリント	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
56	両面プリント	○	○	▼	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
57	2in1	○	△	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
58	4in1	○	△	○	△	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
59	8in1	○	△	○	△	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
60	小冊子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
61	OHP 合紙	△	△	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
62	インターシート：表紙 / 合紙	○	△	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
63	差し込みページ	○	△	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
64	章分け	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
65	カバーシート	○	△	△	△	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	㉕	○
66	ページ連写	○	△	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○
67	リピート：範囲指定	△	△	△	△	△	△	△	△	○	−	○	▼	○	△	○
68	リピート：自動検出	△	△	△	△	△	△	△	△	○	−	○	▼	○	△	○
69	リピート：定型	△	△	△	△	△	△	△	△	○	−	○	▼	○	△	○
70	ネガポジ反転	△	○	△	△	△	△	△	△	○	−	○	▼	○	○	○
71	枠消し / 折目消し	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
72	原稿外消去	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
73	全面画像	○	○	○	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
74	原稿方向指定	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
75	原稿とじ代	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
76	とじ代	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
77	編集とじ代	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
78	センタリング	○	△	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
79	回転しない	○	○	△	○	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	○	○
80	スタンプ：ナンバリング		▼	▼	▼	○	○	○	○	○	−	○	▼	○	△	○

			原稿		給紙			用紙種類													倍率					濃度		
	後設定→	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27
先設定↓		部数	ADF	原稿ガラス	自動用紙	本体トレイ／大容量給紙ユニット	手差しトレイ	普通紙	再生紙	上質紙	OHP	ラベル紙	第2原紙	ユーザ紙	インデックス紙	レターヘッド紙	特殊紙	薄紙	厚紙	色紙	自動倍率	等倍	固定倍率	ズーム	独立ズーム	濃度：自動	濃度：下地調整	濃度：濃度調整
81	オーバーレイ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	登録オーバーレイ：画像登録	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○
83	登録オーバーレイ：画像出力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	スタンプ：定型スタンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	スタンプ：ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	スタンプ：日付 / 時刻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	スタンプ：ウォータマーク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	連続読み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	割込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	プログラム登録	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
91	コピープログラム呼び出し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
92	HDD 蓄積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	プログラムジョブ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	メモリコピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		画質設定				原稿モード									仕上げ設定 注 1）													
	後設定→	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51	52	53	54
先設定↓		文字	文字／写真	写真	薄文字	片面原稿	両面原稿	ブック連写：分割	ブック連写：見開き紙	混載原稿	Z折れ原稿	インデックス原稿	原稿サイズ設定	不定形サイズ原稿	グループ	ソート	仕分け：シフト	仕分け：回転	ステープル：コーナー	ステープル：2点	排紙トレイ設定：メイン	排紙トレイ設定：サブ	中綴じ	パンチ	フェイスアップ／ダウン	中折り	Z折り	3つ折り
81	オーバーレイ	○	○	○	○	○	○	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	登録オーバーレイ：画像登録	○	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	○	○	○	△	△	△	△	△	○	○	△	△	△	△	△	△
83	登録オーバーレイ：画像出力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	スタンプ：定型スタンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	スタンプ：ページ	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	スタンプ：日付 / 時刻	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	スタンプ：ウォータマーク	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	連続読み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	割込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	プログラム登録	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
91	コピープログラム呼び出し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
92	HDD 蓄積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	プログラムジョブ	○	○	○	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	△	○	△
94	メモリコピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		印字モード						合紙					連写モード				カラー	画像編集								
	後設定→	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79
先設定↓		片面プリント	両面プリント	2 in 1	4 in 1	8 in 1	小冊子	OHP合紙	インターシート：表紙／合紙	差し込みページ	章分け	カバーシート	ページ連写	リピート：範囲指定	リピート：自動検出	リピート：定型	ネガポジ反転	枠消し／折目消し	原稿外消去	全面画像	原稿方向指定	原稿とじ代	とじ代	編集とじ代	センタリング	回転しない
81	オーバーレイ	○	○	△	△	△	○	△	△	△	○	△	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○
82	登録オーバーレイ：画像登録	○	△	○	○	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	○	△	○	△	△	△	△	△	△
83	登録オーバーレイ：画像出力	○	○	○	△	△	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	スタンプ：定型スタンプ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
85	スタンプ：ページ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	スタンプ：日付 / 時刻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	スタンプ：ウォータマーク	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	連続読み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	割込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	プログラム登録	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
91	コピープログラム呼び出し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
92	HDD 蓄積	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	プログラムジョブ	○	○	△	△	△	△	△	△	△	△	㉕	△	△	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	メモリコピー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

		番号文字印刷								その他						
	後設定→	80	81	82	83	84	85	86	87	88	89	90	91	92	93	94
先設定↓		スタンプ：ナンバリング	オーバーレイ	登録オーバーレイ：画像登録	登録オーバーレイ：画像出力	スタンプ：定型スタンプ	スタンプ：ページ	スタンプ：日付／時刻	スタンプ：ウォータマーク	連続読み	割込み	プログラム登録	コピープログラム呼び出し	HDD蓄積	プログラムジョブ	メモリコピー
81	オーバーレイ	▼	＼	▼	▼	▼	○	○	▼	○	—	○	▼	○	△	○
82	登録オーバーレイ：画像登録	▼	▼	＼	—	▼	○	○	▼	△	—	○	▼	△	△	△
83	登録オーバーレイ：画像出力	▼	▼	—	＼	▼	○	○	▼	○	—	○	▼	○	△	○
84	スタンプ：定型スタンプ	○	▼	▼	▼	＼	○	○	▼	○	—	○	▼	○	△	○
85	スタンプ：ページ	○	○	○	○	○	＼	○	○	○	—	○	▼	○	△	○
86	スタンプ：日付 / 時刻	○	○	○	○	○	○	＼	○	○	—	○	▼	○	△	○
87	スタンプ：ウォータマーク	○	▼	▼	▼	▼	○	○	＼	○	—	○	▼	○	△	○
88	連続読み	○	○	△	○	○	○	○	○	＼	—	○	▼	○	△	—
89	割込み	○	○	○	○	○	○	○	○	○	＼	▽	○	○	△	○
90	プログラム登録	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	＼	—	—	—	—
91	コピープログラム呼び出し	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	＼	—	—	—
92	HDD 蓄積	○	○	△	○	○	○	○	○	○	—	○	▼	＼	△	○
93	プログラムジョブ	㉖	△	△	㉖	㉖	㉖	㉖	㉖	△	—	○	▼	△	＼	△
94	メモリコピー	○	○	△	○	○	○	○	○	—	—	○	▼	○	△	＼

機能の組合わせ条件

○：組合わせて使用できます。

▼：同時設定できません。後から設定した機能を優先します。

△：同時設定できません。先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。

▽：同時設定できません。先に設定した機能を優先します。警告が表示されないか、もしくは先に設定した機能を優先し、後に設定する機能にキーを表示しません。

ー：機能の組合わせはできません。

① 機能の組合わせはできません。警告が表示されます。

② 定形外の原稿が混載しているときに、警告が表示されます。

③ 設定されたとじ代量は、用紙の中央のとじ代量になります。

④「集約 / 小冊子倍率」の設定が［お勧め倍率］の場合、同時設定できません。後から設定した機能を優先します。［設定しない］の場合、組合わせて使用できます。

⑤ ブック原稿機能を選択したときは、原稿外消去、センタリングが自動的に選択されます。必要がなければ解除することができます。

⑥ 部数設定が 1 部のときに、仕分け機能を設定しても反映されません。

⑦ Z 折れ原稿をセットすると、ADF に原稿をセットするようにメッセージが表示されます。

⑧ プログラム呼出時は、現在の給紙トレイ設定のままで出力されます。

⑨ ステープル機能およびパンチ機能で対応できない用紙サイズを選択している場合は、組合わせはできません。

⑩ PK-502 装着時に、複数の給紙トレイを使用する機能とパンチ機能を同時に設定しようとすると、警告が表示され設定できない場合があります。詳しくはサービス実施店におたずねください。
この条件以外のときは、組合わせて使用できます。

⑪「章分け紙」の設定が［なし］の場合は、組合わせて使用できます。

「章分け紙」の設定が［コピー挿入］の場合は、組合せはできません。

先に章分け機能を設定したときには、警告が表示されます。

⑫ 3 つ折りの折り方向が、外折りの場合、カバーシート機能で「ウラカバー用紙」をポストインサータ PI-501 に設定しているときは、同時設定できません。先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。

3 つ折りの折り方向が、内折りの場合、以下のときには同時設定できません。先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。

- カバーシート機能で「オモテカバー用紙」、「ウラカバー用紙」をポストインサータ PI-501 に設定しているとき。
- インターシート機能と組合わせたとき。
- Nin1 プリントと組合わせたとき。
- 小冊子機能と組合わせたとき。
- リピート機能と組合わせたとき。

⑬ 混載原稿機能とグループ機能の組合わせは可能ですが、これにステープル機能を加えると、組合わせはできません。

⑭ カバーシート機能を併用しているときに、カバーシートが厚紙で、かつ本文を印字する用紙が普通紙であれば、ステープル機能と組合わせて使用できます。その他の場合は同時設定できません。先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。

⑮ ブック連写機能を選択したときに、自動的に選択されます。

⑯「中とじ / 中折り時小冊子」の設定で［自動選択する］が選択されているときは、先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。

［自動選択しない］が選択されているときは、組合わせて使用できます。

⑰「オモテ表紙」と小冊子 / 中綴じ / 中折りは、組合わせて使用できます。

「ウラ表紙」と小冊子 / 中綴じ / 中折りの組合わせはできません。小冊子 / 中綴じ / 中折りを優先します。

⑱ LU-401 装着時に、中綴じ / 中折りを設定しようとすると、警告が表示されます。

⑲ 先に片面プリントを設定し、中綴じ / 中折り / センターステープルを組合せて使用した場合、「中とじ / 中折り時小冊子」の設定で［自動選択する］が選択されているときは、先に設定した機能を優先します。

［自動選択しない］が選択されているときは、組合わせて使用できます。

⑳ カバーシート機能、インターシート機能で、「カバーシート」「インターシート」をポストインサータ PI-501 に設定しているとき、フェイスアップ機能は組合せて使用できません。警告が表示されます。

㉑「中とじ / 中折り時小冊子」の設定で［自動選択する］が選択されているときは、後に設定した機能を優先します。
［自動選択しない］が選択されているときは、組合わせて使用できます。

㉒「中とじ / 中折り時小冊子」の設定で［自動選択する］が選択され、「集約 / 小冊子倍率」の設定で［お勧め倍率］が選択されているときは、後に設定した機能を優先します。
そのほかの場合は、組合わせて使用できます。

㉓ 先に片面プリントを設定し、中綴じ / 中折り / センターステープルを組合せて使用した場合、「中とじ / 中折り時小冊子」の設定で［自動選択する］が選択されているときは、後に設定した機能を優先します。
［自動選択しない］が選択されているときは、組合わせて使用できます。

㉔「中とじ / 中折り時小冊子」の設定で［自動選択する］が選択されている場合は、組合わせできません。

㉕ 本体のトレイから給紙する場合、先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。
ポストインサータ PI-501 から給紙するときは、組合わせて使用できます。

㉖ 原稿を読込み中の場合、先に設定した機能を優先します。警告が表示されます。
原稿の読込みが終わっている場合は、組合わせて使用できます。

第 14 章
索引

14.1 使用別索引 14-2
14.2 項目別索引 14-8

14.1 使用別索引

■ あ行

印字する

付属情報を印字してコピーする（スタンプ） 8-63
日付 / 時刻を印字するには（日付 / 時刻） 8-67
ページ数を印字するには（ページ） 8-69
管理用ナンバーを印字する（ナンバリング） 8-73
定型パターンのスタンプを印字する（定型スタンプ） 8-74
コピー画像の中心に定型パターン文字を印字する（ウォータマーク） 8-76
画像を重ねてコピーする（オーバレイ） 8-77
重ねる画像を登録して重ねてコピーする（登録オーバレイ） 8-78

選ぶ

用紙を選ぶ 3-28
原稿／コピー機能を選ぶ 3-41
片面コピーを選択する 3-42
両面コピーを選択する 3-43
原稿の画質を選ぶ 3-45
濃度を選ぶ 3-47
集約を選ぶ 3-50
仕上り機能を選ぶ 3-52
紙折り機能を選ぶ 3-63
宛先登録を選択する 12-16
ユーザ設定を選択する 12-18
管理者設定を選択する 12-28

収める

複数枚の原稿を 1 枚の用紙に収める（集約） 3-51
原稿を用紙サイズに合わせてコピーする 8-51

■ か行

かえる

操作パネルの角度をかえる 2-20

確認する

コピー条件を確認する（設定内容） 4-2
1 部プリントしてコピーの仕上がりを確認する（確認コピー） 4-4
カウントを確認する（セールスカウンタ） 10-5
ジョブの設定内容を確認する 11-7
ジョブの詳細確認をする 11-8
蓄積ジョブを 1 部プリントして確認する 11-12

紙折り

2 つ折りにして排紙する（中折り） 3-64
Z 折りにして排紙する（Z 折り） 3-66
3 つ折りにして排紙する（3 つ折り） 3-67

紙づまり

「紙づまりです」と表示されたら 5-4

繰返す

1 枚の用紙に画像を繰返しコピーする（リピート）....8-34
指定した範囲を繰返しコピーする（範囲指定）....8-37
リピート数を指定して繰返しコピーする（定型リピート）....8-40

警告

安全にご使用いただくために....1-2

消す

中断したジョブを削除する....3-73
コピープログラムの削除のしかた....4-10
原稿以外の部分を消去してコピーする（消去）....8-56
指定部分を消してコピーする（枠消し）....8-57
原稿の折目を消してコピーする（折目消し）....8-59
原稿以外の部分を消してコピーする（原稿外消去）....8-61
ジョブを削除する....11-5

原稿

原稿および用紙の呼び方と表示....18
ADF に原稿をセットする....3-6
原稿をセットする....3-6
原稿ガラス上に原稿をセットする....3-8
複数枚の原稿を原稿ガラス上にセットする....3-12
原稿の設定をする....3-15
サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿）....3-15
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿）....3-17
インデックス紙をセットする（インデックス原稿）....3-19
原稿のセット方向を設定する（原稿セット方向）....3-21
ADF にセットできる原稿....7-31
原稿ガラス上にセットできる原稿....7-34

原稿の画質を選ぶ 3-45

交換する

トナーカートリッジを交換する....9-2
ステープル針を交換する....9-7

■ さ行

サービス

保守サービス....6-12

指定する

手動で目的の用紙を指定する....3-29
テンキーで倍率を指定する（ズーム）....3-34
テンキーで倍率を指定する（独立ズーム）....3-36
用紙サイズを指定する（サイズ指定）....7-9

自動

自動的に設定を取消す（オートリセット）....2-25
自動的に機能画面を取消す（システムオートリセット）....2-26

自動的に用紙を選択させる（自動用紙） 3-28
自動的に倍率を設定させる（自動倍率） 3-30
ATS 機能（自動トレイ切換え機能） 7-7
用紙サイズを自動で検出させる（自動検出） 7-8
自動で読込む範囲を検出する（自動検出） 8-35

設置する
設置スペース 1-12

設定する
とじ代を設定する（原稿のとじ代） 3-23
原稿画質の設定のしかた 3-46
操作パネルの設定をする（ユニバーサル設定） 4-19
キーリピート開始 / 間隔時間の設定をする 4-20
拡大表示解除確認の設定をする 4-22
メッセージ表示時間の設定をする 4-24
キー受付音を設定する 4-26
警告音を設定する 4-28
ブザー音量を設定する 4-30
手差しトレイの用紙設定 7-8
給紙トレイの用紙設定 7-20
用紙種類を設定する 7-30
優先出力の設定をする 11-15
ユーザ認証設定 12-86
部門管理設定 12-95

節電
自動的に節電状態にする（ローパワー） 2-26
自動的に節電状態にする（スリープ） 2-27
手動で節電状態にする 2-27

セットする
第 1 ／第 2 給紙トレイへ用紙をセットする 2-36
第 3 ／第 4 給紙トレイへ用紙をセットする 2-37
手差しトレイへ用紙をセットする 2-39
大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）へ用紙をセットする 2-42
各トレイにはがき、A5 サイズの厚紙をセットしたときは 2-49
ADF に原稿をセットする 3-6
原稿をセットする 3-6
原稿ガラス上に原稿をセットする 3-8
サイズの異なる原稿をセットする（混載原稿） 3-15
折りぐせのついた原稿をセットする（Z 折れ原稿） 3-17
インデックス紙をセットする（インデックス原稿） 3-19

掃除する
外装カバー 10-2
原稿ガラス 10-2
スリットガラス 10-3
操作パネル 10-3
ADF プラテンガイドカバー 10-4
給紙ローラ 10-4

挿入する
OHP フィルムの間に白紙を差込んでコピーする（OHP 合紙） 8-2

別の原稿コピーを指定したページに差込む（差込みページ） 8-5

■ た行

注意する
安全にご使用いただくために 1-2
使用上のご注意 1-14

注意表記・注意ラベル 1-10

調整する
プリント濃度を調整する（濃度） 3-48
下地濃度を調整する（下地調整） 3-49
タッチパネルの調整をする 4-32
とじ代の位置を調整する（編集とじ代） 8-48
プリンタ調整 12-48
フィニッシャ調整 12-52

つける
表紙をつける（カバーシート） 8-9
挿入紙をつける（インターシート） 8-13
コピーにとじ代をつける（とじ代） 8-46

停止
読込み・プリントを中断する 3-72

点検
「装置の定期点検時期です」と表示されたら 10-6

電源
設置電源 1-14
電源の入れかた 2-22
電源の切りかた 2-25
スケジュールにあわせて使用時間を制限する（ウィークリータイマー） 2-28

登録する
目的の倍率を登録する 3-39
コピー条件を登録する（プログラム登録） 4-8
登録したコピー条件でコピーする（コピープログラム呼び出し） 4-11
目的の用紙サイズを登録する（不定形サイズーメモリ登録） 7-13

とじる
ステープルでとじて排紙する（ステープル） 3-57
用紙の中央をとじて排紙する（中とじ） 3-65

トラブル
「トラブルです」と表示されたら（サービスコール） 5-2
簡単なトラブルの処理 5-9

■ な行

名前とはたらきを確認する
各部の名称とはたらき 2-2

入力する
文字を入力するには 13-2

濃度を選ぶ 3-47

■ は行

排紙
オモテ面を上にして排紙する（フェイスアップ） 3-56

配置する
指定したページを必ずオモテ面に配置する（章分け） 8-19
見開き原稿を左右 1 ページずつ分けてコピーする（ブック連写） 8-28
原稿を 2 ページに分けてコピーする（ページ連写） 8-44
中とじ本のページ立てにコピーする（小冊子） 8-54

倍率
倍率を選ぶ 3-30

パンチ
パンチ穴をあけて排紙する（パンチ） 3-61
パンチくずを処理する 9-14

反転する
原稿の濃淡を反転させてコピーする（ネガポジ反転） 8-27

表示させる
機能説明画面を表示させる（ヘルプ機能） 4-13
ヘルプ基本画面を表示させる 4-16
機能設定中にヘルプ画面を表示させる 4-18
給紙トレイ設定画面を表示させる 7-20
実行中リスト（蓄積ジョブまたは動作中ジョブ）を表示する 11-10
履歴リストを表示する 11-11
宛先登録画面を表示させる 12-17
ユーザ設定画面を表示させる 12-27
管理者設定画面を表示させる 12-46

分割する
原稿を分割して読込む（連続読み設定） 3-10

保管する
用紙の保管 7-6

■ ま行

メッセージ
おもなメッセージと処理のしかた 5-12

メモリ
「メモリ残量不足のため、…」と表示されたら 5-7

■ や行

用紙
原稿および用紙の呼び方と表示 18
第１／第２給紙トレイへ用紙をセットする 2-36
第３／第４給紙トレイへ用紙をセットする 2-37
手差しトレイへ用紙をセットする 2-39
大容量給紙ユニット（LU-401/LU-402）へ用紙をセットする 2-42
給紙トレイの用紙サイズを変更する 2-45
「用紙を補給してください」と表示されたら 5-6
使用できる用紙サイズ 7-2
用紙種類および用紙容量 7-4
専用紙について 7-5
用紙使用上の注意 7-6
用紙の保管 7-6

用紙を選ぶ 3-28

読込み
ウォームアップ中に読込みする 2-23

予約する
プリント中に次のコピー原稿を読込む（コピー予約） 3-71

■ ら行

ラベル
注意表記・注意ラベル 1-10

■ わ行

分ける
部数ごとに分けて排紙する（ソート） 3-54
ページごとに分けて排紙する（グループ） 3-55

割り込む
割込んでコピーする（割込み） 4-7

14.2 項目別索引

数字・記号

2 in 1 3-50
3 つ折り 3-67
4 in 1 3-50
8 in 1 3-50

アルファベット

ADF 3-6, 7-31
ATS 機能 7-7
OHP 合紙 8-2
Z 折り 3-66
Z 折れ原稿 3-17

あ行

アイコン 2-19
宛先登録 12-37
イメージコントローラ IC-202 2-7
インターシート 8-13
インデックス原稿 3-19
インデックス紙 2-40, 2-46
ウィークリータイマー 2-28
ウォータマーク 8-63, 8-76
ウォームアップ 2-23
応用機能 8-1
オートリセット 2-25
オーバレイ 8-77
オプション構成 2-6
折目消し 8-59

か行

回転ソート 3-52, 3-54
拡大 3-33
拡大表示解除確認 4-22
拡大表示キー 2-16
確認コピー 4-4
確認コピーキー 2-16, 4-4
各部の名称 2-2
画像の収め方 8-51
片面 / 両面 3-42, 3-43
片面コピー 3-42
カバーシート 8-9
紙づまり 5-4
画面切替え設定 12-21
環境設定 12-18, 12-28
管理者 / 本体登録 12-37
管理者設定 12-28
キーカウンタ 2-7
キーリピート開始 / 間隔 4-20
基本設定画面 2-17
給紙 2-39
給紙ローラ 2-36, 10-4
クリアキー 2-16, 3-3
グループ 3-52, 3-55
原稿 7-31
原稿外消去 8-56, 8-61
原稿画質 3-45
原稿ガラス 3-8, 7-34
原稿セット方向 3-21
原稿セット方法 3-6
原稿の置き方 18
原稿のとじ代 3-23
言語選択 12-18
固定倍率 3-33
コピーキー 2-16
コピー設定 12-23, 12-40
コピープログラム呼び出し 4-11
コピー予約 3-71
混載原稿 3-15
コントラスト調整ダイアル 2-16

さ行

サービスコール 5-2
サイズ指定 7-9
差込みページ 8-5
サブトレイ（フィニッシャー） 2-9
サマータイム 12-29
仕上り 3-52
時間外パスワード 2-28
システムオートリセット 2-26
システム連携 12-42
下地調整 3-47, 3-49
実行中リスト 11-10
自動検出 7-8, 8-35
自動トレイ切換え機能 7-7
自動倍率 3-30
自動用紙 3-28
自動両面原稿送り装置 6-4
シフトトレイ SF-601 .... 2-7, 2-14, 6-10
ジャム位置表示画面 5-4
集約 3-51

縮小 3-33
出力設定 12-20, 12-29
主電源スイッチ 2-22
主電源ランプ 2-16
仕様 6-2
使用環境 1-14
消去 8-56
小冊子 8-54
章分け 8-19
初期設定 12-22
ジョブ 11-2
ジョブの削除 11-5
シリアルポート 2-4
仕分け 3-52
ズーム 3-34
スキャナ設定 12-25
スキャナ登録 12-16
スキャンキー 2-15
スタートキー 2-16, 3-3
スタッカーユニット 2-11
スタンプ 8-63
ステープル 3-53, 3-57
ステープルカートリッジの交換 9-7
ストップキー 2-16
スリープ 2-27
清掃のしかた 10-2
セールスカウンタ 10-5
設置スペース 1-12
設置電源 1-14
設定内容 4-2
設定内容キー 2-16, 4-2
設定メニュー / カウンタキー
.... 2-16, 7-20, 12-2
専用紙 7-5, 7-18
操作パネル 2-15, 2-20
ソート 3-52, 3-54

た行

第 1 給紙トレイ 2-3, 2-36
第 2 給紙トレイ 2-3, 2-36
第 3 給紙トレイ 2-3, 2-37
第 4 給紙トレイ 2-3, 2-37
大容量給紙ユニット LU-401/LU-402
.... 2-7, 2-8, 6-5
タッチパネル 4-32
小さめ 3-32
蓄積ジョブ 11-12, 11-13
注意表記・注意ラベル 1-10
定期点検 10-6
定形サイズ 7-22
定型スタンプ 8-74
定形特殊サイズ 7-23
定型リピート 8-40
定着搬送ユニット 2-5, 2-49
定着部 2-5
データランプ 2-16
手差しトレイ 2-39
テンキー 2-16, 3-3
電源コード 1-3, 2-4
電源プラグ 1-5
等倍 3-31
登録オーバレイ 8-78
登録倍率 3-38
トータルカウンタ 2-5
独立ズーム 3-36
とじ代 8-46
トナーカートリッジ 2-5, 9-4
トナーカートリッジの交換 9-4
トナー補給ドア 2-3, 9-4
トナーユニットレバー 2-5
トラブルの処置 5-9
ドラム部 2-5
トレイ右ドア 2-3

な行

中折り 3-64
中折り位置調整 12-54
中とじ 3-63
中とじ位置調整 12-52
ナンバリング 8-73
ネガポジ反転 8-27
ネットワーク設定 12-40
ネットワーク用ポート 2-4
濃度 3-47, 3-48

は行

ハードディスクドライブ HD-503 2-7
排紙トレイ 2-3, 2-14, 7-3
倍率 3-30
倍率登録 3-39
はがき 7-29
パスワード規約 12-44, 12-100
パワーセーブ 12-20

パワーセーブキー 2-15, 2-27, 12-28
パワーセーブ設定 12-20, 12-28
範囲指定 8-37
搬送レバー 2-49
パンチ 3-53, 3-61
パンチキット PK-502/PK-503 6-9
パンチくず 9-14
日付 / 時刻 8-67
昼休み OFF 機能設定 12-30
ファクスキー 2-15
フィニッシャー FS-504/FS-505
.... 2-7, 2-9, 6-6, 6-7
フィニッシャー FS-602 ....2-7, 2-9, 6-8
フィニッシャ調整 12-52
フェイスアップ 3-56
副電源スイッチ 2-22
ブック連写 8-28
不定形サイズ 7-11, 7-25
部門管理 2-33
プリンタ設定 12-26, 12-42
プリンタ調整 12-31, 12-48
プログラムキー 2-16, 4-8, 4-11
プログラムジョブ 8-23
プログラム登録 4-8
ページ(スタンプ) 8-69
ページ連写 8-44
ヘルプキー 2-16
ヘルプ機能 4-13
編集とじ代 8-48
ポストインサータ操作パネル 2-12
保守サービス 6-12
ポストインサータ PI-501 2-12
ポストインサータトレイサイズ
....12-34, 12-78
ボックスキー 2-15
ボックス登録 12-16
ボックス保存 2-18

ま行

前ドア(右/左) 2-3
見開き原稿 3-9
メイントレイ(フィニッシャー) 2-9
メッセージ 5-12
メモリ 5-7, 5-8

や行

ユーザ認証 2-30
ユーザ認証 / 部門管理 12-38
優先出力 11-15
ユニバーサルキー 2-16, 4-19
ユニバーサル設定 4-19
用紙 7-2
用紙サイズ 7-2
用紙種類 7-4
用紙設定 7-8
用紙の保管 7-6
用紙容量 7-4

ら行

リセットキー 2-15, 2-25
リピート 8-34
両面原稿 3-41
両面コピー 3-43
履歴リスト 11-11
レバー M4 ....2-5, 2-49
連続読み設定 3-10
ローカル接続キット EK-701 2-7
ローパワー 2-26

わ行

ワーキングテーブル 2-3
ワイド紙 7-16
枠消し 8-57
割込み 4-7
割込みキー 2-15, 4-7

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店 連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-510010（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）